

B区出土遺物一覧

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
	(0H)	B p-31グリッド			
214	21-000316	熱変成岩	4	72	取上番号有り
	(0I)	B p-32グリッド			
215	21-000317	熱変成岩	4	90	取上番号有り
	(0J)	B p-34グリッド			
216	21-000318	玻璃質安山岩	1	15	
	(0K)	B q-29グリッド			
217	21-000319	磨石	1	45	取上番号有り
218	21-000320	磨石	1	301	
219	21-000321	熱変成岩	3	124	取上番号有り
220	21-000322	熱変成岩	1	40	
	(0L)	B q-32グリッド			
221	21-000323	磨石	1	41	
222	21-000324	熱変成岩	6	66	
223	21-000325	玻璃質安山岩	1	22	
	(0M)	B q-34グリッド			
224	21-000326	熱変成岩	1	3	取上番号有り
225	21-000327	玻璃質安山岩	1	7	
	(0N)	B q-35グリッド			
226	21-000328	熱変成岩	1	54	
	(0O)	B q-37グリッド			
227	21-000329	熱変成岩	1	53	取上番号有り
	(0P)	B r-30グリッド			
228	21-000330	熱変成岩	1	10	取上番号有り
229	21-000331	熱変成岩	1	16	
	(0Q)	B r-31グリッド			
230	21-000332	黒曜石	1	5	取上番号有り
231	21-000333	熱変成岩	1	10	取上番号有り
	(0R)	B r-32グリッド			
232	21-000334	熱変成岩	1	26	
	(0S)	B r-35グリッド			
233	11-002727	土師器坏蓋部	1	6	
234	11-002728	土師器埴口縁	1	12	
235	11-002729	土師器壺体部	2	19	
236	11-002730	土師器甕	1	19	
237	11-002731	須恵器壺体部	2	399	
238	11-002732	軟質陶器	1	15	
239	21-000335	熱変成岩	1	36	
	(0T)	B r-37グリッド			
240	11-002733	土師器坏口縁	1	1	
241	11-002734	土師器坏底面	1	4	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
242	11-002735	土師器埴口縁	1	7	
243	11-002736	土師器壺体部	20	175	
244	11-002737	土師器小壺埴口縁	1	39	
245	11-002738	土師器壺体部	4	41	
246	11-002739	土師器	4	6	
247	11-002740	須恵器埴口縁	1	11	軟質
248	11-002741	須恵器壺体部	2	5	軟質
249	11-002742	須恵器壺体部	2	25	
250	21-000336	砥石	1	27	
251	21-000337	こも編み石	1	112	
252	21-000338	玻璃質安山岩	1	9	取上番号有り
253	21-000339	チャート	1	6	
	(0U)	B s-28グリッド			
254	11-002743	須恵器坏・埴口縁	1	2	平安朝頃
255	11-002744	須恵器壺体部	1	17	
	(0V)	B s-29グリッド			
256	21-000340	磨石	1	14	
	(0W)	B s-30グリッド			
257	11-002745	須恵器甕	1	7	
	(0X)	B s-34グリッド			
258	11-002746	陶器	1	17	
259	21-000341	磨石	1	115	
260	21-000342	火打ち石か	1	95	石英
	(0Y)	B s-35グリッド			
261	21-000343	玻璃質安山岩	1	32	
262	21-000344	流紋岩	2	111	
	(0Z)	B s-37グリッド			
263	21-000345	熱変成岩	1	43	
	(01)	B t-27グリッド			
264	21-000346	砥石	1	102	
	(02)	B t-30グリッド			
265	21-000347	こも編み石か	1	143	
	(03)	B t-34グリッド			
266	21-000348	熱変成岩	1	68	取上番号有り
267	21-000349	熱変成岩	2	90	
	(04)	B t-36グリッド			
268	11-002747	土師器壺体部	1	17	
269	21-000350	熱変成岩	1	58	取上番号有り
270	21-000351	熱変成岩	1	16	
	(05)	B t-37グリッド			
271	21-000352	熱変成岩	1	185	

142 その他

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
	(1)	その他 縄文			
1	11-002748	縄文土器	3	11	早期
2	11-002749	縄文土器	3	14	前期
3	11-002750	縄文土器	13	294	中期
	(2)	確認品			
4	11-002751	縄文土器	1	8	早期
5	11-002752	縄文土器	2	73	中期
6	11-002753	土師器坏口縁	3	11	
7	11-002754	土師器坏底面	1	2	黒色処理
8	11-002755	土師器坏底面	4	19	
9	11-002756	土師器埴口縁	3	37	
10	11-002757	土師器壺体部	7	38	奈良・平安時代
11	11-002758	土師器壺体部	22	201	
12	11-002759	土師器小壺体部	1	5	
13	11-002760	土師器壺底面	2	20	
14	11-002761	須恵器蓋	1	40	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
15	11-002762	須恵器坏・柄	1	3	平安朝頃
16	11-002763	須恵器埴口縁	1	27	
17	11-002764	須恵器壺体部	3	60	
18	11-002765	軟質陶器	1	23	
19	11-002766	土器片	4	44	
	(3)	東御南北掘孔溝			
20	11-002767	土師器壺体部	1	3	
21	11-002768	須恵器坏・柄	2	3	平安朝頃
22	11-002769	灰釉底面	1	10	
23	11-002770	陶器	1	3	
24	11-002771	磁器	1	10	
	(4)	その他			
25	11-002772	土師器坏	1	10	6世紀後半
26	11-002773	土師器坏	1	9	7世紀前半
27	11-002774	土師器坏	1	20	7世紀後半
28	11-002775	土師器坏	1	5	奈良時代頃

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
29	11-002776	土師器環口縁	1	3	7世紀後半	49	11-002796	須恵器環体部	1	2	
30	11-002777	土師器環口縁	1	4	黒色処理	50	11-002797	須恵器環・腕	4	46	平安朝頃
31	11-002778	土師器環口縁	1	1	内面黒色処理	51	11-002798	須恵器環・腕体部	4	10	平安朝頃
32	11-002779	土師器環口縁	16	49		52	11-002799	須恵器環口縁	4	83	
33	11-002780	土師器環底部	5	39	黒色処理	53	11-002800	須恵器器体部	1	51	披状文
34	11-002781	土師器環底部	3	15	粉質	54	11-002801	須恵器器体部	15	275	
35	11-002782	土師器環底部	33	175		55	11-002802	須恵器器底部	1	70	
36	11-002783	土師器高环口縁	1	12	6世紀後半	56	11-002803	須恵器	1	18	
37	11-002784	土師器高环口縁	4	31		57	11-002804	須恵器磁子	2	16	
38	11-002785	土師器腕	1	19		58	11-002805	軟質陶器	2	41	
39	11-002786	土師器環口縁	17	169		59	11-002806	陶器	3	17	
40	11-002787	土師器器体部	31	129	奈良・平安時代	60	11-002807	瓦	3	118	中近世か
41	11-002788	土師器器体部	78	1059		61	11-002808	瓦	1	56	
42	11-002789	土師器器体部	4	120		62	21-000353	不定形石器	1	161	
43	11-002790	土師器器体部	1	12		63	21-000354	磨石	5	516	安山岩
44	11-002791	土師器小原壺	4	127		64	21-000355	磨石	1	463	
45	11-002792	土師器小原壺	1	4		65	21-000356	黒曜石	3	5	
46	11-002793	土師器小原壺	1	7		66	21-000357	熟成灰岩	48	881	
47	11-002794	土師片	2	3		67	21-000358	流紋岩	1	77	
48	11-002795	須恵器蓋	2	72		68	21-000359	チャート	3	22	

143 B区 追加遺物

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) H-5号住居出土遺物						
43	第21図 図版52 20-001553	磨石 (欠損品)	残存長 12.0 幅 8.1 厚み 3.85 重量 613g	下半及び右上前欠損。円盤を用い、表面 面に研磨がなされるが、特に裏面は明確 な研磨面を残す。	①安山岩 ②灰白色(5Y7/2)	
(2) H-17号住居出土遺物(H-17号住居には伴わない)						
14	第45図 図版56 10-006749	須恵器碗 (口縁部~底部) (ほぼ完形)	口径 13.5×12.8 底径 6.45×6.3 器高 4.95	右回転ロクロ成形。内外面成長。底面回 転糸切り。	①還元焰・青 ②淡黄色(OP5Y8/3) ③粗砂粒	9世紀後半
(3) H-23号住居出土遺物						
8	第56図 図版57 20-000667	磨石 (欠損品)	残存長 5.5 幅 4.55 厚み 1.0 重量 30g	偏平な円盤を用い、上下端面が欠損する。 表面と左下側縁に研磨面が見られ、表面 には多くの削痕を残す。	①凝灰岩 ②淡黄色(5Y8/3)	

C区出土遺物一覧

C区出土遺物一覧

1 H-20号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	図版116 10-000750	土師器甕 (口縁部～底部) (7/8)	口径 26.9×24.5 底径 11.1×10.0 高さ 31.8	口縁部横線で、体部内面横線の段差で後、縦位の段差。体部外面上位上方、下位右下方への段削り。底面段調整。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	図版116 10-000751	土師器甕 (口縁部～底部) (残存部の1/6)	口径 推定 20.8 残存高 27.4	口縁部横線で、体部内面左方への段差で、外面上方への段削り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(7.5YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
3	図版122 20-001554	磨石 (破石) (1/1)	長さ 11.2 幅 9.9 厚み 3.5 重量 662g	円盤を用いる。表面面、両側縁、上端縁に磨削面を持ち、表面と裏面上位、上面左半部に縦打痕が多数見られる。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	
4	図版116 10-000752	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 11.7 高さ 推定 4.8 高さ 4.5	内外面やや摩滅。口縁横無で。体部内面周し乍らの指撫でか、体部外面左回りの、底面複数方向の段削り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(5YR7/8) ③粗砂粒	6世紀後半
5	図版116 10-000753	土師器鉢 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 18.8×18.05 底径 8.6×8.45 器高 9.6	内外面やや摩滅。口縁横無で。体部内面左回りの段差で。体部外面左方への、底面一方向への段削り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
6	図版116 10-000754	土師器小型甕 (口縁部～底部) (残存部の1/2)	口径 15.25×14.8 残存高 12.35	内外面若干部付着。口縁横無で。体部内面左方への段差で。体部外面上方への段削り。	①酸化焰・青 ②褐灰色(5YR6/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
7	図版116 10-000755	土師器甕 (口縁部～体部) (残存部の3/4)	口径 20.9×20.35 口径高 13.6	外面一部焼土化した土付着。外面荒れる。口縁横無で。体部内面左方への段差で、外面上方への段削り。	①酸化焰・青 ②灰黄褐色(10YR6/2) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半 被熱顯著
8	図版116 10-000756	土師器甕 (口縁部～体部) (残存部の1/3)	口径 推定19.6 残存高 18.6	口縁横無で。体部内面不定方向の段差で及び指撫で、外面上方への段削り。	①酸化焰・青 ②にぶい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	図版122 20-001555	こも編み石	長さ 14.5 幅 6.7 厚み 3.9 重量 530g	円盤使用。左右両側縁の中・上位に刺摩による浅い刻れ部を持ち、中位に 3.2cm、上位に2.2cm幅程の摩耗痕一均。	①立紋崩岩母石置片岩 ②緑灰色(5G5/1)	
10	図版122 10-000757	カマド構築材か (破片)	長さ 4.5 幅 3.75 厚み 1.9	表面と、裏面及び下端縁の一部に自然の面を残す。内部はスサの跡らしい針状の空隙多い。	①酸化焰・軟 ②にぶい褐色(10YR7/3) ③積製砂	カマドの壊材の一部と思われる

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
11	11-002809	土師器環口縁	1	2	黒色処理
12	11-002810	土師器環底部	1	3	黒色処理
13	11-002811	土師器環底部	3	21	
14	11-002812	土師器甕口縁	1	129	6世紀前半
15	11-002813	土師器甕口縁	5	232	6世紀後半
16	11-002814	土師器甕体部	49	1290	古墳時代後期
17	11-002815	土師器甕体部	3	40	奈良・平安時代
18	11-002816	土師器甕体部	5	291	
19	11-002817	土師器甕体部	1	8	
20	21-000360	熱変成岩	1	159	
21	21-000361	流文岩	1	250	
(4) 集合扱い資料					
22	11-002818	縄文土師	13	176	中期
23	11-002819	土師器環	1	6	黒色処理、7c.前半
24	11-002820	土師器環口縁	2	5	黒色処理

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
25	11-002821	土師器環口縁	3	10	
26	11-002822	土師器環底部	16	45	黒色処理
27	11-002823	土師器環底部	2	6	粉質
28	11-002824	土師器環底部	15	61	
29	11-002825	土師器環口縁	2	10	
30	11-002826	土師器甕口縁	19	175	6世紀前半
31	11-002827	土師器甕口縁	4	86	6世紀後半
32	11-002828	土師器甕体部	5	40	奈良・平安時代
33	11-002829	土師器甕体部	112	860	
34	11-002830	土師器甕底部	4	70	
35	11-002831	土師器甕体部	7	104	
36	11-002832	須恵器環・柄	1	10	平安前期
37	11-002833	須恵器甕	2	20	
38	11-002834	陶器	1	2	
39	11-002835	カマド構築材	2	12	
40	21-000362	熱変成岩	5	183	

2 H-30号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 の色調 ②胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	図版122 20-00156	こも編み石 (1/1)	長さ 15.55 幅 8.5 厚み 4.8 重量 971g	円碑使用。右側縁に自然面による浅い刻れ部を持ち、中位若干下寄りに幅 6.1cm 程の帯状の摩耗痕が一周する。	①流紋岩 ②灰白色(5GY8/1)	
2	図版122 20-00157	こも編み石 (1/1)	長さ 17.1 幅 7.1 厚み 4.3 重量 774g	円碑を用いる。左右側縁に敲打による刻れ部を持ち、帯状の摩耗痕が斜め方向に一周する。	①網罟母石黒片岩 ②暗青灰色(SBG4/1)	
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
3	第254図 図版116 10-000758	土師器胴張裏 (口縁部～底部) (2/3)	口径 19.8×19.6 底径 9.4×9.2 高さ 32.5	器面若干荒れる。口縁横撫で。内面体部左方への篋撫で、底面指撫で。体部外面横位の細かい磨削り。底面底面測。底面。	①酸化焰・やや軟 ②橙赤(2.5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
4	図版122 20-00158	こも編み石 (1/1)	長さ 12.9 幅 7.35 厚み 5.8 重量 725g	円碑を用いる。左右側縁に刻痕による自然面による刻れ部を持ち、中位に幅 6.4cm 程の帯状の摩耗痕が一周する。	①網罟母石黒片岩 ②青灰色(SB5/1)	
5	図版122 20-00159	こも編み石 (左側縁欠損)	長さ 13.5 残存部 7.6 厚み 4.2 重量 653g	横断面三角の円碑を用い、中位に幅 5.5 cm 程の帯状の摩耗痕が一周する。	①網罟母石黒片岩 ②青灰色(SB5/1)	
6	第254図 図版116 20-001560	石製品小玉 (1/1)	径 1.85×1.75 厚み 1.6 重量 7.6g	楕円球形に彫形され、全面がよく研磨。平面形の中央に上面径 0.4×0.3cm、下面で径 0.3×0.3cm 測る貫通孔穿孔。	①滑石 ②緑灰色(7.5GY5/1)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料											
7	11-002836	土師器環	1	9	7c 前半・黒色処理	14	11-002841	土師器環	2	20	7c 前半・黒色処理
8	11-002837	土師器環底部	3	43	黒色処理	15	11-002842	土師器環口縁	1	1	
9	11-002838	土師器環底部	8	57		16	11-002843	土師器環底部	2	6	黒色処理
10	11-002839	土師器環底部	4	331		17	11-002844	土師器環底部	1	1	
11	11-002840	土師器環底部	1	117		18	11-002845	土師器環口縁	1	6	
12	21-000363	磨石	1	27		19	11-002846	土師器環体部	5	21	
13	21-000364	熟成成岩	5	145							

3 H-100号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 の色調 ②胎土	備考
(1) 本住居に直接伴う可能性を持つ遺物						
1	第256図 図版116 10-000759	土師器胴張裏 (口縁部～胴部) (残存部の1/3)	口径 推定 19.5 最大径 推定 29.0 残存部高 30.75	内外面多少集付着。口縁横撫で。体部内面左方への篋撫で、外面上方への磨削り。	①酸化焰・やや軟 ②灰黄色(2.5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	図版116 10-000760	土師器裏 (口縁部～体部) (破片)	残存口～胴部: 10.4 ×11.55、体部: 11.3 ×9.55、5×8.5 他	6片からなるが復元不能。外面ひどく荒れる。口縁横撫で。体部内面横位の篋撫で。	①酸化焰・やや軟 ②灰白色(2.5Y8/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀前半 被熱により粗 造化顯著

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	
(2) 取上番号付き集合扱い資料												
3	11-002847	縄文土器	1	27	中期	11	11-002854	縄文土器	1	9	早期	
4	11-002848	土師器環底部	1	8		12	11-002855	縄文土器	7	75	中期	
5	11-002849	土師器環口縁	3	148	6世紀後半	13	11-002856	土師器環底部	3	20	黒色処理	
6	11-002850	土師器環口縁	1	34		14	11-002857	土師器環底部	1	4		
7	11-002851	土師器環体部	17	779		15	11-002858	土師器環口縁	1	20		
8	11-002852	土師器環底部	1	38		16	11-002859	土師器環体部	4	20	奈良・平安時代	
9	11-002853	土師器環体部	1	65		17	11-002860	土師器環体部	16	154		
10	21-000365	熟成成岩	1	7		18	11-002861	土師器環体部	5	115		
							19	11-002862	須恵器環・椀	1	6	平安前期

C区出土遺物一覧

4 H-101号住居

No	図面番号 (図版番号) 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第259図 図版116 10-000761	土師器環 (口縁部～底部)	口径 12.66×12.6 底径 9.2×6.25 器高 3.95	内面吸灰による黒色処理。口縁横無で、 体部～底部内面回し乍らの指無で、体部 外面回りの、底面一方への磨削り。	①酸化焰・青 ② よい褐色(7.5YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
2	図版122 20-001561	こも編み石 (1/1)	長さ 13.2 幅 5.0 厚み 4.05 重量 350g	円礫を用いる。自然の欠損部である左側 中・上位を剥れ部として、中位に幅5.7cm 程の摩耗痕一周する。	①網罟母石薄片岩 ②青灰色(SDG6/1)	
3	第259図 図版122 20-001562	こも編み石 (磨石)	長さ 11.35 幅 6.5 厚み 3.2 重量 370g	円礫を用い、裏裏面に研削面を持つ。上 下端に若干の敲打痕残り、中位を帯状の 摩耗痕一周する。	①安山岩 ②青灰色(10BG6/1)	
4	図版122 20-001563	こも編み石 (上位欠損)	残存長 11.4 幅 5.7 厚み 4.05 重量 450g	円礫を用い、上部欠損。裏面に研削面見 られ、残存部の中・上位両側に摩耗を伴 う浅い刻れ部を有する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
5	第259図 図版116 40-000019	摩先 (ほぼ完形)	長さ 11.25 幅 12.9 厚み 1.05以下	両側外縁が対称に向かってやや広がる。 内縁にはV字形の切れ込みを有し、一部 に木質らしいものが見える。		
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
6	第259図 図版116 10-000762	縄文土器深鉢 (胴部) (破片)	残存 3.25×3.35 厚み 0.8	原形Rの燃赤が縦位に施される。	①緑 ②よい褐色(7.5 YR6/4) ③細砂粒・片岩含む	早期 燃赤系
7	第259図 図版116 20-001564	不定形石器 (1/1)	長さ 4.5 幅 7.3 厚み 1.25 重量 40g	横長の刮片を用い、下縁縁に細い刻線調 整が施される。	①熱変成岩	
8	図版122 20-001565	磨石 (欠損品)	長さ 8.6 残存厚 7.5 残存厚 1.6, 3.2 重量 250g	円礫を用い、左上側欠損し、裏面割削。右 下の磨らみ部を除く部分を中心とする研 削が表面に見られる。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	
9	第259図 図版122 20-001566	磨石 (1/1)	長さ 11.6 幅 8.7 厚み 4.0 重量 610g	円礫を用い、左側縁と裏面に研削面をもち、 表面も磨れる。表裏面と側縁に敲打 痕多く残る。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
10	第259図 図版116 10-000763	土師器環 (口縁部～底部) (破片)	残存 7.15×6.6 口径推定12.3 残存高 3.5	内面に漆による黒色処理の痕跡。口縁横 無で、体部～底部内面無で、体部外面～底 面回し乍らの磨削り。	①酸化焰・やや軟 ②褐色(7.5YR6/6) ③細砂粒	7世紀前半

No	資料番号	資料名称等	数量	量別	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
11	11-002863	縄文土器	3	47	中期
12	11-002864	土師器環口縁	2	27	7世紀前半
13	11-002865	土師器環底	4	83	
14	11-002866	土師器環口縁	2	24	
15	11-002867	土師器環体部	1	11	
16	11-002868	土師器環体部	4	221	
17	11-002869	須恵器環・瓶口縁	1	14	平安期頃
18	11-002870	陶器	2	25	
19	21-000366	熱変成岩	2	35	
(4) 集合扱い資料					

No	資料番号	資料名称等	数量	量別	備考
20	11-002871	縄文土器	1	8	早期
21	11-002872	土師器環	2	8	7c.前半・褐色処理
22	11-002873	土師器環口縁	5	28	7世紀前半
23	11-002874	土師器環底	1	5	褐色処理
24	11-002875	土師器環底	5	20	
25	11-002876	土師器環口縁	1	9	
26	11-002877	土師器環体部	1	10	
27	11-002878	内耳口縁	1	16	
28	21-000367	磨石か	1	31	
29	21-000368	熱変成岩	1	9	

5 H-102号住居

No	図面番号 (図版番号) 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第261図 図版116 10-000764	土師器環 (口縁部～体部) (破片)	残存 3.6×4.9 口径推定 12.0 残存高 3.5	内外面やや寬れる。口縁横無で、体部内 面無で、外面回し乍らの磨削り。	①酸化焰・やや軟 粉質 ②褐色(5YR7/4) ③細砂粒	7世紀前半

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形成・調整等の特徴	築成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土質	備考
第261号 図版117 20-001567		台石 (1/1)	長さ 21.55 幅 12.05 厚み 2.05 重量 990g	板状状態の石材を用い、両側面に当たる 縁辺部に敲打痕が1カ所づつ残る。	①点紋割面母石黒片岩 ②灰青色(2.5YR5/2)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料						12	11-002887	土師器環口縁	4	13	
3	11-002879	土師器環	1	9	7世紀前半	13	11-002888	土師器環高部	4	21	
4	11-002880	土師器環	2	6	黒色処理	14	11-002889	土師器環口縁	3	22	
5	11-002881	土師器環高部	1	18		15	11-002890	土師器甕体部	4	26	奈良・平安時代
6	11-002882	土師器環口縁	1	33		16	11-002891	土師器甕体部	28	239	
7	11-002883	土師器甕体部	12	521		17	11-002892	土師器甕底面	1	10	奈良・平安時代
8	11-002884	土師器甕体部	1	41		18	11-002893	土師器甕体部	3	30	
9	21-000369	熟成成岩	2	34		19	11-002894	瀬器器環・横口縁	2	9	奈良・平安時代
(3) 集合扱い資料						20	11-002895	須恵器蓋か	1	6	
10	11-002885	縄文土器	1	6	早期	21	21-000370	磨石	1	49	
11	11-002886	土師器環	3	6	黒色処理	22	21-000371	熟成成岩	1	9	

6 H-103号住居

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形成・調整等の特徴	築成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土質	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第264号 図版117 10-000765	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 12.4 底径 推定 6.8 器高 3.7	内面やや広がる。口縁横撫で。体部～底部 内面左回りの甕調で。体部外面回し乍ら の、底面概ね一方への甕削り。	①酸化焰・やや粉質 ②淡藍色(5YR8/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
2	第264号 図版117 10-000766	土師器環 (口縁部～高部) (2/3)	口径 11.6 底径 6.3×5.2 残存高 3.8	口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの 甕調で。体部外面回し乍らの甕削り。	①酸化焰・粉 ②橙色(2.5YR6/8) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
3	第264号 図版117 10-000767	土師器小型甕 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 9.6 底径 5.3 器高 7.4	内外面やや広がる。口縁横撫で。体部内 面横撫での。体部外面横撫での、底面一 方向中心の甕削り。	①酸化焰・粉 ②淡黄色(10YR8/3) ③粗砂粒	7世紀後半
4	第264号 図版117 10-000768	土師器小型甕 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 12.6×11.45 底径 7.6×6.8 器高 7.4	口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの 甕又は指撫で。体部外面上位縦位、下位 右回りの、底面概ね一方の甕削り。	①酸化焰・やや硬 ②灰褐色(7.5YR6/2) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
6	第264号 図版117 10-000770	土師器甕 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 21.1×20.75 底径 5.4×4.9 器高 39.2	肩部以下外面保付着。口縁横撫で、体～ 底部内面左回りの甕調で。体外面上方へ 甕削り。底面調整。	①酸化焰・やや硬 ② ③粗砂粒・片岩含む	A.D.600年後
7	第264号 図版117 10-000771	土師器甕 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 20.2×19.2 底径 4.1×3.85 器高 40.9	体部以下の外面に保付着。口縁横撫で。 体～底部内面左回りの甕調で。体外面上 方へ甕削り。底面隅丸方形で調整。	①酸化焰・粉 ②に ③粗砂粒・片岩含む	A.D.600年前後
8	第264号 図版117 10-000772	土師器甕 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 19×19.3以上 底径 10.8×10.1 器高 19.7	口縁横撫で。体部内面甕調で、外面甕削 り。底部内面左回りの甕削り。底面回し 乍らの甕削り。	①酸化焰・硬 ②橙色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	第264号 図版117 10-000773	土師器甕 (口縁部～腰部) (底部欠損)	口径 20.5×19.8 残存高 36.7	口縁横撫で。肩～腰部内面左方への甕調 で。腰部内面縦位の指撫で。体部外面上 方への甕削り。	①酸化焰・粉 ②淡黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
10	第264号 図版117 10-000774	土師器甕 (口縁部～底部) (3/5)	口径 推定 19.7 底径 5.8×5.3 器高 23.35	形態に似る。口縁横撫で。体部～底部 内面縦位の指撫で。底部内面指撫で。体 部外面縦位の、底面回し乍らの甕削り。	①酸化焰・粉 ②に ③淡黄色(10YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
5	第264号 図版117 10-000769	土師器甕 (腰部～底部) (破片)	残存 13.6×16.1 底径 推定 9.8 残存高 15.15	腰部内面縦位の甕削り。外面縦位の甕削 り。底面調整。	①酸化焰・やや硬 ②灰褐色(5YR5/2) ③粗砂粒・片岩含む	
11	第264号 図版117 10-000775	土師器甕 (腰部～底部) (残存部完形)	底径 8.0×7.95 残存高 12.1	腰部内面横位または斜め方向への甕調 で、外面上方への甕削り。底面調整。	①酸化焰・やや硬 ②淡黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	

C区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(3)	取上番号付き集合扱い資料				
12	11-002896	弥生土器	1	4	赤井戸式
13	11-002897	土師器環口縁	2	4	黒色処理
14	11-002898	土師器環底部	1	1	黒色処理
15	11-002899	土師器壺体部	8	28	奈良・平安時代
16	11-002900	土師器壺体部	14	64	
17	11-002901	土師器壺底部	2	41	
18	11-002902	土師器壺底部	1	24	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
19	21-000372	熟成成岩	1	9	
(4)	集合扱い資料				
20	11-002903	土師器環口縁	1	8	黒色処理
21	11-002904	土師器環底部	5	58	黒色処理
22	11-002905	土師器壺体部	1	1	奈良・平安時代
23	11-002906	土師器壺体部	8	157	
24	11-002907	土師器壺体部	1	33	

7 H-104号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位)	測 定 値 (cm)	形 態・成 形・調 整 等 の 特 徴	発 成・石 材 等 の 特 徴 ①発成または石材等 ②色調 ③面土	備 考
(1)	本住居に直接接うと判断される遺物					
1	第268図 図版117 10-000776	土師器環 (口縁部～底部) (口縁部一部欠損)	口徑 12.95×12.8 底徑 9.4×9.15 器高 4.9	口縁横無で、体部～底部内面左回りの寛無で、体部外面左回りの、底面一方への凹削り。	①酸化焰・青 ②淡黄色(2.5Y7/3) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
2	第268図 図版117 10-000777	土師器環 (口縁部～底部) (完形)	口徑 11.5×11.0 底徑 6.0×5.4 器高 4.5	一面面が押される、口縁横無で、体部～底部内面左回りの寛無で、体部外面指撫で、底面側又は糸での切り離し。	①酸化焰・やや硬 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
3	第268図 図版117 10-000778	土師器環 (口縁部～底部) (7/8)	口徑 11.6×11.4 底徑 5.3×4.6 器高 4.2	口縁横無で、体部～底部内面左回りの寛無で、体部外面指撫で、底面側(又は糸)による切り離し。	①酸化焰・やや硬 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
4	第268図 図版117 10-000779	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口徑 推定 11.2 底徑 推定 4.0 器高 4.25	口縁横無で、体～底部内面左回りの寛無で、体部外面削削り後横位の指撫で、底面木炭残残り、腰部に底の切り込み。	①酸化焰・青 ②にぶい 褐色(7.5YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
5	第268図 図版117 10-000780	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口徑 推定 14.1 底徑 6.15 器高 4.3	口縁横無で、体部～底部内面左回りの寛無で、体部外面削削り。底面側(又は糸)による切り離し。	①酸化焰・青 ②灰黄褐色(10YR6/2) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
6	第268図 図版118 10-000781	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口徑 推定 12.0 底徑 推定 7.0 残存高 4.35	器面単純、口縁横無で、体部～底部内面無で、体部外面削削り、底面概ね一方への凹削り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	6世紀後半
7	第268図 図版118 10-000782	土師器壺 (口縁部～底部) (胴部接合不能)	口徑 推定 25.5 底徑 6.8×6.5 器高 15.3+7.2以上	口縁横無で、体部内面左回りの寛無で、底面内面削削り、底面側(又は糸)による切り離し。体部外面削削り。底面調整。	①酸化焰・やや硬 ②にぶい 褐色(5YR6/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半 被熱灰燼着
8	第268図 図版118 10-000783	土師器壺 (口縁部～底部) (3/4)	口徑 推定 24.8 底徑 11.5 器高 29.55	口縁横無で、体部内面左方への寛無で後縦位の削削り、体部外面上方への削削り。底面内面及び底面調整。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	第268図 図版122 20-001568	こも編み石 (磨石)	長さ 14.2 幅 6.2 厚み 4.4 重量 535g	円礫を用い、裏面に研磨面を持つ。左側に割傷、右側に自然面による浅い割れ部を持ち、帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(10G5/1)	磨石からの転用品
10	第268図 図版122 20-001569	こも編み石	長さ 14.45 幅 7.2 厚み 4.05 重量 662g	円礫を用いる。左右側縁の中心に割傷による小さな浅い割れ部を持ち、幅 3.8cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①研磨母石黒片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
11	第268図 図版122 20-001570	こも編み石	長さ 14.85 幅 6.7 厚み 4.2 重量 609g	円礫を用いる。上位に幅3.9cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①石巻帯母片岩 ②明緑灰色 (7.5GY7/1)	
12	第268図 図版122 20-001571	こも編み石 (磨石)	長さ 14.5 幅 7.3 厚み 3.7 重量 485g	円礫使用。右側裏面と表面上位に研磨面を有す。左右両側に自然面による浅い割れ部を持ち、幅3.9cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②明オリーブ灰色 (2.5GY7/1)	磨石からの転用品
13	第268図 図版122 20-001572	こも編み石 (磨石)	長さ 13.55 幅 8.8 厚み 3.8 重量 703g	円礫を用い、表裏面に粗打痕を残す。左側に研磨を伴う浅い割れ部を持ち、中心を帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(5G7/1)	磨石からの転用品
14	第268図 図版122 20-001573	こも編み石	長さ 14.15 幅 6.8 厚み 4.55 重量 528g	下側の円礫使用。上位に幅3.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
15	第268図 図版122 20-001574	こも編み石	長さ 13.6 幅 6.8 厚み 3.0 重量 446g	円礫を用い、右側縁中心に割傷による浅い割れ部を設け、中心や下寄りに幅 4.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①石巻帯母片岩 ②明オリーブ灰色 (5GY7/1)	

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (現存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
16	図版122 20-001575	こも編み石 (1/1)	長さ 14.2 幅 6.2 厚み 4.55 重量 495 g	円鑿を用いる。表面中上位と、表面・右側面下位に研削面を持つ。中位に幅2.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰白色(N7/)	
17	図版122 20-001576	こも編み石 (1/1)	長さ 15.8 幅 7.1 厚み 2.65 重量 505 g	円鑿を用いる。右側縁中位上寄り自然の剥離部分に列部として、幅4.4cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①紺青石黒片岩 ②灰色(N/4)	
18	図版122 20-001577	こも編み石 (磨石)	長さ 15.0 幅 7.1 厚み 4.05 重量 614 g	円鑿を用い、表面及び右側面に研削面を持つ。下位に幅3.9cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(SG7/1)	
19	図版122 20-001578	こも編み石 (1/1)	長さ 15.9 幅 4.6 厚み 3.7 重量 421 g	棒状の円鑿を用いる。中位に幅6.4cm程の幅広い摩耗痕が一周する。	①紺青石黒片岩 ②青灰色(SB5/1)	
20	図版122 20-001579	こも編み石 (磨石)	長さ 13.3 幅 5.7 厚み 4.1 重量 523 g	円鑿使用。表面、右側面及び左側面下位に研削面を持ち、中位やや上寄りに幅3.9cm程の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(SG7/1)	磨石からの転用品
21	図版122 20-001580	こも編み石 (1/1)	長さ 16.0 幅 6.45 厚み 3.2 重量 593 g	円鑿使用。右側縁部に自然の剥離部を持ち、中位に幅5.9cmの幅広い帯状の摩耗痕が一周する。	①紺青石黒片岩 ②紺青灰色(SBG4/1)	
22	図版122 20-001581	こも編み石 (1/1)	長さ 13.7 幅 6.2 厚み 3.4 重量 503 g	円鑿を用い、中位下位寄りに幅3.2cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①紺青石黒片岩 ②緑灰色(SG6/1)	
23	図版122 20-001582	こも編み石 (1/1)	長さ 15.85 幅 6.9 厚み 4.35 重量 775 g	円鑿を用いる。中位やや上寄りを幅 5.4 cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰白色(N7/)	
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
24	第268図 図版118 10-000784	弥生土器婆 (口縁部) (破片)	残存 7.1×6.3 厚み 0.75	頸部にRの無彫縄文が押し付けられ、棒状工具による横方向の沈線が平行に施される。	①硬 ②橙色(5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	中期
25	第268図 図版118 10-000785	弥生土器婆 (胴部) (破片)	残存 5.7×4.6 厚み 0.85	Rの無彫縄文が横方向に転がされ、棒状工具による横方向の沈線が平行に2条施される。	①硬 ②橙色(7.5YR4/3) ③粗砂粒・片岩含む	中期
26	第268図 図版118 20-000682	打製石斧 (1/1)	長さ 14.9 幅 8.5 厚み 4.2 重量 593 g	横長の剥片を用いる。上下の縁辺を割線として新離調整を施して分割形を作り出し、上端部にも割離調整を施す。	①熱成成岩	
27	第268図 図版118 20-000683	スクレイパー (1/1)	長さ 5.3 幅 7.7 厚み 1.0 重量 49 g	表面に自然面を残す横長の剥片を用い、下端縁、左上(右)縁に割離調整を施す。刃部は下縁縁に設ける。	①熱成成岩	
28	第268図 図版118 20-000684	磨石 (裏面一部欠損)	長さ 9.1 幅 8.2 厚み 3.45 重量 320 g	円鑿を用いる。表裏面に研削面を有する。	①安山岩 ②灰色(N6/)	被熱成顯著
29	第268図 図版118 10-000786	土師器環 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 13.1×12.9 底径 6.0×5.2 器高 4.4	内外面寛れる。口縁横撫で。体部～底部内面返し乍らの寛撫で。体部外面返し乍ら、底面概ね一方への覆削り。	①酸化焙・やや軟 ②橙色(7.5YR7/6) ③細砂粒	6世紀後半
30	第268図 図版118 10-000787	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口径 12.5 底径 推定 8.0 器高 4.4	内面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面返し乍らの寛撫で。体部外面返し乍ら、底面一方への覆削り。	①酸化焙・普 ②に ③黄褐色(10YR7/4) ④細砂粒	6世紀後半
31	第268図 図版118 10-000788	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口径 11.95 底径 3.95×3.3 器高 4.5	断面寛れる。内面黒色処理の痕跡。口縁横撫で。体部～底部内面返し乍らの覆削り。底面覆削り。	①酸化焙・やや軟 ②やや粉質 ③橙色(5YR7/8) ④細砂粒	A.D.600年前後
32	第268図 図版118 10-000789	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 11.2 底径 推定 7.8 残存高 5.1	口縁横撫で。体部～底部内面返し乍らの無で調整。体部外面左回りの、底面不定方向の覆削り。	①酸化焙・やや硬 ② ③黄褐色(10YR7/4) ④細砂粒・片岩含む	7世紀中葉
33	第268図 図版118 10-000790	土師器環 (口縁部～肩部) (残存部の1/3)	口径 推定 19.8 残存高 9.4	口縁横撫で。体部内面左回りの寛撫で。体部外面上方への覆削り。	①酸化焙・やや硬 ② ③黄褐色(5YR7/4) ④細砂粒・片岩含む	6世紀後半か
34	第268図 図版118 10-000791	土師器鉢 (口縁部～腰部) (残存部の1/5)	口径 推定 21.4 残存高 12.35	口縁横撫で。体部～底部内面腹位の寛撫で。体部外面横位の覆削り。	①酸化焙・やや軟 ② ③黄褐色(10YR7/4) ④細砂粒	6世紀後半

C区出土遺物一覧

No.	図版番号 図録番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	組成・石材等の特徴 ①組成または石材等 ②色調 ③出土	備考
35	第268図 図版118 10-000792	土師器小型壺 (口縁部～腰部) (破片)	残存 10.5×8.0 口徑 推定 14.2 残存高 7.7	口縁縁側で、腰部内面横位の窪溝で、腰部外面左上方への戾削り。	①酸化焰・硬 ②ぶい赤褐色(2.5YR5/3) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
36	第268図 図版118 10-000793	土師器壺 (口縁部～肩部) (口縁部の1/2)	口徑 25.1 残存高 4.5	口縁縁側で、肩部内面横位の窪溝で、肩部外面上方への戾削り、内外面保ち着の痕跡。	①酸化焰・硬 ②明赤褐色(2.5YR5/6) ③細砂粒	7世紀前半
37	第268図 図版118 10-000794	土師器壺 (腰部～底部) (底面欠損)	底径 6.8×6.3 残存高 7.6	内面削れる。腰部～底部内面側で調整。腰部外面縦位(下方へ)の鼠掘り。底面調整。	①酸化焰 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀
38	第268図 図版118 10-000795	軟質陶器火鉢 (底部～脚部) (破片)	残存長 10.15 残存幅 4.7 残存高 6.9	方形の火鉢の一部。外面、底部・側壁を面するラインの内側、及び底面の一部が残る。	①還元焰・軟 ②灰色(5Y6/1) ③細砂粒	中世後期
39	図版122 20-001586	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 15.2 幅 7.1 厚み 4.5 重量 653g	横断面三角形の円磨使用。側3面に研磨面を持つ。中に摩耗片う残り列れ部を持ち、幅3.3cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②明オリーブ灰色 (2.5GY7/1)	磨石からの転用品
40	図版122 20-001587	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 12.8 幅 5.8 厚み 5.6 重量 678g	円磨を用い上下両端に縦打痕見る。中位やや上寄りに幅4.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①石英閃緑岩 ②明緑灰色(7.5GY8/1)	磨石からの転用品
41	図版122 20-001588	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 14.6 幅 6.9 厚み 4.3 重量 666g	円磨使用。左側縁の自然の凹れ部を利用し、中位やや上寄りに幅4.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①凝灰岩 ②明オリーブ灰色 (5GY7/1)	
42	図版122 20-001589	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 13.0 幅 5.6 厚み 4.3 重量 458g	円磨を用いる。右側縁の自然の凹部を利用し、中位に幅3.6～3.8cmの帯状の摩耗痕一周する。	①凝結凝灰岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	
43	図版122 20-001590	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 15.3 幅 5.8 厚み 5.7 重量 606g	円磨を用い、裏面に研磨面を有する。中位に幅2.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①点紋絹雲母石磨片岩 ②暗青灰色(5B4/1)	磨石からの転用品
44	図版122 20-001591	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 14.7 幅 7.2 厚み 3.4 重量 634g	円磨を用いる。左右両側中下位に円磨を伴う浅い列れ部を持ち、幅3.5cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石磨片岩 ②青灰色(10BG5/1)	
45	図版122 20-001592	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 14.65 幅 8.3 厚み 4.25 重量 663g	円磨を用い、裏面に研磨面を残す。左右両側に割傷等による浅い列れ部を持ち、幅2.9cm程の帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②明オリーブ灰色 (5GY7/1)	磨石からの転用品
46	図版122 20-000692	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 15.9 幅 4.3 厚み 2.65 重量 310g	円磨を用いる。中位に幅2.5cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①赤色頁岩 ②暗紫灰色(5KP4/1)	
47	図版122 20-000693	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 13.45 幅 5.9 厚み 4.6 重量 542g	円磨を用い、表面に研磨面を有する。左側の自然の列れ部を利用し、幅4.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(10G6/1)	磨石からの転用品
48	図版122 20-000694	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 13.4 幅 8.05 厚み 4.3 重量 609g	円磨を用い、左右両側中位の自然面を列れ部として利用し、幅4.1cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②青灰色(5B5/1)	
49	図版122 20-000695	こもろみ石 (上側欠損)	残存長 14.5 幅 5.4 厚み 3.15 重量 420g	円磨を用い、切断面に掛かる残存部上に幅3.5cm以上の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石磨片岩 ②青灰色(10BG6/1)	
50	図版122 20-000696	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 13.4 幅 5.2 厚み 2.5 重量 286g	円磨を用いる。中位に幅3.9～4.4cmの帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石磨片岩 ②暗青灰色(10BG4/1)	
51	図版122 20-000697	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 14.5 幅 7.8 厚み 3.1 重量 524g	円磨を用い、右側中位と左側下位寄りに研磨を伴う浅い列れ部を持ち、幅4.4～5.2cmの帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(7.5GY4/1)	
52	図版118 20-000698	台石	長さ 24.5 幅 9.25 厚み 2.9 重量 862g	板碑様の石材を用い、左側縁に2カ所、右側縁に連続する2カ所の割傷による凹部を有する。	①点紋絹雲母石磨片岩 ②緑灰色(5G5/1)	
53	第268図 図版118 20-000699	火打ち石	長さ 3.6 幅 2.7 厚み 2.55 重量 34g	角張った石材を用い、平行する2つの縁辺に連続する敲打痕が認められる。	①石英 ②灰白色(N8/)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
54	11-002908	縄文土器	1	14	中期
55	11-002909	土器器環口縁	6	49	7世紀前半
56	11-002910	土器器環口縁	1	8	7世紀後半
57	11-002911	土器器環口縁	3	22	奈良時代
58	11-002912	土器器環口縁	3	26	黒色処理
59	11-002913	土器器環口縁	1	5	
60	11-002914	土器器環口縁	3	28	黒色処理
61	11-002915	土器器環口縁	14	228	
62	11-002916	土器器環口縁	1	8	
63	11-002917	土器器環口縁	3	102	
64	11-002918	土器器環口縁	12	222	
65	11-002919	土器器環口縁	8	484	
66	11-002920	土器器環口縁	1	69	
67	11-002921	土器器環口縁	2	63	
68	11-002922	土器器環口縁	2	42	
69	11-002923	土器器環口縁	1	75	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
70	21-000373	熟成成岩	5	143	
(4) 集合扱い資料					
71	11-002924	縄文土器	1	4	早期
72	11-002925	縄文土器	1	12	前期
73	11-002926	縄文土器	4	73	中期
74	11-002927	土器器環口縁	1	5	6世紀後半
75	11-002928	土器器環口縁	3	27	7世紀前半
76	11-002929	土器器環口縁	1	9	奈良時代
77	11-002930	土器器環口縁	1	3	黒色処理
78	11-002931	土器器環口縁	1	4	
79	11-002932	土器器環口縁	2	6	黒色処理
80	11-002933	土器器環口縁	4	21	
81	11-002934	土器器環口縁	9	113	
82	11-002935	須恵器蓋	1	17	
83	11-002936	陶磁器	3	44	
84	11-002937	粘土	1	14	

8 H-105号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居には直接伴わない関連を特定できなかった遺物						
1	第270回 図版118 10-000796	土器器環口縁 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 11.45×11.1 底径 6.06×5.75 器高 3.55	内面一部荒れる。口縁横断で。体へ底部 内面回転させ乍らの指撫で。体部外面回 し乍ら。底面概ね一方への塗布あり。	①酸化剤・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
2	11-002938	土器器環口縁	1	3	
3	11-002939	土器器環口縁	2	24	
4	11-002940	土器器環口縁	1	13	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
5	11-002941	土器器環口縁	3	49	
6	11-002942	土器器環口縁	6	36	奈良・平安時代
7	11-002943	土器器環口縁	30	306	
8	11-002944	土器器環口縁	4	67	
9	21-000374	熟成成岩	1	45	

9 H-106号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第272回 図版119 20-000700	台石 (1/1)	長さ 31.4 幅 7.5 厚み 6.2 重量 1650g	横断面直角三角形を呈する石材を用い る。上縁縁に幅3.85cm、深さ0.4cm程の凹 部が斜縁によって設けられる。	①点紋網罟母石墨片岩 ②緑灰色(5G6/1)	
(2) 本住居には直接伴わない関連を特定できなかった遺物						
2	第272回 図版118 10-000797	須恵器環口縁 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 11.2 底径 推定 8.4 器高 3.7	(左)回転口縁成形。底面削り後、回 し乍らの指撫りによる再調整。自然物者 干掛かる。	①還元剤・やや硬 ②灰白色(5Y7/1) ③細砂粒	7世紀後半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
3	11-002945	縄文土器	1	22	中期
4	11-002946	土器器環口縁	4	71	
5	11-002947	土器器環口縁	1	11	黒色処理
6	11-002948	土器器環口縁	1	31	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(4) 集合扱い資料					
7	11-002949	土器器環口縁	2	10	6世紀後半
8	11-002950	土器器環口縁	2	17	7世紀前半
9	11-002951	土器器環口縁	1	4	
10	11-002952	土器器環口縁	4	38	
11	11-002953	土器器環口縁	1	14	

C区出土遺物一覧

10 H-109号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第27図 図版119 10-000788	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 12.7 底径 8.1 器高 3.3	口縁~体部内面横撫で。底部内面撫で。体部外面回し乍ら、底面1~2方向への磨削り。	①酸化焰・青 ②ぶい褐色(5YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
2	第27図 図版119 10-000799	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 11.8 底径 推定 7.0 器高 3.6	口縁撫で。体部~底部内面撫で調整。体部外面回し乍ら、底面不定方向への磨削り。	①酸化焰・青 ②ぶい褐色(7.5YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
3	第27図 図版119 10-000800	土師器環 (口縁部~底部)	底径 7.1×6.8 残存高 5.6	内面腰部縦位の、底面回し乍らの数回づつの指撫で。腰部外面上半縦位の、下位右方、底面回し乍らの磨削り。	①酸化焰・青 ②灰黄褐色(10YR6/2) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀
4	第27図 図版119 10-000801	土師器環 (口縁部~体部)	残存 10.6×12.75 口径 推定 20.6 残存高 12.4	胴部外面縦付着。口縁横撫で。体部内面横位、縦位の撫で。体部外面上方への磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
5	第27図 図版119 20-000701	不定形石礫 (1/1)	長さ 6.5 幅 9.1 厚み 2.75 重量 125g	縦長の割片を用い、図上、下側の側縁に裏面より剝離調整を施す。	①熱変成岩	
6	図版122 20-000702	こもろみ石 (上位欠損)	残存長 17.8 幅 6.3 厚み 3.1 重量 530g	やや大型の内磨使用。残存部の中位やや下寄り右側縁に剝離と研削による割れ部作り、幅4.4cm程の摩耗痕一周。	①研削母石黒片岩 ②紫灰色(5RP5/1)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
13	取上番号付き集合扱い資料				
7	11-002954	土師器環	1	7	奈良時代
8	11-002955	土師器環体部	4	80	奈良・平安時代
9	11-002956	土師器環体部	8	211	
10	11-002957	土師器環体部	1	18	
(4) 集合扱い資料					
11	11-002958	縄文土器	1	8	前期

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
12	11-002959	土師器環	1	4	奈良時代
13	11-002960	土師器環口縁	2	5	
14	11-002961	土師器環底部	1	5	
15	11-002962	土師器環口縁	1	12	
16	11-002963	土師器環体部	9	72	
17	11-002964	土師器環体部	1	21	

11 H-111号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第27図 図版119 10-000802	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 12.6 底径 7.7×5.2 器高 3.5	口縁~体部内面横撫で。底部内面撫で。体部外面回し乍ら、底面不定方向の磨削り。	①酸化焰・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	第27図 図版119 10-000803	土師器環 (体部~底部)	底径 6.1×6.1 残存高 11.0	内面瓦れる。体部~底部内面回し乍らの指撫で。外面胴部上方へ、腰部右方への磨削り。底面木葉状痕。	①酸化焰・硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.600年前後頃か
3	図版122 20-000703	こもろみ石 (1/1)	長さ 14.6 幅 7.8 厚み 3.3 重量 573g	円磨を用いる。右側縁の自然面を割れ部として利用し、中位に幅5.7cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(10Y6/7)	
4	第27図 図版122 20-000704	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.05 幅 7.2 厚み 2.2 重量 370g	円磨使用。中位やや上の左側縁に剝離、右側縁に自然面を利用した割れ部を持ち、幅4.3cm程の摩耗痕一周する。	①研削母石黒片岩 ②紫灰色(10GY6/1)	
5	図版122 20-000705	こもろみ石 (1/1)	長さ 16.45 幅 7.9 厚み 2.75 重量 549g	やや扁平な円磨を用いる。中位に幅 5.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①研削母石黒片岩 ②青灰色(5BG5/1)	
6	図版122 20-000706	こもろみ石 (欠損品)	残存長 15.6 残存幅 5.15 残存厚 5.5 重量 531g	円磨使用し下位及び右側部欠損。残存部中位やや下の裏面両側に剝離での割れ部付け、幅4.6cmの摩耗痕横断。	①研削母石黒片岩 ②青灰色(10BG6/1)	
7	第27図 図版122 20-000707	こもろみ石 (磨石)	長さ 15.15 幅 7.7 厚み 4.0 重量 564g	円磨使用。表裏面に部分的な研削面を有し、一部この研削面を割れ部として利用し、中位に帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②明オリブ灰色(SGY7/1)	磨石からの転用品

No.	図版番号 図版番号 資料番号	名 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
8	図版122 20-000708	こも編み石 (磨石・磨石)	長さ 14.0 幅 5.3 厚み 4.3 重量 449 g	円盤を用い、表面と右側面に明確な研磨面を残す。上下端部に敲打痕残り、幅3.9cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明褐色(7.5YR5/6)	こも編み石への転用品
9	図版122 20-000709	こも編み石 (1/1)	長さ 16.65 幅 6.1 厚み 4.15 重量 501 g	円盤使用。中位左側縁の自然の凹部、右側縁の自然の割離面を刻れ部として利用し、幅3.4cm程の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(5Y6/1)	
10	図版122 20-000710	こも編み石 (1/1)	長さ 15.3 幅 5.8 厚み 5.15 重量 497 g	左右側縁に凹面を持つ円盤を用い、中位に幅5.0cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰色(2.5Y8/2)	
11	図版122 20-000711	こも編み石 (1/1)	長さ 13.35 幅 5.9 厚み 3.2 重量 283 g	右側縁に割離による段を持つ円盤を用い、中位に幅3.4cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰色(7.5Y8/2)	
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
12	図版119 20-000712	石製模造品 「白玉」 (1/1)	径 1.6×1.6 厚み 0.9 重量 3.6 g	上下面は削って切り離し、側面、縦位に粗く研磨される。平面形の中心に径3.9×3.8mmの円孔が穿たれる。	①滑石 ②明青灰色(SBG7/1)	
13	図版119 10-000804	須土器環 (口縁部～底部) (ほぼ完整)	口径 10.65×10.6 最大径 13.05×13 器高 3.95	右回転ロタコ成形。底面回転させ乍らの数回づつの磨削り。	①還元焰・やや軟 ②灰色(10Y8/1) ③細砂粒	7世紀前半
14	図版119 10-000805	土師器壺 (腰部～底部) (破片)	残存 10.1×10.65 底径 推定 7.9 残存高 10.1	外面部分的に胎質土付着。腰部～底部内面左回りの磨削で、腰部外面磨削り。底面磨削調整。	①還元焰・硬 ②赤灰色(2.5YR4/1) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀か
15	図版123 20-000713	こも編み石 (磨石)	残存長 12.0 残存幅 8.0 厚み 4.1 重量 575 g	円盤使用。表裏面と左右側面に研磨面残り、残存部の中位に幅7.7cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	磨石からの転用品
16	図版123 20-000714	こも編み石 (1/1)	長さ 15.1 幅 7.9 厚み 2.2 重量 424 g	やや偏平な円盤を用いる。中位に幅 4.8 cm程の帯状の摩耗痕が薄く一周する。	①石磨削磨片岩 ②緑灰色(SG6/1)	
17	図版119 20-000715	石製模造品 「白玉」 (1/1)	径 1.55×1.55 厚み 0.95 重量 4 g	上下面は削って切り離し、上面側の側面一部割離。上面研磨。側面は縦位の粗い研磨。中心に径4×3.8mmの円孔穿つ。	①滑石 ②灰色(10Y8/1)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
18	11-002965	縄文土器深鉢	5	118	中期
19	11-002966	土師器環口縁	2	14	
20	11-002967	土師器環底部	3	45	
21	11-002968	土師器環口縁	5	132	
22	11-002969	土師器壺底部	5	65	
23	11-002970	土師器壺底部	1	43	
24	21-000375	熱変成岩	1	15	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(4) 集合扱い資料					
25	11-002971	縄文土器深鉢	1	4	早期
26	11-002972	縄文土器深鉢	3	57	中期
27	11-002973	縄文土器深鉢	1	17	
28	11-002974	土師器環口縁	1	4	
29	11-002975	土師器環底部	5	21	
30	11-002976	土師器壺底部	4	14	奈良・平安時代
31	11-002977	土師器壺底部	3	17	

12 H-112号住居

No.	図版番号 図版番号 資料番号	名 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	図版119 10-000806	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 11.2 底径 推定 7.4 器高 3.7	内外両面黒漆塗布。口縁～底部内面横線で、底部内面回し乍ら磨削で、体部外面回し乍ら、底面縦むね方へ磨削り。	①還元焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/8) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
2	図版119 10-000807	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 12.2 底径 推定 6.3 器高 4.35	内外面やや荒れる。口縁横線で、体部～底部内面横線で、体部外面回し乍ら、底面一方への磨削り。	①還元焰・青 ②による褐色(10YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
3	図版119 10-000808	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 13.1 底径 8.8 器高 4.2	口縁横線で、体部～底部内面回し乍らの磨削で、体部外面左回りの、底面一方中心の磨削り。	①還元焰・青 ②浅黄褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
4	図版119 10-000809	土師器壺 (口縁部～底部) (7/8)	口径 16.6×14.7 底径 8.2×8.05 器高 23.4	口縁横線で、体部～底部左回りの磨削で後、上半縦位の粗い磨削り。体部外面縦位の粗い磨削り。底面磨削調整。	①還元焰・青 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半

C区出土遺物一覧

No.	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
5	第279図 図取119 10-000810	土師器壺 (口縁部～底部) (破片)	口径 16.3×12.45 残存高 12.6	内外面磨付着。口縁横溝で。体部内面縦位の寛縁で、外面上方への寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
6	第279図 図取119 10-000811	土師器瓶 (口縁部～底部) (口縁部一部欠損)	口径 26.9×25.2 底径 11.3×10.1 器高 29.8	口縁横溝で。体部内面縦位の寛縁で。体部外面上方への寛削り。底部内面及び底面置調整。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱で粗造化 に付表面処理
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
7	第279図 図取119 20-000716	不定形石器 (1/1)	長さ 10.05 幅 6.3 厚み 1.8 重量 125 g	裏面に自然面を残す縦長の割片を用い、図上側の側縁辺に裏面より剝離調整を施す。	①熱変成岩	
8	第279図 図取119 10-000812	土師器壺 (口縁部～底部) (破片)	残存 12.7×6.6 口径 推定 17.6 器高 6.5	口縁横溝で。体部内面縦位の寛縁で。体部側縦位の寛削り。	①酸化焰・やや硬 ② ③褐色(2.5YR6/4) ④粗砂粒・片岩含む	7世紀後半
9	第279図 図取119 40-000020	鎌	残存長 5.5 幅 3.05 厚み 0.3	柄装着部の折り返しは1.1cm以下で本体に対し鈍角である。背面は直線状であるが刃部は内湾気味である。		奈良時代 曲鎌

No.	資料番号	資料名称等	数量	量目	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	量目	備考
(3)	取上番号付き集合扱い資料					20	11-002987	土師器杯	2	13	黒色処理
11	11-002978	縄文土器	1	18	中期	21	11-002988	土師器杯口縁	2	5	
11	11-002979	土師器杯底部	1	4	黒色処理	22	11-002989	土師器杯底部	3	4	黒色処理
12	11-002980	土師器壺口縁	4	106		23	11-002990	土師器杯底部	1	1	
13	11-002981	土師器壺体部	1	6	奈良・平安時代	24	11-002991	土師器壺口縁	6	51	
14	11-002982	土師器壺体部	39	843		25	11-002992	土師器壺体部	4	26	奈良・平安時代
15	11-002983	土師器壺口縁	2	22		26	11-002993	土師器壺体部	17	134	
16	21-000376	熱変成岩	1	25		27	11-002994	土師器壺体部	5	37	
(4)	集合扱い資料					28	11-002995	陶器	1	2	
17	11-002984	縄文土器	1	14	中期	29	11-002996	土器片	1	11	雙底部か
18	11-002985	弥生土器	1	4		30	21-000377	熱変成岩	1	8	
19	11-002986	土師器杯	1	2	奈良時代						

13 H-116号住居

No.	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第283図 図取119 10-000813	土師器杯 (口縁部～底部) (口縁2/3欠損)	口径 推定 13.9 底径 6.7×6.4 器高 3.4	右回転クワロ成形。底面回転未切り。内面の底部円弧状。口縁格子状の暗文が連続的に施される。	①酸化焰・滑 ②に ③褐色(7.5YR7/4) ④粗砂粒	
2	第283図 図取120 10-000814	須恵器蓋 (紐部～口縁部) (完形)	紐径 4.75×4.65 口径 19.8×19.2 器高 3.5	右回転クワロ成形。天井部外面回転削り。紐跡り付け。	①還元焰・滑 ②灰色(10Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀後半
4	第283図 図取120 10-000816	須恵器蓋 (天井部～口縁部) (1/4)	天井部径 推定 11.2 口径 推定 18.2 残存高 2.2	右回転クワロ成形。天井部左回りの回転削り。口縁部引き出す。	①還元焰・滑 ②灰色(N10/) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀後半
5	第283図 図取120 10-000817	須恵器杯 (口縁部～底部) (1/2)	口径 14.6 前径 9.65 器高 3.45	右回転クワロ成形。底部寛切り。	①還元焰・滑 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗砂粒	8世紀前半
6	第283図 図取120 10-000818	土師器割張蓋 (口縁部～胴部) (破片)	残存 11.7×7.0 口径 推定 24.0 残存高 5.8	口縁横溝で。胴部内面左回りの寛縁で、外面横位の寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀前半
7	図取123 20-000717	こも編み石	長さ 15.3 幅 3.65 厚み 2.8 重量 233 g	棒状の円環を用いる。上位に幅4.3cm程度の、下に幅2.7cm程度の棒状の摩耗痕が一層する。	①緑閃片岩 ②緑灰色(5G5/1)	
(2) 掘り方出土遺物						
8	第283図 図取120 10-000819	須恵器杯 (口縁部～底部) (3/4)	口径 14.7 前径 8.4×8.4 器高 3.4	右回転クワロ成形。底面切り離し後、底面及び胴部下位左回りの回転削り。	①還元焰・やや軟 ②灰色(10Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀前半

No	図版番号 図版番号 資料番号	名称 (保存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
9	第283図 図版120 10-00080	土師器胴張環 (口縁部～胴部) (破片)	残存 13.5×8.85 口径 推定 22.2 残存高 8.75	口縁横溝で、胴部内面左方への腹側で、外面横位の頸削り。	①酸化焙・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	8世紀前半
(3) 本住居には直接付かない関連を特定できなかった遺物						
3	第283図 図版119 10-000815	須恵器杯 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 推定 11.1 底径 推定 10.9 器高 3.8	(右)回転クロコ成形。底面右回りの回転削り。	①還元焙・やや硬 ②灰色(N6/1) ③細砂粒・片岩含む	6世紀前半
10	第283図 図版120 10-000821	須恵器蓋 (胴部～口縁部) (ほぼ完形)	胴径 4.6×4.45 口径 推定 14.5 器高 3.0	右回転クロコ成形。天井部を回りの回転削り。	①還元焙・やや軟 ②灰白色(7.5YR/1) ③細砂粒・片岩含む	8世紀後半
11	第283図 図版120 10-000822	須恵器杯 (胴部～底部) (残存部の1/4)	最大径 推定 14.6 残存高 2.7	(左)回転クロコ成形。底面切り離し後、左回りの回転削り。	①還元焙・やや硬 ②灰色(N6/1) ③細砂粒・片岩含む	6世紀前半か
12	第283図 図版120 10-000823	須恵器杯 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 12.6 底径 推定 9.4 器高 3.9	(右)回転クロコ成形。底面寛切り後左回りの削り。	①還元焙・軟 ②灰色(N5/1) ③細砂粒・片岩含む	8世紀後半
13	第283図 図版120 10-000824	須恵器高台付物 (口縁部～台部) (口縁部～一次部)	口径 11.45×11.3 底径 7.0×6.9 器高 4.3	右回転クロコ成形。底面寛切り後、回し下りの削り。高台貼り付け。内面自然輪付着。	①還元焙・硬 ②灰色(N5/1) ③細砂粒・片岩含む	8世紀前半
14	第283図 図版120 10-000825	土師器胴張環 (口縁部～胴部) (破片)	残存 11.9×9.25 口径 推定 20.7 残存高 9.0	口縁横溝で、胴部内面左方への腹側で、外面右方への頸削り。	①酸化焙・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③細砂粒	8世紀前半
15	第283図 図版120 10-000826	須恵器碗 (口縁部～胴部) (破片)	残存 9.6×7.1 口径 推定 15.2 器高 6.1	回転クロコ成形。	①還元焙・軟 ②灰色(10YR8/2) ③細砂粒・片岩含む	9世紀後半
16	第283図 図版120 10-000827	土師器台付物 (壁底部～台部) (残存部の1/3)	台径 推定 9.6 残存高 4.3	築基部内面左回りの細い寛削り。壁底部外面～台部外面縦位の削り。台部内面横位の指掘り。	①酸化焙・青 ②にぶい ③褐色(7.5YR5/3) ④細砂粒・片岩含む	9世紀
17	第283図 図版120 20-000718	磨石(砥石・こも編み石)	長さ 8.35 幅 4.9 厚み 2.7 重量 124g (1/1)	表面面に研磨面残し。両側縁部に敲打による割れが設けられる。	①砂岩 ②灰白色(7.5YR/2)	磨石からの転用品
18	図版123 20-000719	磨石 (欠損品)	残存長 7.8 残存幅 4.3 厚み 5.45 重量 178g	円盤を用いる。僅かに残存する表面に研磨面見られる。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
19	第283図 図版120 20-000720	紡錘車 (1/1)	上径 5.4×5.2 底径 3.6×3.5 厚み 1.95 重量 89.8g	上底面切り離し後上面回転又は一方へ、底面一方への磨き。側面横位に削り後縦位に磨き。径0.74×0.73cmの穿孔。	①紅政岩 ②暗青灰色(10BG3/1)	
20	第283図 図版120 20-000721	紡錘車 (1/1)	上径 5.2×4.95 底径 4.75×4.5 厚み 1.25 重量 42.4g	上・底・側面研磨される。平面部の中央付近に径0.76×0.77cmの穿孔。	①砂岩 ②淡黄色(2.5YR/3)	牛伏砂岩
21	図版100 40-000621	カスガイ (破片)	残存 ①7.0×4.05 ②4.05 ③4.9 ④2.35	4片の破片からなる。横断面は方形を成し、径は5cm程を囲む。先端部の破片には抜き取りによる屈曲が見られる。		近世以前

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(4) 取上番号付き集合扱い資料					
22	11-002997	弥生土器	3	55	
23	11-002998	土師器杯	5	66	7世紀後半
24	11-002999	土師器杯	3	51	9世紀
25	11-003000	土師器杯	11	117	奈良時代
26	11-003001	土師器杯口縁	1	11	
27	11-003002	土師器杯底部	5	57	黒色処理
28	11-003003	土師器杯腹部	13	170	
29	11-003004	土師器高杯	1	13	6世紀後半
30	11-003005	土師器碗	2	42	暗文
31	11-003006	土師器蓋口縁	5	166	古墳時代後期
32	11-003007	土師器蓋口縁	28	540	
33	11-003008	土師器蓋体部	20	216	奈良・平安・粘土付
34	11-003009	土師器蓋体部	91	783	奈良・平安時代

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
35	11-003010	土師器蓋体部	5	85	
36	11-003011	須恵器蓋	1	30	返りなし
37	11-003012	須恵器蓋紐	1	21	
38	11-003013	須恵器杯・柄口縁	3	33	平安朝前期
39	11-003014	須恵器杯・柄口縁	4	75	平安朝前期
40	11-003015	須恵器高杯脚部	1	57	
41	11-003016	須恵器高台付き碗	1	11	硬質、薄手
42	11-003017	須恵器碗	5	48	硬質、薄手
43	11-003018	須恵器蓋口縁	1	17	
44	11-003019	須恵器蓋体部	8	619	
45	11-003020	須恵器蓋体部	2	183	
46	11-003021	須恵器	1	16	
(5) 集合扱い資料					
47	11-003022	弥生土器	3	20	

C区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
48	11-003023	土師器環	3	18	7世紀後半
49	11-003024	土師器環	19	87	奈良時代
50	11-003025	土師器環口縁	21	45	
51	11-003026	土師器環底部	12	68	黒色処理
52	11-003027	土師器環底部	63	255	
53	11-003028	土師器高環	3	16	6世紀後半
54	11-003029	土師器環口縁	14	156	古墳時代後期
55	11-003030	土師器環口縁	37	297	
56	11-003031	土師器甕体部	21	100	奈良・平安、粘土付
57	11-003032	土師器甕体部	202	787	奈良・平安時代
58	11-003033	土師器甕体部	74	580	
59	11-003034	土師器甕底部	2	24	奈良・平安時代
60	11-003035	土師器脚部	1	7	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
61	11-003036	須恵器蓋	3	22	返りあり
62	11-003037	須恵器蓋	2	17	返りなし
63	11-003038	須恵器蓋	5	50	
64	11-003039	須恵器環・腕口縁	14	43	平安期頃
65	11-003040	須恵器環・腕口縁	3	51	平安期頃
66	11-003041	須恵器碗	13	69	硬質、薄手
67	11-003042	須恵器碗底部	4	21	硬質
68	11-003043	須恵器鉢口縁	1	11	
69	11-003044	須恵器甕体部	3	13	薄手
70	11-003045	須恵器甕体部	5	45	
71	11-003046	須恵器甕底部	1	12	
72	11-003047	須恵器	1	8	
73	11-003048	ホドド構築材	16	91	

14 5号掘立

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	集合扱い資料				
1	11-003049	土師器甕体部	5	98	
2	11-003050	須恵器甕体部	1	33	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2)	集合扱い資料				
3	11-003051	土師器甕体部	5	140	

15 6号掘立

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	集合扱い資料				
1	11-003052	須恵器甕体部	2	23	

16 9号溝

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	集合扱い資料				
1	11-003053	土師器環体部	1	3	薄手
2	11-003054	土師器環底部	1	3	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
3	11-003055	須恵器甕体部	3	28	軟質
4	11-003056	須恵器甕体部	1	33	
5	21-000378	熟成変容	2	27	

17 13号溝

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本溝には直接付かないか関連を特定できなかった遺物						
1	第290図 図版120 20-00722	不定形石器 (下縁一部欠損)	長さ 10.5 幅 7.3 厚み 3.6 重量 322 g	表面に自然面を残す石材を用い、左側縁は刃部を潰す。右側縁及び下端縁に粗い彫線を施す。下端縁が刃部。	①熱変成岩 ②オリブ/灰色 (2.5GY5/1)	
2	第290図 図版120 20-00723	こも編み石 (1/1)	長さ 15.05 幅 5.7 厚み 1.75 重量 253 g	上位が一部剥離する円筒使用。下位左右両側縁に剥離による浅い割れ目を設け、幅3.3cm程の厚縁状一見。	①緑泥片岩 ②緑灰色(10GY5/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2)	取上番号付き集合扱い資料				
3	11-003057	縄文土器	2	19	
4	11-003058	土師器環底部	2	13	軟質
5	11-003059	須恵器環・腕体部	1	3	平安期頃

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
6	11-003060	須恵器甕体部	4	98	軟質
7	11-003061	須恵器甕体部	35	581	
8	11-003062	須恵器甕底部	3	165	
9	11-003063	須恵器体部	1	7	

18 17号溝

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本溝には直接付かないか関連を特定できなかった遺物						
1	第291図 図版120 10-000828	須恵器甕 (口縁部～胴部) (破片)	残存 20.8×10.5 口径 推定 21.0 残存高 8.8	口縁擴張で、胴部内面青灰文残り、外面平行印直線が施された後、横位の溝でが施される。	①還元焰・や硬 ②灰色(7.5GY/1) ③粗砂粒・片岩含む	

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
2	第291図 図版120 10-000829	須恵器 (体部) (破片)	残存 36.9×24.6 厚み 0.9 器高 20.0	内面に青海波文残り、外面は横位の細かい平行印目復元した後、斜方向の細かい平行印目部分的に施される。	①還元焰・やや硬 ②灰色(5Y5/1) ③粗砂粒・片岩含む	
	第291図 図版120 10-000830	須恵器 (体部) (破片)	残存 37.0×18.7 厚み 0.95	内面に青海波文施され、外面は横位の細かい平行印目が施された後、縦位の印目及び横位の施で部分的に施される。	①還元焰・青 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2)	取上番号付き集合扱い資料				
4	11-003064	土師器口縁	2	30	
5	11-003065	土師器体部	1	29	
6	11-003066	須恵器体部	7	410	硬質
7	11-003067	須恵器体部	4	234	軟質
8	11-003068	須恵器体部	4	168	薄手
9	11-003069	須恵器須恵器部	1	21	
(3)	集合扱い資料				
10	11-003070	土師器口	1	10	7世紀後半、粉質
11	11-003071	土師器口縁	4	12	
12	11-003072	土師器口縁部	5	17	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
13	11-003073	土師器口縁	4	24	
14	11-003074	土師器体部	34	184	
15	11-003075	土師器底部	1	11	
16	11-003076	須恵器口縁	1	6	
17	11-003077	須恵器体部	34	348	硬質
18	11-003078	須恵器体部	26	317	軟質
19	11-003079	須恵器体部	8	43	薄手、軟質
20	11-003080	須恵器体部	32	198	薄手
21	11-003081	須恵器口縁	1	11	
22	11-003082	須恵器須恵器部	1	12	
23	11-003083	須恵器	7	22	

19 2号島

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本遺構には直接伴わない関連を特定できなかった遺物						
1	第293図 図版123 20-000724	こも編み石 (1/1)	長さ 15.3 幅 5.65 厚み 2.3 重量 330g	円盤を用い、左右両側中央から小さな割 離を施して浅い割離部を作り、幅3cm程 の帯状の溝状部が一周する。	①緑褐色片岩 ②緑灰色(5G5/1)	
	第293図 図版123 20-000725	磨石 (欠損品)	残存長 11.4 残存 幅 10.3 厚み 2.8 重量 320g	円盤を用い、右側縁及び上端縁が欠損す る。右側縁に研磨面を有する。	①砂岩 ②灰白色(5Y7/2)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2)	取上番号付き集合扱い資料				
3	11-003084	須恵器口縁部	1	27	
4	11-003085	須恵器体部	5	32	
5	11-003086	須恵器底部	1	39	
6	11-003087	陶器	1	40	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
7	21-000379	熱変成岩	1	13	
(3)	集合扱い資料				
8	11-003088	土師器体部	7	51	
9	11-003089	須恵器体部	3	27	

20 1号道

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本遺構には直接伴わない関連を特定できなかった遺物						
1	第293図 図版121 10-000831	須恵器口 (口縁部～底部) (口縁1/2欠損)	口径 15.2 底径 9.55×9.25 器高 4.4	右回転ロクロ成形。(底面削り後)底面 全面に手持ち足削りによる再調整。腰部 下位左回りの手持ちによる削削り。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒	8世紀前半
	第293図 図版121 10-000832	須恵器口 (口縁部～腰部) (破片)	残存 9.0×5.45 口径 推定 16.3 残存高 3.8	回転ロクロ成形。腰部横位の足削り。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(2.5GY6/1) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀前半
3	第293図 図版121 10-000833	土師器 (口縁部～肩部) (破片)	残存 13.9×8.9 口径 推定 20.0 残存高 9.05	口縁横削り。肩部内周横位の足削り、外 面左上方への足削り。	①還元焰・やや硬 ② ③灰褐色(10YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
	第293図 図版121 10-000834	須恵器 (天井部～口縁部) (残存部の1/4)	口径 推定 12.2 残存高 3.0	左回転ロクロ成形。返りを持ち、天井部 中央に2.05×2.0cmを囲る銀の刻痕が残 る。	①還元焰・やや硬 ②灰色(5Y5/1) ③粗砂粒	7世紀後半

C区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
5	第293図 図版121 10-000835	須恵器長頸壺 (口縁部~胴部) (残存量の1/4)	頸部径 5.1 残存高 11.6	回転ロクロ成形。頸部内面下位下方へ撫で、自然輪掛する。	①還元焰・硬 ②灰白色(7.5Y7/1) ③粗砂粒・黒色粒	7世紀後半
6	第293図 図版121 10-000836	須恵器壺 (体部) (破片)	残存 17.0×11.9 厚み 1.85	表面自然輪掛り、平行印文施される。裏面青黄灰文施される。	①還元焰・硬 ②暗灰色(N3/) ③粗砂粒	
7	第293図 図版121 10-000837	須恵器壺 (体部) (破片)	残存 11.95×8.7 厚み 1.5	裏面青黄灰文施される。表面平行印文施され、磨痕残る。	①還元焰・普 ②灰色(N4/) ③粗砂粒	
8	第293図 図版121 10-000838	女瓦 (破片)	残存 8.0×5.3 厚み 1.7	凹面に細かい布目残る。凸面撫で調整。	①還元焰・軟 ②灰白色(10Y8/1) ③粗砂粒	

No	資料番号	資料名称等	数量	量別	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	量別	備考
12	(2) 取上番号付き集合扱い資料					25	11-003105	須恵器轆轤底	3	31	高台付
9	11-003090	土師器壺体部	1	21		26	11-003106	須恵器高坏	2	65	
10	11-003091	須恵器壺口縁	1	175	硬質	27	11-003107	須恵器壺口縁	1	23	硬質
11	11-003092	須恵器壺口縁	1	104	薄手	28	11-003108	須恵器壺口縁	2	53	薄手
12	11-003093	須恵器壺体部	6	1412	硬質	29	11-003109	須恵器壺体部	15	716	硬質
13	11-003094	須恵器壺体部	2	132	薄手	30	11-003110	須恵器壺体部	24	419	軟質
14	11-003095	須恵器長頸壺体部	1	17		31	11-003111	須恵器壺体部	11	240	薄手
15	21-000380	熱変成岩	1	53		32	11-003112	須恵器壺底	2	51	
(3) 集合扱い資料						33	11-003113	須恵器壺口縁	1	15	
16	11-003096	縄文土器	3	59	中期	34	11-003114	須恵器長頸壺底	3	41	
17	11-003097	土師器坏口縁	1	9	6世紀後半	35	11-003115	須恵器長頸壺体部	6	67	
18	11-003098	土師器坏口縁	1	9	奈良時代	36	11-003116	軟質陶器火鉢	3	64	
19	11-003099	土師器坏高部	6	7		37	11-003117	軟質陶器	1	16	
20	11-003100	土師器壺口縁	7	78		38	11-003118	陶磁器	4	67	
21	11-003101	土師器壺体部	4	27	奈良・平安時代	39	11-003119	瓦近現代	2	53	
22	11-003102	土師器壺体部	32	295		40	11-003120	瓦布目	1	20	
23	11-003103	須恵器蓋	5	107		41	21-000381	熱変成岩	3	71	
24	11-003104	須恵器輪口縁	1	5							

21 44号土坑

No	資料番号	資料名称等	数量	量別	備考
(1) 集合扱い資料					
1	11-003121	土師器壺体部	1	5	奈良・平安時代
2	11-003122	須恵器壺体部	1	8	

22 56号土坑

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本土坑には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第296図 図版121 10-000839	縄文土器深鉢 (体部) (破片)	残存 5.1×3.6 厚み 1.1	原体上の捺糸縦位に施され、沈線縦位に施される。	①やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	早期
2	第296図 図版121 10-000840	縄文土器深鉢 (体部) (破片)	残存 4.7×4.3 厚み 1.0	RLの縄文縦位に施され、横位から垂方向に沈線施文される。	①普 ②にぶい黄褐色 ③粗砂粒	後期後半
3	第296図 図版121 10-000841	縄文土器深鉢 (体部) (破片)	残存 5.75×3.4 厚み 0.9	RLの縄文縦位に施され、沈線縦位に施される。	①やや軟 ②褐色(5YR6/6) ③粗砂粒	後期後半

No	資料番号	資料名称等	数量	量別	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
4	11-003123	縄文土器深鉢	2	28	中期

23 1号火葬

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-003124	須恵器環	1	66	

24 ビット群

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	C e-34グリッド所在1号ビット				
1	11-003125	弥生土器	1	8	
2	11-003126	土師器環底部	1	4	
(2)	C o-31グリッド所在6号ビット				
3	11-003127	土師器壺体部	8	96	
(3)	C o-32グリッド所在5号ビット				
4	11-003128	須恵器環・輪底部	1	11	高台付

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
5	11-003129	須恵器壺体部	1	8	
6	11-003130	須恵器壺底部	1	48	
(4)	C o-33グリッド所在4号ビット				
7	11-003131	須恵器壺体部	1	94	
(5)	C o-33グリッド所在7号ビット				
8	11-003132	土師器壺体部	1	5	

25 16号風倒木

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1)	本風倒木直には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物					
1	第30085 図版121 20-000726	垂鈴 (伏状耳輪) (欠損品)	長さ 3.7 幅 2.3 厚み 0.7 重量 9.6g	球状耳輪の左半部。表面彫らみを持ち、 裏面扁平。表面裏とも縦位中心に研磨。 上位に表裏より円錐状に孔が穿たれる。	①増石 ②明緑灰色(7.5GY8/1)	

26 3号竪穴遺構

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1)	本竪穴遺構には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物					
1	第304図 図版121 10-000842	土師器環 (口縁部～体部) (破片)	残存 10.65×4.35 口径 推定 14.7 残存高 3.9	口縁横溝で縦位の指痕が痕残る。体部 内面横で、外面回し乍らの磨削り。	①酸化焰・青 ②橙色(5YR7/8) ③粗砂粒	6世紀前半
2	第304図 図版121 10-000843	土師器環 (口縁部～体部) (破片)	残存 6.05×5.55 口径 推定 14.2 残存高 3.75	口縁横溝で。体部内面横溝で、外面右回 りの磨削り。	①酸化焰・やや硬 ② ③灰黄褐色(10YR7/4) ④粗砂粒	6世紀前半
3	第304図 図版121 10-000844	土師器高環 (脚部) (破片)	残存 6.8×5.7 横部径 推定 12.0 残存高 3.9	脚部内面横位の指痕で、外面下方への磨 削り。横部横溝無。	①酸化焰・青 ②橙色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	
4	第304図 図版121 10-000845	土師器環 (口縁部～脚部) (残存部の2/3)	口径 19.5×17.6 残存高 17.8	内外面夷れる。口縁横溝で。体部内面左 方へ磨削で。体部外面輪軸痕残し、上方 への磨削り。	①酸化焰・やや軟 ② ③灰黄褐色(10YR7/2) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顕著
5	第304図 図版121 10-000846	土師器環 (脚部～底部) (破片)	残存 7.1×7.5 底径 推定 8.4 残存高 5.0	腰部～底部内面左回りの磨削で、外面右 下方への磨削り。底面木葉痕残る。	①酸化焰・青 ②灰黄褐色(10YR6/2) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀か

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2)	取上番号付き集合扱い資料				
6	11-003133	土師器高環脚部	1	13	
7	11-003134	土師器壺体部	9	117	
(3)	集合扱い資料				
8	11-003135	弥生土器	1	6	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
9	11-003136	土師器環底部	1	4	
10	11-003137	土師器高環脚部	2	8	
11	11-003138	土師器高環脚部	3	18	
12	11-003139	土師器壺体部	5	23	
13	21-000382	熟変成岩	1	26	

C区出土遺物一覧

27 1号谷

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 1号谷壙土中出土遺物						
1	第306図 図版121 10-000847	須恵器壺 (口縁部) (破片)	残存 11.55×5.45 口径 推定 19.6 残存高 3.35	内外横位の割で。	①還元焰・青 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	
2	第306図 図版121 10-000848	須恵器壺 (頸部へ体部) (破片)	残存 11.35×10.7 厚み 0.85	内面全面に青黄波文残り、頸部外面横位の割で。体部外面平行印目痕顕明に見られる。	①還元焰・やや硬 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合後資料											
3	11-003140	縄文土器深鉢	1	42	無文	9	11-003146	須恵器杯・柄部	1	5	平安朝頃
4	11-003141	土器壺口縁	1	6		10	11-003147	須恵器杯・柄部	3	21	
5	11-003142	土器壺杯底	2	8		11	11-003148	須恵器壺口縁	1	87	
6	11-003143	土器壺高杯	1	6	6世紀後半、粉質	12	11-003149	須恵器壺体部	4	13	軟質
7	11-003144	土器壺口縁	6	71		13	11-003150	須恵器壺体部	6	565	
8	11-003145	土器壺体部	15	199		14	11-003151	須恵器壺底	2	76	
						15	11-003152	軟質陶器内耳	1	13	

28 C区グリッド取り上げ

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) C-32グリッド						
1	第307図 図版121 10-000849	土器壺高杯 (口縁部へ脚部) (残存部2/3)	口径 18.0 残存高 9.7	口縁輪無で、杯体へ底部内面左回りの窪無で。脚部内面斜めの削りと底位の指溝で、杯体へ脚部外面縦位の窪有り。	①還元焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀前半
(2) C区確認部						
2	第307図 図版121 20-000727	打製石斧 (下部のみ)	残存長 5.2 幅 4.45 厚み 1.25 重量 46g	表面に自然面を残す。表裏面に剥離し、左右側縁、下端の縁辺に剥離調整を施す。	①熱変成岩	
(3) C-31グリッド						
3	第307図 図版121 40-000022	兼・鋸先 (基部破片)	残存長 6.7 基部幅 1.45 厚み 1.0	片側基部の破片。刃部に向かってやや広がる。内縁にV字形の切れ込みが作られる。		
(4) C-32グリッド						
4	第307図 図版121 20-000728	スクレイパー (1/1)	長さ 4.5 幅 8.3 厚み 1.1 重量 45g	裏面に自然面を残す横長の割片を用いる。下端縁に裏面より粗い剥離調整が施される。	①熱変成岩	
(5) C-28グリッド						
5	第307図 図版121 40-000023	角釘 (欠損品)	残存長 9.0 径 0.6×0.4	横断面やや長方形を呈し、先端部3.1cmの部分で先端部を造り出している。		
(6) C-29グリッド						
6	第307図 図版121 20-000729	スクレイパー (1/1)	長さ 6.45 幅 3.65 厚み 0.65 重量 17g	横長の割片を用い、図上左右側に当たる上下縁辺に剥離調整が施される。	①熱変成岩	
(7) C-35グリッド						
7	第307図 図版121 10-000850	縄文土器深鉢 (体部) (破片)	残存 5.45×4.1 厚み 1.05	繊維多量に含む。0段の多量のRLの斜縄文される。	①青 ②ぶい黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒	前期、黒刷式
(8) C-34グリッド						
8	第307図 図版122 20-000730	スクレイパー (一部欠損)	長さ 6.8 幅 3.95 厚み 1.3 重量 39g	表裏面に左側縁下に剥離が施され、右側縁を刃部として表裏より粗い剥離調整を施す。	①熱変成岩 ②黒色(N2/)	
(9) C-33グリッド						
9	第307図 図版122 10-000851	縄文土器深鉢 (体部) (破片)	残存 6.45×8.25 厚み 0.95	半鉄竹管状工具による集合沈積物。ボタン状の貼付見られる。	①やや硬 ②ぶい黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒	前期、黒刷式

C区グリッド取り上げ

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①構成または石材等 ②色調	備 考
00 C-32グリッド						
10	第307回 図版122 10-000652	縄文土器浅鉢 (口縁部) (破片)	残存 5.25×3.2 厚み 0.7	平截竹管状工具による連続爪形文と棒状 工具による沈線施される。口縁部に単孔 穿たれる。	①硬 ②濃い橙色 (5YR7/4) ③細砂粒	前期、諸磯C 式
01 C-23グリッド						
11	第307回 図版122 40-000624	鉄片 (欠損品)	残存長 4.25 幅 2.2 厚み 0.2	0.75mm厚の鉄板を二折して一端を折り 返して留める。		時期・用途不 詳

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備 考
02 C-26グリッド					
12	11-003153	土師器坏底	1	1	
13	11-003154	土師器腰口縁	1	6	
14	11-003155	土師器壺体部	1	16	
15	11-003156	須恵器坏・胴体部	1	1	平安期頃
16	11-003157	須恵器坏・胴底	1	3	平安期頃
03 C-29グリッド					
17	11-003158	土師器坏底	2	10	黒色処理
18	11-003159	土師器腰口縁	1	7	
19	11-003160	土師器壺体部	6	48	
20	11-003161	須恵器坏・胴口縁	1	10	平安期頃
21	21-00383	磨石	1	31	
22	21-00384	熱変成岩	1	23	
04 C-30グリッド					
23	11-003162	土師器坏	1	5	7世紀前半
24	11-003163	土師器坏底	4	15	
25	11-003164	土師器腰口縁	2	24	
26	11-003165	土師器壺体部	1	1	奈良・平安時代
27	11-003166	土師器壺体部	25	178	
28	11-003167	須恵器坏・胴体部	2	5	平安期頃
29	11-003168	須恵器壺体部	1	25	
30	11-003169	軟質陶器	2	27	
31	11-003170	陶器	3	27	
32	11-003171	近世現代瓦	1	7	
33	21-00385	熱変成岩	3	26	
34	21-00386	チャート	1	3	
35	41-00004	鉄	1	4	
05 C-32グリッド					
36	11-003172	縄文土器	1	6	中期
37	11-003173	土師器壺体部	1	11	
38	11-003174	軟質陶器	1	23	
39	21-00387	熱変成岩	2	13	
06 C-36グリッド					
40	11-003175	土師器坏底	1	11	
41	11-003176	土師器高坏脚部	1	10	
42	11-003177	土師器壺体部	5	63	
43	11-003178	須恵器長頸壺頸部	1	50	
44	21-00388	熱変成岩	1	14	
45	21-00389	凝灰岩	1	157	
46	21-00390	チャート	1	4	
07 C-29グリッド					
47	11-003179	土師器坏口縁	1	2	
48	11-003180	土師器壺体部	6	47	
49	11-003181	土師器壺底	1	27	
50	11-003182	須恵器壺体部	1	7	
51	11-003183	土管	1	5	
08 C-32グリッド					
52	11-003184	縄文土器	2	15	中期
53	11-003185	土師器高坏脚部	1	14	

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備 考
54	11-003186	土師器腰口縁	1	8	
55	11-003187	土師器壺体部	5	29	
56	11-003188	土師器壺底	1	34	
57	11-003189	須恵器壺体部	1	80	
58	11-003190	陶器	1	7	
59	21-000291	玻璃質安山岩	1	30	
09 C-33グリッド					
60	11-003191	軟質陶器	1	26	
61	21-000292	熱変成岩	1	78	
00 C-26グリッド					
62	11-003192	土師器坏	3	39	7世紀前半
63	11-003193	土師器壺体部	1	22	
01 C-28グリッド					
64	11-003194	縄文土器	4	104	中期
65	11-003195	土師器坏底	3	25	
66	11-003196	土師器壺体部	13	139	
67	11-003197	土師器壺底	1	33	
68	11-003198	須恵器腰口縁	1	34	
69	11-003199	須恵器壺体部	5	217	
70	11-003200	須恵器長頸壺底	1	18	
71	11-003201	羽釜口縁	1	12	
72	11-003202	陶器	6	47	
73	11-003203	古代瓦	1	35	
74	11-003204	近現代瓦	6	147	
75	21-000293	熱変成岩	7	592	
02 C-29グリッド					
76	11-003205	土師器壺体部	2	19	
03 C-31グリッド					
77	11-003206	土師器腰口縁	1	10	
78	11-003207	土師器壺体部	7	74	
04 C-32グリッド					
79	11-003208	土師器壺体部	1	4	
80	11-003209	土師器小型腰口縁	1	8	
05 C-33グリッド					
81	21-000294	熱変成岩	1	21	取上番号有り
06 C-35グリッド					
82	11-003210	縄文土器	1	7	前期
83	11-003211	土師器坏口縁	1	6	
84	11-003212	土師器坏底	4	18	
85	11-003213	土師器腰口縁	2	13	
86	11-003214	土師器壺体部	14	149	
87	11-003215	須恵器壺体部	2	17	
07 C-36グリッド					
88	21-000295	熱変成岩	2	150	
08 C-28グリッド					
89	11-003216	土師器坏底	2	8	
90	11-003217	土師器壺体部	2	95	
91	11-003218	磁器	1	1	

C区出土遺物一覧

No.	資料番号	資料名称等	数量	重割a)	備 考
00	C d-34	グリッド			
92	11-003219	陶器	1	4	
00	C e-29	グリッド			
93	11-003220	縄文土器	1	63	中期
94	11-003221	土師器変体部	1	12	
00	C e-32	グリッド			
95	11-003222	縄文土器	1	18	無文
96	11-003223	土師器変体部	3	48	
97	11-003224	陶磁器	3	38	
00	C g-26	グリッド			
98	11-003225	須恵器変体部	1	209	
00	C i-36	グリッド			
99	21-000396	熱変成岩	1	4	
00	C l-33	グリッド			
100	11-003226	須恵器変体部	1	27	
00	C m-32	グリッド			
101	21-000397	熱変成岩	2	617	
00	C m-34	グリッド			
102	11-003227	土師器変体部	1	16	
00	C m-36	グリッド			
103	11-003228	土師器変体部	1	18	
104	11-003229	須恵器変体部	1	25	
105	11-003230	須恵器変体部	1	8	平安期頃
106	11-003231	須恵器変体部	1	37	
107	11-003232	須恵器変体部	5	102	
00	C n-33	グリッド			
108	11-003233	須恵器変体部	1	31	取上番号有り
00	C n-36	グリッド			
109	11-003234	須恵器変体部	1	316	取上番号有り
00	C o-27	グリッド			
110	11-003235	近現代瓦	1	39	取上番号有り
00	C o-29	グリッド			
111	11-003236	須恵器変体部	3	30	取上番号有り
00	C o-31	グリッド			
112	11-003237	土師器変体部	1	4	
113	11-003238	土師器変体部	1	11	
114	11-003239	土師器変体部	3	31	
115	11-003240	土師器変体部	2	8	奈良・平安時代
116	11-003241	土師器変体部	9	73	
117	11-003242	須恵器変体部	1	5	
118	11-003243	須恵器変体部	1	144	
00	C o-32	グリッド			
119	11-003244	土師器変体部	1	6	
120	11-003245	土師器変体部	3	8	黒色処理
121	11-003246	土師器変体部	1	24	取上番号有り
122	11-003247	土師器変体部	1	4	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重割a)	備 考
123	11-003248	須恵器変体部	1	10	
00	C o-33	グリッド			
124	11-003249	須恵器変体部	1	134	取上番号有り
00	C o-34	グリッド			
125	11-003250	土師器変体部	1	6	7世紀後半
126	11-003251	土師器変体部	1	25	取上番号有り
127	11-003252	土師器変体部	2	8	
128	11-003253	須恵器変体部	1	7	
129	11-003254	須恵器変体部	3	39	
130	11-003255	須恵器変体部	1	18	
00	C p-26	グリッド			
131	11-003256	土師器変体部	1	7	
132	11-003257	土師器変体部	4	45	
133	11-003258	須恵器変体部	2	35	
134	11-003259	須恵器変体部	1	34	
00	C q-27	グリッド			
135	21-000398	熱変成岩	1	112	
00	C p-30	グリッド			
136	11-003260	土師器変体部	1	58	
137	11-003261	土師器変体部	1	50	
00	C q-26	グリッド			
138	11-003262	須恵器変体部	1	37	
00	C q-28	グリッド			
139	11-003263	土師器変体部	1	3	7世紀後半
140	11-003264	土師器変体部	6	29	奈良・平安時代
141	11-003265	須恵器変体部	2	22	
142	11-003266	須恵器変体部	1	8	
143	11-003267	須恵器変体部	1	27	
144	11-003268	陶器	3	68	
145	11-003269	磁器	1	3	
00	C q-30	グリッド			
146	11-003270	須恵器変体部	1	4	
00	C r-30	グリッド			
147	11-003271	土師器変体部	1	13	
00	C r-33	グリッド			
148	11-003272	須恵器変体部	1	15	
00	C s-26	グリッド			
149	11-003273	土師器変体部	1	18	
150	11-003274	須恵器変体部	1	39	
00	C s-31	グリッド			
151	11-003275	土師器変体部	1	8	
152	11-003276	須恵器変体部	1	6	
153	11-003277	陶器	1	6	
00	C t-30	グリッド			
154	11-003278	須恵器変体部	1	50	

29 グリッド-2 (確認面)

No.	資料番号	資料名称等	数量	重割a)	備 考
(1)	C a-33	グリッド			
1	11-003279	縄文土器	1	21	中期
(2)	C a-34	グリッド			
2	11-003280	土師器変体部	1	16	7世紀前半
3	11-003281	土師器変体部	1	2	
4	11-003282	土師器変体部	1	11	
5	21-000399	熱変成岩	1	20	
(3)	C a-35	グリッド			
6	11-003283	土師器変体部	1	14	
7	21-000400	熱変成岩	1	7	
(4)	C a-37	グリッド			
8	11-003284	土師器変体部	1	1	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重割a)	備 考
(5)	C b-32	グリッド			
9	11-003285	土師器変体部	1	14	
10	21-000401	熱変成岩	1	10	
(6)	C c-33	グリッド			
11	11-003286	土師器変体部	1	11	
12	21-000402	熱変成岩	1	13	
(7)	C c-36	グリッド			
13	11-003287	土師器変体部	1	8	
14	21-000403	熱変成岩	1	19	
(8)	C e-32	グリッド			
15	11-003288	土師器変体部	1	1	
16	11-003289	土師器変体部	1	4	

グリッド-2・3 C区出土遺物 C区追加遺物

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
190	C-31	グリッド			
17	11-003290	須恵器壺体部	1	28	取上番号有り
00	C-32	グリッド			
18	11-003291	須恵器頸肩部	1	21	取上番号有り
00	C-33	グリッド			

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
19	11-003292	須恵器蓋縁	1	33	取上番号有り
20	11-003293	須恵器底部	1	7	取上番号有り
21	11-003294	羽釜体部	1	5	取上番号有り
00	C-34	グリッド			
22	11-003295	須恵器壺体部	1	53	

30 グリッド-3 (攪乱土坑)

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	C q-28	グリッド (30号攪乱土坑)			
1	11-003296	土師器壺体部	1	9	
2	11-003297	須恵器坏・碗	2	17	
(2)	C y-27	グリッド (29号攪乱土坑)			
3	11-003298	土師器壺体部	1	12	
4	11-003299	須恵器柄口縁	1	2	
5	11-003300	須恵器柄底面	1	24	回転糸切り
6	11-003301	須恵器柄底面	1	3	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
7	11-003302	須恵器壺口縁	1	16	
8	11-003303	須恵器壺体部	2	91	
9	11-003304	須恵器	1	3	
10	11-003305	陶磁器	2	8	
(3)	C t-25	グリッド (28号攪乱土坑)			
11	11-003306	陶器	1	31	
12	11-003307	近世瓦	1	190	
13	21-000404	有はつり板石材	1	337	砂岩

31 C区遺構外出土遺物

No	図面番号 図取番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1)	C区全域からの出土遺物					
1	第307回 図取122 20-000731	石鏝 (1/1)	長さ 1.8 幅 1.35 厚み 0.4 重量 1g	縁辺やや膨らみを持ち、基部も直線を為す小型の煎茶鏝。縁辺には比較的細かい刻線調整が施される。	①チャート ②黒色(5Y2/1)	
2	図取123 20-000732	こも編み石 (1/1)	長さ 11.6 幅 3.9 厚み 1.5 重量 118g	扁平な円盤を用い、中・下位に敲打による刻れ部を設け、幅3.8~5.4cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①緑泥片岩 ②緑灰色(5G5/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2)	その他				
3	11-003308	縄文土器	6	87	中期
4	11-003309	土師器坏	1	13	7世紀前半
5	11-003310	土師器坏高部	2	19	
6	11-003311	土師器壺口縁	1	7	
7	11-003312	土師器壺体部	9	155	
8	11-003313	須恵器蓋	1	21	
9	11-003314	須恵器壺体部	2	25	
10	11-003315	羽釜口縁	1	9	
11	21-000405	熟変成岩	5	239	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(3)	雑器類				
12	11-003316	土師器坏	2	19	7世紀前半
13	11-003317	土師器坏底部	1	8	
14	11-003318	土師器坏高部	1	13	粉質
15	11-003319	土師器壺体部	7	154	
16	11-003320	土師器壺高部	2	25	
17	11-003321	須恵器坏高部	1	9	
18	11-003322	須恵器壺体部	1	33	
19	21-000406	熟変成岩	1	2	

32 C区追加遺物

No	図面番号 図取番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1)	グリッド-3 (28号攪乱土坑)					
14	第307回 図取123 20-001422	凹石 (下位欠損)	残存長 7.4 幅 6.2 厚み 1.6 重量 107g	表面の残存部下端に径2.7cm、深さ0.4cmを測る凹部の残骸が見られる。	①削雲母石黒片岩 ②明緑灰色(5G7/1)	
15	図取123 20-001423	加工痕のある石 材 (破片)	残存長 8.3 残存 幅 6.5 厚み 4.8 重量 337g	左右両側と上位が欠損する。表面面にはつり痕が残り、底面に敲きによる整形痕が見られる。	①砂岩 ②灰白色(10Y7/1)	

D区出土遺物一覧

D区出土遺物一覧

1 H-113号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (保存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	結成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
0	第3108図 図版140 20-000733	紡錘車 (1/1)	上面径 4.0×3.9 底面径 2.9×2.7 厚み 1.9 重量 41g	上面ずらし乍らの磨痕残り一部研磨。底面回し乍らの、側面上下方向の研磨。上面径0.9cm、底面径0.9×0.8cmの穿孔。	①滑石 ②灰色(5Y6/1)	
1	図版162 20-000734	こも編み石 (1/1)	長さ 13.95 幅 5.9 厚み 2.5 重量 350g	円盤を用いる。中位や上寄りに幅3.7~4.5cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①絹雲母石磨片岩 ②暗青灰色(5B4/1)	
2	第3108図 図版162 20-000735	こも編み石 (磨石) (下半部欠損)	残存長 9.35 幅 4.8 厚み 5.4 重量 385g	横断面三角形を呈する円盤を用い、左右側及び裏側の三面に研磨面を持つ。切断面厚に帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	磨石からの転用品
3	図版162 20-000736	こも編み石 (1/1)	長さ 15.1 幅 6.75 厚み 2.25 重量 425g	やや扁平な円盤を用いる。左右両側に摩擦を伴う浅い小さな列れ部を持ち、幅5.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石磨片岩 ②緑灰色(5G5/1)	
4	図版162 20-000737	こも編み石 (磨石)	長さ 12.75 幅 4.3 厚み 4.05 重量 285g	円盤使用。裏面と裏側上位面に研磨面を有する。中位に幅3.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①燧砂岩 ②灰色(10Y6/1)	こも編み石への転用品
5	図版162 20-000738	こも編み石 (破石)	長さ 12.7 幅 4.0 厚み 5.1 重量 385g	円盤を用いる。上部面に敲打痕残り、中位や下寄りに幅3.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①輝岩 ②緑灰色(5G5/1)	こも編み石への転用品
6	第3108図 図版162 20-000739	こも編み石 (磨石・破石) (1/1)	長さ 13.4 幅 7.0 厚み 2.85 重量 465g	円盤を用いる。裏面に研磨面、下部面に敲打痕残り。中位に幅3.7cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰黄色(2.5Y7/2)	こも編み石への転用品
7	図版162 20-000740	こも編み石 (1/1)	長さ 14.1 幅 7.3 厚み 2.4 重量 450g	円盤を用いる。裏面に摩擦を伴う小さな浅い列れ部を持ち、中位に幅4.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石磨片岩 ②青灰色(10BG5/1)	
8	第3108図 図版162 20-000741	こも編み石 (磨石)	長さ 13.5 幅 4.1 厚み 3.8 重量 315g	円盤を使用。左右側、裏側の三面に研磨面を持ち、下位寄り右側縁に浅い列れ部を持ち、帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②オリーブ灰色(5GY6/1)	磨石からの転用品
9	図版162 20-000742	こも編み石 (上位欠損)	残存長 10.15 幅 6.5 厚み 3.0 重量 315g	円盤を用いる。切断面寄りに幅3.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋絹雲母石磨片岩 ②灰色(N5/)	
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
10	第3108図 図版140 10-000853	土師器環 (口縁部~底部) (完形)	口径 10.7×10.3 底径 7.9×5.6 器高 3.4	口縁縁面。体部~底部内面回し乍らの指擦。体部外面右回りの、底面一方への捩り。	①焼成層・昔 ②橙色(5YR7/8) ③細砂粒	7世紀後半
11	第3108図 図版140 20-000743	不定形石函 (1/1)	長さ 5.3 幅 11.7 厚み 1.3 重量 99g	横長の薄片を用いる。右上縁と下縁の縁辺に軽い刻線調整が施される。	①熟成成岩	
12	第3108図 図版162 20-000744	こも編み石 (1/1)	長さ 14.2 幅 5.2 厚み 3.4 重量 300g	円盤を用い、下位両側に敲打による明確な列れ部を設け、幅3.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰白色(7.5Y8/2)	
13	図版162 20-000745	こも編み石 (磨石)	長さ 12.5 幅 4.0 厚み 4.3 重量 302g	棒状の円盤を用い、裏裏・左右の四面に研磨面を残し、中位に幅4.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
14	11-003323	土師器環口縁	1	4	7世紀後半
15	11-003324	土師器環底部	4	37	
16	11-003325	土師器環口縁	5	108	
17	11-003326	土師器環体部	5	117	奈良・平安時代
18	11-003327	土師器環体部	36	980	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
19	11-003328	土師器環底部	1	64	
20	11-003329	須恵器環体部	1	1	
21	11-003330	須恵器環底部	1	8	
22	11-003331	須恵器環口縁	1	4	
23	11-003332	須恵器環体部	1	41	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備 考
(4)	集合扱い資料				
24	11-003333	土師器環口縁	1	6	7世紀後半
25	11-003334	土師器環口縁	3	13	奈良時代頃
26	11-003335	土師器環口縁	1	3	
27	11-003336	土師器環底部	5	16	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備 考
28	11-003337	土師器壺口縁	2	22	
29	11-003338	土師器壺体部	1	5	奈良・平安時代
30	11-003339	土師器壺体部	11	82	
31	11-003340	須恵器壺体部	1	141	

2 H-117号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形 態・成 形・調 整 等 の 特 徴	焼 成・石 材 等 の 特 徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土等	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第313回 図版140 10-000854	須恵器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 11.4 底径 6.8×6.6 器高 3.35	右回転クロコ成形。底面寛切りか。底面及び腹部外面回し乍らの寛削り。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(2.5GY8/2) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀後半
2	第313回 図版140 10-000855	須恵器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 11.4 底径 推定 6.4 器高 3.8	右回転クロコ成形。底面回転余切り。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀後半
3	第313回 図版140 10-000856	土師器壺 (口縁部～底部) (7/8)	口径 21.5×21.4 底径 5.3 器高 27.2	体部外面黄土付着。口縁横撫で。体部内面横位の寛撫で後縁位の磨き、外面左・上方削り。底面寛調整。	①酸化焰・青 ②褐色(10YR7/4) ③細砂粒	9世紀前半
4	第313回 図版140 10-000857	土師器壺 (口縁部～体部) (残存部の3/4)	口径 22.25×20.75 残存高 18.2	口縁横撫で。体部内面縦位の磨撫で後、下位縁位の磨き。体部外面左上左方へ、下位縁位の削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	8世紀後半
5	第313回 図版140 10-000858	土師器壺 (口縁部～底部) (2/3)	口径 19.2×19.05 底径 4.8×4.4 器高 26.4	口縁横撫で。体部～底部内面縦撫で後体部縁位の磨き。体部外面削り。底面寛調整。	①酸化焰・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③細砂粒	9世紀前半
6	第313回 図版140 10-000859	男瓦 (破片)	残存 9.85×7.15 厚み 1.75	凹面細かい赤目痕残る。凸面縦横の撫で調整。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(N4/)	
7	図版162 20-000746	こも編み石 (右半分欠損)	残存長 15.7 残存幅 3.3 厚み 3.25 重量 250g	円盤を用いる。右側縁中位に3.7cm長の刺刺による列れ部を持ち、幅4.7cmの帯状の摩耗痕起る。	①点紋磨面母石墨片岩 ②明オリーブ灰色(5GY7/1)	
8	第313回 図版140 10-000860	須恵器環 (口縁部～底部) (完整)	口径 12.2×11.85 底径 6.7×6.6 器高 4.2	右回転クロコ成形。底面回転余切り痕。	①還元焰・青 ②明オリーブ灰色(2.5Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀後半
11	第313回 図版140 10-000863	土師器高台付壺 (頸部～台部) (底部以上欠損)	台残存 推定5.8 残存高 9.7	頸部内面回し乍ら。底部内面縦撫で一方への指撫で。体部外面削り。台部内外面横位の指撫で。	①酸化焰・青 ②明オリーブ黄色(5Y6/3) ③細砂粒	8世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
9	第313回 図版140 10-000861	須恵器高台付環 (体部底部) (残存部の1/3)	底径 8.2 残存高 4.6	回転クロコ成形。高台欠損。底面回し乍らの寛調整。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀後半
10	第313回 図版140 10-000862	須恵器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定11.0 底径 推定6.5 器高 3.1	回転クロコ成形。底面寛切り後、口縁下～腹部右回りの、底部不定方向の手持ち削り。	①還元焰・やや硬 ②灰白色(10Y8/1) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀後半
12	第313回 図版140 10-000864	須恵器平瓶 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定4.9 底径 推定13.1 器高 11.7	回転クロコ成形。口縁部張り付け。底内面回し乍らの寛撫で。腹部外面左方への削り。底面寛調整。	①還元焰・青 ②灰白色(7.5Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀後半
13	図版162 20-000747	こも編み石 (下位欠損)	残存長 13.05 残存幅 5.4 厚み 2.3 重量 195g	円盤使用。左側縁に二つの段差を持ち、幅8.8cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①還元焰・青 ②明緑灰色(10GY7/1)	
14	第313回 図版162 20-000748	こも編み石 (1/1)	長さ 14.8 幅 7.1 厚み 3.25 重量 465g	円盤を用いる。表面に研磨面を残す。左側縁に自然の凹部を持ち、幅5cm前後の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
15	図版162 20-000749	こも編み石 (1/1)	長さ 20.35 幅 7.6 厚み 2.85 重量 810g	やや大きめの円盤使用。左右両側の上位付近に自然面を利用した列れ部を持ち、幅6.4cmの摩耗痕が一周する。	①緑黒緑泥片岩 ②緑灰色(5G6/1)	
16	第313回 図版140 40-000025	鎌か (表着部付近)	残存長 2.1 幅 2.0 厚み 0.15	左鎌かと思われる。幅狭で、折り返し部の手前まで刃部が見られる。折り返しの角度はやや鈍角である。		

D区出土遺物一覧

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
17	第313回 図版140 40-000026	鉢 (破片)	長さ 6.2 幅 2.2 厚み 0.1	曲線の刃部の破片と思われる。内厚は薄い。		

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料						(4) 集合扱い資料					
18	11-003341	土師器環	1	6	奈良時代頃	34	11-003357	須恵器腹部	3	216	軟質
19	11-003342	土師器環口縁	5	11		35	11-003358	陶器	1	7	
20	11-003343	土師器環底部	5	35		(4) 集合扱い資料					
21	11-003344	土師器環口縁	3	189	9世紀	36	11-003359	土師器環	3	12	奈良時代頃
22	11-003345	土師器環口縁	1	79	奈良時代	37	11-003360	土師器環口縁	8	19	
23	11-003346	土師器環口縁	24	294		38	11-003361	土師器環底部	23	87	
24	11-003347	土師器器体部	101	577	奈良・平安時代	39	11-003362	土師器環口縁	37	231	
25	11-003348	土師器器体部	4	44		40	11-003363	土師器器体部	100	310	奈良・平安時代
26	11-003349	土師器器体部	2	33	奈良・平安時代	41	11-003364	土師器器体部	13	81	
27	11-003350	土師器器体部	2	31		42	11-003365	土師器器体部	3	48	奈良・平安時代
28	11-003351	須恵器蓋	5	37		43	11-003366	須恵器蓋	1	33	
29	11-003352	須恵器蓋底部	3	77		44	11-003367	須恵器蓋底部	3	32	
30	11-003353	須恵器・柄体部	1	8		45	11-003368	須恵器・柄体部	9	44	
31	11-003354	須恵器・柄底部	4	26		46	11-003369	須恵器・柄底部	13	58	
32	11-003355	須恵器器体部	1	11	薄手	47	11-003370	須恵器器体部	8	53	薄手
33	11-003356	須恵器器体部	7	962		48	11-003371	須恵器器体部	1	7	
						49	11-003372	陶器	2	32	

3 H-118号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居には直接伴わない関連を特定できなかった遺物						
第315回 図版141 10-000865	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 12.7 底径 推定 6.0 器高 3.0	口縁横断で、体部内面左回りの蔑撫で、体部外面左回りの、底面不定方向の蔑刷り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀前半	
第315回 図版141 10-000866	土師器環 (口縁部～底部) (4/5)	口径 推定 19.8 底径 5.8×5.65 器高 32.9	外面割部以下焼土付着。口縁横断で、内面体部縦断又は縦位、底部左回りの蔑撫で、体部外面縦刷り。底面寛調整。	①酸化焰・青 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半	
第315回 図版141 10-000867	土師器小型壺 (口縁部～肩部) (残存部の1/3)	口径 推定 12.2 残存高 4.3	口縁横断で、肩部内面左方への蔑撫で、体部外面上方への蔑刷り。	①酸化焰・青 ②灰黄褐色(10YR6/2) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.700年前後	
第315回 図版141 10-000868	土師器小型壺 (口縁部～胴部) (破片)	残存 10.8×8.55 口径 推定 13.3 残存高 7.8	口縁横断で、体部内面斜め、又は横位の蔑撫で、又は指撫で、外面胴部縦位、胴部縦位の蔑刷り。	①酸化焰・やや硬 ②灰黄色(2.5Y6/2) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.700年前後	
第315回 図版141 10-000869	土師器割腹壺 (口縁部～肩部) (破片)	残存 8.75×7.2 口径 推定 21.5 残存高 6.8	口縁横断で、肩部内面横位の蔑撫で、外面右肩への蔑刷り。	①酸化焰・やや硬 ②灰褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.700年前後	
第315回 図版141 10-000870	土師器壺 (口縁部～底部) (口縁1/3欠損)	口径 18.05 底径 5.15×5.05 器高 29.0	口縁横断で、体部～底部内面縦位中心の蔑撫で、体部外面縦位の蔑刷り。底面木葉状残る。	①酸化焰・青 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 胴部以下被熱痕顯著	
第315回 図版162 20-000750	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 17.9 幅 8.5 厚み 3.9 重量 1000g	円盤を用いる。裏面に研磨面を持ち、表面も研磨見られる。左右両側に列れ部を持ち、帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY5/1)	磨石からの転用品	
第315回 図版162 20-000751	こも編み石 (1/1)	長さ 16.3 幅 7.95 厚み 4.9 重量 1010g	円盤を用いる。中に幅4.0～4.5cm程の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)		
第315回 図版162 20-000752	こも編み石 (左平部欠損)	長さ 20.45 残存幅 6.1 残存厚 4.1 重量 610g	円盤使用、中位やや上寄りに幅8.7cm程の摩耗痕が横断する。	①点紋網目母石黒片岩 ②暗青灰色(5BG4/1)		

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料						11 11-003374 土師器環口縁 1 3 奈良・平安時代					
10	11-003373	土師器環底部	1	3							

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
12	11-003375	土師器壺口縁	1	24	
13	11-003376	土師器壺体部	2	20	奈良・平安時代
14	11-003377	土師器壺体部	9	283	
15	11-003378	土師器壺	3	120	
(3) 集合扱い資料					
16	11-003379	土師器環	1	5	7世紀中葉
17	11-003380	土師器環口縁	3	8	
18	11-003381	土師器環底部	2	13	黒色処理

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
19	11-003382	土師器環底部	8	19	
20	11-003383	土師器壺口縁	1	78	6世紀後半
21	11-003384	土師器壺口縁	2	21	奈良・平安時代
22	11-003385	土師器壺口縁	6	64	
23	11-003386	土師器壺体部	12	83	奈良・平安時代
24	11-003387	土師器壺体部	14	216	
25	11-003388	土師器壺	3	19	
26	11-003389	須恵器壺体部	1	17	

4 H-119号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号 (残存量)	名 称 (残存部位)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
0	第317図 図版141 20-000753	紡錘車 (1/1)	上径 4.55×4.45 底径 3.05×2.9 厚み 1.2 重量 43.8g	上面回し乍ら、底面一方中心、側面縦位を中心とする研磨施され、上面0.75cm、底面0.7cm径の孔が穿たれる。	①蛇紋岩 ②青灰色(10BG2/1)	
1	第317図 図版141 10-000871	須恵器蓋 (鉛部→口縁部) (2/3)	直径 4.1×4.05 口径 17.8 蓋高 4.2	(右)回転口ロ成形成。天井部内面縦位の磨面で、外面左回りの磨削り。鋸跡り付け。胎土による自然色。	①還元焰・やや硬 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.700年前後
2	第317図 図版162 20-000754	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.15 幅 6.7 厚み 2.7 重量 290g	円盤を用い、右側縁下面下に刻線による浅い刻れ部を持ち、下位に帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋網雲母石黒片岩 ②緑灰色(10GY5/1)	
3	図版162 20-000755	こもろみ石 (1/1)	長さ 14.95 幅 6.6 厚み 3.45 重量 520g	円盤を用いる。左右両側中に敲打による浅い刻れ部を持ち、幅6.05cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①蛇紋岩 ②明オリーブ灰色(5GY7/1)	
4	図版162 20-000756	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.15 幅 5.7 厚み 2.95 重量 385g	円盤を用い、右側縁部に自然面を利用した浅い刻れ部を持ち、中に幅4.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①蛇紋岩 ②青灰色(5BG6/1)	
5	図版162 20-000757	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.6 幅 6.0 厚み 2.85 重量 340g	円盤使用。左側縁中に敲打による浅い刻れ部を持ち、幅5.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋網雲母石黒片岩 ②暗青灰色(5BG4/1)	
6	図版162 20-000758	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.45 幅 6.35 厚み 3.7 重量 500g	円盤を用い、中に幅5.25cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①点紋網雲母石黒片岩 ②暗青灰色(5B4/1)	
7	第317図 図版162 20-000759	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.15 幅 6.2 厚み 2.9 重量 450g	円盤を用いる。左右の下位内側に刻線による浅い刻れ部を持ち、幅3.0cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑泥片岩 ②緑灰色(5G6/1)	
8	図版162 20-000760	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.65 幅 5.0 厚み 2.9 重量 315g	円盤を用いる。上位に幅3.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①明雲母石黒片岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
9	第317図 図版162 20-000761	こもろみ石 (1/1)	長さ 16.45 幅 7.25 厚み 3.8 重量 445g	円盤使用。右側縁に自然面に敲打を施した明瞭な刻れ部を設け、特に表面に明瞭な痕跡を示す帯状の摩耗痕一周。	①砂岩 ②黄色(2.5Y8/6)	
(2) 本住居には直接伴わないが例定を特定できなかった遺物						
11	第317図 図版141 10-000872	須恵器蓋 (鉛部→天井部) (残存部1/2)	直径 4.8×4.75 残存高 2.4	回転口ロ成形成。天井部内面一方へ放射状の磨面で、外面右回りの回転磨削り。鋸跡り付け。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(10Y8/1) ③粗砂粒	A.D.700年前後
11	第317図 図版141 10-000873	須恵器環 (口縁部→腰部) (破片)	残存 10.15×6.2 口径 15.3 残存高 5.1	(右)回転口ロ成形成。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(10Y8/1) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.700年前後
12	第317図 図版141 10-000874	土師器壺 (口縁部→体部) (残存部1/2)	口径 19.6 残存高 10.3	口縁横位で、体部内面横位中心の磨面で、外面側部下方へ、肩部上方への磨削り。	①還元焰・やや硬 ②灰黄褐色(10YR5/2) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀後半
13	第317図 図版141 10-000875	土師器壺 (口縁部→体部) (残存部1/2)	口径 測定 17.7 残存高 14.8	体部外面保付帯。口縁横位で、体部内面左方へ磨面で、外面上方への磨削り。	①還元焰・普 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
14	図版162 20-000762	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.1 幅 3.9 厚み 5.2 重量 300g	円盤を用いる。幅7.1cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	

D区出土遺物一覧

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
15	図取162 20-000763	こも編み石 (1/1)	長さ 13.8 幅 6.2 厚み 3.5 重量 480 g	円鏝を用いる。幅5.3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①硝子黒石墨片岩 ②暗青灰色(SB4/1)	
16	図取162 20-000764	こも編み石 (1/1)	長さ 16.35 幅 5.7 厚み 4.55 重量 640 g	円鏝を用い、上位に幅2.6cm、中へ下位に幅6.3cm程の帯状の摩耗痕がそれぞれ一周し、表面の一部研磨する。	①輝石 ②緑灰色(SG5/1)	磨石からの転用品か

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
13	取上番号付き	集合扱い資料				27	11-003400	土師器環	1	11	奈良時代頃
17	11-003390	土師器環	1	19	奈良時代頃	28	11-003401	土師器環口縁	4	19	
18	11-003391	土師器環底部	3	15		29	11-003402	土師器環底部	14	88	
19	11-003392	土師器高环脚部	1	32		30	11-003403	土師器環口縁	6	71	
20	11-003393	土師器環口縁	1	97	6世紀前半	31	11-003404	土師器環底部	46	466	
21	11-003394	土師器環口縁	5	92		32	11-003405	土師器環底部	4	82	
22	11-003395	土師器環底部	7	179	奈良・平安時代	33	11-003406	土師器環	1	10	
23	11-003396	土師器環底部	7	238		34	11-003407	須恵器蓋	1	14	
24	11-003397	土師器環底部	2	133		35	11-003408	須恵器環底部	3	20	薄手
25	11-003398	須恵器蓋	2	46		36	21-000407	熱変成岩	1	3	
26	11-003399	須恵器環底部	1	44	薄手	37	21-000408	チャート	1	73	

5 H-120号住居

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第320号 図取141 10-000876	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 13.4 底径 8.5 器高 4.25	内外面収収による黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面左まわりの磨擦で。体部外面左回り、底面一方への磨削り。	①酸化色・青 ②褐色(10YR5/1) ③粗砂粒	7世紀前半
2	第320号 図取141 10-000877	土師器環 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 13.0×12.9 底径 7.9×7.2 器高 5.25	口縁横撫で。体部～底部内面荒れ、同じ午らの磨擦で。体部外面左回りの、底面不定方向の磨削り。	①酸化色・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
3	第320号 図取141 10-000878	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 25.3 底径 10.6 器高 28.6	口縁横撫で。体部内面左方への細かい磨擦で、外面上方へ磨削り。底部内面及び底面磨擦調整。	①酸化色・青 ②褐色(5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
4	第320号 図取141 10-000879	土師器小環 (口縁部～底部) (口縁2欠損)	口径 推定 12.2 底径 7.0×6.8 器高 11.2	口縁横撫で。体～底部内面左回りの磨擦で後銀位の指撫で。体部外面左方へ磨削り。体～底部外面指又は底調整。	①酸化色・青 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀
5	図取163 20-000768	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 17.05 幅 8.15 厚み 6.0 重量 1030 g	円鏝使用。表面面下位に研磨面残し。上左左右側の自然面を割れ部として利用し、幅3.35cm程の帯状の磨擦痕一周する。	①洗紋色 ②淡黄色(SY8/3)	こも編み石への転用品か
6	第320号 図取163 20-000769	こも編み石 (1/1)	長さ 18.3 幅 7.5 厚み 3.15 重量 725 g	やや扁平な円鏝使用。左右側縁中に敲打による割れ部を設け、幅4.75cm程の帯状の磨擦痕一周する。	①高放射硝子石墨片岩 ②緑灰色(SG6/1)	
7	図取163 20-000770	こも編み石 (1/1)	長さ 17.8 幅 8.0 厚み 4.2 重量 850 g	円鏝を用いる。中下位に幅4.7cm程の帯状の磨擦痕一周する。	①赤土質板岩 ②灰白色(7.5R4/2)	
8	図取163 20-000771	こも編み石 (磨石か) (1/1)	長さ 13.5 幅 6.45 厚み 3.5 重量 440 g	円鏝を用い、中位に幅2.95cm程の帯状の磨擦痕一周する。表面にやや研磨見られる。	①石英閃緑岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	磨石からの転用品か
9	第320号 図取163 20-000772	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 14.5 幅 6.75 厚み 5.45 重量 655 g	横断面が三角形を呈する円鏝使用。左右・裏側の3面に研磨面見られ、中位に帯状の磨擦痕一周する。	①安山岩 ②灰白色(SY7/1)	磨石からの転用品
10	第320号 図取163 20-000773	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 17.05 幅 8.4 厚み 4.1 重量 870 g	円鏝を用い、底面に研磨面見られる。中位に帯状の磨擦痕がかなりはっきりと残る。	①安山岩 ②灰白色(10Y7/1)	磨石からの転用品
11	図取163 20-000774	こも編み石 (磨石か) (1/1)	長さ 16.7 幅 7.4 厚み 6.05 重量 1080 g	円鏝を用い、表面の中下位に研磨面を持つ。中位に幅4.5cm程の帯状の磨擦痕一周する。	①安山岩 ②灰白色(SY7/1)	磨石からの転用品か

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
12	図版163 20-00075	こも編み石 (磨石) (下位欠損)	残存長 16.7 幅 7.2 厚み 5.3 重量 870g	円盤を用いる。表面に研磨面を残し、左側縁の自然面を剝れ部を利用して、幅4.0cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①流紋岩 ②灰白色(7.5YR/2)	
(2) 本住居に直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
13	図版163 20-00076	台石 (破片)	残存長 10.15 残存 幅 10.05 厚み 11.6 重量 1800g	円盤使用。四隅欠損。表面に敲打痕複数残る。	①安山岩 ②灰黄色(2.5Y6/2)	
14	第320図 図版141 10-000880	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 12.8 底径 8.3×7.85 器高 4.3	内外面噴灰で黒色処理。口縁横溝で、体～底部内面回し乍らの寛無で。体部外面回し乍ら、底面概ね一方へ底削り。	①酸化焰・青 ②褐色(10YR4/1) ③細砂粒	7世紀前半 体～底部内面 亮れる
15	第320図 図版141 10-000881	土師器割装束 (口縁部～胴部)	口径 20.8 残存高 7.0	口縁部横溝で。胴部内面無で、外面斜方向の底削り。	①酸化焰・やや硬 ②浅黄褐色(7.5YR8/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
16	第320図 図版142 10-000882	女瓦 (破片)	残存 8.4×12.5 厚み 1.45	側面全て欠損。凹面に粗い布目状残り、凸面縦位の指痕で。	①還元焰・やや軟 ②浅黄褐色(2.5Y7/3) ③細砂粒	
17	図版163 20-00077	こも編み石 (磨石)	長さ 16.7 幅 5.4 厚み 5.5 重量 770g	円盤を用い、表裏面に研磨面を残す。中に幅5.2cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(10GY5/1)	磨石からの転 用品
18	図版163 20-00078	こも編み石 (1/1)	長さ 13.25 幅 4.85 厚み 3.0 重量 310g	小型の円盤を用いる。中に幅3.1cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①斜角母石黒片岩 ②青灰色(5BG/5/1)	
19	図版163 20-00079	こも編み石 (1/1)	長さ 12.6 幅 6.5 厚み 5.15 重量 700g	円盤使用。表面及び右側面の自然の凹面を剝れ部として利用し、中に幅3.9cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(N6/)	
20	第320図 図版163 20-000780	磨石(磨石・こも編み石)	長さ 11.6 幅 6.5 厚み 5.15 重量 635g	円盤を用い、表裏面に自然面を持つ。左側縁に敲打痕多数残り、中に帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(10Y7/1)	磨石・磨石か らの転用品
21	図版163 20-000781	こも編み石 (1/1)	長さ 11.45 幅 6.9 厚み 4.9 重量 715g	直方体状の円盤を用い、幅3.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①輝岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
22	11-003409	縄文土器	1	31	中期
23	11-003410	土師器環	1	15	7世紀後半
24	11-003411	土師器環底部	1	23	黒色処理
25	11-003412	土師器高外脚部	1	42	
26	11-003413	土師器腰口縁	1	23	
27	11-003414	土師器壺体部	9	351	
28	11-003415	土師器割装束	1	130	
29	11-003416	土師器横口縁	1	30	
30	11-003417	須恵器椀底部	1	24	回転糸きり
31	11-003418	粘土塊	1	46	
32	21-006409	熱変成岩	1	13	
(4) 集合扱い資料					
33	11-003419	縄文土器	1	20	中期
34	11-003420	土師器環	1	26	6世紀前半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
35	11-003421	土師器環	1	9	奈良時代頃
36	11-003422	土師器環口縁	3	9	黒色処理
37	11-003423	土師器環口縁	2	9	
38	11-003424	土師器環底部	23	56	黒色処理
39	11-003425	土師器環底部	8	51	
40	11-003426	土師器腰口縁	3	28	
41	11-003427	土師器壺体部	3	10	奈良・平安時代
42	11-003428	土師器壺体部	8	151	
43	11-003429	土師器壺体部	3	32	
44	11-003430	須恵環・横口縁	3	13	
45	11-003431	須恵環・椀体部	1	3	
46	11-003432	須恵器壺体部	1	23	
47	11-003433	須恵器底部	2	25	
48	11-003434	粘土塊	1	7	

6 H-121号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴う可能性を持つ遺物						
0	第324図 図版141 10-000883	土師器環 (口縁部～底部)	口径 12.6×12.3 底径 8.1×7.1 器高 3.7	口縁横溝で。体部～底部内面左回りの底無で。体部外面右削り、底面概ね一方への底削り。	①酸化焰・青 ②ぶい ①黄褐色(10YR7/3) ③細砂粒	7世紀前半

D区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等の色調 ②胎土	備考
1	第324図 図版142 10-00084	土師器環 (口縁部～底部) (口縁部欠損)	口径 14.7×14.3 底径 8.4×8.3 高さ 3.8	内外面黒色処理。口縁横溝で。体部～底部内面凹し午らの窪溝で。体部外面左回り、底面概ね一方への窪溝有り。	①酸化焰・青 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒	6世紀前半
3	第324図 図版142 10-00085	土師器環 (口縁部～底部) (13/4)	口径 13.7×13.35 底径 8.6×7.05 高さ 4.3	口縁横溝で。体部～底部内面一方中心の窪溝で。体部外面凹し午ら、底面一方中心の窪溝有り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(5YR7/4) ③細砂粒	6世紀中葉
4	第324図 図版142 10-00086	土師器環 (口縁部～底部)	口径 12.8 底径 10.7 高さ 3.4	内外両面の黒色処理の痕跡。口縁横溝で。体部～底部内面左回りの窪溝で。体部外面左回り、底面一方中心の窪溝有り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(5YR6/3) ③細砂粒	7世紀前半
5	第324図 図版142 10-00087	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 13.5 底径 9.65 高さ 4.5	内外両面による黒色処理。口縁横溝で。体部～底部内面左回りの窪溝で。体部外面凹し午ら、底面一方中心の窪溝有り。	①酸化焰・青 ②にぶい黄褐色(10YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
6	第324図 図版142 10-00088	土師器環 (口縁部～底部) (完形)	口径 12.2×11.9 底径 6.3×5.6 高さ 4.6	器面荒れる。口縁横溝で。体部～底部内面凹し午らの窪溝で。体部外面凹し午らの窪溝有り。底面窪溝有り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀中葉
7	第324図 図版142 10-00089	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 12.4 底径 7.0 高さ 4.4	器面荒れる。口縁横溝で。体部～底部内面凹し午ら、底面窪溝有り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	6世紀中葉
8	第324図 図版142 10-00090	土師器壺 (口縁部～底部) (7/8)	口径 15.05×14.3 底径 8.45 高さ 24.8	体部外面中位以下被熱し雑土等付着。底部内面荒れる。口縁横溝で。体部窪溝で、外面窪溝有り。底面窪溝有り。	①酸化焰・青 ②灰黄褐色(10YR6/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	第324図 図版142 10-00091	土師器壺 (口縁部～体部) (残存部の2/3)	口径 19.5×18.6 残存高 14.55	口縁横溝で。体部内面横位の窪溝で、外面上方への窪溝有り。	①酸化焰・青 ②淡黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
10	図版163 20-00072	こも編み石 (磨石)	長さ 16.45 幅 5.9 厚み 4.75 重量 698g (1/1)	円盤使用。左側縁中下位に研磨面有す。右側縁中位やや上の自然面を利用し、幅3.4cm程の摩耗痕が一周。	①安山岩 ②灰白色(5Y7/2)	磨石からの転用品
11	図版163 20-00073	こも編み石 (左側縁欠損)	長さ 15.5 残存幅 6.65 厚み 3.75 重量 584g	円盤を用いる。中位に幅4.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①網雲母石墨片岩 ②青灰色(5BG4/1)	
12	図版163 20-00074	こも編み石 (1/1)	長さ 15.25 幅 4.5 厚み 4.4 重量 584g	裏面下位が欠損する円盤を用い、中位左右両側に摩耗を伴う浅い割れ部を持ち、幅2.8cm程の摩耗痕斜めに一周。	①緑葉緑泥片岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
13	図版163 20-00075	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 12.7 幅 7.6 厚み 3.2 重量 464g	やや扁平な円盤を用い、表面に研磨面を残す。中位～上位に幅3.2cm程の帯状の摩耗痕が斜めに一周する。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	磨石からの転用品
14	図版163 20-00076	こも編み石 (右側縁欠損)	長さ 20.2 残存幅 5.35 厚み 3.1 重量 430g	円盤を用いる。中位下寄りの左側縁に割れによる浅い割れ部を持ち、幅3.65cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋網雲母石墨片岩 ②灰オリーブ色 (5Y6/2)	
15	第324図 図版163 20-00077	こも編み石 (1/1)	長さ 17.2 幅 9.1 厚み 3.8 重量 866g	上端欠損の円盤を用い、裏面に研磨面を持つ。左側縁に摩耗、右側縁に割れを伴う浅い割れ部を持ち、帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②緑灰色(10G5/1)	磨石からの転用品
16	図版163 20-00078	こも編み石 (下底部欠損)	残存長 14.4 幅 6.5 厚み 3.45 重量 469g	円盤を用いる。左側縁下位、右側縁・上位の自然面を研磨して割れ部とし、幅4.2cm程の帯状の摩耗痕一周。	①輝岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
17	第324図 図版163 20-00079	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 15.4 幅 7.5 厚み 3.5 重量 508g	円盤を用い、左側縁に研磨面を残す。中位に幅3.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰白色(2.5GY8/1)	磨石からの転用品
18	図版163 20-00079	こも編み石 (裏裏面欠損)	長さ 16.7 幅 6.15 残存厚 4.8 重量 856g	円盤使用。左側縁上位に自然の凹部を利用した割れ部を持ち、幅3.1cm以下の薄い摩耗痕が一周する。	①角閃岩 ②暗青灰色(5BG3/1)	
19	図版163 20-00079	こも編み石 (1/1)	長さ 15.9 幅 7.05 厚み 3.2 重量 579g	円盤を用いる。上位に幅3.1cm程の摩耗痕が一周するが、右側縁に摩耗痕頭端に見られる。	①網雲母石墨片岩 ②青灰色(5B6/1)	
20	図版163 20-00079	こも編み石 (左側縁下位欠損)	長さ 15.05 幅 6.2 厚み 3.7 重量 582g	円盤を用い、中位に幅4.3cm程の摩耗痕が一周する。	①網雲母石墨片岩 ②青灰色(10BG5/1)	
21	第324図 図版163 20-00079	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 15.1 幅 6.7 厚み 4.3 重量 708g	円盤を用い、裏面に研磨面を持つ。右側縁に研磨を伴う浅い割れ部を持ち、中位に幅1.9cm程の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	磨石からの転用品

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
22	図版163 20-000794	こも編み石 (裏面割離)	残存長 14.1 残存幅 5.75 残存厚 4.9 重量 370g	円鑿を用いる。中に幅3.8cm程の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰黄色(5Y8/3)	風化顯著
23	図版163 20-000795	こも編み石 (1/1)	長さ 13.6 幅 7.2 厚み 3.2 重量 435g	円鑿を用いる。右側縁中に摩耗を伴う浅い刻れ部を持ち、幅4cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②灰白色(7.5Y7/1)	
24	図版163 20-000796	こも編み石 (1/1)	長さ 15.25 幅 8.6 厚み 3.5 重量 768g	幅広い円鑿使用。中位の左右両側に摩耗を伴う浅い刻れ部を持ち、幅4.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
25	図版163 20-000797	こも編み石 (磨石か)	長さ 17.3 幅 5.8 厚み 4.95 重量 738g	円鑿を用いる。左側縁に研磨見られ、上端部に敲打痕残る。中に幅6.1cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①点紋絹雲母石黒片岩 ②緑灰色(5G5/1)	磨石からの転用品か
26	図版163 20-000798	こも編み石 (1/1)	長さ 13.9 幅 6.4 厚み 3.65 重量 497g	円鑿を用いる。中に幅4.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②青灰色(5BS/1)	
27	図版163 20-000799	こも編み石 (裏面欠損)	長さ 20.2 残存幅 6.9 残存厚 2.2 重量 419g	やや大型の円鑿を用いる。中に幅6.0cm程の帯状の摩耗痕巻かれる。	①石黒絹雲母片岩 ②灰色(10Y6/1)	
28	図版163 20-000800	こも編み石 (両端部欠損)	残存長 16.4 幅 5.7 厚み 5.9 重量 1099g	直方体状の円鑿使用。上位右側面の自然面を刻れ部として利用し、幅4.8cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
29	図版163 20-000801	こも編み石 (1/1)	長さ 18.3 幅 7.65 厚み 4.7 重量 984g	やや大きめの円鑿を用いる。中に幅5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
30	図版163 20-000802	こも編み石 (1/1)	長さ 18.8 幅 8.9 厚み 4.6 重量 1091g	やや大きめの円鑿を用い、中位やや下寄り右側縁の割離部分と表面の凹面を利用し、幅4.8cm程の摩耗痕一周。	①絹雲母石黒片岩 ②青灰色(5BS/1)	
31	図版163 20-000803	こも編み石 (1/1)	長さ 17.4 幅 7.0 厚み 2.9 重量 372g	やや薄手の円鑿を用いる。中位下寄りに幅5.6cm程の摩耗痕一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②青灰色(10BG6/1)	
32	図版163 20-000804	こも編み石 (1/1)	長さ 17.1 幅 8.0 厚み 3.85 重量 864g	やや大きめの円鑿を用いる。中位やや上寄りに幅5.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②明緑灰色(10G7/1)	
33	図版163 20-000805	こも編み石 (1/1)	長さ 18.1 幅 8.05 厚み 4.8 重量 915g	やや大きめの円鑿使用。左側中位の自然の凹部に刻離を伴う刻れ部を持ち、幅4.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰オリーブ色(7.5Y6/2)	
34	図版163 20-000806	こも編み石 (1/1)	長さ 17.8 幅 8.4 厚み 3.35 重量 811g	やや大きめの円鑿を用いる。中に幅5.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②暗青灰色(5B4/1)	
35	図版163 20-000807	こも編み石 (1/1)	長さ 14.4 幅 7.2 厚み 4.45 重量 703g	円鑿を用いる。左右両側中位の自然の凹面を刻れ部として利用し、幅4.95cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①緑泥片岩 ②暗青灰色(10BG3/1)	
36	図版163 20-000808	こも編み石 (1/1)	長さ 12.3 幅 7.8 厚み 3.2 重量 453g	小型板状の円鑿使用。中位やや下寄りに刻離による刻れ部を持ち、幅3.5cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
37	図版163 20-000809	こも編み石 (下端面欠損する)	残存長 16.8 幅 7.1 厚み 4.5 重量 785g	やや大型の円鑿を用いる。中に幅4.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①輝岩 ②緑灰色(10GY5/1)	
38	第324図 図版163 20-000810	こも編み石 (磨石)	長さ 13.7 幅 6.6 厚み 4.1 重量 497g	円鑿を用いる。裏面に研磨面を持ち、表面と側面に両面研磨見られる。中に帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②緑灰色(10G6/1)	磨石からの転用品か
39	図版163 20-000812	こも編み石 (1/1)	長さ 18.65 幅 7.35 厚み 5.05 重量 803g	やや大きめの円鑿使用。中位左側縁に敲打による刻れ部を持ち、幅4.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②淡黄色(2.5Y7/4)	
40	第324図 図版163 20-000813	こも編み石 (上端面欠損)	残存長 12.6 幅 7.4 厚み 3.6 重量 477g	円鑿使用。残存部中位の左右両側に敲打による明瞭な刻れ部を設け、幅3.2cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋絹雲母石黒片岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
41	図版163 20-000814	こも編み石 (1/1)	長さ 16.5 幅 7.8 厚み 3.3 重量 678g	円鑿を用いる。左側縁の自然の縁辺に刻れ部として利用し、幅4.3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	

D区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③出土	備考
42	図版163 20-000815	こも編み石 (1/1)	長さ 15.95 幅 8.2 厚み 4.0 重量 818g	円盤を用いる。左側縁の自然面を割れ部として利用し、幅5.1cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①石黒雲母片岩 ②明オリブ灰色 (5GY7/1)	
43	図版163 20-000816	こも編み石 (1/1)	長さ 14.3 幅 7.0 厚み 3.7 重量 585g	円盤を用い、中位やや上寄りに幅4.4cm程の帯状のはっきりした摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
44	図版163 20-000817	こも編み石 (1/1)	長さ 17.7 幅 7.7 厚み 5.5 重量 811g	やや大きめの円盤を用いる。中位やや上寄りに幅4.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰白色(7.5Y8/2)	
45	図版163 20-000818	こも編み石 (1/1)	長さ 14.6 幅 6.7 厚み 3.3 重量 629g	側面に段々を持つ円盤を用いる。中位に幅4cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①角閃岩 ②緑灰色(10G5/1)	
46	第324図 図版163 20-000819	こも編み石 (磨石)	長さ 16.0 幅 7.05 厚み 3.25 重量 597g	円盤を用いる。裏面に研磨面を残す。左右両側中位に研磨面を伴う浅い割れ部を持ち、帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②青灰色(5B5/1)	こも編み石への転用品
47	図版163 20-000820	こも編み石 (1/1)	長さ 15.7 幅 6.4 厚み 3.45 重量 610g	円盤を用いる。中位に幅4.3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②明オリブ灰色 (5GY7/1)	
48	図版163 20-000821	こも編み石 (1/1)	長さ 17.5 幅 6.85 厚み 4.5 重量 596g	円盤使用。右側縁上位に長さ5.9cm、幅2.5cmの敲打により内湾する割れ部を作り、幅3.1cm程の摩耗痕一周する。	①新雲母石墨片岩 ②オリブ灰色 (5GY5/1)	
49	図版163 20-000822	こも編み石 (1/1)	長さ 15.0 幅 5.3 厚み 4.8 重量 382g	下部の欠損する円盤を用い、中位に幅3.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰白色(7.5Y8/1)	
50	図版163 20-000823	こも編み石 (1/1)	長さ 13.55 幅 6.15 厚み 4.9 重量 607g	角柱状の円盤を用いる。中位縁辺が若干摩耗する。	①緑泥片岩 ②灰白色(N8/)	
51	図版163 20-000824	こも編み石 (1/1)	長さ 15.8 幅 8.2 厚み 4.0 重量 764g	円盤を用い、中位に幅5.6cm程の帯状の摩耗痕が弱く一周する。	①新雲母石墨片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
52	第324図 図版163 20-000825	白石 (上部部一部欠損)	長さ 17.7 幅 11.25 厚み 2.5 重量 920g	扁平な円盤を用い、表面に敲打痕が残る。	①点紋新雲母石墨片岩 ②明青灰色(5B7/1)	
56	第324図 図版142 10-000892	土師器環 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 12.05×11.95 底径 9.55×8.95 器高 4.0	口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの指撫で。体部外面右回り、底面2方向直交の磨削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
64	第324図 図版143 10-000893	土師器鉢蓋 (口縁部～体部) (残存部1/4)	口径 推定 16.0 残存高 16.7	口縁横撫で。体部内面左回りの磨削り。外面左上方向への磨削り。	①酸化焰・青 ②にぶい黄褐色(10YR6/3) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
82	第324図 図版143 20-000826	白玉 (1/1)	径 1.05×1.0 厚み 0.65 重量 1.25g	上・底面切断後不整形のまま研磨。側面縁位に粗く研磨。平面形の中心付近に径3.5×3.5mmの孔が穿たれる。	①燧石 ②灰白色(7.5Y7/1)	
⑫ 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
53	第324図 図版142 10-000894	土師器環 (口縁部～底部) (破片)	残存 11.7×6.3 口径 推定 12.2 残存高 4.5	器面やや寬れる。口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの磨削り。体部外面左回りの磨削り。底面磨削り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(10YR7/8) ③細砂粒	6世紀後半
54	第324図 図版142 10-000895	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 10.5 底径 推定 6.5 残存高 3.6	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの磨削り。体部外面左回りの磨削り。底面不定方向の磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②にぶい褐色(5YR6/4) ③粗砂粒	6世紀後半
55	第324図 図版142 10-000896	土師器環か (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 11.1 底径 5.6 底部孔径 推定 3.6 器高 6.7	口縁内側折り返し横撫で。体～底部内面指撫で。体部外面磨削り。底部に円孔が設けられ、底面鈍角で調整。	①酸化焰・やや硬 ②にぶい黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒	6世紀後半 異形
57	第324図 図版142 10-000897	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 13.8 底径 推定10.0 器高 4.2	口縁横撫で。体部～底部内面右回りの磨削り。体部外面回し乍ら、底面一方中心の磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②浅黄褐色(2.5Y7/3) ③細砂粒	A.D.600年前後
58	第324図 図版142 10-000898	土師器環 (口縁部～底部) (口縁部部分欠損)	口径 9.15×9.0 底径 3.9×3.4 器高 3.3	小形の環で体部～底部の内外面寬れる。口縁横撫で。体部外面回し乍らの磨削り。底面磨削り。	①酸化焰・青 ②にぶい黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
59	第32図 図版142 10-000899	土師部坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 13.6 底径 推定 7.4 残存高 4.1	内面赤味掛かる黒漆塗布。口縁横撫で。体～底部内面左回りの篋撫で。体部外面回し乍ら、底面一方中心の篋削り。	①酸化焰・やや硬 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③細砂粒	7世紀中葉
60	第32図 図版142 10-000900	土師部坏 (口縁部～底部) (破片)	口径 推定 10.4×7.1 口径 推定 13.8 残存高 4.8	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの篋撫で。体部外面右回りの、底面一方中心の篋削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5Y6/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
61	第32図 図版142 10-000901	土師部坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 13.4 底径 推定 8.2 器高 3.7	内面吸込による黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面左回りの篋撫で。体部外面回し乍ら、底面概ね一方へ篋削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR5/1) ③細砂粒	7世紀中葉
62	第32図 図版143 10-000902	土師部碗 (口縁部～腰部) (破片)	口径 推定 11.5 口径 推定 4.3	体部内面割落。口縁横撫で。体部外面左方へ篋削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
63	第32図 図版143 10-000903	土師部坏 (口縁部～体部) (破片)	口径 推定 9.1×6.8 口径 推定 14.6 残存高 5.3	口縁横撫で。体部内面左回りの篋撫で。外面左回りの篋削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀後半
65	第32図 図版143 10-000904	土師部割製蓋 (体部～底部) (残存部の1/2)	底径 11.5 残存高 11.5	体部内面横位の指撫で、底部内面篋撫で。外面制部の左上方、腰部左方への篋削り。底面不定方向の篋削り。	①酸化焰・青 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀
66	第32図 図版143 10-000905	土師部小壺蓋 (体部～底部) (残存部の3/4)	底径 7.1 残存高 9.1	体部内面横位の篋又は指撫で。底部内面回し乍らの数回づつ指撫で。体部外面上方への篋削り。底面篋調整。	①酸化焰・青 ②赤灰色(2.5YR4/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
67	第32図 図版143 10-000906	土師部罍 (腰部～底部) (破片)	底径 4.6×4.4 残存高 10.8	腰部内面右上方へ篋撫で。底面概ね一方へ指撫で。体部外面篋削り。底面木炭灰残り、周囲篋で短目入れる。	①酸化焰・青 ②ぶい ③褐色(10YR7/3) ④粗砂粒・片岩含む	7世紀
68	第32図 図版143 10-000907	須恵部盤 (口縁部～腰部) (破片)	残存 15.0×8.0 口径 推定 14.0 残存高 6.6	粗作りである。口唇部篋調整。体部内面横位の篋撫で、外面篋削り。	①還元焰・やや硬 ②灰色(N6/7) ③粗砂粒	
69	第32図 図版143 10-000908	須恵部坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 12.0 底径 推定 7.8 器高 2.7	(左)回転クロコ成形。外面に自然軸残る。底面切り離し後、左回りの回転篋削り。	①還元焰・青 ②灰白色(N7/7) ③粗砂粒	8世紀前半
70	第32図 図版143 10-000909	男瓦 (破片)	残存 7.3×5.35 厚み 1.9	西面布目残残り、凸面平行印痕残る。縁部は篋による横位の調整。	①還元焰・青 ②ぶい ③褐色(2.5YR6/3) ④粗砂粒	
71	第32図 図版143 10-000910	土師 (完形)	長さ 6.4 径 2.2×2.1 孔径 0.5×0.4	孔に沿って一部割れる。棒状工具に粘土を巻き付けて手捏ね棒状成形。両端部にも調整が施される。	①酸化焰・青 ②ぶい ③褐色(10YR7/2) ④粗砂粒	
72	図版163 20-000827	こも編み石 (上端部欠損)	残存長 17.0 幅 6.5 厚み 3.95 重量 748g	円盤を用いる。中位に幅6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋副雲母石墨片岩 ②緑灰色(10G7/1)	
73	図版163 20-000828	こも編み石 (1/1)	長さ 14.9 幅 7.1 厚み 2.9 重量 546g	円盤を用いる。中位やや上寄りに幅4.0cm程、下位に幅2.3cm程の帯状の摩耗痕がそれぞれ一周する。	①副雲母石墨片岩 ②緑灰色(10G6/1)	
74	図版163 20-000829	こも編み石 (1/1)	長さ 15.75 幅 7.0 厚み 4.25 重量 769g	円盤を用いる。左側縁中位やや上寄りの自然の凹部を割れ部として利用し、幅4.3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①輝綠岩 ②緑灰色(5G5/1)	
75	図版163 20-000830	こも編み石 (1/1)	長さ 13.75 幅 5.5 厚み 4.05 重量 510g	円盤を用いる。中位に幅4cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①輝綠岩 ②灰色(5Y6/1)	
76	第32図 図版163 20-000831	こも編み石 (裏面割離・下位欠損)	残存長 12.65 残存幅 5.9 残存厚 1.3 重量 141g	下位左右両側に割離によるはっきりした割れ部を持ち、幅2.1cm程の帯状の摩耗痕が横断する。	①副雲母石墨片岩 ②オリーブ灰色(2.5G7/6/1)	
77	図版163 20-000832	こも編み石 (裏面一部割離)	長さ 14.35 幅 7.25 厚み 4.0 重量 706g	円盤を用いる。左側縁中位の自然の屈曲面を割れ部として利用し、中位に幅3.8cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	
78	第32図 図版163 20-000833	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 16.8 幅 6.0 厚み 4.6 重量 662g	円盤を用いる。裏面に弱い研磨面を残し、中位に帯状の摩耗痕が一周する。	①副雲母石墨片岩 ②灰白色(N8/7)	磨石からの転用品
79	第32図 図版143 10-000911	土師 (下位欠損)	残存長 5.45 径 2.5×2.3 上端孔径 0.7×0.55	径0.35程の棒状工具に巻き付け、手捏ねで成形。棒状工具はやや片側に寄り、上部では左右に降って抜かれる。	①酸化焰・やや軟 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒	

D区出土遺物一覧

No	図面番号 図解番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土土	備考
80	第325図 図解143 40-00027	刀子 (欠損品)	長さ 11.8以上 基部1.2以下 刃部 0.75 厚み 0.3	長さ5.5cm以上の茎は刃部との境付近で 下方に広がる。刃部は端みで両側より鍛 えられる。		
81	第325図 図解143 40-00028	留金具か (欠損品)	長さ 3.1 幅 3.05 厚み 0.35 板材厚 0.1	平面方形で、上下左右端部は裏面側に鈍 角に折られる。径0.3cm以下の鎖留の孔が 方形に4孔並ぶ。		辻金具か

No	資料番号	資料名称等	数量	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	備考
③	取上番号付き集合扱い資料				123	11-003473	土師器環	7	65 7世紀中葉
83	11-003435	土師器環	3	32 7世紀中葉	124	11-003474	土師器環	1	5 7世紀後半・粉質
84	11-003436	土師器環	1	8 奈良時代頃・粉質	125	11-003475	土師器環	3	18 奈良時代頃・粉質
85	11-003437	土師器環	6	45 奈良時代頃	126	11-003476	土師器環	21	81 奈良時代頃
86	11-003438	土師器環口縁	1	14 6世紀後半	127	11-003477	土師器環	6	37
87	11-003439	土師器環口縁	1	13 7世紀前半・粉質	128	11-003478	土師器環口縁	3	33 7世紀前半・粉質
88	11-003440	土師器環口縁	1	19 7世紀前半	129	11-003479	土師器環口縁	9	63 7世紀中葉
89	11-003441	土師器環口縁	3	36 7世紀中葉	130	11-003480	土師器環口縁	4	16 7世紀後半
90	11-003442	土師器環口縁	3	24 7世紀後半	131	11-003481	土師器環口縁	13	40 黒色処理
91	11-003443	土師器環口縁	1	6 黒色処理	132	11-003482	土師器環口縁	5	16 粉質
92	11-003444	土師器環口縁	3	17	133	11-003483	土師器環口縁	38	179
93	11-003445	土師器環底部	10	137 黒色処理	134	11-003484	土師器環底部	66	424 黒色処理
94	11-003446	土師器環底部	4	67 粉質	135	11-003485	土師器環底部	20	107 粉質
95	11-003447	土師器環底部	14	199	136	11-003486	土師器環底部	118	539
96	11-003448	土師器高环脚部	3	69	137	11-003487	土師器環・腕	2	39
97	11-003449	土師器環	2	162 6世紀前半	138	11-003488	土師器高环脚部	3	18
98	11-003450	土師器環	5	335 6世紀後半	139	11-003489	土師器環	1	34 6世紀後半
99	11-003451	土師器環	1	41 7世紀前半	140	11-003490	土師器環口縁	16	126 奈良・平安時代
100	11-003452	土師器環口縁	6	166 奈良・平安時代	141	11-003491	土師器環口縁	60	777
101	11-003453	土師器環口縁	24	483	142	11-003492	土師器環底部	104	400 奈良・平安時代
102	11-003454	土師器環底部	16	121 奈良・平安時代	143	11-003493	土師器環底部	348	3337
103	11-003455	土師器環底部	93	2854	144	11-003494	土師器環底部	5	74 奈良・平安時代
104	11-003456	土師器環底部	1	21 奈良・平安時代	145	11-003495	土師器環底部	10	242
105	11-003457	土師器環底部	7	815	146	11-003496	土師器小型環	1	94
106	11-003458	土師器環口縁	3	150	147	11-003497	土師器環口縁	3	9
107	11-003459	土師器環底部	7	228	148	11-003498	土師器環底部	19	176
108	11-003460	須恵器蓋	3	73 回転型削り	149	11-003499	須恵器蓋	2	5 回転型削り
109	11-003461	須恵器蓋	2	22	150	11-003500	須恵器蓋	1	36 返り
110	11-003462	須恵環・腕口縁	2	33	151	11-003501	須恵器蓋	2	18
111	11-003463	須恵環・腕口縁	1	7	152	11-003502	須恵環・腕口縁	5	38
112	11-003464	須恵環・腕底部	2	17	153	11-003503	須恵環・腕底部	6	36
113	11-003465	須恵器環口縁	3	105	154	11-003504	須恵環・腕底部	4	39
114	11-003466	須恵器環底部	3	73 軟質	155	11-003505	須恵器高台	1	7
115	11-003467	須恵器環底部	9	488	156	11-003506	須恵器環底部	6	35 軟質
116	11-003468	須恵器環底部	1	30 軟質	157	11-003507	須恵器環底部	7	43 薄手
117	11-003469	陶器	2	39	158	11-003508	須恵器環底部	10	282
118	21-000410	熱室成岩	2	69	159	11-003509	須恵器環底部	1	23 軟質
119	21-000411	チャート	1	56	160	11-003510	須恵器環口縁	1	13
④	集合扱い資料				161	11-003511	瓦近世以後	2	86
120	11-003470	縄文土器	3	32 中期	162	11-003512	カマド構築材	4	30
121	11-003471	弥生土器	1	12	163	21-000412	熱室成岩	1	5
122	11-003472	土師器環	1	12 7c.前半・黒色処理	164	41-000005	スラグ	2	12

7 H-122号住居

No	図面番号 図解番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土土	備考
(1)	本住居に直接伴うと判断される遺物					
1	第329図 図解143 10-000912	土師器環 (口縁部~底部) (3/4)	口径 13.2×12.9 底径 7.65×5.5 輪高 4.6	口縁横溝で。体部~底部内面横溝で。体 部外周面しずら。底部概ね一方への煎削 り。	①酸化焰・青 ②淡黄褐色(7.5YR/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半

No.	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③釉土	備考
2	第32980 図取143 10-000913	土師器環 (口縁部~底部) (ほぼ完整)	口径 13.9×13.7 底径 11.1×10.1 器高 確定 3.9	内外面漆による黒色処理。口縁横撫で。 体部~底部内面回し午らの箇所。体部 外面回し午ら、底面一方への覆削り。	①酸化焰・善 ②ぶい い橙色(5YR7/4) ③細砂粒	7世紀前半
3	第32980 図取143 10-000914	土師器環 (口縁部~底部) (1/3)	口径 推定 13.5 底径 推定7.4 器高 4.8	内外面漆による黒色処理。口縁横撫で。 体部~底部内面左回りの箇所。体部外 面左回り、底面概ね一方への覆削り。	①酸化焰・善 ②黄灰色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半
4	第32980 図取143 10-000915	土師器環 (口縁部~底部) (1/3)	口径 推定 13.0 底径 推定 4.6 残存高 4.2	内外面漆による黒色処理。口縁横撫で。 体部~底部内面回し午らの箇所。体部 外面右回り、底面不定方向の覆削り。	①酸化焰・善 ②橙 色(2.5YR7/6) ③細砂粒	AD.600年前後
5	第32980 図取143 10-000916	土師器環 (口縁部~底部) (2/3)	口径 推定 13.0 底径 6.6×6.55 器高 5.9	内外面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。 体部箇所。底面内面指撫で。体部外面 指撫で。底面一方中心の覆削り。	①酸化焰・善 ②黄灰色(2.5Y5/1) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
6	第32980 図取143 10-000917	土師器環 (口縁部~底部) (完整)	口径 20.0×19.4 底径 7.2×6.8 器高 36.5	体部外面焼土付着。口縁横撫で。体部内 面覆撫で、底部内面指撫で。体部外面覆 削り。底面一方中心の覆削り。	①酸化焰・やや硬 ②橙色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
7	第32980 図取144 10-000918	土師器環 (口縁部~底部) (3/4)	口径 18.6×18.1 底径 6.0×6.35 器高 35.2	器面やや荒れる。口縁横撫で。体部~底 部内面左回りの箇所。体部外面底位の 覆削り。底面木葉状残り周囲撫で。	①酸化焰・善 ②橙黄色(5Y7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顯著
8	第32980 図取144 10-000919	土師器環 (口縁部~底部) (3/4)	口径 16.5×16.2 底径 5.5×5.5 器高 34.3	体部外面焼土付着。口縁横撫で。体部~底 部内面左回りの箇所。体部外面上方へ 覆削り。底面覆削り。	①酸化焰・善 ②橙黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顯著
9	第32980 図取144 10-000920	土師器環 (口縁部~底部) (3/4)	口径 16.8×16.3 底径 6.0×5.65 器高 32.0	口縁横撫で。体部内面横位の、底部内面 左回りの箇所。体部外面上方への覆削 り。底面覆調整。	①酸化焰・善 ②橙黄色(5Y7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 体部外面被熱
10	第32980 図取144 10-000921	土師器小壺 (口縁部~底部) (1/3)	口径 推定 14.8 底径 推定 8.9 器高 14.65	口縁横撫で。体部内面左方や上への箇 所。底面内面回し午らの箇所。体部 外面覆削り。底面覆調整。	①酸化焰・やや硬 ② ぶい橙色(7.5YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
11	第32980 図取144 10-000922	土師器小壺 (口縁部~底部) (ほぼ完整)	口径 11.3×11.0 底径 7.1×6.4 器高 10.2	内外面吸炭による黒色処理。外面やや荒 れる。口縁横撫で。体部~底部内面左回 りの箇所。底面一方への覆削り。	①酸化焰・善 ②暗灰色(N3/7) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
12	第32980 図取144 10-000923	土師器環 (口縁部~底部) (腰部一部欠損)	口径 11.3×10.95 底径 8.2×6.2 器高 6.55	内外面漆による黒色処理。口縁横撫で。 体部~底部内面覆撫で。体部外面回し午 ら、底面概ね一方への覆削り。	①酸化焰・やや硬 ②橙黄色(2.5YR6/6) ③細砂粒	6世紀後半 口唇部に段を 有す
13	第32980 図取144 10-000924	土師器環 (口縁部~底部) (合計1/4程か)	口径 推定 16.0 底径 6.6×6.35	接合不能。口縁横撫で。体部内面指撫で、 外面覆削り。底部内面回し午ら数回づつ の指撫で。外面覆削りか。	①酸化焰・善 ②橙黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顯著
14	第32980 図取144 10-000925	須恵器環 (口縁部~底部) (口縁一部欠損)	口径 13.05×12.75 底径 8.8×8.7 器高 4.3	左回転クロコ成形。底面左回りの回転覆 削り。	①還元焰・やや硬 ②灰色(N5/7) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
15	第32980 図取144 10-000926	須恵器蓋 (天井部) (口縁部欠損)	残存 11.1×10.8 残存高 2.7	右回転クロコ成形。天井部外面右回りの 回転覆削りで、寛狭き2条残る。	①還元焰・善 ②灰色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	
16	図取163 20-000834	こもろみ石 (1/1)	長さ 18.0 幅 5.3 厚み 4.4 重量 1070 g	円盤使用。右側中位の自然の凹部と刻線、 左側中・上位の刻線による刻れ部を持ち、 幅4.4cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②暗青灰色(5B4/1)	
17	第32980 図取163 20-000835	こもろみ石 (磨石) (左側中上位欠損)	長さ 16.8 残存幅 7.3 厚み 5.5 重量 975 g	横断面三角形の円盤を用い、左側表面に 研磨面残す。右側に研磨伴う浅い刻れ 部を持ち、帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (10Y6/2)	こもろみ石へ の転用品
18	図取163 20-000836	こもろみ石 (1/1)	長さ 16.25 幅 9.0 厚み 3.8 重量 1010 g	板状の円盤を用い、左側縁全体と右側縁 中に研磨を伴う浅い刻れ部を設け、中 位に幅3.7cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (5GY6/1)	
19	図取163 20-000837	こもろみ石 (1/1)	長さ 12.15 幅 7.0 厚み 2.05 重量 215 g	左側中・下、右側中の自然縁と右側下位 の最打での刻れ部を持ち、上位に幅 2.4 cm、下位に幅1.8cm程の摩耗痕一周。	①砂岩 ②橙黄色(2.5Y7/4)	
20	図取163 20-000838	こもろみ石 (1/1)	長さ 14.25 幅 9.0 厚み 3.6 重量 720 g	円盤を用い、表面中央多少被熱する。中 位に幅4.1cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①流紋岩 ②明オリーブ灰色 (2.5GY7/1)	
21	第32980 図取163 20-000839	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.4 幅 7.1 厚み 2.8 重量 520 g	円盤を用い、左右両側中位に刻線による 小さい刻れ部を設け、幅2.7~3.3cm程の 帯状の摩耗痕一周する。	①網帯珪石黒片岩 ②暗青灰色(5B4/1)	

D区出土遺物一覧

No	区画番号 図版番号 資料番号	名称 (携存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
22	図版163 20-000840	こも編み石 (1/1)	長さ 16.6 幅 6.6 厚み 6.2 重量 810g	円鑿を用い、中位と上位の境に幅2.2~2.5cm、中位と下位の境に幅1.9~2.7を測る帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
23	図版163 20-000841	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 14.8 幅 8.5 厚み 4.35 重量 980g	円鑿使用。表面は凹凸はあるが研磨面が見られ、中位に幅4cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(7.5GY8/1)	磨石からの転用品
24	図版163 20-000765	こも編み石 (1/1)	長さ 13.0 幅 9.2 厚み 4.4 重量 830g	円鑿を用い、右側縁に自然面を利用した割れ部を持ち、中位と上位の境に幅3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
25	図版163 20-000842	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 13.2 幅 7.9 厚み 4.9 重量 855g	円鑿を用い、上下両縁に敲打痕残る。中位幅2.2~3.7cmの帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(10Y5/1)	敲石からの転用品
26	図版163 20-000843	こも編み石 (一部割傷) (1/1)	長さ 13.4 幅 7.7 厚み 4.25 重量 830g	円鑿を用いる。中位に幅4.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①斑岩 ②青灰色(5BG6/1)	
27	図版163 20-000844	こも編み石 (1/1)	長さ 16.1 幅 8.95 厚み 5.0 重量 1080g	やや大きめの円鑿使用。左側中位と右側上位の側縁部に研磨による浅い割れ部を持ち、幅2.6cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (5GY6/1)	
28	図版163 20-000845	こも編み石 (1/1)	長さ 15.35 幅 9.1 厚み 5.1 重量 1120g	円鑿を用い、裏面中位の凹面を利用して、幅4.2cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	
29	図版163 20-000846	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 15.45 幅 9.0 厚み 4.25 重量 1048g	円鑿用い、裏面に研磨面を持つ。右側中上位の割傷による割れ部を利用し、幅3.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(10Y5/1)	磨石からの転用品
30	図版163 20-000847	こも編み石 (1/1)	長さ 15.4 幅 9.3 厚み 4.2 重量 900g	円鑿を用いる。左側下位の縁辺部に研磨による浅い割れ部を持ち、中位に幅3.9cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY5/1)	
31	図版163 20-000848	こも編み石 (1/1)	長さ 13.8 幅 8.25 厚み 4.8 重量 830g	円鑿を用いる。中位に幅4.2cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明オリーブ灰色 (5GY7/1)	
32	図版163 20-000849	こも編み石 (1/1)	長さ 16.0 幅 8.0 厚み 4.4 重量 800g	円鑿を用いる。中位に幅3.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
33	図版163 20-000850	こも編み石 (裏面一部欠損)	残存長 18.3 幅 9.15 厚み 4.5 重量 935g	やや大型の円鑿使用。上・下位の表裏及び右側の自然面を利用し、上位に幅2.7cm、下位に幅2.1cmの摩耗痕一周。	①安山岩 ②青灰色(5PB6/1)	
34	第329図 図版144 20-000851	砥石 (1/1)	長さ 7.85 幅 3.9 厚み 2.45 重量 79g	裏・裏・上端・下端・左側上・左側下・右側の7面が砥面として使用され、偏平となる。特に表面には削れ痕残る。	①輝石 ②明オリーブ灰色 (2.5GY7/1)	
35	第329図 図版163 20-000852	台石 (例部一部欠損)	長さ 26.4 幅 7.7 厚み 7.85 重量 1860g	大型の石材を用い、表裏面中央付近に敲打痕残る。	①砂岩 ②灰白色(10Y8/1)	
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
36	第329図 図版144 10-000927	土師器 (口縁部~底部) (2/3)	口径 12.5×11.8 底径 6.9×6.9 器高 4.8	底面やや丸れる。口縁~体部内面横溝で、底面内面指撫で、体部外面回し乍ら、底面不定方向への篋削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀前半
37	第329図 図版144 10-000928	土師器 (口縁部~底部) (2/3)	口径 13.6 底径 6.2×5.0 器高 4.95	内面やや丸れる。口縁横溝で、体~底面内面回し乍らの篋又は指撫で、体部外面回し乍ら、底面概ね一方へ篋削り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(10YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
38	第329図 図版144 10-000929	土師器 (口縁部~底部) (1/3)	口径 推定 14.4 底径 推定 6.6 器高 3.9	口縁部~体部内面横溝で、体部~底面内面左回りの篋削り。体部外面右回りの、底面1~2方向への篋削り。	①酸化焰・青 ②明灰褐色(7.5YR7/2) ③細砂粒・片岩含む	A.D.600年前後
39	第329図 図版144 10-000930	土師器 (口縁部~底部) (2/3)	口径 13.2 底径 5.4×5.3 器高 4.4	内外両縁による黒色処理。口縁横溝で、体部~底面内面左回りの篋削り。体部外面左回り、底面一方中心の篋削り。	①酸化焰・青 ②淡黄褐色(10YR8/4) ③細砂粒	A.D.600年前後
40	第329図 図版144 10-000931	土師器 (欠損一部)	口径 14.45×13.9 底径 5.8×5.8 器高 4.1	内外両縁黒塗布。口縁横溝で、内面体部回し乍ら、底面一方への指撫で、体部外面回し乍ら、底面一方へ篋削り。	①酸化焰・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
41	第329図 図版144 10-000932	土師器環 (口縁部～底部) (ほぼ球形)	口径 11.9×11.7 底径 8.1×7.9 器高 4.2	内外面塗による黒色処理。口縁横無で、 体部～底部内面周し乍らの窪みで、体部 外面左回り、底面一方中心の窪み。	①酸化焰・青 ②桃褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒	7世紀前半
42	第329図 図版145 10-000933	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 13.0 底径 推定 5.8 器高 4.2	内外面塗による黒色処理。口縁横無で、 体部～底部内面周し乍らの窪みで、体部 外面左回り、底面不定方向の窪み。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半
43	第330図 図版145 10-000934	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 13.4 底径 推定 11.0 器高 4.0	口縁部～体部内面横無で、底部内面周し 乍らの窪みで、体部外面左回り、底面一 方中心の窪み。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	AD.600年前後
44	第330図 図版145 10-000935	土師器環 (口縁部～底部) (破片)	残存 4.9×9.5 口径 推定 9.95 底径 3.7 器高 3.25	口縁横無で、体部内面横位の揃いで、底部 内面指撫で。体部外面横位中心、底面不 定方向の窪み。	①酸化焰・青 ②にぶ い褐色(10YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
45	第330図 図版145 10-000936	土師器高脚杯 (杯底部～髑部) (髑部上位)	頸部径 推定 5.0 残存器高 5.0	杯底部内面指撫で。髑部内面頂部紋り、 残存器下半窪みか。杯底部～髑部外面 縦位の窪み。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/8) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半か
46	第330図 図版145 10-000937	土師器小型壺 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 11.8 底径 推定 7.0 器高 14.15	外面荒れる。口縁横無で、体部内面横位 の窪みで、体部外面輪軸縦直り、窪み か。底面調整。	①酸化焰・やや軟 ②褐色(5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
47	第330図 図版145 10-000938	土師器小型壺 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 15.5 底径 5.85×5.3 器高 11.4	外面荒れる。口縁横無で、体部～底部内 面左回りの窪みで、体部外面窪み。底 面上げ筋。	①酸化焰・青 ②にぶ い黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顯著
48	第330図 図版145 10-000939	須恵器蓋 (天井部～口縁部) (口縁3/4欠損)	天井部径 推定 12.5 底径 推定 14.0 器高 4.6	左回転クロコ成形。天井部外面に左回り の回転窪み。口縁内面に段を持つ。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(10Y7/1) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
49	第330図 図版145 20-000853	不定形石器	長さ 5.5 幅 4.7 厚み 2.5 重量 55g	上端部に自然面を残す厚みのある石材を 用い、左側縁に裏面より剝離調整が施さ れる。	①熱成岩 ②灰色(N6/7)	
50	第330図 図版145 20-000854	不定形石器 (右側端部欠損)	長さ 3.95 残存幅 4.8 厚み 1.0 重量 15g	上端部に自然面を残す横長の剥片を用 い、左側と右下の縁辺に裏面より剝離調 整が施される。	①熱成岩 ②灰色(N6/7)	
51	図版163 20-000855	磨石(礫石・こ もろみ石)	長さ 13.2 幅 6.2 厚み 6.7 重量 680g	円盤を用い、裏面に研磨面を残し、上下 両面に敲打痕見られる。中下位に幅3.9cm 程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (5GY6/1)	こもろみ石へ の転用品
52	図版163 20-000856	磨石 (礫石)	長さ 8.4 幅 4.4 厚み 2.4 重量 130g	小型の円盤を用いる。表面が研磨面をな し、上下端部に敲打痕見られる。	①砂岩 ②灰白色(7.5Y7/1)	磨石への転用品
53	図版163 20-000857	磨石 (上端部欠損)	残存長 8.3 幅 8.6 厚み 3.75 重量 385g	円盤使用。表面に研磨面を持つが、面は やや荒れる。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (5GY6/1)	
54	図版163 20-000858	有溝砥石 (上下欠損)	残存長 4.65 幅 4.5 厚み 4.4 重量 80g	円盤使用。写真右側の表面及び右側面に 溝を伴う研磨面を有する。	①砂岩 ②灰黄色(2.5Y6/2)	
55	第330図 図版163 20-000859	石皿 (1/1)	長さ 22.4 幅 18.0 厚み 4.25 重量 3208g	やや扁平な円盤を用いる。表面に良く使 われた研磨面を有し、若干の敲打痕も 残る。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	
56	図版163 20-000860	こもろみ石 (1/1)	長さ 18.05 幅 8.4 厚み 2.55 重量 700g	やや扁平な円盤を用いる。上位の幅の狭 くなる部分を利用し、幅2.8cm程の帯状 の摩耗痕が一周する。	①斜雲母石黒片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
57	図版163 20-000861	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 14.8 幅 7.7 厚み 4.9 重量 770g	円盤を用いる。表面に研磨面見られ、中 位やや下寄りに幅3.9cm程の帯状の摩 耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1) ・暗青灰色(10BG4/1)	こもろみ石へ の転用品
58	図版163 20-000862	こもろみ石 (表面剝離)	残存長 11.2 残存 幅 4.65 残存厚 1.45 重量 82g	小型の円盤用いる左側縁の自然の凹部を 剝離部として利用し、裏面に幅3.9cm程 の帯状の摩耗痕横断する。	①点紋斜雲母石黒片岩 ②青灰色(5BG5/1)	
59	図版163 20-000863	こもろみ石 (1/1)	長さ 19.15 幅 5.1 厚み 3.1 重量 520g	板状の円盤使用。上位の幅狭くなった部 分を利用し、ここに幅2.2cm程の帯状の 摩耗痕一周する。	①点紋斜雲母石黒片岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
60	第330図 図版163 20-000864	有溝砥石か (上下端部欠損)	長さ 8.0 幅 4.9 厚み 2.5 重量 90g	表面～側面～裏面にかけて削痕状の溝が 複数入る。	①砂岩 ②灰白色(7.5Y8/1)	こもろみ石へ の転用の可能 性あり

D区出土遺物一覧

No.	原番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
61	第330図 図版145 10-000940	土製品小玉 (1/1)	径 1.4×1.3 厚み 1.2	全面黒色処理を施す。(炭灰によるものか)平面形の中央に鎌状工具で径 1.8×1.35mm、底径 1.1×0.75mmの穿孔。	①酸化焰・青 ②暗灰色(N3/) ③細砂粒	
62	第330図 図版145 10-000941	土鏃 (ほぼ完形)	長さ 4.95 径 1.7×1.45 孔径 0.5×0.47	棒状工具に粘土を巻き付き、手捏ね様に整形。上下端部の調整はほとんど無い。	①酸化焰・やや軟 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	
63-1	第330図 図版145 20-000865	白玉 (1/1)	径 0.94×0.79 厚み 0.65 重量 1.05g	上・底面切断後未調整のまま研磨。下側面側部により狭まり、左右・上側面縦位方向に研磨。径 3mm程の穿孔。	①礫石 ②灰白色(10Y8/1)	
63-2	第330図 図版145 20-001594	白玉 (1/1)	径 0.96×0.915 厚み 0.66 重量 0.77g	上・底面、側面に対し斜めに切断後、未調整のまま研磨。側面縦位に研磨。平面形中央に径 3mm程の孔を穿つ。	①礫石 ②明緑灰色(10Y8/1)	
63-3	第330図 図版145 20-001595	白玉 (1/1)	径 0.95×0.915 厚み 0.52 重量 0.30g	上・底面切断後未調整のまま研磨。右側面一部側部、側面縦位方向に研磨。平面形の中央に径 3mm程の穿孔。	①礫石 ②青灰色(10BG7/1)	
63-4	第330図 図版145 20-001596	白玉 (1/1)	径 0.885×0.85 厚み 0.25 重量 0.74g	上・底面切断後未調整のまま研磨。上下側面一部側部、側面縦位に研磨。平面形中央に径 3mm程の孔穿たれる。	①礫石 ②灰白色(10Y8/1)	
63-5	第330図 図版145 20-001597	白玉 (1/1)	径 0.94×0.935 厚み 0.52 重量 0.57g	側面に対し上面斜めに切断。上・底面切断後未調整のまま研磨。側面縦位方向に研磨。中央に径 3mm程の穿孔。	①礫石 ②青灰色(10BG6/1)	
63-6	第330図 図版145 20-001598	白玉 (1/1)	径 0.92×0.88 厚み 0.33 重量 0.73g	下側面側部、上底面切断後研磨。側面縦位方向に研磨。平面中央に径 3mm程の孔穿たれる。	①礫石 ②明緑灰色(7.5GY8/1)	
63-7	第330図 図版145 20-001599	白玉 (1/1)	径 0.96×0.90 厚み 0.54 重量 1.24g	上面側部側部、上・底面切断後未調整のまま研磨。側面縦位方向に研磨。平面形中央に径 3mm程の孔穿たれる。	①礫石 ②明緑灰色(10GY8/1)	
63-8	第330図 図版145 20-001600	白玉 (1/1)	径 0.99×0.925 厚み 0.805 重量 0.82g	上面側部、底面切断後未調整のまま研磨。側面縦位方向に研磨。平面形中央付近に径 3mm程の穿孔。	①礫石 ②緑灰色(5G6/1)	
63-9	第330図 図版145 20-001601	白玉 (1/1)	径 0.955×0.905 厚み 0.625 重量 0.96g	上面側部、底面切断後未調整のまま研磨。側面縦位方向の研磨。平面形中央に径 3mm程の穿孔。	①礫石 ②明青灰色(10BG7/1)	
63-10	第330図 図版145 20-001602	白玉 (1/1)	径 0.895×0.885 厚み 0.6 重量 0.83g	底面側部、上面切断後未調整のまま研磨。側面縦位方向に研磨。平面形中央に径 3mm程の穿孔。	①礫石 ②明青灰色(5BG7/1)	
63-11	第330図 図版145 20-001603	白玉 (1/1)	径 0.925×0.91 厚み 0.54 重量 0.78g	底面側部側部、上面切断後未調整のまま研磨。側面縦位方向に研磨。平面形中央に径 3mm程の穿孔。	①礫石 ②灰白色(10Y8/1)	
63-12	第330図 図版145 20-001604	白玉 (1/1)	径 0.92×0.885 厚み 0.305 重量 0.41g	上底面切断後未調整のまま研磨。側面縦位に研磨。平面形中央に径 3mm程の孔が穿たれる。	①礫石 ②明緑灰色(10GY8/1)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3)	取上番号付き集合い資料					78	11-003527	土器器環脚部	10	272	
64	11-003513	縄文土器	1	25	中期	79	11-003528	土器器環脚部	2	46	
65	11-003514	土器器環	1	14	6世紀後半	80	11-003529	土器器環口縁	1	13	奈良・平安時代
66	11-003515	土器器環	2	13	7c.前半・黒色処理	81	11-003530	土器器環口縁	14	285	
67	11-003516	土器器環	1	5	7世紀前半	82	11-003531	土器器環底部	7	58	奈良・平安時代
68	11-003517	土器器環	1	7	奈良時代頃	83	11-003532	土器器環底部	65	998	
69	11-003518	土器器環口縁	1	48	6世紀前半	84	11-003533	土器器環底部	6	453	
70	11-003519	土器器環口縁	1	22	6世紀後半	85	11-003534	土器器環底部	1	28	多孔
71	11-003520	土器器環口縁	1	25	7c.前半・黒色処理	86	11-003535	須恵器蓋	1	6	返り
72	11-003521	土器器環口縁	2	42	7c.後半・黒色処理	87	11-003536	須恵器蓋	1	17	
73	11-003522	土器器環口縁	3	10	黒色処理	88	11-003537	須恵器環底部	4	108	
74	11-003523	土器器環口縁	6	27		89	11-003538	カマド構架材	1	32	
75	11-003524	土器器環底部	14	112	黒色処理	90	21-000413	石英粗面岩	1	12	
76	11-003525	土器器環底部	1	6	粉質	(4) 集合い資料					
77	11-003526	土器器環底部	17	127		91	11-003539	縄文土器	1	4	前期

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
92	11-003540	縄文土器	6	75	中期
93	11-003541	土師器環	1	17	6世紀後半
94	11-003542	土師器環	4	28	7c.前半・黒色処理
95	11-003543	土師器環	1	9	7世紀前半・粉質
96	11-003544	土師器環	11	92	7世紀前半
97	11-003545	土師器環	3	14	7世紀後半
98	11-003546	土師器環	3	48	奈良時代頃
99	11-003547	土師器環口縁	1	3	7c.後半・黒色処理
100	11-003548	土師器環口縁	4	8	黒色処理
101	11-003549	土師器環口縁	2	6	粉質
102	11-003550	土師器環口縁	20	60	黒色処理
103	11-003551	土師器環底部	27	177	黒色処理
104	11-003552	土師器環底部	8	26	粉質
105	11-003553	土師器環底部	71	292	
106	11-003554	土師器高坏脚部	15	122	
107	11-003555	土師器高坏脚部	5	44	
108	11-003556	土師器頸口縁	6	46	奈良・平安時代

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
109	11-003557	土師器頸口縁	27	229	
110	11-003558	土師器頸口縁	28	151	奈良・平安時代
111	11-003559	土師器頸口縁	188	1487	
112	11-003560	土師器頸口縁	11	181	
113	11-003561	須恵器蓋	5	44	返り
114	11-003562	須恵器蓋	7	65	
115	11-003563	須恵器蓋底部	2	18	
116	11-003564	須恵器環・板	3	24	平安期頃
117	11-003565	須恵器高坏付	3	26	
118	11-003566	須恵器板	16	66	
119	11-003567	須恵器高坏脚部	1	7	
120	11-003568	須恵器蓋体部	8	74	薄手
121	11-003569	須恵器蓋体部	51	654	
122	11-003570	陶器	1	16	
123	11-003571	磁器	2	12	
124	21-000414	熟成成岩	2	20	
125	21-000415	凝灰岩	1	34	

8 H-133号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
(1) 本住居には直接伴わない関連を特定できなかった遺物						
1	第331回 図版145 10-000942	須恵器碗 (口縁部～体部) (破片)	残存 7.4×3.2 口径 推定 13.1 残存高 2.35	右回転クロコ成形。	①還元焰・硬 ②灰色(10Y6/1) ③細砂粒	A.D.900年前後
2	第331回 図版145 10-000943	須恵器環・碗 (腹部～底部) (破片)	残存 8.4×3.95 底径 推定 6.0 残存高 2.0	右回転クロコ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・やや軟 ②灰色(N4/) ③粗砂粒	A.D.900年前後

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
(2) 集合扱い資料					
3	11-003572	土師器蓋体部	1	8	
4	11-003573	須恵環・碗体部	2	11	平安期頃

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
5	11-003574	須恵器蓋体部	1	66	
6	11-003575	布目瓦	1	7	

9 H-134号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第338回 図版145 10-000944	土師器環 (口縁部～底部) (7/8)	口径 13.4×12.6 底径 6.9×6.65 器高 5.0	口縁横溝で、体部～底部内面左回りの寛撫で、体部外面回し乍らの寛撫り。底面概ね一方への寛撫り。	①還元焰・普 ②にぶい黄棕色(10YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	第338回 図版145 10-000945	土師器環 (口縁部～底部) (口縁1/2欠損)	口径 推定 13.7 底径 8.3×7.6 器高 4.35	口縁横溝で、体部～底部内面左回りの寛撫で、体部外面右回りの、底面2方向中心の寛撫り。	①還元焰・普 ②褐色(5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
3	第338回 図版145 10-000946	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 14.4 底径 7.75 器高 4.8	内外面黒色処理の成跡。口縁横溝で、体部～底部内面回し乍らの寛撫で、体部外面回し乍ら、底面不定方向の寛撫り。	①還元焰・普多少粉質 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	6世紀中葉
4	第338回 図版145 10-000947	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 13.1 底径 推定 8.1 器高 4.5	口縁～体部内面横溝で、底部内面左回りの寛撫で、体部外面回し乍ら、底面不定方向の寛撫り。	①還元焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	6世紀後半
5	第338回 図版145 10-000948	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 13.6 底径 推定 6.7 残存高 4.5	口縁横溝で、体部～底部内面左回りの寛撫で、体部外面回し乍らの、底面概ね一方と推定される寛撫り。	①還元焰・やや硬 ②褐色(5YR7/8) ③細砂粒	6世紀後半
6	第338回 図版145 10-000949	土師器環 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 12.2×11.8 底径 6.3×6.2 器高 4.4	口縁横溝で、体部～底部内面左回りの寛撫で、体部外面左回りの、底面概ね一方への寛撫り。	①還元焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/8) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半

D区出土遺物一覧

No	図番 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
7	第338図 図版145 10-000950	土師器高杯 (口縁部～底部) (7/8)	口径 12.3×12.1 底径 6.75 器高 4.5	内外面漆による黒色処理。口縁横撫で。 体部～底部内面回し乍らの寛撫で。体部 外面石回り。底面不定方向の寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
8	第338図 図版146 10-000951	土師器高杯 (口縁部～脚部) (2/3)	口径 推定 14.7 脚部径 推定 12.8 器高 21.5	口縁～体部内面及び脚部横撫で。杯 底部内面寛撫で。脚内面上半指撫で。下 半寛撫で。杯体部～脚部外面寛削り。	①酸化焰・やや軟 ②浅灰色(2.5Y7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	第338図 図版145 10-000952	手捏ね土器 (口縁部～底部) (残存部の1/4)	口径 推定 9.0 残存高 3.5	底部厚く高杯縁を呈するか。口縁横撫で。 体部内面横位の指撫で。体部外面及び底 部内面手捏ね。指撫で。	①酸化焰・青 ②にぶ い黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か
10	第338図 図版145 10-000953	手捏ね土器 (口縁部～底部) (1/8)	口径 推定 10.0 底径 推定 5.2 器高 4.3	口縁～体部内面横位の指撫で。体部～底 部内面回し乍らの寛撫で。体部外面手捏 ね。底面寛削り。	①酸化焰・青 ②にぶ い黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か
11	第338図 図版146 10-000954	土師器小型壺 (口縁部～体部) (1/3)	口径 推定 14.2 残存高 12.3	口縁横撫で。体部内面横位の寛撫で。体 部外面縦位の指撫り。	①酸化焰・硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
12	第338図 図版149 10-000955	土師 (下位一部刺磨)	長さ 6.4 径 1.8×1.8 孔径 0.49×0.485	棒状工具に粘土を巻き付けて手捏ね様に 成形。側面縦位に指撫で。端部の調整は 見られない。	①酸化焰・青 ②にぶ い黄褐色(N3/) ③細砂粒	
13	第338図 図版146 20-000866	紡錘車 (一部刺磨)	上面径 4.1×4.0 底 面径 1.8×1.7 厚み 2.5 重量 49.1g	上面切斷後縦横の磨き。底面刺磨のみ。 側面縦位の横位の磨き。周囲から径 0. 65cm程の穿孔。穿孔2回入れ直し。	①輝綠岩 ②暗青灰色(5B4/1)	穿孔は貫通2 回、未貫通1 回
14	図版164 20-000867	こも編み石 (1/1)	長さ 15.9 幅 8.4 厚み 5.4 重量 106g	横断面三角形を呈する円縁を用いる。中 位に幅3.1cm程の帯状の摩耗痕が一周す る。	①安山岩 ②青灰色(5BG6/1)	
15	図版164 20-000868	こも編み石 (磨石) (一部刺磨)	長さ 17.9 幅 8.9 厚み 4.4 重量 99g	横断面三角形の円縁使用。上下側面に研 磨面を持つ。中位やや上寄りに幅 4.8cm 程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②明オリブ灰色 (2.5GY7/1)	磨石からの転 用品
16	図版164 20-000869	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 12.6 幅 5.6 厚み 5.3 重量 66g	円縁使用。左側面に研磨面を持ち。表裏 面に自然面を利用した刃れ部を設け、中 位に幅2.9cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②緑灰色(10GY6/1)	磨石からの転 用品
17	第338図 図版164 20-000870	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 11.5 幅 4.4 厚み 3.7 重量 257g	小型の円縁を用いる。裏面に研磨面を残 し、中位に幅3cm程の帯状の摩耗痕一周 する。	①安山岩 ②灰白色(2.5GY8/1)	磨石からの転 用品
18	図版164 20-000871	こも編み石 (表裏面一部欠)	長さ 11.55 幅 7.7 厚み 4.4 重量 631g	直方体様の円縁使用。中位に幅2cm程の 帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	
19	図版164 20-000872	こも編み石 (左側縁欠損)	長さ 16.7 残存幅 6.7 厚み 3.25 重量 497g	円縁を用いる。中位に幅2.6cm程の帯状 の摩耗痕が一周する。	①絹青母石黒片岩 ②暗青灰色(5BG4/1)	
20	図版164 20-000873	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 17.65 幅 9.7 厚み 6.1 重量 1406g	円縁を用い、裏面に研磨面を残す。中位 に幅3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	磨石からの転 用品
(2) 掘り出し遺物						
21	第338図 図版146 10-000956	手捏ね土器 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 9.6 底径 推定 5.5 器高 5.8	内外面炭灰による黒色処理。口縁横撫で。 体部内外面指撫で。底部内面左回りの寛 撫で。底面粗い寛削り。	①酸化焰・青 ②暗灰色(N3/) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
22	第338図 図版146 10-000957	土師器壺 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 21.0 底径 推定 9.5 器高 35.0	口縁横撫で。肩部～胴部内面寛撫で。腰 部～底部内面寛撫で及び指撫で。体部外 面寛削り。底面寛調整。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 胴部以下外面 煤付着
23	第338図 図版146 10-000958	土師器小型壺 (口縁部～脚部) (残存部の1/2)	口径 12.95 残存高 6.05	口縁横撫で。肩部内面左回りの寛撫で。 外面左上方向への寛削り。	①酸化焰・硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.600年後か 安山岩
24	図版164 20-000874	こも編み石 (1/1)	長さ 14.4 幅 6.9 厚み 5.2 重量 842g	円縁を用いる。右側縁の自然の刺磨面を 利用し、中位に幅4.2cm程の帯状の摩耗痕 が一周する。	①安山岩 ②灰白色(N7/)	
(3) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
25	第338図 図版146 20-000875	打製石斧 (上部欠損)	残存長 12.35 幅 7.2 厚み 4.1 重量 377g	分割製。左右両側に刺磨調整が施されて 整形される。下端の刃部は刺磨して欠損 する。	①熱変成岩	

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土質	備考
26	第338図 図版146 20-000876	加工痕のある石 製品 (欠損品)	残存長 13.2 残存 幅 7.7 厚み 4.8 重量 518g	右側・上部が欠損する。左側縁に沿って 縁起部を加工に残し、内側を鋭く打打 によって凹状にする。	①砂岩 ②灰白色(5YR/2)	
27	第338図 図版146 10-000959	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 13.7 底径 推定 8.7 残存高 5.0	内外面多少変れる。口縁～体部内面横 撫で、底部内面回し乍らの残撫で、体部外 面左回り、底面横撫で一方向へ廻り。	①酸化焰・青 ②に ぶい褐色(5YR/4) ③細砂粒	6世紀前半
28	第338図 図版146 10-000960	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 14.1 底径 推定 7.0 器高 4.6	口縁横撫で、体部～底部左回りの残撫で、 体部外面左回りの残撫で。底面寛削り。	①酸化焰・やや硬 ② にぶい褐色(5YR6/4) ③細砂粒	6世紀前半
29	第338図 図版146 10-000961	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 13.2 底径 推定 4.75×4.1 器高 5.1	口縁横撫で、体部～底部内面寛削り。体 部外面回し乍ら、底面不定方向への残 削り。	①酸化焰・やや軟 ② 灰黄色(2.5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.600前後
30	第338図 図版146 10-000962	土師器環 (口縁部～底部) (口縁1/3欠損)	口径 推定 14.2 底径 推定 7.5 器高 5.1	底部内面やや変れる。底面剥落。口縁横 撫で、体部～底部内面左回りの残撫で、体 部外面回し乍らの残削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5Y7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
31	第338図 図版146 10-000963	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 15.0 底径 8.3 器高 5.3	口縁横撫で、体部～底部内面左回りの 残撫で、体部外面右回りの残削り。底面 ヒゲ様を成し、寛削り。	①酸化焰・青・やや粉 質 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
32	第338図 図版146 10-000964	土師器環 (口縁部～底部) (2/5)	口径 推定 12.2 底径 9.0 器高 5.4	口縁～体部内面横撫で、底部内面左回 りの残撫で、体部外面右回りの、底面一 方向中心の残削り。	①酸化焰・硬 ②褐色(5YR/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀前半
33	第338図 図版146 10-000965	土師器環 (口縁部～底部) (破片)	残存 4.9×11.6 口径 15.7 器高 5.9	底部内面やや変れる。口縁横撫で、体部 ～底部内面左回りの残撫で、体部外面右 回り、底面横撫で一方向への残削り。	①酸化焰・青 ②褐色(7.5YR/6) ③細砂粒・片岩含む	A.D.600前後
34	第338図 図版146 10-000966	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 14.5 底径 推定 11.1 器高 5.3	口縁横撫で、体部～底部内面回し乍ら の残撫で、体部外面左回りの、底面一 方向中心の残削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR/8) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
35	第338図 図版146 10-000967	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 14.3 底径 7.55 器高 4.5	口縁横撫で、体部内面左回りの残撫で、 体部外面回し乍ら、底面一方中心の残 削り。	①酸化焰・青・やや粉 質 ②褐色(2.5YR/8) ③細砂粒	7世紀前半
36	第338図 図版146 10-000968	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 12.5 底径 9.2 器高 4.05	口縁横撫で、体部～底部内面回し乍ら の残撫で、体部外面回し乍らの、底面横 撫で一方向への残削り。	①酸化焰・青 ②に ぶい褐色(7.5YR/4) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.600前後
37	第338図 図版146 10-000969	土師器環 (口縁部～底部) (3/5)	口径 推定 12.6 底径 6.6 器高 4.7	口縁横撫で、体部～底部内面回し乍ら の残撫で、体部外面回し乍ら、底面一 方向中心の残削り。	①酸化焰・青 ②に ぶい褐色(7.5YR/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀中葉
38	第338図 図版147 10-000970	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 12.3 底径 10.1 器高 4.3	内外面変れ、底面剥落。口縁部～体部 内面横撫で、底部内面左回りの残撫で、 外面残削り。	①酸化焰・やや軟 ②褐色(2.5YR/6) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.600前後
39	第338図 図版147 10-000971	土師器環 (口縁部～底部) (2/3)	口径 13.05 底径 7.4×6.9 器高 4.7	口縁横撫で、体部～底部内面回し乍ら の残撫で、体部外面回し乍ら、底面2方 向中心の残削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
40	第338図 図版147 10-000972	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 15.8 底径 推定 8.2 器高 4.05	口縁横撫で、体部～底部内面左回りの 残撫で、体部外面右回りの、底面不定 方向への残削り。	①酸化焰・硬 ②褐色(5YR/6) ③粗砂粒	6世紀後半
41	第338図 図版147 10-000973	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口径 11.6 底径 3.2×3.2 器高 4.9	口縁横撫で、体部～底部内面左回りの 残撫で、体部外面右回りの残削り。底面 一方への残削り。	①酸化焰・やや硬 ② にぶい黄褐色(10YR7/0) ③細砂粒	7世紀前半
42	第338図 図版147 10-000974	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 12.3 底径 推定 8.6 器高 3.65	口縁横撫で、体部～底部内面回し乍ら の残撫で、体部外面回し乍ら、底面右 回り、不定方向への残削り。	①酸化焰・青 ②褐色(7.5YR/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
43	第338図 図版147 10-000975	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 14.3 底径 推定 7.6 器高 4.2	口縁～体部内面横撫で、底部内面回し 乍らの残撫で、体部外面～底面寛削り。	①酸化焰・青 ②に ぶい黄褐色(10YR7/3) ③細砂粒	6世紀後半
44	第338図 図版147 10-000976	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 13.2 底径 推定 8.0 残存高 4.0	口縁横撫で、体部～底部内面回し乍ら の残撫で、体部外面回し乍らの、底面 不定方向への残削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR/8) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
45	第338図 図版147 10-000977	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 14.1 底径 推定 6.5 残存高 3.8	口縁横撫で、体部～底部内面左回りの 残撫で、体部外面回し乍ら、底面1～2 方向への残削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半

D区出土遺物一覧

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (保存部位) (保存番号)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
46	第338図 図版147 10-000977	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 14.0 底径 推定 8.2 残存高 4.05	口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの 寛撫で。体部外面回し乍ら、底面一方 への寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/8) ③細砂粒	7世紀前半
47	第338図 図版147 10-000979	土師器環 (口縁部～底部)	口径 11.2 底径 7.8 器高 3.85	口縁～体部内面横撫で。底部内面左回りの 寛撫で。体部外面回し乍ら、底面不定 方向の寛削り。	①酸化焰・青 ②黄褐色(7.5YR8/8) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半 体部～底部内 面やや荒れる
48	第339図 図版147 10-000980	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 12.7 底径 推定 8.4 残存高 4.9	内面やや荒れる。口縁横撫で。体部～底 部内面撫で、外面寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半
49	第339図 図版147 10-000981	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 13.0 底径 推定 7.0 残存高 3.3	口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの 寛撫で。体部外面回し乍ら、底面概ね一 方への寛削り。	①酸化焰・硬 ②に よ黄褐色(10YR7/4) ③細砂粒	7世紀前半
50	第339図 図版147 10-000982	土師器環 (口縁部～底部) (破片)	残存 5.2×7.8 口径 推定 10.9 器高 4.0	外面やや荒れる。口縁横撫で。体部～底 部内面左回りの寛撫で、外面寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
51	第339図 図版147 10-000983	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 13.8 底径 推定 7.5 残存高 3.6	内外面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。 体～底部内面左回りの寛撫で。体部外面 回し乍らの寛削り。底面寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(7.5YR6/1) ③細砂粒	6世紀後半
52	第339図 図版147 10-000984	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 13.8 底径 推定 3.5 器高 5.2	内外面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。 体～底部内面左回りの寛撫で。体部外面 回し乍ら、底面一方中心の寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/8) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半 黒色処理の色 調薄い
53	第339図 図版147 10-000985	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 12.2 底径 推定 7.9 器高 4.4	内外面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。 体部～底部内面回し乍らの寛撫で。体部 外面回し乍ら、底面2方への寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
54	第339図 図版147 10-000986	土師器環 (口縁部～底部)	口径 12.1 底径 推定 7.5 器高 4.4	内外面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。 体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外面 回し乍ら、底面2方への寛削り。	①酸化焰・青 ②に よ黄褐色(10YR7/2) ③細砂粒	A.D.600前後
55	第339図 図版147 10-000987	土師器環 (口縁部～底部)	口径 11.8 底径 9.05 器高 4.5	外面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。 体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外 面回し乍ら、底面不定方向の寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半 外面にひび割 れ痕
56	第339図 図版147 10-000988	土師器環 (口縁部～底部)	口径 13.8 底径 推定 7.0 残存高 4.4	内外面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。 体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外 面回し乍ら、底面2方への寛削り。	①酸化焰・硬 ②灰黄色(2.5Y6/2) ③細砂粒	A.D.600前後 黒色処理の色 調かなり薄い
57	第339図 図版147 10-000989	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 13.5 底径 推定 8.5 残存高 4.4	内外面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。 体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外 面回し乍らの寛削り。底面寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②浅黄褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒	7世紀前半
58	第339図 図版147 10-000990	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 13.7 底径 推定 10.4 残存高 4.4	内外面吸炭による黒色処理。口縁横撫で。 体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外 面回し乍ら、底面一方中心の寛削り。	①酸化焰・青 ②に よ黄褐色(10YR7/4) ③細砂粒	7世紀中葉
59	第339図 図版148 10-000991	土師器環 (口縁部～体部) (破片)	残存 11.05×4.05 口径 推定 14.0 残存高 2.85	外面部による黒色処理。口縁横撫で。体 部内面回し乍らの寛撫で、外面左回りの 寛削り。	①酸化焰・青 ②灰黄褐色(10YR6/2) ③細砂粒	7世紀前半
60	第339図 図版148 10-000992	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 12.2 底径 推定 10.2 器高 7.4	体部外面割れ、型起こし。口縁横撫で。 体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外 面撫で、底面寛削り。	①酸化焰・青 ②浅黄色(2.5Y8/4) ③粗砂粒	6世紀後半
61	第339図 図版148 10-000993	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 9.9 底径 推定 7.8 器高 5.0	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの 寛撫で。体部外面指撫で、腰部外面～底 面不定方向の寛削り。	①酸化焰・青 ②浅黄色(2.5Y8/3) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
62	第339図 図版148 10-000994	土師器環 (口縁部～底部) (口縁は欠損)	底径 8.65 残存高 4.8	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの 寛撫で。体部外面調整で指頭残存。底 面左回りの寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半か
63	第339図 図版148 10-000995	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 10.9 底径 6.8×6.25 器高 4.3	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの 寛撫で。体部外面撫で、底面内厚く寛 削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
64	第339図 図版148 10-000996	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 12.1 底径 推定 8.6 器高 4.7	口縁横撫で。体部～底部内面寛撫で。体 部外面寛削り。底面一方への大きな寛 削り。	①酸化焰・青 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
65	第339図 図版148 10-000997	土師器高環 (口縁部～脚部)	口径 推定 13.7 残存高 16.4	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの 寛撫で。脚部内面指撫で。体部～脚部 外面緩位の寛削り。	①酸化焰・やや軟 ② に黄褐色(10YR7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存数)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①構成または石材等の ②胎土	備考
66	第339図 図取148 10-00098	土師器高坏 (口縁部～脚部) (残存部の1/3)	口径 推定 18.6 残存高 15.6	器面やや荒れる。口縁横撫で。坏体～底部内面放射状の指文。脚部内面輪痕直残り指撫で。坏体～脚部外面直削り。	①酸化焰・普・やや粉質 ②褐色(5YR7/8) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
67	第339図 図取148 10-00099	土師器高坏 (口縁部～脚部) (残存部の1/2)	口径 推定 16.0 残存高 13.9	口縁横撫で。坏体部～底部内面直撫で。脚部内面輪痕直残り縦位の指撫で。坏体部～脚部外面直削り。	①酸化焰・普 ②灰色(2.5YR6/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
68	第339図 図取148 10-00100	土師器高坏 (口縁部～体部) (坏部のみ1/3)	口径 推定 18.2 残存高 5.1	口縁横撫で。体部～底部内面直し乍らの直撫で、外面左回りの直削り。	①酸化焰・普 ②灰色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
69	第339図 図取148 10-00101	土師器高坏 (坏底部～脚部) (口縁・脚部欠損)	残存部最大径 推定 8.8 残存高 13.3	坏底部内面撫で。脚部内面輪痕直残り右方への直撫で、外面縦位の細かい直削り。	①酸化焰・普 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒	7世紀前半か
70	第339図 図取148 10-00102	土師器高坏 (坏底部～脚部) (脚部上半完成)	残存部最大径 6.15 残存高 8.3	器面荒れる。坏底部内面撫で。脚部内面上位直撫で、中下位指撫で。坏底部～脚部外面直削り。	①酸化焰・普通・やや粉質 ②褐色(5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半か
71	第339図 図取148 10-00103	土師器蓋 (口縁部～肩部) (残存部の1/4)	口径 推定 17.0 残存高 8.9	口縁横撫で。肩部内面左方へ直撫で、外面輪痕直残り縦位の直削り。	①酸化焰・硬 ②灰色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
72	第339図 図取148 10-00104	土師器罍 (腰部～底部) (残存部のみ)	底径 7.6×6.2 残存高 5.58	腰部～底部内面左回りの直撫で。腰部外面直し乍ら、底面一方中心の直削り。	①酸化焰・普 ②淡黄褐色(10YR8/4) ③細砂粒・片岩含む	6世紀
73	第339図 図取148 10-00105	土師器罍 (底部) (残存部の3/4)	底径 6.66×6.65 残存高 2.9	底部内面直し乍らの直撫で。腰部外面指撫で、底面2枚並列の木葉直残る。	①酸化焰・普 ②灰黄褐色(10YR6/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀
74	第339図 図取148 10-00106	土師器銅製鍔 (腰部～底部) (残存部の3/4)	底径 6.8 残存部 最大径 推定 18.45 残存高 9.7	腰部～底部内面直し乍らの直撫で及び指撫で、腰部外面直し乍らの直削り。底面直削り。	①酸化焰・普 ②灰色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	6～7世紀
75	第339図 図取148 10-00107	土師器瓶 (腰部～底部) (残存部の1/4)	底径 推定 12.0 残存高 10.8	腰部内面縦位の直削り、外下方向へ直削り。底面直削り。	①酸化焰・普 ②ぶい ③灰色(5YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か 天地逆の可能性あり
76	第339図 図取148 10-00108	手捏ね土罍 (体部～底部) (底部完成)	底径 5.55×5.2 残存高 5.0	体部～底部内面指撫で、体部外面手捏ね。底面直削り。	①酸化焰・普 ②ぶい ③黄褐色(10YR7/3) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か 天地逆の可能性あり
77	第339図 図取148 10-00109	須恵器蓋 (天井部～口縁部) (口縁ほぼ欠損)	天井径 9.15×9.15 残存高 2.8	左回転クロコ成形。天井部外面左回りの回転直削り、内面指撫で直残る。	①還元焰・普 ②灰色(7.5Y6/1) ③細砂粒	7世紀前半
78	第339図 図取148 10-00110	須恵器坏 (口縁部～底部) (口縁ほぼ欠損)	最大径 推定 15.4 底径 8.6 残存高 2.2	右回転クロコ成形。腰部外面～底部右回りの回転直削り。	①還元焰・普 ②オリーブ ③灰色(2.5GY6/1) ④細砂粒・片岩含む	7世紀前半
79	第339図 図取149 10-00111	須恵器蓋 (天井部～口縁部) (口縁ほぼ欠損)	天井径 8.6 残存高 2.6	右回転クロコ成形。天井部外面回転直削り。	①還元焰・普 ②灰色(N4/7) ③粗砂粒	7世紀前半
80	第339図 図取149 10-00112	土師器高坏 (口縁部～底部) (3/4)	口径 13.2 底径 4.9×4.7 器高 4.8	器面やや荒れる。口縁横撫で。体部～底部内面撫で。体部外面直し乍ら、底面不定方向の直削り。	①還元焰・普 ②灰黄色(2.5Y7/2) ③細砂粒	7世紀前半
81	第339図 図取149 10-00113	須恵器高坏 (坏底部～腰部) (残存部の1/2)	胴部径 3.1×3.0 臀部径 推定 10.8 残存高 12.2	自然物掛かる。脚部中位に沈線3条廻り、その下に4カ所づつの三角の透かし設定されるが、上側のものは未直削り。	①還元焰・硬 ②灰色(N6/7) ③細砂粒	6世紀後半
82	第339図 図取149 10-00114	須恵器高坏 (坏底部) (坏底部の1/2)	残存 12.9×6.2 残存高 3.1	回転クロコ成形。底部外面～脚部欠損部に直による透かしの痕跡。	①還元焰・普 ②灰色(10Y6/7) ③粗砂粒	6世紀後半
83	第339図 図取149 10-00115	須恵器高坏 (脚部上位) (破片)	臀部径 推定 16.4 残存高 3.6	回転クロコ成形。残存部上端に直による方形又は三角形の透かしの痕跡残る。	①還元焰・普 ②灰色(N4/7) ③細砂粒	6世紀後半
84	第339図 図取149 10-00116	須恵器高坏 (坏体部～脚部) (頸部付定2/3)	頸部径 3.7×3.6 残存高 5.8	(左)回転クロコ成形。坏底部内面指撫で直。脚部に3カ所の直による透かしの痕跡残る。	①還元焰・普 ②灰色(N6/7) ③細砂粒	6世紀後半
85	第339図 図取149 10-00117	土罍 (一部欠損)	長さ 8.2 口径 1.7×1.65 孔径 0.625×0.615	棒状の工具に粘土を巻き付けて手捏ね様 に成形。作りは粗く整形は不十分。焼成 悪く粗造化。	①酸化焰・やや軟 ②暗灰色(N3/7) ③細砂粒	粗器品

D区出土遺物一覧

No.	図番番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①施すまたは石材等 ②色調 ③胎土	備考
86	第339図 図版149 10-001018	土鏝 (中位欠損)	残存長 7.2 径 1.75×1.7 孔径 0.62×0.575	棒状の工具に粘土を巻き付け、手裡ね様に成形。作りやや悪いが、端部調整される。焼成やや悪い。	①酸化焰・やや軟 ②暗灰色(N3/) ③細砂粒	やや粗悪味
87	第339図 図版149 10-001019	土鏝 (上位欠損)	残存長 6.0 径 1.5×1.35 孔径 0.64×0.535	径5mm程の棒状の工具に粘土を巻き付け、手裡ね様に成形。端部に工具抜き取り時の痕跡残る。	①酸化焰・青 ②淡黄色(10YR7/3) ③細砂粒	
88	第339図 図版149 10-001020	土鏝 (背面1/2剝離)	長さ 6.5 径 1.55×1.45 孔径 0.545×0.495	棒状の工具に粘土を巻き付けて、手裡ね様に成形。外面破損に指痕で。	①酸化焰・青 ②暗灰色(2.5Y5/2) ③細砂粒	
89	第339図 図版149 10-001021	土鏝 (ほぼ完形)	長さ 5.2 径 1.3×1.2 孔径 0.565×0.525	棒状の工具に粘土を巻き付け、手裡ね様に成形。背面にヒビ割れ痕見られ、表面に指文残る。	①酸化焰・やや硬 ②淡黄色(2.5Y8/3) ③細砂粒	
90	第339図 図版149 10-001022	土鏝 (側面一部剝離)	長さ 4.25 径 1.55×1.45 孔径 0.46×0.44	小型の土鏝である。棒状工具に粘土を巻き付け、手裡ね様に成形。工具は下方に抜き取り、下位孔若干広がる。	①酸化焰・青 ②黄灰色(2.5Y6/1) ③細砂粒	若干粗悪味
91	第340図 図版149 10-001023	土鏝 (完形か)	長さ 3.6 径 1.65×1.5 孔径 0.46×0.44	小型の土鏝。やや細みの棒状工具に粘土を巻き付けて成形する。工具は下方に抜き取るが、孔径は7mm程に広がる。	①酸化焰・青 ②暗灰色(N3/) ③細砂粒	
92	第340図 図版149 10-001024	土鏝 (完形)	長さ 3.65 径 1.6×1.6 孔径 0.495×0.48	径4mm弱の棒状の工具に粘土を巻き付け、手裡ね様に成形する小型の製品である。	①酸化焰・青 ②褐色(10YR6/1) ③細砂粒	
93	第340図 図版149 10-001025	土鏝 (上位欠損)	残存長 2.7 径 1.6×1.6 孔径 0.45×0.45	小型の土鏝と思われる。棒状工具に粘土を巻き付けて、手裡ね様に成形。工具は下方に抜き取り孔径が広がる。	①酸化焰・青 ②暗灰色(N3/) ③細砂粒	
93	第340図 図版149 10-001026	土鏝 (下位のみ)	残存長 3.6 径 1.45×1.35 孔径 0.425×4.15	通常型の土鏝の欠損品。棒状工具に粘土を巻き付け、手裡ね様に丁寧に成形。端部も平らに整形される。	①酸化焰・青 ②暗灰色(N3/) ③細砂粒	
94	第340図 図版149 10-001027	土鏝 (下端・上部欠損)	残存長 3.35 径 1.5×1.45 孔径 0.54×0.49	通常型の土鏝の欠損品。棒状工具に粘土を巻き付け、手裡ね様に成形。	①酸化焰・青 ②暗灰色(N3/) ③細砂粒	
95	第340図 図版149 10-001028	土製小玉 (一部剝離)	径 1.1×1.05 厚み 1.0	吸灰による黒色地味。手裡ねで成形。中心をやや外れた位置に径0.3mm以下の孔が針状の工具で穿たれる。	①酸化焰・青 ②暗灰色(N3/) ③精製砂か	
96	第340図 図版149 10-001029	土製小玉 (半側面剝離)	径 1.5 厚み 1.25	吸灰による黒色地味。手裡ねで成形。焼成やや悪い。中心よりやや外れた位置に径1.5mm程の孔が穿たれる。	①酸化焰・やや軟 ②暗灰色(N3/) ③細砂粒	若干粗悪味
97	第340図 図版149 10-001030	女瓦 (欠損品)	残存 9.85×8.1 厚み 1.3	凹面に布目痕残り、凸面は凹面。側面も瓦による割で。	①還元焰・やや軟 ②淡黄色(2.5Y8/3) ③細砂粒	
98	図版149 40-000029	スラグ (1/1)	長さ 5.6 幅 4.45 厚み 3.0 重量 53.2g	鉄分はほとんど含まず軽量。全体に発色が見られる。		
99	第340図 図版164 20-000877	こも瀧み石 (磨石)	長さ 15.2 幅 5.6 厚み 4.55 重量 539g	円盤使用し裏面に研磨面残す。中位やや上寄りの左右・上面に研磨による浅い刻れ部設け、帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②灰白色(7.5Y7/1)	磨石からの転用品
100	第340図 図版164 20-000878	こも瀧み石 (磨石)	長さ 15.15 幅 6.0 厚み 4.7 重量 661g	円盤を用い、表面左右面と裏側左側面に研磨面を持ち、中位やや上寄りに幅2.8cm程の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	磨石からの転用品
101	図版164 20-000879	こも瀧み石 (1/1)	長さ 15.8 幅 8.9 厚み 2.8 重量 623g	やや幅広い円盤を用い中位やや上寄りに幅1.5cm程の帯状の細い摩耗痕一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
102	図版164 20-000880	こも瀧み石 (1/1)	長さ 17.8 幅 8.7 厚み 4.7 重量 1054g	やや大きい円盤を使用する。中位に幅4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明オリブ灰色(5GY7/1)	
103	図版164 20-000881	こも瀧み石 (磨石)	長さ 14.0 幅 7.0 厚み 5.85 重量 788g	円盤を用い、表面右側面と裏面に研磨面を持つ。中位に幅1.8cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰白色(2.5GY8/1)	磨石からの転用品
104	図版164 20-000882	こも瀧み石 (1/1)	長さ 12.6 幅 5.6 厚み 5.8 重量 729g	円盤を用い、中位やや下寄りに幅3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑黄緑泥片岩 ②緑灰色(5G5/1)	

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形成調整等の特徴	構成・石材等の特徴 (①焼成または石材等 ②色調)	備考
105	第340図 図版164 20-000883	こも編み石 (1/1)	長さ 14.5 幅 8.0 厚み 4.7 重量 281g	円礫を用いる。表面の自然面を利用し、 表裏左右に研磨を伴う浅い刻れ部を設け て中に帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(N4/)	
106	第340図 図版149 20-000884	白石 (欠損品)	残存長 10.7 残存 幅 29.5 厚み 3.6 重量 1160g	円礫を用いる。表面に敲打痕残り、下端 縁辺部にも敲打痕が複数見られる。	①輝石 ②緑灰色(5G5/1)	小鍛冶に伴う ものか
107	第340図 図版149 20-000885	磁石 (欠損品)	長さ 12.25 残存幅 6.2 残存厚 3.6 重量 378g	表裏と左右両側に研磨面を持つ。表面の 左側縁部と表面は面が荒れ、削痕が残	①流紋岩 ②灰白色(2.5GY8/1)	
108	図版164 20-000886	こも編み石 (1/1)	長さ 10.6 幅 5.7 厚み 2.25 重量 224g	小型扁平な円礫を用い、左右両側に研磨 を伴う浅い刻れ部を設けて、中に幅3、 5cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①輝石岩 ②緑灰色(10GY5/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	測定値	備考
(4) 取上番号付き集合体資料					
109	11-003576	縄文土器	1	16	中期
110	11-003577	弥生土器	1	27	輪軸痕
111	11-003578	弥生土器	1	4	
112	11-003579	土師器環	9	203	6世紀前半
113	11-003580	土師器環	5	102	6c後半・黒色処理
114	11-003581	土師器環	1	7	6c後半・粉質
115	11-003582	土師器環	27	503	6世紀後半
116	11-003583	土師器環	25	302	7c前半・黒色処理
117	11-003584	土師器環	11	126	7c前半・粉質
118	11-003585	土師器環	51	713	7世紀前半
119	11-003586	土師器環	9	91	7c後半・黒色処理
120	11-003587	土師器環	2	10	7c後半・粉質
121	11-003588	土師器環	12	122	7世紀後半
122	11-003589	土師器環	1	5	
123	11-003590	土師器環口縁	24	86	黒色処理
124	11-003591	土師器環口縁	4	19	粉質
125	11-003592	土師器環口縁	56	390	
126	11-003593	土師器環底部	130	1054	黒色処理
127	11-003594	土師器環底部	13	147	粉質
128	11-003595	土師器環底部	141	1843	
129	11-003596	土師器高杯	2	21	硬い
130	11-003597	土師器高杯口縁	6	195	6世紀後半
131	11-003598	土師器高杯口縁	4	154	7世紀前半・粉質
132	11-003599	土師器高杯口縁	3	218	7世紀前半
133	11-003600	土師器高杯環部	3	63	黒色処理
134	11-003601	土師器高杯環部	13	274	
135	11-003602	土師器高杯脚部	8	162	粉質
136	11-003603	土師器高杯脚部	16	618	
137	11-003604	土師器高杯脚部	8	146	粉質
138	11-003605	土師器高杯脚部	23	385	
139	11-003606	土師器碗	6	198	
140	11-003607	土師器小皿碗	1	27	
141	11-003608	土師器壺口縁	68	1428	
142	11-003609	土師器壺体部	5	63	奈良・平安時代
143	11-003610	土師器壺体部	355	7719	
144	11-003611	土師器壺底部	35	2694	
145	11-003612	土師器小皿壺	7	157	
146	11-003613	土師器瓶口縁	8	355	
147	11-003614	土師器瓶体部	27	777	
148	11-003615	土師器瓶底部	7	202	
149	11-003616	土師片	1	11	
150	11-003617	須恵器蓋	8	97	
151	11-003618	須恵器杯	4	37	
152	11-003619	須恵器環・碗	2	14	平安朝頃

No	資料番号	資料名称等	数量	測定値	備考
153	11-003620	須恵器環	2	9	
154	11-003621	須恵器壺体部	2	26	薄手
155	11-003622	須恵器壺体部	4	202	
156	11-003623	須恵器壺底部	1	52	
157	11-003624	土鏡	1	9	
158	11-003625	カマド構築材	1	42	
159	21-000416	磨石	1	90	
160	21-000417	熟成灰岩	2	66	
(5) 集合体資料					
161	11-003626	縄文土器	6	44	中期
162	11-003627	土師器環	4	35	6世紀前半
163	11-003628	土師器環	3	30	6c後半・粉質
164	11-003629	土師器環	10	123	6世紀後半
165	11-003630	土師器環	15	158	7c前半・黒色処理
166	11-003631	土師器環	5	26	7c前半・粉質
167	11-003632	土師器環	28	207	7世紀前半
168	11-003633	土師器環	13	87	7c後半・黒色処理
169	11-003634	土師器環	10	73	7世紀後半
170	11-003635	土師器環口縁	49	175	黒色処理
171	11-003636	土師器環口縁	14	51	粉質
172	11-003637	土師器環口縁	192	827	
173	11-003638	土師器環底部	122	857	黒色処理
174	11-003639	土師器環底部	25	139	粉質
175	11-003640	土師器環底部	265	1475	
176	11-003641	土師器高杯	1	15	硬い
177	11-003642	土師器高杯環部	1	12	黒色処理
178	11-003643	土師器高杯環部	6	98	
179	11-003644	土師器高杯脚部	11	92	粉質
180	11-003645	土師器高杯脚部	11	128	
181	11-003646	土師器高杯脚部	2	16	黒色処理
182	11-003647	土師器高杯脚部	5	25	粉質
183	11-003648	土師器高杯脚部	14	103	
184	11-003649	土師器碗	1	32	
185	11-003650	土師器小皿碗	4	56	
186	11-003651	土師器壺口縁	42	597	
187	11-003652	土師器壺体部	31	116	奈良・平安時代
188	11-003653	土師器壺体部	388	3692	
189	11-003654	土師器壺底部	12	346	
190	11-003655	土師器小皿壺	2	14	
191	11-003656	土師器瓶口縁	2	30	
192	11-003657	土師器瓶体部	12	264	
193	11-003658	土師器瓶底部	4	90	
194	11-003659	土師片	4	11	
195	11-003660	須恵器蓋	4	44	
196	11-003661	須恵器環	3	29	

D区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備 考	No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備 考
197	11-003662	須恵器環・椀	7	43	平安朝頃	201	11-003666	陶器	2	11	
198	11-003663	須恵器椀	2	11		202	11-003667	土器	4	16	
199	11-003664	須恵器甕体部	2	15	薄手	203	11-003668	カマド構築材	4	20	
200	11-003665	須恵器甕体部	2	32		204	21-000418	熱成成岩	1	6	

10 H-135号住居

No	図面番号 図取番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形 態・成 形・調 整 等 の 特 徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第344図 図版149 10-001031	土師器高坏 (口縁部~底部) (3/4)	口径 推定 15.0 底径 推定 9.65×9.6 器高 7.5	口縁・胴部横溝で、坏体部~底部内面左回りの寛楕で、胴部内面輪痕状残り、指無で、坏体部~胴部外面直削り。	①酸化焰・青 ②黄褐色(2.5YR/3) ③粗砂粒	7世紀後半
2	第344図 図版149 20-000887	白玉	径 1.15×1.05 厚み 0.6 重量 1.24g	上底面切断後研削。図上の下側の刺磨面を除き、側面は縦位に削り。左右・上面を通る円の中心に径1.6mmの穿孔。	①帯石 ②暗緑灰色(10G6/1)	
2	第344図 図版149 20-000888	白玉	径 1.005×1.0 厚み 0.15 重量 0.33g	上面凸で切断後研削。底部水平に奇麗に刺磨後未調整。側面縦位に削り。やや傾った位置に径1.6mmの穿孔。	①帯石 ②暗緑灰色(5G4/1)	
3	図版164 20-000889	こも編み石 (磨石) (表面下位欠損)	長さ 14.8 幅 7.5 厚み 5.2 重量 860g	円盤を用い、左側縁が研磨面を成す。中央やや下寄りに幅3.9cm程の帯状の磨痕帯が一周する。	①安山岩 ②青灰色(5BG5/1)	こも編み石への転用品
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
4	第344図 図版149 10-001032	土師器環 (口縁部~底部) (1/2)	口径 推定 12.0 底径 4.1 器高 3.6	内外面直削り。口縁横溝で、体部~底部内面直削りか、体部外面直し乍らの直削り。底面直削り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(GYR7/6) ③粗砂粒	7世紀前半
5	第344図 図版150 10-001033	土師器環 (口縁部~底部) (1/4)	口径 推定 12.4 底径 推定 7.0 残存高 3.3	内外面直削り。口縁横溝で、体部~底部内面直削り。体部外面直し乍ら、底面概ね一方へ直削り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(7.5YR 7/6) ③粗砂粒	7世紀前半
6	第344図 図版150 10-001034	土師器環 (口縁部~底部) (3/4)	口径 12.3×12.05 底径 6.2 器高 4.0	内外面直削り。口縁横溝で、体部~底部内面直し乍らの直削り。体部外面直し乍ら、底面不定方向の直削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀中葉
7	第344図 図版150 10-001035	土師器環 (口縁部~底部) (3/4)	口径 11.3×11.25 底径 5.15 器高 3.9	口縁横溝で、体部~底部内面直し乍らの直削り。外面右回りの直削り。	①酸化焰・青 ②ぶい褐色(5YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀後半
8	第344図 図版150 10-001036	土師器環 (口縁部~底部) (7/8)	口径 11.7 底径 6.8×4.7 器高 3.8	底面内面直削り。口縁横溝で、体部内面左回りの直削り。体部外面左回り、底面概ね一方へ直削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀後半
9	第344図 図版150 10-001037	土師器環 (口縁部~底部) (2/5)	口径 推定 11.8 底径 推定 5.8 器高 3.4	内面やや厚残。口縁横溝で、体部~底部内面直し乍らの直削り。体部外面直し乍ら、底面概ね一方へ直削り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(7.5YR 7/6) ③粗砂粒	7世紀中葉
10	第344図 図版150 10-001038	土師器高坏 (口縁部~坏底部) (残存部の1/3)	口径 推定 17.2 底径 推定 8.8 器高 3.1	器面やや寛れる。内面放射状の暗文。口縁横溝で、底部外面右回りの直削り。	①酸化焰・青・やや粉質 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
11	第344図 図版150 10-001039	土師器甕 (口縁部~胴部) (残存部の1/4)	口径 推定 20.7 底径 推定 8.2	口縁横溝で、胴部内面横位の直削り。外面上方への直削り。	①酸化焰・硬 ②褐色(5YR6/8) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
12	第344図 図版150 10-001040	土師器小壺 (口縁部~底部) (3/4)	口径 12.2×11.9 底径 5.3×4.5 器高 24.9	口縁横溝で、体部内面横位の直削り。胴部~底部内面一方中心の指無で、体部外面上方への直削り。底面直削り。	①酸化焰・硬 ②褐色(5YR5/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顯著
13	第344図 図版150 10-001041	土師器椀 (口縁部~底部) (1/2)	口径 推定 12.1 底径 7.3×5.4 器高 9.2	内面直削り。口縁横溝で、体部~底部内面左回りの直削り。体部外面右上方へ、底面不定方向への直削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR4/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顯著
14	第344図 図版150 10-001042	須恵器高坏 (口縁部~胴部) (残存部の1/3)	口径 推定 14.0 底径 推定 8.4 残存高 4.4	回転クロコ成形。胴部の外面左回りの回転直削り。底面脚接合時の無で。	①還元焰・やや硬 ②褐色(10YR6/1) ③粗砂粒	6世紀後半
15	第344図 図版150 10-001043	須恵器環 (口縁部~底部) (1/3)	口径 推定 12.0 底径 推定 7.2 器高 3.6	器面直削り。底面内面直削り。口縁横溝で、体部~底部内面直削り。外面直削り。	①還元焰・軟 ②灰白色(7.5H/2) ③粗砂粒	7世紀前半

No	図面番号 図面番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
16	第344図 図面150 10-001044	須恵器高坏 (坏底部～脚部) (残存部2/3)	底径 推定 6.4 頸部径 5.1×4.9 残存高 6.7	回転ロケウロ成形。坏底部内面凹下するの指撫で。脚部内外側横位の指撫で。前後に直線状の透かし1条づつ入る。	①還元焰・青 ②灰色(N5/) ③細砂粒	6世紀後半
18	第344図 図面150 20-000890	白玉 こも編み石 (1/1)	径 1.2×1.05 厚み 0.5 重量 1.1g	上底面切頭残し斜削し、未調整。図上、右側斜削。側面縦位に細かい削り。	①骨石 ②灰白色(N8/)	
19	図面164 20-000891	こも編み石 (1/1)	長さ 13.75 幅 7.6 厚み 3.5 重量 562g	円盤を用いる。中位に幅4cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①石黒絹雲母片岩 ②緑灰色(7.5GY8/1)	
20	第344図 図面164 20-000892	こも編み石 (1/1)	長さ 12.6 幅 4.9 厚み 4.7 重量 485g	円盤を用いる。表裏面に研磨を伴う弱く湾曲した刃部を設け、中位に幅2.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石墨片岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
21	第344図 図面164 20-000893	石皿 (1/1)	長さ 14.2 幅 11.5 厚み 3.15 重量 706g	扁平やや大さめの円盤を用いる。表裏面に研磨見られるが、特に裏面は明確な研磨面を成す。	①流紋岩 ②灰白色(2.5YR/1)	
22	第344図 図面150 20-000894	垂鉢 (右半欠損)	長さ 3.2 残存幅 2.4 厚み 1.35 重量 1.10g	右側の欠損部やや上寄り前後方向の径4mm以下の穿孔。前面に「+」、右側縦位。背面に斜めに溝が彫られる。	①砂岩 ②灰白色(7.5YR/2)	
23	第344図 図面150 40-000030	刀子 (柄部のみか)	残存長 5.2 幅 0.35 厚み 1.4	平面形彫的には柄部の破片と考えられるが、背面に3.5mmの厚みを持って折り合わせて刃部が作り出されている。		
24	第344図 図面150 40-000031	鉄板 (欠損品)	長さ 2.8 幅 2.25 厚み 0.15	右側部欠損し、残存部は鉄状の平面形態を示すが薄い鉄板である。裏面欠損部付近に長方形の木質が残る。		用途不明

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
13	取上番号付き集合袋い資料				
25	11-003669	縄文土器	1	15	前期
26	11-003670	縄文土器	3	65	中期
27	11-003671	土師器環	1	12	6c.後半・黒色処理
28	11-003672	土師器環	3	25	7c.後半・黒色処理
29	11-003673	土師器環	4	33	7世紀後半・粉質
30	11-003674	土師器環	3	31	7世紀後半
31	11-003675	土師器環口縁	6	42	7世紀前半
32	11-003676	土師器環口縁	22	221	7世紀後半
33	11-003677	土師器環口縁	6	35	黒色処理
34	11-003678	土師器環口縁	4	20	粉質
35	11-003679	土師器環口縁	8	84	
36	11-003680	土師器環底部	11	79	黒色処理
37	11-003681	土師器環底部	9	77	粉質
38	11-003682	土師器環底部	65	683	
39	11-003683	土師器高坏頸部	6	90	
40	11-003684	土師器高坏脚部	4	60	
41	11-003685	土師器高坏頸部	2	52	
42	11-003686	土師器輪	3	91	
43	11-003687	土師器壺口縁	41	462	
44	11-003688	土師器壺体部	151	2911	
45	11-003689	土師器壺底部	7	364	
46	11-003690	土師器壺口縁	1	42	
47	11-003691	土師器壺体部	8	208	
48	11-003692	土師器壺底部	1	17	
49	11-003693	須恵器蓋天井部	3	48	
50	11-003694	須恵器環	1	8	
51	11-003695	須恵器・輪口縁	5	32	平安前期
52	11-003696	須恵器・輪口縁	9	65	平安前期
53	11-003697	須恵器壺体部	4	596	
54	11-003698	須恵器高坏体部	1	14	
55	11-003699	須恵器壺底部	1	34	
56	11-003700	羽釜脚部	1	18	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(4)	集合袋い資料				
57	11-003701	縄文土器	6	123	中期
58	11-003702	土師器環	1	7	6世紀後半・軟質
59	11-003703	土師器環	1	9	7c.後半・黒色処理
60	11-003704	土師器環	12	61	7世紀後半・粉質
61	11-003705	土師器環	5	27	7世紀後半
62	11-003706	土師器環口縁	16	110	7世紀前半
63	11-003707	土師器環口縁	19	89	7世紀後半
64	11-003708	土師器環口縁	11	55	黒色処理
65	11-003709	土師器環口縁	10	39	粉質
66	11-003710	土師器環口縁	28	96	
67	11-003711	土師器環底部	27	120	黒色処理
68	11-003712	土師器環底部	27	120	粉質
69	11-003713	土師器環底部	83	453	
70	11-003714	土師器高坏頸部	5	102	
71	11-003715	土師器高坏脚部	8	100	
72	11-003716	土師器高坏頸部	6	43	
73	11-003717	土師器輪	1	20	
74	11-003718	土師器壺口縁	35	1255	
75	11-003719	土師器壺体部	289	2750	
76	11-003720	土師器壺底部	4	159	
77	11-003721	土師器小型壺	1	20	
78	11-003722	土師器壺体部	2	33	
79	11-003723	土師器壺底部	1	18	
80	11-003724	須恵器蓋口縁	2	12	
81	11-003725	須恵器蓋天井部	1	6	
82	11-003726	須恵器環	2	9	
83	11-003727	須恵器・輪口縁	6	48	平安前期
84	11-003728	須恵器・輪底部	1	16	平安前期
85	11-003729	須恵器高坏頸部	2	16	
86	11-003730	須恵器壺体部	1	13	
87	11-003731	焙烙網	1	22	
88	11-003732	粘土塊	2	12	
89	21-000419	熟変成岩	1	14	

D区出土遺物一覧

11 H-136号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土質	備考
(1) 本住居には直接伴わない関連を特定できなかった遺物						
1	第348図 図版150 10-001045	土師器環 (口縁部～底部) (ほぼ完整)	口径 13.4×13.05 底径 8.35×8.1 器高 5.1	口縁・底面やや丸れる。口縁横溝で、体部～底部内面回し乍らの磨擦で、外面回し乍らの磨削り。	①酸化焰・青 ②残黄褐色(10YR8/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	第348図 図版164 20-000895	有溝砥石 (右側縁欠損)	長さ 10.7 残存幅 8.55 厚み 4.3 重量 388g	裏面に窪みを持つ円槽を用いる。表面若干研削し、幅1cm程の溝が1条入る。	①砂岩 ②赤灰色(2.5YR6/1)	
3	図版164 20-000896	有溝砥石 (下半分欠損)	残存長 10.3 幅 4.75 厚み 3.5 重量 173g	裏裏、左右両側面に研削面を持ち、裏裏面に幅7mm程の溝が入る。	①砂岩 ②灰白色(7.5YR/2)	
4	図版150 40-000032	スラブ (1/1)	長さ 4.15 幅 3.7 厚み 2.65 重量 21.9g	あまり発色は見られず、表面の所々に酸化鉄が発生している。		

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
5	11-003733	土師器壺口縁	3	40	奈良・平安時代
6	11-003734	土師器壺体部	15	61	奈良・平安時代
7	11-003735	土師器壺底部	1	34	奈良・平安時代
8	11-003736	須恵環・椀口縁	4	29	平安期頃
9	11-003737	カマド構築材	1	10	
(3) 集合扱い資料					
10	11-003738	土師器環口縁	1	4	
11	11-003739	土師器環底部	1	7	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
12	11-003740	土師器高坏輪部	2	77	
13	11-003741	土師器壺口縁	1	3	奈良・平安時代
14	11-003742	土師器壺口縁	2	11	
15	11-003743	土師器壺体部	16	40	奈良・平安時代
16	11-003744	土師器壺体部	2	16	
17	11-003745	土師器壺底部	1	22	奈良・平安時代
18	11-003746	須恵環・椀口縁	3	7	平安期頃
19	11-003747	カマド構築材	1	3	

12 H-137号住居

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1) 取上番号付き集合扱い資料					
1	11-003748	土師器壺口縁	16	147	奈良・平安時代
2	11-003749	土師器壺体部	82	688	奈良・平安時代
3	11-003750	土師器壺体部	1	8	
4	11-003751	土師器壺底部	3	44	奈良・平安時代
5	11-003752	須恵環・椀	4	48	平安期頃
6	11-003753	須恵環・椀底部	1	36	回転糸切り

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 集合扱い資料					
7	11-003754	土師器壺口縁	3	10	奈良・平安時代
8	11-003755	土師器壺体部	55	201	奈良・平安時代
9	11-003756	須恵環・椀	5	17	平安期頃
10	11-003757	須恵環・椀底部	2	29	回転糸切り
11	11-003758	須恵器壺体部	1	7	

13 H-138号住居

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1) 取上番号付き集合扱い資料					
1	11-003759	土師器環口縁	1	3	
2	11-003760	土師器壺口縁	1	19	奈良・平安時代
3	11-003761	土師器壺体部	1	11	奈良・平安時代

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
4	11-003762	須恵環・椀底部	1	34	回転糸切り
(2) 集合扱い資料					
5	11-003763	土師器壺体部	2	13	奈良・平安時代
6	11-003764	須恵環・椀口縁	1	5	平安期頃

14 H-139号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土質	備考
(1) 本住居に直接伴わないと判断される遺物						
1	第348図 図版150 10-001046	土師器皿 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 16.8 底径 推定 10.0 器高 3.3	器周やや丸れる。口縁横溝で、体部～底部内面回し乍らの磨擦で、体部外面左回りの、底面一方向中心の磨削り。	①酸化焰・青 ②橙色(5YR7/6) ③粗砂粒	8世紀前半
2	第348図 図版150 10-001047	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 12.0 底径 6.1 器高 3.2	口縁横溝で、体部～底部内面左回りの磨擦で、体部外面回し乍らの、底面概一方への磨削り。	①酸化焰・青 ②にぶい橙色(10YR7/4) ③細砂粒	8世紀中葉

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③断土	備考
3	第348図 図版150 10-001048	土部器坪 (口縁部~底部) (1/3)	口径 推定 12.8 底径 推定 11.7 器高 3.5	口縁横溝で、体部~底部内面回し乍らの 距離で、体部外面回し乍ら、底面一方向 中心の窪削り。	①酸化焰・香 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	8世紀中葉
4	第348図 図版151 10-001049	須恵器坪 (口縁部~底部) (1/2)	口径 推定 16.8 底径 推定 11.6 器高 4.8	左回転口口成形。底部内面回し乍らの 数回づつ指撫で、底面窪削り後、手持 ち窪削り。	①還元焰・香 ②灰色(N6/7) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀前半
5	図版164 20-000897	こも編み石 (一部欠損)	長さ 18.1 幅 4.0 厚み 4.55 重量 248 g	細長い円盤を用いる。上位に幅2.5cm程、 下位に幅4.2cm程の2条の帯状の摩耗痕 が一周する。	①安山岩 ②明オリブ灰色 (2.5GY7/1)	
6	図版164 20-000898	こも編み石 (1/1)	長さ 15.55 幅 5.7 厚み 4.15 重量 447 g	円盤を用いる。自然面を利用して幅 2.4 cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	
7	第348図 図版164 20-000899	こも編み石 (裏面上位刻離)	長さ 15.25 幅 4.7 厚み 2.9 重量 384 g	円盤を用いる。下位左側に最打による刻 れ部を設け、幅 2cm程の帯状の摩耗痕が 一周する。	①点紋網雲母石墨片岩 ②暗青灰色(7.5GY5/1)	
8	図版164 20-000900	こも編み石 (1/1)	長さ 15.7 幅 4.6 厚み 2.6 重量 320 g	棒状の円盤を用いる。中位に幅2.0~2.4 cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋網雲母石墨片岩 ②灰色(N5/7)	
9	図版164 20-000901	こも編み石 (1/1)	長さ 16.6 幅 5.3 厚み 3.3 重量 405 g	円盤を用いる。中位に幅4.6cm程の帯状の 摩耗痕が一周する。	①緑線緑泥片岩 ②緑灰色(5G6/1)	
10	図版164 20-000902	こも編み石 (1/1)	長さ 15.1 幅 5.7 厚み 2.15 重量 304 g	板状の円盤を用いる。中位に幅2.9cm程の 帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋網雲母石墨片岩 ②青灰色(5B5/1)	
11	図版164 20-000903	こも編み石 (1/1)	長さ 13.3 幅 5.2 厚み 2.7 重量 308 g	円盤を用いる。左右両側縁に摩耗を伴う 浅い刻れ部を持ち、幅4.1cm程の帯状の摩 耗痕が一周する。	①網雲母石墨片岩 ②暗青灰色(5BG4/1)	
12	図版164 20-000904	こも編み石 (1/1)	長さ 17.6 幅 5.9 厚み 3.7 重量 590 g	円盤を用いる。左側中位に刻離による浅 い刻れ部を設け、幅3.1~3.9cmの帯状の 摩耗痕が一周する。	①網雲母石墨片岩 ②明青灰色(5B7/1)	
13	図版164 20-000905	こも編み石 (1/1)	長さ 13.1 幅 4.7 厚み 2.05 重量 205 g	小型の円盤を用いる。中位に幅3.5cm程の 帯状の摩耗痕が一周する。	①網雲母石墨片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
14	図版164 20-000906	こも編み石 (1/1)	長さ 19.4 幅 6.3 厚み 2.0 重量 565 g	板状の円盤使用。左側縁の中位やや下寄 りの自然の段差を刻れ部として利用し、 幅3.5cm程の帯状の摩耗痕一周。	①緑泥片岩 ②緑灰色(10G6/1)	
15	図版164 20-000907	こも編み石 (1/1)	長さ 16.0 幅 5.8 厚み 3.05 重量 430 g	円盤を用いる。左側縁の中位やや下寄りに 刻離による浅い刻れ部を設け、幅 4.4cm 程の帯状の摩耗痕が一周する。	①網雲母石墨片岩 ②オリブ灰色 (2.5GY6/1)	
16	図版164 20-000908	こも編み石 (下縁部欠損)	残存長さ 15.75 幅 6.1 厚み 3.55 重量 489 g	円盤を用いる。右側縁中位上寄りに刻離 による浅い刻れ部を持ち、幅2.7cm程の帯 状の摩耗痕が一周する。	①点紋網雲母石墨片岩 ②暗青灰色(5BG4/1)	
17	第348図 図版164 20-000909	こも編み石 (1/1)	長さ 15.4 幅 6.0 厚み 2.8 重量 399 g	円盤を用いる。左側縁の自然面等を刻れ部 とし、上位に幅3.7cm、下位に幅 3.4cm程 の摩耗痕がそれぞれ一周する。	①緑泥片岩 ②緑灰色(10G6/1)	
18	図版164 20-000910	こも編み石 (右側刻離)	長さ 16.9 幅 6.2 厚み 2.8 重量 388 g	円盤を用いる。左側縁下位の自然の刻離面 を利用し、幅2.9cm程の帯状の摩耗痕が一 周する。	①網雲母石墨片岩 ②黄灰色(5Y8/3)	
19	図版164 20-000911	こも編み石 (右側刻離)	長さ 14.7 残存幅 5.1 残存厚 4.0 重量 389 g	円盤使用。左側裏面下位に刻離による刻 れ部を持ち、幅3.1cm程の浅い帯状の摩 耗痕が一周する。	①石墨網雲母片岩 ②明褐色灰(7.5YR7/1)	
20	図版164 20-000912	こも編み石 (1/1)	長さ 17.7 幅 4.6 厚み 4.6 重量 560 g	円盤を用いる。左右両側の自然の凹面を 利用し、中位に幅3.4cm程の帯状の摩耗痕 が一周する。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	
22	図版164 20-000913	こも編み石 (砥石)	長さ 14.5 幅 4.4 厚み 2.45 重量 209 g	表裏両側に削り面が残る。右側縁に研磨 面を残し、左右両側面の縁辺部に削り込 みによる刻れが複数設けられる。	①砂岩 ②青灰色(5B6/1)	砥石からの転 用品

D区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成 ②または石材等 ③色調 ④胎土	備考
(2) 本住居に直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
23	第348図 図版151 10-001050	須恵器甕 (胴部～胴部) (破片) 残存長 29.8×15.4 厚み 0.4 残存高 14.9		内面に青濁波文が施され、外面に平印目文残される。	①還元焰・青 ②灰白色(N7/) ③粗砂粒・片岩含む	
24	第348図 図版151 20-000914	不定形石器 (上位欠損)	残存長 8.6 幅 4.85 厚み 1.15 重量 73g	裏面に自然面を残す横長の割片を用いる。図上左右両部の上下縁辺に表面方向から粗い彫割調整が施される。	①硬砂岩 ②オリーブ灰色 (SGY6/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料											
25	11-003765	土師器環	4	64	8世紀前半	36	11-003776	須恵器壺体部	6	458	
26	11-003766	土師器環口縁	3	11		37	11-003777	陶器	1	27	
27	11-003767	土師器環底部	1	19	黒色処理	(4) 集合扱い資料					
28	11-003768	土師器環底部	1	16	粉質	38	11-003778	土師器環底部	2	23	黒色処理
29	11-003769	土師器環底部	1	6		39	11-003779	土師器環底部	4	39	
30	11-003770	土師器甕口縁	4	140	奈良・平安時代	40	11-003780	土師器環口縁	1	17	奈良・平安時代
31	11-003771	土師器甕口縁	2	94		41	11-003781	土師器甕口縁	3	17	
32	11-003772	土師器甕体部	21	491	奈良・平安時代	42	11-003782	土師器甕体部	19	189	奈良・平安時代
33	11-003773	土師器甕体部	12	392		43	11-003783	土師器甕体部	8	105	
34	11-003774	土師器甕底部	1	18		44	11-003784	土師器甕体部	1	15	
35	11-003775	須恵器蓋	1	27		45	11-003785	須恵器蓋	1	6	
						46	11-003786	須恵器環体部	1	3	

15 H-140号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成 ②または石材等 ③色調 ④胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
0	第348図 図版151 10-001051	土師器胴甕 (口縁部～底部) (3/4)	口径 24.5 底径 8.25×8.2 器高 55.7	器面寛れる。口縁横無で、体部～底部内面左回りの寛無で、体部外面横位の寛削り。底面上底で底調整。	①酸化焰・やや軟 ②灰白色(7.5YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 大型の製品
1	第348図 図版151 10-001052	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 12.1 底径 推定 11.2 器高 4.1	内外側吸戻での黒色処理。口縁横無で、体部～底部内面周し午らの寛削り。体部外面周し午ら、底面左回りの寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②灰白色(7.5YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
2	第348図 図版151 10-001053	土師器環 (口縁部～体部) (破片)	残存 9.8×5.8 口径 推定 12.2 残存高 5.15	口縁横無で、体部内面周し午らの寛削り。外面右回りの寛削り。	①酸化焰・硬 ②にぶい灰色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
3	第348図 図版151 10-001054	土師器高環 (口縁部～底部) (口縁1/3欠損)	口径 29.5 裾径 23.0×22.95 器高 26.0	口縁・裾部横無で、体部～底部原態で後底磨き、外面寛削り。脚内面輪積直線し指施で、下底無で、外面原磨き。	①酸化焰・青 ②灰色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半 大型の製品
4	第348図 図版151 10-001055	土師器高環 (口縁部～脚部) (脚部完整)	裾径 15.1 残存高 18.8	器面寛れる。環底部内面無で、脚部内面輪積直線し上半指施で、下半横位の寛削り。脚部無で、外面上直り。脚部無で、外面上直り。	①酸化焰・青・やや粉質 ②灰色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
5	第348図 図版151 10-001056	土師器甕 (口縁部～底部) (7/8)	口径 推定 16.8 底径 6.35×5.8 器高 34.25	口縁横無で、体部内面上方へ寛削り。体部～底部内面縦位の指施で、体部外面寛削り。底面原磨き。	①酸化焰・青 ②灰白色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
6	第348図 図版151 10-001057	土師器甕 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 18.6×18.5 底径 5.7×5.4 器高 36.5	外面胴部以下焼土付着。内面吸戻。底面割削。口縁横無で、体部内面縦位又は横位の指施で、体部外面寛削り。	①酸化焰・青 ②灰黄色(2.5Y6/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
7	第348図 図版151 10-001058	土師器甕 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 26.1×25.4 底径 10.4 器高 30.5	口縁横無で、体部内面縦位の寛削り。体部外面縦位の指施で、体部外面縦位の寛削り。底部内面・底面原磨き。	①酸化焰・やや硬 ②灰色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
8	図版164 20-000915	こもろみ石 (1/1)	長さ 9.9 幅 6.6 厚み 3.8 重量 346g	小型の円盤を用いるが表面荒れ、凹凸顕著。中位を幅4.1cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①火山岩 ②灰色(N5/)	
9	図版164 20-000916	こもろみ石 (1/1)	長さ 10.6 幅 5.7 厚み 1.6 重量 139g	小型、板状の円盤使用する。中位に幅2.9cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②明オリーブ灰色 (SGY7/1)	

No	図面番号 図鑑番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①構成または石材等 の色調 ②胎土	備考
10	図版164 20-000917	こも編み石 (1/1)	長さ 12.4 幅 4.8 厚み 2.2 重量 236 g	小型の円盤を用い、左右両側の自然の凹面を列れ部として利用し、幅2.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石墨片岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
11	図版164 20-000918	こも編み石 (1/1)	長さ 10.0 幅 6.45 厚み 2.1 重量 263 g	小型の円盤を用いる。中に幅3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①紅麻絹雲母石墨片岩 ②灰色(N6/)	
12	図版164 20-000919	こも編み石 (1/1)	長さ 11.6 幅 7.1 厚み 2.2 重量 285 g	やや扁平な小型の円盤を用いる。中に幅3.2cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①絹雲母石墨片岩 ②緑灰色(10G5/1)	
13	図版164 20-000920	こも編み石 (表面下部剝離)	残存長 16.05 幅 8.3 厚み 3.45 重量 531 g	円盤を用い、上半部を幅4.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋絹雲母石墨片岩 ②青灰色(5BG5/1)	
14	図版164 20-000921	こも編み石 (1/1)	長さ 11.7 幅 6.3 厚み 2.15 重量 173 g	小型でやや扁平な円盤使用。右側縁中位やや下寄りに剝離による列れ部を設け、幅3.4cm程の摩耗痕一周する。	①砂岩 ②浅黄褐色(2.5Y7/4)	
15	図版164 20-000922	こも編み石 (1/1)	長さ 12.35 幅 6.2 厚み 2.3 重量 240 g	裏面剝離する小型の円盤使用。中位やや上の左右両側に自然面を利用した列れ部を持ち、幅2.7cm程の摩耗痕一周。	①点紋絹雲母石墨片岩 ②青灰色(5B5/1)	
16	図版164 20-000923	こも編み石 (1/1)	長さ 10.7 幅 6.5 厚み 3.3 重量 238 g	小型の円盤を用いる。中に幅2.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②黄褐色(2.5Y8/3)	
17	図版164 20-000924	こも編み石 (1/1)	長さ 10.3 幅 5.1 厚み 2.3 重量 143 g	右側縁に自然の凹面を持つ小型の円盤を用いる。中に幅3.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②浅黄褐色(5Y8/3)	
18	図版164 20-000925	こも編み石 (1/1)	長さ 10.2 幅 5.9 厚み 2.75 重量 161 g	小型の円盤使用。中位やや下寄りに幅3.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰白色(5Y8/2)	
19	図版164 20-000926	こも編み石 (1/1)	長さ 14.2 幅 8.4 厚み 2.45 重量 585 g	板状の円盤を用いる。中に幅2.9cm程の帯状の強い摩耗痕が一周する。	①点紋絹雲母石墨片岩 ②緑灰色(10G5/1)	
20	第354図 図版164 20-000927	こも編み石 (1/1)	長さ 11.9 幅 6.05 厚み 2.65 重量 231 g	小型の円盤使用。左右両側縁の中位に明確な列れ部が設けられ、幅2cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②浅黄褐色(10YR8/4)	
21	図版164 20-000928	こも編み石 (1/1)	長さ 9.9 幅 5.7 厚み 2.2 重量 185 g	小型扁平な円盤を用い、中位両側の自然の凹面を列れ部として利用し、幅2.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②浅黄褐色(2.5Y7/4)	
22	図版164 20-000929	こも編み石 (1/1)	長さ 16.2 幅 7.55 厚み 5.0 重量 916 g	円盤を用いる。中位やや上寄りに幅1.8~2.7cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②紫灰色(5P5/1)	
23	図版164 20-000930	こも編み石 (1/1)	長さ 15.0 幅 7.5 厚み 4.4 重量 826 g	円盤を用いる。右側縁中位の弱い凹面を利用して、幅2.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	
24	図版164 20-000931	こも編み石 (左側部一部欠損)	長さ 14.4 幅 6.7 厚み 3.85 重量 531 g	円盤を用いる。中に幅3.1cm程の帯状の摩耗痕一周し、右側縁辺が若干削られる。	①絹雲母石墨片岩 ②青灰色(5B5/1)	
25	図版164 20-000932	こも編み石 (右側縁一部剝離)	長さ 18.45 幅 7.35 厚み 5.15 重量 649 g	やや大型の円盤を用いる。左側中位の自然の凹面を列れ部として利用し、幅1.6~2.7cmの帯状の摩耗痕一周する。	①砂岩 ②灰白色(5Y8/2)	
26	図版164 20-000933	こも編み石 (磨石)	長さ 15.45 幅 7.6 厚み 4.8 重量 861 g	円盤を用い、表面に研磨面を残す。中位やや上寄りに幅3.1cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(5Y5/1)	磨石からの転用品
27	図版164 20-000934	こも編み石 (磨石)	長さ 15.3 幅 8.9 厚み 4.7 重量 992 g	やや幅広い円盤使用。表面下に研磨面を残し、中に幅2.2cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	磨石からの転用品
28	第354図 図版164 20-000935	こも編み石 (磨石)	長さ 15.9 幅 7.7 厚み 3.4 重量 895 g	円盤使用。裏面に研磨面を残し、表面には縦位の磨痕も残る。上下両端剝離調整され、中に帯状の摩耗痕も残る。	①輝緑岩 ②緑灰色(5G5/1)	磨石からの転用品
29	図版164 20-000936	こも編み石 (1/1)	長さ 17.85 幅 6.75 厚み 3.5 重量 702 g	円盤を用い裏面に磨打痕残る。右側縁中位やや上寄りに剝離による小さい列れ部を持ち、幅2.6cm程の摩耗痕一周。	①点紋絹雲母石墨片岩 ②灰色(10Y6/1)	磨石からの転用品か

D区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色面 ③面土	備考
30	図版164 20-000937	こも編み石 (磨石)	長さ 13.5 幅 7.5 厚み 3.9 重量 567g	やや小型の円盤を用い、表面下半部に研磨面を残す。中に幅1.9cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②緑褐色(7.5GY8/1)	磨石からの転用品
31	図版164 20-000938	こも編み石 (左右部欠損)	長さ 13.2 幅 4.7 厚み 3.5 重量 382g	角材状の円盤を使用する。中に幅 2.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①石華雲母片岩 ②灰色(7.5Y6/1)	
32	図版164 20-000939	こも編み石 (磨石)	長さ 14.4 幅 7.7 厚み 3.6 重量 687g	円盤を用い、表面に研磨面を残す。右側面の自然の湾曲を利用し、中位やや下位に幅2.3cm程の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(10GY6/1)	磨石からの転用品
33	図版164 20-000940	こも編み石 (磨石)	長さ 15.5 幅 7.7 厚み 5.3 重量 925g	円盤使用。表面と右側面に研磨面を残す。上位右側の自然の剥離面を研磨して利用し、幅3.8cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②灰色(5Y6/1)	磨石からの転用品
34	第354図 図版164 20-000941	こも編み石	長さ 17.7 幅 8.7 厚み 4.7 重量 1165g	やや大型の円盤を用いる。中位やや下寄りに幅4.4～5.3cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①緑泥片岩 ②緑灰色(SG6/1)	
35	図版151 40-000033	鎌か (柄部欠損)	残存長 5.7(柄部 1.9、刃部 3.8) 幅 2.8 厚み 0.3	刃上左が柄部、右側が刃部。刃部は短い。柄部と刃部背面は厚さ3mmで刃部は下側の刃に向かい薄くなる。		異形の鎌と思われる。
(2) 本住居には直接伴わないか項を特定できなかった遺物						
36	第354図 図版164 20-000942	磨石 (上半部欠損)	残存長 10.0 残存 幅 8.2 残存厚 5.5 重量 640g	円盤を用いる。右側面と裏面に研磨面を持つ。	①凝灰岩 ②灰色(SGY8/1)	被熱痕あり
37	図版164 20-000943	磨石 (上半部欠損)	残存長 7.5 幅 4.3 残存厚 2.3 重量 65g	円盤を用い、表面に明確な研磨面を残す。	①砂岩 ②灰白色(7.5Y8/2)	
38	図版164 20-000944	磨石	長さ 7.55 幅 6.2 厚み 3.25 重量 266g	直方体様の円盤を用いる。表面と左側面に研磨面を残す。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (5GY6/3)	
39	図版164 20-000945	磨石	長さ 5.5 幅 4.75 厚み 1.1 重量 34g	扁平な円盤を用い、表面に研磨面を残す。	①砂岩 ②淡黄色(5Y8/3)	
40	図版164 20-000946	こも編み石 (上半部)	残存長 11.25 幅 6.5 厚み 4.8 重量 632g	円盤を用い、左側面に敲打、右側面に研磨面を伴う浅い切れ部を持ち、切断面にかけて幅3.4cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
41	図版164 20-000947	こも編み石	長さ 15.0 幅 7.5 厚み 4.8 重量 843g	円盤を用い、左右両側の自然の凹面を利用し、中位に幅 3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY5/1)	
42	図版164 20-000948	こも編み石 (上位欠損)	残存長 12.3 幅 4.6 厚み 3.7 重量 376g	円盤を用いる。残存部中位の表裏及び左側面の自然の凹面を切れ部として利用し、幅2.2cm程の摩耗痕一周する。	①緑泥片岩 ②緑灰色(SG6/1)	
43	図版164 20-000949	こも編み石	長さ 23.1 幅 7.4 厚み 4.3 重量 1189g	大型の円盤使用。中位上の左右両側縁に敲打で切れ部作り、幅3.6cm程の、更に下に捺して幅6cmの摩耗痕一周。	①点紋絹雲母石片岩 ②青灰色(10BG5/1)	
44	第354図 図版164 20-000950	こも編み石	長さ 17.65 幅 8.5 厚み 3.6 重量 815g	円盤を用いる。左側縁に研磨、右側中位上寄りに剣離による浅い切れ部を持ち、帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋絹雲母石片岩 ②青灰色(5BG5/1)	
45	図版164 20-000951	こも編み石	長さ 14.9 幅 7.1 厚み 2.2 重量 394g	やや扁平な円盤使用。左側縁中位と右側縁下位に剣離による浅い切れ部持ち、下位に幅 3cm程の摩耗痕一周する。	①絹雲母石片岩 ②青灰色(5B6/1)	
46	第354図 図版164 20-000952	こも編み石	長さ 12.4 幅 8.1 厚み 4.1 重量 601g	小型の円盤を用いる。左側中位の自然面を研磨した浅い切れ部を持ち、幅 3.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①凝灰岩 ②灰白色(7.5Y8/2)	
47	図版164 20-000953	こも編み石 (下部欠損)	残存長 15.9 幅 5.1 厚み 2.2 重量 192g	左側が欠損した円盤を用い、幅の狭くなる中位やや上寄りに幅2.1cm程、下位に幅 2.5cm程の帯状の摩耗痕一周。	①砂岩 ②淡黄色(5Y8/3)	
48	図版164 20-000954	こも編み石 (裏面上部欠損)	残存長 14.95 幅 6.0 厚み 2.65 重量 333g	表面下位の剣離した円盤使用。右側中位やや上に自然面を研磨した浅い切れ部を持ち、幅3.4cm程の摩耗痕一周。	①絹雲母石片岩 ②明オリーブ灰色 (5GY7/3)	

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
49	図版164 20-000955	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 12.25 幅 6.1 厚み 2.0 重量 190 g	円盤を用い、裏研磨される。表面及び左側縁の凹面を利用し、中位下寄りにより、2.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②浅黄色(2.5Y7/4)	
50	図版164 20-000956	こも編み石 (左側縁部欠損)	残存長 10.3 幅 5.3 厚み 1.8 重量 96 g	円盤を用いる。裏面の凹凸を利用し、中位に幅3.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰白色(5Y7/2)	
51	図版164 20-000957	こも編み石 (1/1)	長さ 14.15 幅 6.4 厚み 2.7 重量 474 g	円盤を用いる。中位やや上寄りに幅 4.4 cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①珎岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
52	図版164 20-000958	こも編み石 (1/1)	長さ 14.75 幅 7.1 厚み 4.0 重量 600 g	円盤を用いる。中位やや上寄りの左右両側の自然面を割れ部として利用し、幅 2 cm程の弱い摩耗痕が廻る。	①耐貫石黒片岩 ②緑灰色(10GY8/1)	
53	図版164 20-000959	こも編み石 (1/1)	長さ 13.4 幅 7.5 厚み 4.75 重量 749 g	円盤を用い、左右両側中位に敲打による割れ部を設ける。幅2.8cm程の帯状の摩耗痕が見られる。	①角閃岩 ②青灰色(5BG5/1)	下位面敲打痕の凹凸が荒れる。
54	図版164 20-000960	こも編み石 (1/1)	長さ 10.3 幅 8.0 厚み 5.05 重量 499 g	下側の円盤使用。左側の自然の割れと裏面の自然の段を利用し、中位に幅2.1~2.6cmの帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②黄灰色(2.5Y6/1)	
55	図版164 20-000961	こも編み石 (1/1)	長さ 13.7 幅 6.1 厚み 5.0 重量 611 g	横断面三角形を呈する円盤を用い、中位に幅3.3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②緑灰色(10GY5/1)	
56	図版164 20-000962	こも編み石 (1/1)	長さ 17.8 幅 9.6 厚み 4.2 重量 1007 g	円盤を用いる。中位に幅2.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②オリーブ灰色(5Y7/4)	
57	第355図 図版153 40-000034	鏝 (基端部欠損)	残存長 6.2 幅 2.7 厚み 0.35	基部の厚みは3.5mm程で均質であり、基部から先端に向かって薄くなる。基部厚みは3mm程で外側は刃部状を呈する。		中世
58	第355図 図版153 40-000035	鏝 (先端部欠損)	長さ 11.8 幅 2.7 厚み 0.2	身は直線的で刃部は若干内湾し、先端は下方に湾曲する。柄装着部は身に対しほぼ直角を成す。		古墳時代後期
59	図版153 40-000036	スラブ (一部欠損)	長さ 10.6 幅 8.0 厚み 3.5 重量 110 g	変色は多く見られない。ガラス質の物が主体と思われるが、表面は酸化鉄が粉状に見られる。		
60	第354図 図版151 10-001059	縄文土器深鉢 (口縁部) (破片)	残存 4.0×2.45 厚み 0.6	口唇部に原体Rの捺左回りに施され、外面は口唇端部付近より原体Rの捺左縦位に施される。	①青 ②浅黄褐色(10YR6/4) ③細砂粒	早期 捺左文系
61	第354図 図版151 10-001060	土師器深鉢 (口縁部～底部) (7/8)	口径 13.9 底径 5.15×4.7 器高 5.2	口縁横撫で、体部内面回し乍らの寛撫で。底部内面概ね一方への捩撫で。体部外面右回り、底面一方中心の寛削り。	①酸化焰・青 ②浅褐色(2.5Y7/3) ③細砂粒・片岩含む	6世紀前半
62	第354図 図版151 10-001061	土師器深鉢 (口縁部～底部) (3/5)	口径 12.85 底径 9.15 器高 4.15	内外面染灰の黒色処理。口縁横撫で、体部～底部内面寛撫でで中心指撫で。体部外面回し乍ら、底面2方へ寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5Y6/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
63	第354図 図版152 10-001062	土師器深鉢 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 13.1 底径 10.6 器高 3.5	内外面染灰の黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの寛撫で。体部外面回し乍ら、底面一方へ寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
64	第354図 図版152 10-001063	土師器深鉢 (口縁部～底部) (破片)	口径 推定 12.3 底径 推定 9.6 器高 4.2	内外面染灰による黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面寛撫で。体部外面回し乍ら、底面一方への寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
65	第354図 図版152 10-001064	土師器深鉢 (口縁部～底部) (破片)	残存 6.9×7.0 口径 推定 13.1 器高 4.2	内外面(吸灰で)の黒色処理口縁横撫で。体部～底部回し乍らの寛撫で。体部外面回し乍ら、底面一方中心の寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR6/6) ③細砂粒・片岩含む	A.D.600年前後
66	第354図 図版152 10-001065	土師器深鉢 (口縁部～底部) (破片)	残存 9.75×5.15 口径 推定 12.1 残存高 3.9	内外面染灰による黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外面左回り、底面一方中心の寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/4) ③細砂粒	7世紀前半
67	第355図 図版152 10-001066	土師器高坏 (口縁部～片蓋部) (残存部の1/4)	口径 推定 18.0 残存高 5.5	外面吸灰による黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外面回し乍ら、底面縦位の寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/8) ③細砂粒	6世紀後半
68	第355図 図版152 10-001067	土師器深鉢 (口縁部～胴部) (残存部の1/4)	口径 推定 19.8 残存高 23.0	口縁部横撫で。体部内面縦位の寛撫で。体部外面上方への寛削り。	①酸化焰・青 ②浅黄色(2.5Y7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半

D区出土遺物一覧

No.	図面番号 資料番号 図録番号	名称 (残存部位)	測定値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①構成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
69	第3558図 図版152 10-001068	土師器胴蓋 (口縁部～底部) (7/8)	口徑 推定 23.7 底径 9.4×9.2 器高 29.7	胴部内外面丸れ、体部上平外面僅存。 口縁横撫で、体部内面左方へ置撫で、外 面左上方へ置刷り。底面調整。	①酸化焰・やや硬 ②黄褐色(10YR8/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半 体部下被熱
70	第3558図 図版152 10-001069	土師器胴蓋 (口縁部～腰部) (残存部の1/2)	口徑 19.8×19.1 最大径 推定 31.6 残存高 30.2	内面咬込。外面やや丸れる。口縁横撫で。 体部内面左方へ置撫で、外面左方へ置刷 り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
71	第3558図 図版152 10-001070	土師器胴蓋 (腰部～底部) (残存部ほぼ充分)	底径 6.4×6.3 残高 4.3	腰部内面回し乍らの置撫で、中央は回 し乍らの指撫で。腰部外面回し乍らの、 底面概ね一方向への置刷り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	6～7世紀
72	第3558図 図版152 10-001071	土師器蓋 (口縁部～底部) (大破片3片他)	口徑 推定 30.0 底径 推定 12.1 残存高 24.7以上	綜合平胎。口縁横撫で、体部内面左方へ 置撫で後縦位の置刷り、外面下方へ置刷 り。底面指撫で。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
73	第3558図 図版152 10-001072	土師器小型蓋 (口縁部～底部) (1/2)	口徑 推定 16.2 底径 6.5×6.0 器高 14.8	口縁横撫で、体部内面右方へ置撫で、腰 ～底部内面回し乍ら指撫で。体部外面置 刷り又指撫で。底面一方へ置刷り。	①酸化焰・青 ②に よい褐色(5YR8/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱灰。内面に 炭化物付着
74	第3558図 図版152 10-001073	土師器小型蓋 (口縁部～腰部) (残存部の3/4)	口徑 14.2×14.2 残存高 15.8	腰部内面丸れる。口縁横撫で。体部内面 置撫で、外面上方への置刷り。	①酸化焰・やや硬 ② によい褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
75	第3558図 図版152 10-001074	土師器小型蓋 (口縁部～底部) (2/3)	口徑 推定 10.6 底径 7.4×5.9 器高 11.0	底面やや丸れる。口縁横撫で。体部～底 部内面回りの置撫で。体部外面横位の 置刷り。底面置刷りか。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀
76	第3558図 図版152 10-001075	土師器筒 (口縁部～体部) (破片)	残存 5.15×6.2 残存高 6.0	内面咬込による黒色処理。口縁横撫で。 体部内面横位の置撫で後、縦位の指撫で。 外面左方へ置刷り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か
77	第3558図 図版152 10-001076	土師器蓋 (口縁部～胴部) (残存部の1/4)	口徑残存19.0 残存高 6.6	口縁部、コの字状口縁で横撫で。胴部内 面左方へ置撫で、外面横位の置刷り。割 れ後被熱の痕跡あり。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒	9世紀前半
78	第3558図 図版152 10-001077	須恵器環 (口縁部～底部) (2/3)	底径 6.1 残存高 3.3	口唇部欠損。右回転クロコ成形。腰部外 面下半～底面左回りの回転置刷り。	①還元焰・青 ②灰白色(2.5GY8/1) ③粗砂粒	7世紀後半
79	第3558図 図版152 10-001078	須恵器蓋 (天井部～口縁部) (破片)	残存 8.9×4.85 口徑 推定 14.4 残存高 3.8	左回転クロコ成形。口唇部に段を有する。	①還元焰・硬 ②灰色(N4/7) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
80	第3558図 図版152 10-001079	須恵器長頸壺か (胴部) (残存部の1/2)	径 5.7 残存高 5.3	回転クロコ成形。	①還元焰・青 ②灰白色(7.5Y8/2) ③粗砂粒	6世紀後半
81	第3558図 図版152 10-001080	須恵器蓋 (腰部～底部) (破片)	厚み 1.2 残存高 9.2	内面青海波文が施された後指撫で、外面 平行印目が施された後撫で。口縁部外面 折り返し、横位の置撫で。	①還元焰・青 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗砂粒	6世紀後半
82	第3558図 図版153 10-001081	須恵器蓋 (口縁部～胴部) (残存部の1/4)	口徑 推定 22.6 残存高 9.3	胴部の内面青海波文施され、外面平行印 目文残る。	①還元焰・やや硬 ②灰色(N6/7) ③粗砂粒	6世紀後半
83	第3558図 図版153 10-001082	土師器蓋 (口縁部～腰部) (2/3)	口徑 18.5×17.3 残存高 32.6	内外面置撫で丸れる。口縁横撫で。体部内 面縦位の置撫で。体部外面輪痕残し、 上方への置刷り。	①酸化焰・青 ②に よい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 下半部被熱灰 顯著
84	第3558図 図版153 10-001083	須恵器蓋 (腰部～底部) (胴部の1/4)	底径 推定 14.2 残存高 8.9	腰部外面～底面横土付着。腰部内外面横 位の撫で。底面調整。	①還元焰・やや軟 ②明オリブ灰色(2.5 GY7/1) ③粗砂粒	6世紀後半

No.	資料番号	資料名称等	数量	量目	備考
③ 取上番号付き集合品イ資料					
85	11-003787	縄文土器	3	71	中期
86	11-003788	土師器環	2	25	6世紀前半
87	11-003789	土師器環	2	10	6c後半・黒色処理
88	11-003790	土師器環	2	31	6世紀後半
89	11-003791	土師器環	1	21	7c前半・黒色処理
90	11-003792	土師器環	2	14	7世紀前半
91	11-003793	土師器環	1	11	7世紀後半
92	11-003794	土師器環	1	8	奈良時代頃

No.	資料番号	資料名称等	数量	量目	備考
93	11-003795	土師器環口縁	1	3	黒色処理
94	11-003796	土師器環口縁	1	5	粉質
95	11-003797	土師器環口縁	3	10	
96	11-003798	土師器環底部	19	184	黒色処理
97	11-003799	土師器環底部	19	146	
98	11-003800	土師器高環	1	73	
99	11-003801	土師器高環脚部	1	11	
100	11-003802	土師器筒	1	20	
101	11-003803	土師器蓋口縁	1	13	奈良・平安時代

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
102	11-003804	土師器壺口縁	30	952	
103	11-003805	土師器壺体部	14	88	奈良・平安時代
104	11-003806	土師器壺体部	106	1464	
105	11-003807	土師器壺底部	1	28	奈良・平安時代
106	11-003808	土師器壺底部	11	755	
107	11-003809	土師器壺体部	8	274	
108	11-003810	土師器壺底部	3	26	
109	11-003811	須恵環・胸口縁	14	115	平安朝頃
110	11-003812	須恵環・胸口縁	2	79	平安朝頃・高台付
111	11-003813	須恵器高杯	2	88	超軟質一括
112	11-003814	須恵器壺口縁	6	322	
113	11-003815	須恵器壺体部	3	29	軟質
114	11-003816	須恵器壺体部	19	404	薄手
115	11-003817	須恵器壺体部	39	1998	
116	11-003818	須恵器壺底部	6	615	
117	11-003819	須恵長頸壺口縁	3	10	
118	11-003820	須恵長頸壺体部	2	34	
119	11-003821	粘土塊	2	38	
120	21-000420	熟變成岩	5	503	
121	21-000421	チャート	1	68	
44	集合銀い資料				
122	11-003822	縄文土器	12	229	中期
123	11-003823	土師器環	2	33	6世紀前半
124	11-003824	土師器環	2	26	6c.後半・黒色処理
125	11-003825	土師器環	5	60	6世紀後半
126	11-003826	土師器環	3	45	7c.前半・黒色処理
127	11-003827	土師器環	4	28	7世紀前半
128	11-003828	土師器環	1	3	7世紀後半
129	11-003829	土師器環	5	40	奈良時代頃
130	11-003830	土師器環口縁	17	66	黒色処理

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
131	11-003831	土師器環口縁	1	4	赤漆
132	11-003832	土師器環口縁	5	24	粉質
133	11-003833	土師器環口縁	27	114	
134	11-003834	土師器環底部	68	387	黒色処理
135	11-003835	土師器環底部	1	20	粉質
136	11-003836	土師器環底部	44	266	
137	11-003837	土師器高杯脚部	6	181	
138	11-003838	土師器壺	5	106	
139	11-003839	土師器壺口縁	3	23	奈良・平安時代
140	11-003840	土師器壺口縁	34	472	
141	11-003841	土師器壺体部	64	310	奈良・平安時代
142	11-003842	土師器壺体部	168	1686	
143	11-003843	土師器壺底部	2	21	奈良・平安時代
144	11-003844	土師器壺底部	5	595	
145	11-003845	土師器壺体部	8	83	
146	11-003846	須恵器環	1	9	
147	11-003847	須恵器環・胸	18	128	平安朝頃
148	11-003848	須恵環・板底部	1	6	平安朝頃・高台付
149	11-003849	須恵器高杯	2	55	超軟質一括
150	11-003850	須恵器壺口縁	4	60	
151	11-003851	須恵器壺体部	2	52	軟質
152	11-003852	須恵器壺体部	13	192	薄手
153	11-003853	須恵器壺体部	9	340	
154	11-003854	須恵器壺底部	4	194	
155	11-003855	須恵長頸壺口縁	1	30	
156	11-003856	須恵長頸壺頸部	2	18	
157	11-003857	焙烙板	1	27	
158	11-003858	粘土塊	4	51	
159	21-000422	熟變成岩	5	123	

16 H-141号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 (残存部位) 称 (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第358回 図版153 10-001084	土師器胴張環 (口縁部～底部)	口径 推定15.5 底径 8.3×6.8 器高 30.4	口縁横溝で、外面一部輪痕残る。体～底部内面左回りの荒削で、体部外面上方、腰部右下、底面右回りの荒削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5Y6/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	図版164 20-000963	こも編み石 (1/1)	長さ 12.4 幅 5.8 厚み 3.7 重量 327g	やや小型の円盤を用い、左側縁の自然の湾曲を利部として利用し、中に幅4.1cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰白色(5Y7/1)	
3	図版164 20-000964	こも編み石 (1/1)	長さ 12.7 幅 4.6 厚み 4.1 重量 364g	やや小型、角材状の円盤を用いる。中に幅3.2cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①流紋岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
4	図版164 20-000965	こも編み石 (1/1)	長さ 11.1 幅 4.6 厚み 3.0 重量 235g	やや小型の円盤を用いる。中に幅2.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①網雲母片麻片岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	
5	図版164 20-000966	こも編み石 (1/1)	長さ 14.1 幅 5.5 厚み 3.8 重量 475g	円盤を用いる。右側縁中に摩耗を伴う浅い刻れ部を持ち、幅2.6cm程のしっかりした摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②緑灰色(10GY5/1)	
6	図版164 20-000967	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 14.5 幅 5.9 厚み 3.6 重量 429g	円盤を用い、裏面に研削面残る。中に幅2.3cm程、下に幅1.5cm程の帯状の摩耗痕がそれぞれ一周する。	①安山岩 ②オリブ灰色 (2.5GY5/1)	磨石からの転用品
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
7	図版164 20-000968	磨石 (上半部欠損)	残存長 5.7 幅 6.6 厚み 3.1 重量 156g	円盤を用いる。裏面に研削面を残し、下端部表裏にも小さな研削面残る。	①安山岩 ②灰白色(10Y7/1)	
8	第358回 図版153 10-001085	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 11.6 底径 5.65 器高 4.7	口縁横溝で、体部～底部内面回し乍らの荒削で、体部外面左回りの、底面不定向へ向の荒削り。	①酸化焰・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒	A.D.600年前後

D区出土遺物一覧

No.	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
9	第358図 図版153 10-001086	土師器杯 (口縁部~底部) (3/4)	口径 12.0×11.7 底径 5.1 器高 3.95	内面黒漆塗布の痕跡。口縁横撫で。体部~底部内面回し乍らの寛撫で。体部外面左回り、底面一方中心の寛撫り。	①酸化焰・やや軟 ② ③黄褐色(10YR7/0) ③細砂粒	7世紀前半
10	第358図 図版153 10-001087	土師器杯 (口縁部~底部) (3/4)	口径 11.15 底径 3.9×3.7 器高 3.9	器面風化。口縁横撫で。体部~底部内面撫で調整か。体部外面回し乍ら、底面不定方向への寛撫り。	①酸化焰・やや軟 ② ③黄褐色(5YR7/4) ③細砂粒	7世紀後半
11	第358図 図版153 10-001088	土師器杯 (口縁部~底部) (1/2)	口径 10.8 底径 5.5 器高 4.5	器面風化。口縁横撫で。体部~底部内面寛撫で。体部外面回し乍ら、底面概ね一方への寛撫り。	①酸化焰・やや軟・やや粉質 ②褐色(7.5YR 7/9) ③細砂粒	7世紀前半
12	第358図 図版153 10-001089	土師器壺 (口縁部~肩部) (残存部の1/4)	口径 推定 18.2 残存高 8.3	口縁横撫で。肩部内面左方への寛撫で、外面上方への寛撫り。	①酸化焰・硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀後半
13	第358図 図版164 20-000969	こもろみ石 (裏面一部新離)	長さ 12.3 幅 5.6 厚み 3.3 重量 340g	円礫を用いる。表面上部端と裏面下部端が新離される。下に帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋副雲母石礫片岩 ②緑灰色(5G5/1)	
14	図版164 20-000970	こもろみ石 (1/1)	長さ 12.0 幅 4.1 厚み 2.7 重量 207g	小型の円礫を用いる。中位下寄りの左側縁の自然の段差を利用し、幅1.2cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①紅葉副雲母石礫片岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	
15	図版164 20-000971	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.3 幅 4.4 厚み 4.0 重量 397g	やや小型、角柱状の円礫を用いる。上位に2cm程、下に幅1.4cm程の帯状の摩耗痕がそれぞれ一周する。	①緑葉緑泥片岩 ②緑灰色(5G6/1)	
16	第358図 図版164 20-000972	こもろみ石 (1/1)	長さ 11.8 幅 5.05 厚み 3.2 重量 246g	円礫を用いる。左右両側中位新離による浅い割れ部を設け、帯状の摩耗痕が斜めに一周する。	①安山岩 ②明オリープ灰色(SGY7/1)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3)	取上番号付	集合扱い資料			
17	11-003859	縄文土器	1	17	前期
18	11-003860	土師器杯	1	12	6c.後半・黒色処理
19	11-003861	土師器杯	1	14	6世紀後半
20	11-003862	土師器杯	3	44	7世紀前半
21	11-003863	土師器杯	1	18	7世紀後半
22	11-003864	土師器杯	1	55	8世紀前半
23	11-003865	土師器杯口縁	2	18	粉質
24	11-003866	土師器杯底部	2	10	黒色処理
25	11-003867	土師器杯底部	1	20	粉質
26	11-003868	土師器杯底部	3	92	
27	11-003869	土師器高坏胴部	1	53	
28	11-003870	土師器高坏胴部	3	23	
29	11-003871	土師器高坏胴部	1	10	
30	11-003872	土師器壺口縁	5	181	薄手
31	11-003873	土師器壺口縁	6	264	
32	11-003874	土師器壺体部	44	780	薄手
33	11-003875	土師器壺体部	21	464	
34	11-003876	瓦	1	145	
35	21-000423	流紋岩	1	49	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(4)	集合扱い資料				
36	11-003877	土師器杯	1	5	7世紀前半・軟質
37	11-003878	土師器杯	11	83	7世紀前半
38	11-003879	土師器杯	2	11	
39	11-003880	土師器杯口縁	7	16	黒色処理
40	11-003881	土師器杯口縁	2	9	粉質
41	11-003882	土師器杯口縁	15	50	
42	11-003883	土師器杯底部	7	22	黒色処理
43	11-003884	土師器杯底部	5	32	粉質
44	11-003885	土師器杯底部	17	70	
45	11-003886	土師器高坏胴部	3	31	
46	11-003887	土師器高坏胴部	4	33	
47	11-003888	土師器壺口縁	10	66	薄手
48	11-003889	土師器壺口縁	4	64	
49	11-003890	土師器壺体部	55	291	薄手
50	11-003891	土師器壺体部	54	450	
51	11-003892	土師器壺底部	2	24	薄手
52	11-003893	土師器壺	10	99	薄手
53	11-003894	土師器壺底部	2	14	
54	11-003895	カマド構築材	3	24	

17 H-142号住居

No.	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第363図 図版153 10-001090	土師器杯 (口縁部~底部) (2/3)	口径 13.6 底径 6.5×5.8 器高 4.0	口縁横撫で。体部~底部内面回し乍らの寛撫で。体部外面回し乍らの寛撫り。底面寛撫り。	①酸化焰・青 ②によ 黄褐色(10YR7/3) ③細砂粒	6世紀後半
2	第363図 図版153 10-001091	土師器杯 (口縁部~底部) (口縁1/5欠損)	口径 12.7×12.5 底径 7.2×5.0 器高 3.95	口縁部~体部内面横撫で。底部内面左回りの寛撫で。体部外面回し乍ら、底面概ね2方向への寛撫り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/8) ③細砂粒	7世紀前半

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (保存部位) (保存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	発成・石材等の特徴 ①焼色または石材等 ②色調 ③胎土	備考
3	第363図 図版153 10-001092	土師器環 (口縁部~底部)	口径 15.5×15.4 底径 9.9×8.0 器高 5.0	内外面漆による黒色処理。口縁横溝で、 体~底部内面左回りの旋盤で、体部外面 左回り、底部概ね一方向への旋削り。	①酸化焰・青 ②淡褐色(5YR8/4) ③粗砂粒	7世紀前半
4	第363図 図版153 10-001093	土師器環 (口縁部~底部)	口径 15.4 底径 11.4 器高 3.4	口縁~体部内面横溝で、底部内面左回り 旋盤で、体部外面~底面右回りの旋削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
5	第363図 図版153 10-001094	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 14.0 底径 推定 8.9 器高 推定 4.5	器面やや風化。口縁横溝で、体部~底部 内面旋盤で、外面旋削り。	①酸化焰・やや軟 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒	6世紀後半
6	第363図 図版153 10-001095	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 13.8 底径 推定 7.6 器高 4.5	口縁横溝で、体部~底部内面左回りの旋 盤で、体部内面回し乍ら、底面一方向中 心の旋削り。	①酸化焰・やや軟 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒	6世紀後半
7	第363図 図版153 10-001096	土師器鉢 (口縁部~底部)	口径 推定 12.0 残存高 5.8	内面吸炭による黒色処理。口縁横溝で、 体部~底部内面回し乍らの旋盤で、体部外 面回し乍ら、底面右回りの旋削り。	①酸化焰・青 ②淡黄褐色(10YR8/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
8	第363図 図版153 10-001097	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 14.3 底径 推定 8.6 残存高 5.1	口縁~体部内面横溝で、底部内面左回り の旋盤で、体部外面回し乍らの旋削り。 底面旋削り。	①酸化焰・やや軟 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半
9	第363図 図版154 10-001098	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 13.8 底径 推定 9.3 残存高 5.1	口縁~体部内面横溝で、底部内面回し乍 らの旋盤で、体部外面右回りの、底面一 方向中心の旋削り。	①酸化焰・やや軟 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	AD.600年前後
10	第363図 図版154 10-001099	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 13.0 底径 推定 4.4 残存高 3.8	口縁横溝で、体部~底部内面回し乍らの 旋盤で、体部外面回し乍らの旋削り。底 面旋削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀前半
11	第363図 図版154 10-001100	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 13.8 底径 推定 4.0 残存高 8.4	口縁及び体部~底部内面吸炭、外面漆に よる黒色処理。口縁横溝で、体部~底部 内面旋盤で、外面旋削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半
12	第363図 図版154 10-001101	土師器環 (口縁1/4欠損)	口径 12.9×12.0 底径 7.5×7.5 器高 6.6	内外面吸炭による黒色処理。口縁~体部内 面横溝で、底内面回し乍らの旋盤で、体 部外面消磨で、底面左回りの旋削り。	①酸化焰・青 ②淡褐色(2.5YR8/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
13	第363図 図版154 10-001102	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定 12.7 底径 6.25×5.3 器高 6.0	口縁横溝で、体部~底部内面右回りの旋 盤で、体部外面消磨で、底面一方向中心 の旋削り。	①酸化焰・青 ②灰白色(5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
14	第363図 図版154 10-001103	土師器高坏 (体部~胴部)	胴径 推定 12.7 残存高 16.3	外面やや荒れる。体部内面横溝で、胴部 内面頂部絞り、以下輪縁成残り旋削り、 外面旋削り。胴部横溝で。	①酸化焰・青 ②灰白色(5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
15	第363図 図版154 10-001104	土師器甕 (口縁部~底部)	口径 18.9×17.9 底径 6.5×6.5 器高 36.7	外面胴部以下焼土付着。口縁横溝で、体 部~底部内面左回りの旋盤で、体部外面 旋削り。底面旋削り。	①酸化焰・青 ②淡黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
16	第363図 図版154 10-001105	須恵御蓋 (天井部~口縁部)	天井部径 推定 8.4 底径 推定 13.3 残存高 3.8	左側転クロ成形成。天井部外面右回りの 回転旋削り。口唇部内面に段を有する。	①還元焰・やや軟 ②暗青灰色(5PB4/1) ③細砂粒	6世紀後半
17	第363図 図版154 10-001106	土製小玉 (一部刺繍)	径 1.0×1.0 厚み 0.95 孔径 0.12×0.1	吸炭による黒色処理。手ねね線に成形。 平面形のほぼ中央に細い棒状の工具で穿 孔。	①酸化焰・青 ②暗灰色(N3/7) ③粗砂粒	
18	第363図 図版165 20-000973	こも編み石 (磨石)	長さ 13.75 幅 6.55 厚み 3.6 重量 608g	やや小型の円盤使用、裏面に研磨面残す。 左側面中位の自然の割れ部を利用して、 帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②暗緑灰色(7.5GYR/1)	磨石からの転 用品
19	図版165 20-000974	こも編み石 (1/1)	長さ 12.1 幅 8.3 厚み 5.0 重量 747g	やや小型の円盤を用いる。左右両側中位 の自然の割れ部を利用し、幅1.2~2.0cm程 の帯状の摩耗痕一周する。	①砂岩 ②明青灰色(5B7/1)	
20	図版165 20-000975	こも編み石 (1/1)	長さ 14.7 幅 6.85 厚み 3.4 重量 540g	円盤を用いる。左側面に刺繍見られ、右 側面平坦。表裏面の凹面利用し、幅 4.2 cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑緑岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
21	図版165 20-000976	こも編み石 (1/1)	長さ 15.3 幅 6.9 厚み 3.6 重量 534g	円盤を用いる。左側中位の自然の割れを 利用して中位に幅1cm程、下位に幅2.2 cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(N4/7)	
22	図版165 20-000977	こも編み石 (磨石)	長さ 12.9 幅 8.8 厚み 5.5 重量 835g	円盤を用い、表面に研磨面を有する。左 右両側の自然の湾曲を利用し、中位に幅 3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰白色(5Y7/2)	磨石からの転 用品

D区出土遺物一覧

No.	図版番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①産地または石材等 ②色調 ③磨石	備考
23	図版165 20-000978	こも編み石 (欠損品)	残存長 15.90 残存 幅 6.2 残存厚 3.2 重量 451g	円盤使用するが下位欠損し、左・裏側斜 険。残存部の表面と右側縁中に幅3.7cm 程の帯状の磨耗痕残存する。	①磨石質石薄片 ②青灰色(SBS/1)	
24	図版165 20-000979	こも編み石 (磨石)	長さ 16.5 幅 7.2 厚み 5.5 重量 1038g	円盤使用。写真右側の裏面に研磨面残り。 中位やや上りに幅1.6cm程、下位に幅1. 4cm程の帯状の磨耗痕一箇所。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	磨石からの転 用品
25	図版165 20-000980	こも編み石 (磨石・磨石)	長さ 12.95 幅 6.65 厚み 4.1 重量 596g	円盤使用。裏面に研磨面残り、上下左右 の側縁に敲打痕見られる。中位に幅2.7cm 程の帯状の磨耗痕一周する。	①安山岩 ②灰白色(10Y7/1)	磨石・磨石か らの転用品
26	図版165 20-000981	こも編み石 (磨石)	長さ 14.0 幅 6.05 厚み 4.95 重量 706g	円盤を用い、表面・右側面と左側面の一 部に研磨面残り、下位に幅2.5cm程の帯状 の磨耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(N5/7)	磨石からの転 用品
(2) 本住居には直接伴わない関連を特定できなかった遺物						
27	第363図 図版165 20-000982	磨石 (上半部欠損)	残存長 7.2 幅 7.95 残存厚 3.4 重量 235g	円盤を用い、表面裏面に研磨面見られ、 表面には縦位の粗痕も残る。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
28	図版165 20-000983	磨石	長さ 2.85 幅 2.8 厚み 2.45 重量 24g	楕円球形を呈する。全体に研磨され、特 に表面は研磨面を残す。	①安山岩 ②灰色(7.5Y5/1)	
29	図版165 20-000984	磨石 (こも編み石) (下位欠損)	残存長 13.0 幅 6.6 厚み 6.0 重量 697g	円盤用い表面と左側面、及び右側面上位 に研磨面見られる。残存部の下寄りに幅 4.6cm程の帯状の磨耗痕一周。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (5GY6/1)	こも編み石へ の転用品
30	図版165 20-000985	凹石 (右側上位欠損)	長さ 13.5 幅 11.8 厚み 5.5 重量 1010g	縁辺内湾する方形内厚の石材使用。表面 に深さ 5mm で長さ並上径13×17mm、と 幅 8mm、長さ27mmの凹部が穿たれる。	①砂岩 ②塊灰色(10YR6/1)	
31	第363図 図版154 10-001107	土師器坏 (口縁部～底部)	口径 推定 12.8 底径 6.6 器高 4.7	口縁部～体部内面横で、底部内面回し 乍らの残存で、体部内面回し乍らの、底 面1～2方向中心の磨削り。	①酸化焰・硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀前半
32	第363図 図版154 10-001108	土師器坏 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 14.5×14.15 底径 7.7×7.1 器高 4.7	内面やや広がる。口縁横で、体部～底 部内面左回りの残存で、体部外面右回 りの磨削り。底面一方中心の磨削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	A.D.600前後
33	第363図 図版154 10-001109	土師器坏 (口縁部～体部) (破片)	残存 10.4×6.1 口径 推定 13.0 残存高 5.4	口縁横で、体部内面回し乍らの残存で、 外面回し乍らの磨削り。	①酸化焰・青 ②に よい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒	A.D.600前後
34	第363図 図版154 10-001110	土師器坏 (口縁部～底部)	口径 12.0×11.5 底径 4.1 器高 4.5	内外面広がる。内面(喉處による)黒色処 理。口縁横で、体部～底部内面横で、 外面磨削り。	①酸化焰・やや軟 ②褐色(2.5YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
35	第363図 図版154 10-001111	土師器坏 (口縁部～底部)	口径 12.9 底径 6.7×7.7 器高 4.65	口縁横で、体部～底部内面左回りの磨 削り。体部外面磨削。底面右回りの数 回づつの磨削り。	①酸化焰・青 ②灰白色(5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
36	第363図 図版154 10-001112	土師器坏 (口縁部～底部)	口径 推定 13.6 底径 推定 8.0 残存高 3.9	内外面による黒色処理の痕跡。口縁横 無で、体部内面左回りの残存で、体部外 面回し乍らの磨削り。底面磨削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒	7世紀前半
37	第363図 図版154 10-001113	土師器高坪 (口縁部～脚部)	口径 18.45×18.45 底径 推定 11.6 器高 21.7	器面やや広がる。口縁・脚部横で、体 部～底部内面横で、脚部内面輪縁直残し 指痕で、坯部～脚部外面磨削り。	①酸化焰・青・やや粉 質 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
38	第363図 図版154 10-001114	須恵系皿 (口縁部～体部) (破片)	残存 11.95×5.2 口径 推定 14.4 残存高 2.25	内面広がる。回転クロコ成形。	①還元焰・青 ②灰色(5Y4/1) ③粗砂粒	10世紀前半
39	第363図 図版154 10-001115	土師器碗 (口縁部～底部)	口径 推定 11.6 底径 推定 6.7 器高 5.2	底部内外面広がる。口縁横で、体部内 面回し乍らの残存で、体部～底部外面回 し乍らの磨削り。	①還元焰・青 ②に よい褐色(7.5YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
40	第363図 図版154 10-001116	土師器碗 (口縁部～脚部) (破片)	口径 推定 12.0 残存高 4.8	口縁部横で、体部内面回し乍らの残存 で、外面磨削り。	①還元焰・青 ②に よい褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
41	第363図 図版155 10-001117	土師器脚張 (口縁部～脚部)	口径 29.4 残存高 10.5	外面広がる。口縁横で、脚部内面横 の残存で、	①還元焰・やや軟 ②灰黄色(2.5Y6/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (保存部位) (保存番号)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
42	図版165 20-000811	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 11.65 幅 9.6 厚み 1.25 重量 205g	扁平な石材を用いる。表面に研磨面見られ、右側縁中位の自然の湾曲を利用して、1.7cm程の帯状の摩擦痕一周。	①砂岩 ②灰黄色(2.5Y7/3)	磨石からの転用品
43	第363図 図版155 10-001119	土師器蓋 (口縁部～底部) (残存部01/4)	口径 推定 20.0 残存高 6.2	口縁横溝。肩部内面左回りの段縁で、外面輪積痕残り縦位の段縁。	①酸化焰・青 ②灰黄色(2.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
44	第363図 図版155 10-001120	土師器蓋 (腰部～底部) (底部完形)	底径 7.2×6.9 残存高 7.3	腰部内面左回りの段縁で、底部内面回し乍ら指縁で。腰部外面上方へ段削り。底部外面横位の指縁で。底面段削り。	①酸化焰・青 ②灰黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
45	第363図 図版155 10-001121	土師器蓋 (腰部～底部) (底部完形)	底径 4.5×4.4 残存高 3.3	腰部～底部内面回し乍らの段縁で、外面段削り。底部外面指縁で。底面木葉痕残す。	①酸化焰・青 ②橙色(2.5Y7/6) ③粗砂粒	6世紀
46	第363図 図版155 10-001122	須恵系蓋 (天井部～口縁部) (ほぼ完形)	天井径 8.35×8.1 口径 13.2×13.2 器高 4.0	左回転クロコ成形。天井部外面左回りの回転段削り。口縁部内面段を有す。	①還元焰・青 ②明オリーブ灰色(2.5GY7/1) ③細砂粒	6世紀後半
47	第363図 図版155 10-001123	須恵系高坏 (器部下半部) (残存部01/4)	肩部径 推定 15.4 残存高 15.2	左回転クロコ成形。三角形と推定される透かしが4方に切られる。	①還元焰・硬 ②暗赤灰色(7.5R4/1) ③細砂粒	6世紀後半
48	第363図 図版155 10-001124	土師 (下位欠損)	残存長 4.7 口径 1.5×1.4 孔径 0.6×0.5	吸炭による黒色処理。棒状工具に粘土を巻き付け手捏ねに成形。表面丁寧に撫でられ、器部未調整。	①酸化焰・やや軟 ②暗灰色(N3/7) ③細砂粒	
49	図版165 20-000986	こも編み石 (1/1)	長さ 13.1 幅 8.1 厚み 5.2 重量 897g	円縁を用いる。左右の自然の凹部や屈曲面を刻れ部として利用し、中位やや上寄りには幅1.9cm程の摩擦痕一周。	①安山岩 ②オリーブ灰色(2.5GY6/1)	
50	第363図 図版165 20-000987	こも編み石 (磨石・敲石) (1/1)	長さ 14.7 幅 7.5 厚み 4.95 重量 811g	円縁を用いる。表面と右側面に研磨面を残し、中位に幅3.4cm程の帯状の摩擦痕が一周する。	①安山岩 ②緑色(7.5GY6/1)	磨石からの転用品
51	図版165 20-000988	こも編み石 (1/1)	長さ 12.4 幅 8.4 厚み 3.45 重量 662g	円縁使用。中位やや下寄りに幅2.8cm程の帯状の摩擦痕一周する。	①点紋割雲母石黒片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
52	図版165 20-000989	こも編み石 (1/1)	長さ 14.05 幅 6.2 厚み 5.3 重量 687g	円縁を用いる。中位にやや上寄りに、幅3cm程の帯状の摩擦痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(N4/7)	
53	第363図 図版165 20-000990	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 16.4 幅 9.0 厚み 4.7 重量 944g	円縁を用い、右側表面に研磨を残す。中位に幅2.8cm程の帯状の摩擦痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(10Y5/1)	磨石からの転用品
54	第363図 図版165 20-000991	台石 (左右側欠損)	長さ 18.4 幅 9.7 厚み 7.2 重量 1695g	円縁を使用。表面に敲打痕残り、削痕も残る。表面は上側縁部も敲打されている。	①砂岩 ②灰黄色(5Y7/3)	小鍛冶に伴うものと思われる
55	図版165 20-000992	台石 (欠損品)	残存長 14.55 残存幅 14.7 厚み 2.5 重量 628g	裏面の割離した円縁使用。写真右下縁に幅2.3cm及び1.5cm幅で敲打による刻れ部が設けられる。	①点紋割雲母石黒片岩 ②灰黄色(2.5Y7/2)	立てて使用か

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3)		取上番号付き集合扱い資料			
56	11-003896	縄文土器	17	345	中期
57	11-003897	土師器環口縁	1	17	6c後半・黒色処理
58	11-003898	土師器環口縁	2	28	6世紀後半
59	11-003899	土師器環口縁	3	38	7c前半・黒色処理
60	11-003900	土師器環口縁	18	298	7世紀前半
61	11-003901	土師器環口縁	4	33	7c中葉・黒色処理
62	11-003902	土師器環口縁	3	25	7世紀中葉・粉質
63	11-003903	土師器環口縁	3	21	7世紀中葉
64	11-003904	土師器環口縁	1	5	7c後半・黒色処理
65	11-003905	土師器環口縁	2	19	7世紀後半・粉質
66	11-003906	土師器環口縁	6	73	7世紀後半
67	11-003907	土師器環口縁	7	25	黒色処理
68	11-003908	土師器環口縁	5	21	粉質
69	11-003909	土師器環口縁	23	163	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
70	11-003910	土師器環口縁	32	362	黒色処理
71	11-003911	土師器環口縁	2	43	暗文
72	11-003912	土師器環口縁	9	97	粉質
73	11-003913	土師器環口縁	59	896	
74	11-003914	土師器高坏口縁	1	16	
75	11-003915	土師器高坏口縁	6	83	
76	11-003916	土師器高坏口縁	11	464	
77	11-003917	土師器高坏口縁	9	151	
78	11-003918	土師器蓋	1	22	
79	11-003919	土師器蓋口縁	1	86	6世紀後半
80	11-003920	土師器蓋口縁	30	518	
81	11-003921	土師器蓋体部	9	116	奈良・平安時代
82	11-003922	土師器蓋体部	205	3359	
83	11-003923	土師器蓋体部	1	19	奈良・平安時代
84	11-003924	土師器蓋体部	21	1046	

D区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
85	11-003925	土師器瓶体部	7	172		109	11-003948	土師器環口縁	52	234	黒色処理
86	11-003926	土師器瓶口縁	1	11		110	11-003949	土師器環口縁	34	107	粉質
87	11-003927	須恵器蓋	5	179		111	11-003950	土師器環口縁	139	598	
88	11-003928	須恵器環口縁	3	22		112	11-003951	土師器高口縁	2	12	7世紀前半
89	11-003929	須恵器環口縁	1	37		113	11-003952	土師器高口縁	1	11	
90	11-003930	須恵器環口縁	1	7	平安期頃	114	11-003953	土師器高口縁	2	14	
91	11-003931	須恵器蓋体部	18	573		115	11-003954	土師器高口縁	13	167	
92	11-003932	須恵器蓋体部	1	18		116	11-003955	土師器高口縁	3	16	
93	11-003933	須恵器蓋体部	1	22		117	11-003956	土師器蓋	2	23	
94	21-000424	熱変成岩	6	293		118	11-003957	土師器蓋口縁	38	413	
(4) 集合扱い資料						119	11-003958	土師器蓋体部	44	261	奈良・平安時代
95	11-003934	縄文土器	8	115	中期	120	11-003959	土師器蓋体部	268	2223	
96	11-003935	弥生土器	1	4	赤井戸式	121	11-003960	土師器蓋体部	2	34	奈良・平安時代
97	11-003936	土師器環口縁	1	10	6世紀後半	122	11-003961	土師器蓋体部	4	92	
98	11-003937	土師器環口縁	3	14	7c前半・黒色処理	123	11-003962	土師器瓶体部	4	53	
99	11-003938	土師器環口縁	7	36	7世紀前半	124	11-003963	土師器瓶口縁	1	9	
100	11-003939	土師器環口縁	1	5	7c中葉・黒色処理	125	11-003964	須恵器蓋	4	33	
101	11-003940	土師器環口縁	3	14	7世紀中葉・粉質	126	11-003965	須恵器環口縁	1	8	
102	11-003941	土師器環口縁	8	36	7世紀中葉	127	11-003966	須恵器環口縁	13	44	平安期頃
103	11-003942	土師器環口縁	1	4	7c後半・黒色処理	128	11-003967	須恵器高口縁	1	27	
104	11-003943	土師器環口縁	2	11	7世紀後半・粉質	129	11-003968	須恵器蓋体部	21	272	
105	11-003944	土師器環口縁	8	38	7世紀後半	130	11-003969	須恵器蓋体部	2	44	
106	11-003945	土師器環口縁	22	84	黒色処理	131	11-003970	陶器	1	2	
107	11-003946	土師器環口縁	35	63	粉質	132	11-003971	カマド構築材	1	18	
108	11-003947	土師器環口縁	66	250		133	21-000425	流紋岩	1	42	

18 H-143号住居

No	図面番号 図録番号 資料番号	名称 (残存部) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	図録155 10-001125	須恵器高台付椀 (口縁部～底部) 残存高 4.8	口径 14.7 底径 6.5×6.2	左回転ロクロ成形。底面回転糸切り後、高台貼り付け。	①還元色・やや軟 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	9世紀後半
2	図録155 10-001126	須恵器高台付椀 (胴部～高台) 残存高 2.7	高台径 推定 7.6 残存高 2.7	右回転ロクロ成形。底面回転糸切り後、高台貼り付け。高台の粘土は底面の過半まで延ばされて皿で。	①還元色・青 ②灰黄色(2.5Y6/2) ③細砂粒	9世紀後半
3	図録155 10-001127	土師器台付椀 (口縁部～胴部) (破片) 残存高 5.0	残存 7.2×5.2 口径 11.8	口縁横撫で。胴部内面左方への寛撫で、外面やや上寄り左方への広磨り。	①酸化色・硬 ②橙色(2.5YR6/6) ③細砂粒・片岩含む	9世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
4	図録165 20-000993	こもろみ石 (1/1)	長さ 16.3 幅 8.45 厚み 5.05 重量 1300g	円盤を用い、左側縁下位の自然の稜角、右側縁下位の自然の凹面を研磨して割れ目とし、帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(G5Y/1)	
5	図録155 10-001128	土師器蓋 (口縁部～胴部) (口縁部の1/4)	口径 推定 19.9 残存高 5.8	コの字状口縁で、外面に輪痕或は横撫で、胴部内面横位の脱撫で、外面左方へ磨り。	①酸化色・硬 ②褐色色(5YR5/1) ③粗砂粒	9世紀後半
6	図録165 20-000994	こもろみ石 (下位欠損)	残存長 12.9 幅 8.6 厚み 3.5 重量 28g	左右両側の凹凸面を利用し、残存部の中に幅1.4～2.3cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰白色(10Y8/1)	
7	図録165 20-000995	磨石 (一部欠損)	長さ 6.45 幅 5.1 厚み 0.45 重量 48g	扁平で方形様の石材を利用。表裏削磨面であり、表面は研磨面を成す。	①砂岩 ②灰白色(5Y8/2)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料						12	11-003976	土師器環口縁	2	10	
8	11-003972	土師器環	1	33	6世紀前半	13	11-003977	土師器環口縁	2	21	
9	11-003973	土師器環	1	7	7世紀前半	14	11-003978	土師器高口縁	1	24	
10	11-003974	土師器環	1	6	7c後半・黒色処理	15	11-003979	土師器高口縁	2	16	
11	11-003975	土師器環口縁	1	9	黒色処理	16	11-003980	土師器蓋口縁	13	298	奈良・平安時代

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
17	11-003981	土師器壺口縁	1	97	
18	11-003982	土師器壺体部	37	344	奈良・平安時代
19	11-003983	土師器壺体部	7	198	
20	11-003984	須恵環・轆口縁	1	26	平安朝頃・土師質
21	11-003985	須恵環・轆口縁	3	17	平安朝頃
22	11-003986	須恵環・轆体部	1	11	平安朝頃
23	11-003987	須恵環・轆底部	1	14	平安朝頃・土師質
24	11-003988	須恵環・轆底部	1	4	平安朝頃・高台付
25	11-003989	須恵環・轆底部	2	37	平安朝頃
26	11-003990	須恵環・轆底部	1	20	高台付・土師質
27	11-003991	須恵器壺体部	1	7	
28	11-003992	布目瓦	1	100	
(4) 集合扱い資料					
29	11-003993	土師器環	2	22	7c.前半・黒色処理
30	11-003994	土師器環	3	13	7世紀後半
31	11-003995	土師器環口縁	14	39	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
32	11-003996	土師器平底部	4	19	黒色処理
33	11-003997	土師器平底部	12	59	
34	11-003998	土師器高环外部	1	14	
35	11-003999	土師器高环外部	1	6	
36	11-004000	土師器壺口縁	28	349	奈良・平安時代
37	11-004001	土師器壺口縁	1	24	
38	11-004002	土師器壺体部	260	965	奈良・平安時代
39	11-004003	土師器壺体部	12	130	
40	11-004004	土師器壺底部	8	71	奈良・平安時代
41	11-004005	土師器壺	1	11	
42	11-004006	須恵環・轆口縁	1	3	平安朝頃・土師質
43	11-004007	須恵環・轆口縁	18	101	平安朝頃
44	11-004008	須恵環・轆体部	13	49	平安朝頃
45	11-004009	須恵環・轆底部	1	31	平安朝頃・高台付
46	11-004010	須恵環・轆底部	3	20	平安朝頃

19 H-144号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居の掘り方出土の遺物						
1	第366図 図版155 10-001129	須恵器轆 (口縁部～体部) (残存部1/4)	口径 推定 16.2 残存高 3.7	回転口縁成形。口縁外反。	①還元焰・青 ②灰白色(5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	9世紀後半
2	第366図 図版155 10-001130	須恵器高台付轆 (腰部～高台部) (残存部1/3)	高台径 推定 7.1 残存高 2.9	右回転口縁成形。底面回転糸切り後外周高台貼り付け時の撫で。	①還元焰・青 ②灰色(N6/1) ③細砂粒	9世紀
3	第366図 図版155 10-001131	土師器壺 (口縁部～肩部) (破片)	残存 7.9×6.3 口径 推定 18.0 器高 6.2	コの字状口縁。外面に輪積板状口縁横撫で。肩部内面横位の(撫)で、外面横位の置削り。	①還元焰・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③細砂粒	
4	第366図 図版155 10-001132	須恵器高台付轆 (口縁部～高台部) (1/3)	口径 推定 15.0 高台径 推定 7.2 器高 5.5	左回転口縁成形。底面回転糸切り後、全面高台貼り付け時の回し乍らの指撫で。	①還元焰・青 ②灰色(10Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	9世紀後半
5	第366図 図版155 10-001133	須恵器高台付轆 (口縁部～底部) (1/3, 高台欠損)	口径 推定 14.0 底径 推定 5.4 残存高 4.8	右回転口縁成形。底面回転糸切り後、高台貼り付け時の撫で。	①還元焰・青 ②浅灰色(5Y7/3) ③細砂粒	9世紀後半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
6	11-004011	土師器壺口縁	1	4	奈良・平安時代
7	11-004012	土師器壺体部	1	8	奈良・平安時代
8	11-004013	須恵環・轆口縁	1	7	平安朝頃
9	11-004014	須恵環・轆体部	1	4	平安朝頃
10	11-004015	須恵環・轆底部	2	29	平安朝頃
(3) 集合扱い資料					
11	11-004016	土師器環口縁	1	4	黒色処理

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
12	11-004017	土師器壺口縁	24	128	奈良・平安時代
13	11-004018	土師器壺体部	94	539	奈良・平安時代
14	11-004019	土師器壺体部	4	33	
15	11-004020	土師器壺底部	1	10	
16	11-004021	須恵環・轆口縁	7	66	平安朝頃
17	11-004022	須恵環・轆体部	2	14	平安朝頃
18	11-004023	須恵環・轆底部	2	26	平安朝頃

20 H-145号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第369図 図版155 10-001134	土師器環 (口縁部～底部) (口縁1/4欠損)	口径 12.6×12.2 底径 6.1×4.9 器高 4.1	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの置削り。体部外面回し乍らの、底面横撫で一方中心の置削り。	①還元焰・やや硬 ②灰白色(2.5Y7/2) ③細砂粒・片岩含む	A.D.600年前後
2	第369図 図版155 10-001135	土師器環 (口縁部～底部) (2/3)	口径 12.6×12.3 底径 9.2×7.4 器高 4.5	口縁～体部内面横撫で。底部内面回し乍らの置削り。体部外面左回りの、底面横撫で一方への置削り。	①還元焰・青 ②褐色(5YR7/8) ③細砂粒・片岩含む	A.D.600年前後

D区出土土物一覧

No	図面番号 図名 資料番号	名称 (機存部位) (機存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 (焼成または石材等) (色調)	備考
3	第369図 図版155 10-001136	土師器坏 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 12.0 底径 7.7 器高 4.2	内外面黒色処理の痕跡。口縁横撫で。体 ～底部内面回し乍らの痕跡で。体部外面 回し乍ら、底面概ね一方へ宛削り。	①酸化焰・青・やや粉質 ②にぶい棕色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
4	第369図 図版155 10-001137	土師器坏 (口縁部～胴部) (機存部の1/3)	口径 22.6 残存高 18.9	口縁部分的に輪襷痕を残し横撫で。体部内 面左方へ宛撫で、外面上方へ宛削り。	①酸化焰・硬 ②にぶい 赤褐色(2.5YR5/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
5	第369図 図版156 10-001138	土師器蓋 (口縁部～胴部) (破片)	残存 13.3×22.5 口径 推定 19.2 残存高 22.5	体部内面下位荒れ、外面は焼土又は煤付 着。口縁横撫で。体部内面横位の宛撫で。 外面上方へ宛削り。	①酸化焰・青 ②にぶい 黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
6	図版165 20-000996	こも編み石 (1/1)	長さ 14.6 幅 4.1 厚み 4.8 重量 404 g	横断面三角形を呈する円盤使用。三角頂 部に当たる縁辺の自然の湾曲を利用し、 中に幅3cm程の摩耗痕一周。	①角礫凝灰岩 ②黄灰色(2.5Y6/1)	
7	図版165 20-000997	こも編み石 (1/1)	長さ 16.45 幅 6.1 厚み 3.6 重量 573 g	円盤を用いる。中に幅2.9cm程の帯状の 摩耗痕が一周する。	①新嘗母石黒純泥片岩 ②明青灰色(5BG7/1)	
8	図版165 20-000998	こも編み石 (上部欠損)	残存長 9.2 幅 7.7 厚み 4.3 重量 474 g	円盤使用。機存部中に幅2.6cm程の摩 耗痕一周し、この表面中程から下帯状の摩 耗痕が幅1.5cm程で下方半周。	①安山岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	
9	図版165 20-000999	こも編み石 (左側裏面欠損)	長さ 16.0 幅 6.1 厚み 2.95 重量 497 g	円盤を用いる。下に幅2cm程の摩耗痕 が左上りの斜めに一周する。	①新嘗母石黒片岩 ②灰白色(N7/7)・暗青 灰色(SB4/1)	
10	図版165 20-001000	こも編み石 (1/1)	長さ 15.5 幅 6.7 厚み 3.5 重量 627 g	円盤を用いる。中位やや下寄りに幅 3.7 cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①輝緑岩 ②緑灰色(10G6/1)	
11	第369図 図版165 20-001001	こも編み石 (磨石)	長さ 15.7 幅 5.45 厚み 4.65 重量 718 g	円盤を用い裏面の段を持つ側面が研 磨面を成す。中に幅4.8cm程の帯状の摩 耗痕が一周する。	①輝緑岩 ②緑灰色(SG6/1)	磨石からの転 用品
12	図版165 20-001002	こも編み石 (1/1)	長さ 18.3 幅 5.7 厚み 3.1 重量 515 g	円盤を用い、中に幅3.4cm程の帯状の摩 耗痕が一周する。	①新嘗母石黒純泥片岩 ②明オリーブ灰色 (2.5GY7/1)	
13	図版165 20-001003	こも編み石 (1/1)	長さ 21.1 幅 7.7 厚み 2.7 重量 658 g	やや扁平、大型の円盤を用いる。中位両 側に縁打による浅い凹部を設け、幅3. 2cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①新嘗母石黒片岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
14	第369図 図版165 20-001004	こも編み石 (磨石) (一部欠損)	長さ 19.8 幅 5.3 厚み 4.0 重量 617 g	棒状の円盤使用し裏面に研磨面持つ、左 側の自然の湾曲面に径2.7×1.9cmの範囲 で研磨を施し、帯状の摩耗痕一周。	①砂岩 ②灰白色(2.5Y8/1)	磨石からの転 用品
(2) 本住居には直接伴わないか制度を特定できなかった土物						
15	第369図 図版155 10-001139	土師器坏 (口縁部～底部) (1/3)	口径 12.0 底径 推定 4.4 器高 3.3	口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの 痕跡で。体部外面左回りの宛削り。底面 宛削り。	①酸化焰・青・やや粉質 ②棕色(5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀後半
16	第369図 図版155 10-001140	土師器坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 13.0 底径 推定 7.5 残存高 3.1	口縁横撫で。体部～底部内面回りの宛 撫で。体部外面回し乍らの宛削り。底面 宛削り。	①酸化焰・やや軟・やや 粉質 ②棕色(5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀後半
17	第369図 図版155 10-001141	土師器坏 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 12.0 残存高 4.1	外面磨による黒色処理の痕跡。口縁横撫 で。体部～底部内面回し乍らの宛撫で、 外面宛削り。	①酸化焰・青 ②棕色(5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀中葉
18	第369図 図版156 10-001142	土師器坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 12.0 底径 推定 6.1 残存高 3.5	口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの 痕跡で。体部外面回し乍らの宛削り。底 面宛削り。	①酸化焰・やや硬 ② にぶい黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
19	第369図 図版156 10-001143	須恵器蓋 (胴部～口縁部) (1/3)	天井径 推定 9.5 口径 推定 13.2 器高 3.7	左回転クロコ成形。天井部外面左回りの 回転宛削り。口縁横撫で。胴部内面左方 への宛撫で。	①還元焰・青 ②灰白色(7.5Y8/1) ③粗砂粒	7世紀後半 6世紀後半の 坏の可能性有
20	第369図 図版156 10-001144	土師器坏 (口縁部～胴部) (残存部の1/4)	口径 推定 16.0 残存高 8.7	胴部外面～一部口縁外面上方への宛削 り。	①酸化焰・やや硬 ②浅黄褐色(10YR8/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀
21	第369図 図版156 10-001145	須恵器高台付碗 (体部～底部) (底部成形)	高台径 6.8×6.6 残存高 3.6	右回転クロコ成形。底面回転切削後、 外周高台貼り付け時の宛撫で。底面内面 に吸炭の跡による重ね焼きの痕跡。	①還元焰・青 ②灰色(10Y6/1) ③粗砂粒	9世紀後半

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
22	第3698図 図取165 20-001005	こも嵐石 (磨石) (1/1)	長さ 22.4 幅 9.65 厚み 5.7 重量 1878g	大塚の円磨用、裏面は研磨面を成す。 左側の自然の湾曲部の部分的な研磨を列ね部として帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②黄灰色(2.5Y6/1)	磨石からの転用品

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3)	取上番号付き集合扱い資料				
23	11-004024	縄文土器	2	11	前期
24	11-004028	縄文土器	3	129	中期
25	11-004026	弥生土器	1	13	
26	11-004027	土器器口縁	2	18	7世紀後半
27	11-004028	土器器口縁	1	1	
28	11-004029	土器器口縁	1	25	7世紀後半
29	11-004030	土器器口縁	2	14	黒色処理
30	11-004031	土器器口縁	3	68	
31	11-004032	土器器口縁	2	15	
32	11-004033	土器器口縁	1	10	
33	11-004034	土器器口縁	1	6	
34	11-004035	土器器口縁	1	67	6世紀
35	11-004036	土器器口縁	6	136	
36	11-004037	土器器口縁	28	233	奈良・平安時代
37	11-004038	土器器口縁	56	1737	
38	11-004039	土器器口縁	1	22	
39	11-004040	土器器口縁	1	76	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
40	11-004041	須恵器環・柄	1	3	平安前期
(4)	集合扱い資料				
41	11-004042	土器器口縁	3	14	7世紀後半
42	11-004043	土器器口縁	4	14	
43	11-004044	土器器口縁	1	13	黒色処理
44	11-004045	土器器口縁	7	28	
45	11-004046	土器器口縁	2	14	
46	11-004047	土器器口縁	2	18	
47	11-004048	土器器口縁	1	85	6世紀
48	11-004049	土器器口縁	3	31	
49	11-004050	土器器口縁	24	157	奈良・平安時代
50	11-004051	土器器口縁	60	618	
51	11-004052	土器器口縁	1	41	
52	11-004053	土器器口縁	1	21	
53	11-004054	土器器口縁	1	10	
54	11-004055	須恵片蓋か	1	3	
55	11-004056	カマド構築材	1	11	
56	21-000426	熟変成岩	1	42	

21 H-146号住居

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1)	本住居には直接関係のない関連を特定できなかった遺物					
1	第3708図 図取156 10-001146	土器器口縁 (口縁部～肩部) (破片)	残存 13.7×7.5 口径 推定 18.3 残存高 7.5	口縁はフの字状口縁で外面に輪積痕残し 横無で。肩部内面左方への隈削と、外側 左方への隈削あり。	①酸化焰・やや硬 ②赤い褐色(GYR6/g) ③細砂粒	9世紀後半
2	第3709図 図取156 10-001147	須恵器柄 (口縁部～体部) (破片)	残存 7.25×4.6 口径 推定 14.2 残存高 3.5	右回転クワ口成形。	①還元焰・青 ②灰白色(2.5Y7/1) ③細砂粒	10世紀前半か
3	第3710図 図取156 10-001148	須恵器高台付柄 (体部～高台部) (残存部の1/3)	高台径 推定 6.8 残存高 4.2	内外面成炭による黒色処理。右回転クワ 口成形。底面切り離し後、高台貼り付け 時の無で。	①還元焰・青 ②暗灰色(N3/) ③細砂粒	9世紀後半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2)	取上番号付き集合扱い資料				
4	11-004057	土器器口縁	2	33	奈良・平安時代
5	11-004058	土器器口縁	2	16	
6	11-004059	須恵器・柄口縁	1	8	平安前期
7	11-004060	須恵器・柄口縁	1	9	
8	11-004061	須恵器器口縁	9	90	薄手
(3)	集合扱い資料				
9	11-004062	縄文土器	1	172	中期
10	11-004063	土器器口縁	1	7	7世紀後半
11	11-004064	土器器口縁	1	1	
12	11-004065	土器器口縁	7	31	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
13	11-004066	土器器口縁	5	47	奈良・平安時代
14	11-004067	土器器口縁	6	38	
15	11-004068	土器器口縁	2	17	奈良・平安時代
16	11-004069	須恵器・柄口縁	9	92	
17	11-004070	須恵器・柄口縁	3	36	
18	11-004071	須恵器・柄口縁	1	13	
19	11-004072	須恵器器口縁	1	13	
20	11-004073	須恵器器口縁	165	499	薄手
21	11-004074	須恵器器口縁	10	1007	
22	11-004075	須恵片	1	2	

D区出土遺物一覧

22 H-147号住居

No	図面番号 図説番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存)	測定値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第375図 図版156 10-001149	土師器環 (口縁部～底部) (完形)	口徑 13.2×12.85 底径 8.55×6.9 器高 4.5	口縁横撫で、体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外面左回りの、底面一方中心の磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②橙色(2.5YR6/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀中葉
2	第375図 図版156 10-001150	土師器環 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口徑 13.1×12.9 底径 7.55×6.2 器高 4.8	内外面厚塗塗布の痕跡。口縁部～体部内面横撫で。底部内面左回りの寛撫で。体部外面左回りの、2方中心の磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②橙色(5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀後半
3	第375図 図版156 10-001151	土師器環 (口縁部～底部) (完形)	口徑 12.5×12.3 底径 7.4×6.7 器高 4.8	断面丸れる。口縁横撫で。体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外面右回りの、底面一方中心の磨削り。	①酸化焰・やや軟・胎質 ②橙色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
4	第375図 図版156 10-001152	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口徑 12.5×14.65 底径 10.4×9.8 器高 5.3	口縁～体部内面横撫で。体部～底部外周寛撫で。底部内面指撫で。体部外面磨削り。底面概ね一方への磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②橙色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
5	第375図 図版156 10-001153	土師器環 (口縁部～底部) (一部欠損)	口徑 14.4×13.8 底径 8.4×7.2 器高 4.7	口縁～体部内面横撫で。底部内面指撫で。体部外面回し午らの磨削り。底面磨削り。	①酸化焰・普 ②橙色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
6	第375図 図版156 10-001154	土師器環 (口縁部～体部) (底部欠損)	口徑 13.4×13.4 残存高 3.9	口縁～体部横撫で。体部外面右回りの磨削り。	①酸化焰・普 ②橙色(2.5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀前半
7	第375図 図版156 10-001155	土師器高环 (口縁部～胴部) (坏部1/2)	口徑 推定 18.4 幅径 13.4×13.3 器高 18.3	口縁・着輪撫で。坏体～底部内面指撫で後略文施す。胴部内面輪横痕残り縦位の指撫で。坏体～胴部外面磨削り。	①酸化焰・普 ②橙色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
8	第375図 図版156 10-001156	土師器高环 (胴部) (脚部上部のみ)	残存部最大径 推定 7.8 残存高 10.1	内面噴染による黒色処理で輪横痕残り縦位の指撫で。外面縦位の細かい磨削り。	①酸化焰・普 ②橙色(5YR7/8) ③粗砂粒	7世紀前半か
9	第375図 図版156 10-001157	土師器小型壺 (口縁部～底部) (1/2)	口徑 推定 14.6 底径 8.2×8.0 器高 11.7	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外面左上方中心の、底面外周右回り、中心概ね一方への磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②橙色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
10	第375図 図版156 10-001158	土師器小型壺 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口徑 15.0×14.7 底径 7.0×6.9 器高 10.5	口縁横撫で。体部内面左回りの、底部内面一方中心の指撫で。体部外面上又は左上方へ、底面左回りの磨削り。	①酸化焰・普 ②にぶい橙色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
11	第375図 図版156 10-001159	土師器小型壺 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口徑 11.4×11.1 底径 7.4×7.3 器高 8.2	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの寛撫で。外面体部左上方、胴部左方、底面一方中心の磨削り。	①酸化焰・普 ②橙色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
12	第375図 図版156 10-001160	土師器小型壺 (口縁部～底部) (完形)	口徑 11.5×11.1 底径 7.5×7.1 器高 6.5	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外面縦位又は左上がりの斜方、底面一方中心とするの磨削り。	①酸化焰・普 ②にぶい橙色(7.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
13	第375図 図版165 10-001006	こも編み石 (磨石か) (1/1)	長さ 18.0 幅 6.4 厚み 5.8 重量 1029g	円盤を用いる。左側面に研磨された痕跡を有し、中に4.3～6.6cmの帯状摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(N6/7)	磨石からの転用品の可能性あり
14	第375図 図版165 10-001007	こも編み石 (磨石) (一部欠損)	長さ 16.8 幅 7.1 厚み 4.75 重量 799g	円盤を用い、段差はあるが表面に研磨痕を残す。右側縁中に浅い溝縁の割れ部を有し、幅2cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②灰白色(10Y7/1)	磨石からの転用品
15	第375図 図版165 10-001008	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 14.5 幅 8.3 厚み 5.4 重量 1010g	円盤を用い、表面と裏面上・下位は研磨面を成す。左右両側中に2か所ずつの研磨を伴う浅い割れ部を持つ。	①安山岩 ②明緑灰色(7.5GY7/1)	磨石からの転用品
16	第375図 図版165 10-001009	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 15.4 幅 6.7 厚み 4.5 重量 583g	円盤を用い、右側表面の大きな凹面と裏面の小さな割れ部を割れ部として利用し、中に帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰白色(7.5Y7/1)	磨石からの転用品
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
17	第375図 図版156 10-001161	土師器環 (口縁部～底部) (2/3)	口徑 13.0 底径 8.7×6.6 器高 4.6	口縁～体部内面横撫で。底部内面回し午らの腹撫で又は指撫で。体部外面左回りの、底面不定方向の磨削り。	①酸化焰・やや軟 ②にぶい橙黄色(10YR7/0) ③粗砂粒	AD.500年前後
18	第375図 図版157 10-001162	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口徑 12.4×12.3 底径 推定 5.0 器高 5.2	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの寛撫で。体部外面右回りの、底面不定方向への磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②橙色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀前半

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③附土	備考
19	第3758図 図版157 10-001163	土師器環 (口縁部～底部) (完全)	口径 13.5×13.2 底径 6.8×5.7 器高 4.9	口縁～体部内面上半横撫で。体部下 ～底部内面左回りの寛撫で。体部外面左 回りの、底面一方への足削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	6世紀前半
20	第3758図 図版157 10-001164	土師器環 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 13.2×13.15 底径 7.8×7.3 器高 5.2	口縁部～体部内面横撫で。底部内面回し 乍らの寛撫で。体部外面左回りの、底面 一方中心の足削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR5/6) ③細砂粒	6世紀後半
21	第3758図 図版157 10-001165	土師器環 (口縁部～底部) (口縁1/8欠損)	口径 13.0×13.0 底径 6.7×6.5 器高 5.2	口縁部～体部内面上半横撫で。体部下 ～底部内面回し乍らの寛撫で。体部外面 左回りの、底面一方への足削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
22	第3758図 図版157 10-001166	土師器環 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 13.1×12.9 底径 8.0×7.6 器高 5.1	口縁～体部内面横撫で。底部内面回し乍 らの寛撫で。体部外面左回り、底面一方 中心の足削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	6世紀後半
23	第3758図 図版157 10-001167	土師器環 (口縁部～底部) (7/8)	口径 13.7×13.55 底径 7.6×7.2 器高 4.95	内外面黒漆塗布の痕跡。口縁横撫で。体 ～底部内面回し乍らの寛撫で。体部外面 回し乍ら、底面概ね一方への足削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/8) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
24	第3758図 図版157 10-001168	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 12.8 底径 推定 5.4 器高 4.2	内周黒色処理の痕跡。口縁横撫で。体一 部内面寛撫で後放射状の足削り。体部外 面左回りの足削り。底面足削り。	①酸化焰・青 ②および ③黄褐色(10YR7/3) ④粗砂粒・片岩含む	A.D.600年前後
25	第3758図 図版157 10-001169	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口径 13.3×12.9 底径 7.4 器高 5.0	口縁～体部内面上位にかけ横撫で。体部 ～底部内面主に回し乍らの寛撫で。体部 外面回し乍ら、底面一方への足削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀後半 口縁外面段を 持つ
26	第3758図 図版157 10-001170	土師器環 (口縁部～底部) (3/5)	口径 推定 13.0 底径 7.0×6.7 器高 3.9	口縁横撫で。体部～底部内面左回り中心 の寛撫で。体部外面～底面回し乍らの足 削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/8) ③細砂粒・片岩含む	A.D.600年前後
27	第3758図 図版157 10-001171	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 11.2 底径 推定 4.5 器高 3.9	口縁～体部内面横撫で。底部内面寛撫で。 体部外面右回りの、底面概ね一方への足 削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(10YR5/1) ③細砂粒	A.D.600年前後
28	第3758図 図版157 10-001172	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 14.2 底径 推定 5.5 器高 5.3	口縁～体部内面上半横撫で。体部下 ～底面左回りの寛撫で。体部外面左回りの、 底面不定方向への足削り。	①酸化焰・やや硬 ② ③および④褐色(5YR7/4) ⑤細砂粒	A.D.600年前後 底面やや丸れる
29	第3758図 図版157 10-001173	土師器環 (口縁部～底部) (口縁)	口径 推定 12.3 底径 推定 6.2 残存高 4.3	口縁～体部上半面横撫で。体部下 ～底部内面回し乍らの寛撫で。体部外面 回し乍ら、底面概ね一方への足削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/8) ③細砂粒	7世紀前半
30	第3758図 図版157 10-001174	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口径 12.3 底径 7.7×7.5 器高 4.6	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの寛 撫で。体部外面左回りの、底面不定方向 への足削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
31	第3758図 図版157 10-001175	土師器環 (口縁部～底部) (2/3)	口径 11.9 底径 9.7 器高 3.3	内外面漆による黒色忌避。口縁横撫で。 体部～底部内面回し乍らの寛撫で。体部 外面回し乍ら、底面一方への足削り。	①酸化焰・青 ②に ③褐色(5YR7/4) ④酸化焰・片岩含む	6世紀後半
32	第3758図 図版157 10-001176	土師器環 (口縁部～底部) (2/3)	口径 推定 14.1 底径 11.2×10.35 器高 3.85	口縁～体部内面横撫で。底部内面回し乍 らの寛撫で。体部外面回し乍ら、底面一 方を基調とする足削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
33	第3758図 図版157 10-001177	土師器環 (口縁部～底部) (ほぼ定形)	口径 12.6×12.45 底径 8.8×8.55 器高 4.0	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの寛 撫で。体部外面回し乍らの、底面一方を 中心とする足削り。	①酸化焰・青 ②改良褐色(10YR8/3) ③細砂粒	6世紀後半
34	第3758図 図版157 10-001178	土師器小型碗 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 8.3 底径 推定 6.2 器高 4.6	口縁横撫で。体一底部内面回し乍らの寛 撫で指撫で痕跡。体部外面とど割れ 見られ指撫で。底面側面い指撫で。	①酸化焰・硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半か
35	第3758図 図版157 10-001179	土師器高环 (環部～脚部) (破片)	残存 8.7×10.15 口径残存 18.2 残存高 5.9	口縁～環体部内面横撫で。環底部内面回 し乍ら寛撫で。環外面体部回し乍ら、底 部右下方へ、脚部外面縦位の足削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/8) ③細砂粒	7世紀前半
36	第3758図 図版157 10-001180	土師器高环 (口縁部～脚部) (3/4)	口径 19.1 底径 推定 7.2 器高 22.1	器内面赤色に塗布。口縁・横横撫で。 環底部内面横撫で。脚部内面輪横残 痕の指撫で。体部～脚部外面足削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/8) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半
37	第3758図 図版157 10-001181	土師器高环 (環部上部)	頸部径 4.9×4.8 残存高 8.7	外面やや風化。環底部内面横撫で。脚部内 面輪横残痕し、左方へ足削り。環外面底 部回し乍ら、脚部外面縦位の足削り。	①酸化焰・青・やや粉 質 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半
38	第3758図 図版158 10-001182	土師器高环 (脚部下半部) (頸部欠損)	脚部・底部変換部径 9.2 残存高 6.4	脚部内面縦痕による黒色処理で輪横残 痕し、縦位の指撫で、外面縦位の足削り。 頸部横撫で。	①酸化焰・青・やや粉 質 ②褐色(5YR7/8) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半

D区出土遺物一覧

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
39	第37図版 図版158 10-001183	土師器高坏 (脚部下方) (残存部のみ)	裾部径 15.6×15.5 残存高 4.7	脚部内面輪痕残し、斜め方向の指撫で、外面下方へ寛削り。裾部横撫で。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
40	第37図版 図版158 10-001184	土師器器台 (脚部) (破片2片)	残存 6.25×6.1 残存 3.1×4.9 残存高 約7.4	内面横位の寛撫で。外面腹を持ち縦位の細かい磨磨き。	①酸化焰・青 ②赤色(10R5/6) ③粗砂粒	4世紀北陸系
41	第37図版 図版158 10-001185	土師器器臺 (脚部～底部)	底径 6.2 残存高 6.8	被熱し器内厚い。脚部内面横位の、底部内面回し乍ら数回づつの指撫で、外面下方へ度削り。底部木葉直残る。	①酸化焰・硬 ②にぶい赤褐色(2.5YR5/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半か
42	第37図版 図版158 10-001186	土師器器臺 (口縁部～胴部) (残存部3/4)	口径 21.05 残存高 20.4	胴部以下外面集成は焼土付着。口縁横撫で、体部内面左方へ度撫で、外面一部輪痕残し、上方への度削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
43	第37図版 図版158 10-001187	土師器器臺 (口縁部～底部) (3/4)	口径 18.0 底径 7.9×6.9 器高 30.3	底部内外面直れ、胴部以下被熱し外面一部焼土付着。体部内面左方へ度撫で、外面上方へ度削り。底部外面度調整。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
44	第37図版 図版158 10-001189	土師器器臺 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 26.2 底径 推定 9.4 器高 32.9	内面やや直れる。口縁横撫で。体部内面右上がりの磨磨き、外面下方へ度削り。底部内面及び底面度調整。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
45	第37図版 図版158 10-001190	土師器器臺 (口縁部～胴部) (残存部1/3)	口径 推定 12.0 残存高 4.6	口縁横撫でで、内面保付着。胴部内面左方への度撫で。外面横位の度削り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(5YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
46	第37図版 図版158 10-001191	土師器器鉢 (口縁部～胴部) (残存部1/4)	口径 推定 12.6 残存高 4.7	内面吸炭による黄色処理。口縁横撫で。胴部内面横位の度撫で、外面輪痕残し、縦位の指撫で。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
47	第37図版 図版158 10-001192	土師器器長頸壺 (口縁部～底部) (7/8)	口径 10.55 底径 6.8×6.6 器高 19.7	器面直れる。内面度撫で。体部外面左方へ度削り。底面一方中央の度削りか。	①酸化焰・やや軟 ②にぶい黄褐色(10YR7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
48	第37図版 図版158 10-001193	須恵器器環 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 11.3×11.2 底径 6.3×5.7 器高 4.8	右回転口口成形。底面切り離し後、腰部下平一度面左回りの回転度削り。底面に十字の度撫で。	①還元焰・青 ②灰色(N5/7) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
49	第37図版 図版158 10-001194	須恵器器環 (口縁部～底部) (3/5)	口径 12.1 底径 9.1 器高 4.6	回転口口成形。底面切り離し後左回りの回転度削り。底面に丁字状の度撫で。	①還元焰・やや軟 ②灰緑(7.5Y6/1) ③粗砂粒	6世紀後半
50	第37図版 図版158 10-001195	土師 (表面半ば割離)	残存長 5.0 径 1.7×1.65 孔径 0.54×0.43	表面割離吸炭。棒状工具に粘土を巻き付け、手捏ね様に成形。縦位の細かい撫でで整形。端部未調整。	①酸化焰・やや軟 ②にぶい褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	50～60は一にぶい褐色(5YR7/4)群。表面の撫では磨磨きか
51	第37図版 図版158 10-001196	土師 (一部欠損)	長さ 5.65 径 1.65×1.6 孔径 0.53×0.445	やや直される。棒状工具に粘土を巻き付けて手捏ね様に成形。表面縦位の細かい撫でで整形。端部未調整。	①還元焰・やや軟 ②灰色(5Y6/1) ③粗砂粒	
52	第37図版 図版158 10-001197	土師 (表面一部割離)	長さ 5.4 径 1.9×1.65 孔径 0.56×0.535	表面に粘質土付着。棒状工具に粘土を巻き付けて手捏ね様に成形。表面に縦位の細かい撫で。端部未調整。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/8) ③粗砂粒	
53	第37図版 図版158 10-001198	土師 (表面半ば割離)	長さ 5.5 径 1.7×1.7 孔径 0.53×0.43	棒状の工具に粘土を巻き付け手捏ね様に成形。表面縦位の細かい撫でで整形。孔に棒状工具抜き取り時の指すり痕。	①還元焰・やや軟 ②灰褐色(2.5Y6/1) ③粗砂粒	
54	第37図版 図版158 10-001199	土師 (完形)	長さ 5.1 径 1.75×1.7 孔径 0.51×0.43	表面一部に粘質土付着。棒状工具に粘土を巻き付け手捏ね様に成形。縦位の細かい撫でで整形。端部未調整。	①酸化焰・青 ②残黄褐色(7.5YR8/6) ③粗砂粒	
55	第37図版 図版158 10-001200	土師 (完形)	長さ 5.6 径 1.75×1.65 孔径 0.495×0.465	表面多少風化。棒状工具に巻き付け手捏ね様に成形。表面縦位の細かい撫でを施して整形する。端部未調整。	①還元焰・やや軟 ②灰黄色(2.5Y7/2) ③粗砂粒	
56	第37図版 図版158 10-001201	土師 (端部一部欠損)	長さ 5.4 径 1.7×1.7 孔径 0.47×0.46	本住居の他の土師に比し若干いづつ。棒状工具に粘土を巻き付け手捏ね様に成形。表面縦位の細かい撫で。端部未調整。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(2.5Y8/2) ③粗砂粒	
57	第37図版 図版158 10-001202	土師 (端部一部欠損)	長さ 5.6 径 1.7×1.6 孔径 0.44×0.44	表面に一部黒色土付着。棒状工具に粘土を巻き付け手捏ね様に成形。表面縦位の細かい撫でで整形。端部未調整。	①酸化焰・やや硬 ②灰白色(2.5Y8/2) ③粗砂粒	
58	第37図版 図版158 10-001203	土師 (下半部欠損)	残存長 4.2 径 1.8×1.45 孔径 0.445×0.40	棒状工具に粘土を巻き付け成形。棒状工具抜き取り後、中位に前後に圧平。表面縦位の細かい撫で。端部未調整。	①還元焰・やや軟 ②残黄褐色(2.5Y8/4) ③粗砂粒	

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存番号)	測定値(cm)	形態・成形成・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
59	第376図 図版158 10-001204	土鑄 (完整)	長さ 5.8 径 1.8×1.65 孔径 0.46×0.45	表面の多くは剝離。棒状工具に粘土を巻き付けて成形。表面縦位に細かい溝で(磨き)で彫り。端部未調整。	①酸化銅・やや硬 ②灰白色(10Y8/6) ③細砂粒	
60	第376図 図版158 10-001205	土鑄 (両端部欠損)	残存長 5.7 径 1.7×1.65 孔径 0.51×0.49	表面多形剝離。棒状工具に粘土を巻き成形。棒状工具はきれいに抜き取られ、表面縦位の細かい溝で。端部未調整。	①酸化銅・やや硬 ②灰黄色(2.5Y7/2) ③細砂粒	
61	第376図 図版158 10-001206	土鑄 (下半部欠損)	残存長 4.9 径 1.75×1.55 孔径 0.565×0.56	棒状工具に粘土を巻き成形。孔やや一方の側に寄るが、工具きれいに抜かれ、表面縦位の細かい溝で。端部未調整。	①還元銅・やや軟 ②灰白色(2.5Y8/2) ③細砂粒・片岩含む	50~60とは異質、端部はやや丸まる
62	図版165 20-001010	こもろみ石 (1/1)	長さ 18.4 幅 5.2 厚み 4.2 重量 597g	円盤使用。右側縁上位の自然の湾曲。下位の自然の段を利用し、上位に幅3.7cm程、下位に幅3.2cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②灰白色(10Y5/1)	掘り方出土
63	図版165 20-001011	こもろみ石 (上半部欠損)	残存長 9.6 残存幅 7.7 残存厚 3.2 重量 340g	円盤を使用し、残存部の裏面も剝離。残存部左側に敲打による列れ部を設け、幅4.3cm程の帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②灰白色(2.5Y5/1)	掘り方出土
64	図版165 20-001012	こもろみ石 (上半部欠損)	残存長 16.7 幅 11.0 厚み 4.1 重量 1091g	やや扁平大型の円盤を用いる。残存部の中位に寄りに幅3.4cmの帯状の摩耗痕がやや右がりに一周する。	①網罟母石黒染片岩 ②灰白色(10G6/1)-赤灰色(5R6/1)	掘り方出土 重りに使用か
65	第376図 図版165 (磨石) 20-001013	こもろみ石 (磨石)	長さ 17.2 幅 8.4 厚み 5.5 重量 993g	円盤使用。底面に明瞭な研磨面残し、左側縁にも研磨痕残る。左側縁の自然の凹部を利用し、帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②灰色(5Y6/1)	磨石からの転用品
66	図版165 20-001014	こもろみ石 (下半部欠損)	残存長 13.5 残存幅 9.1 厚み 3.95 重量 620g	円盤使用。残存部の中位に幅3.1cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②黄灰色(2.5Y6/1)	上位と下位に被熱痕残り、痕状
67	図版165 20-001015	こもろみ石 (1/1)	長さ 16.9 幅 8.36 厚み 4.9 重量 901g	円盤を用い、中位に幅2.8~3.9cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①輝緑岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
68	図版165 20-001016	多孔石 (欠損品)	長さ 17.3 幅 16.1 厚み 4.2 重量 1474g	円盤を用い、上位及び右側縁が欠損する。表面の剝離面に径1.0cm以上×1.2cm、深さ2mm程の凹部が見られる。	①網罟母石黒片岩 ②青灰色(10BG5/1)	
69	第376図 図版158 20-001017	打製石斧 (一部剝離)	長さ 9.35 幅 5.1 厚み 1.95 重量 93g	頂部に自然面残し、左右両側と下端縁にやや粗い剝離調整痕される。下端縁には使用痕らしき剝離痕も見られる。	①熱変成岩 ②暗灰色(N3/7)	類型と分類型 の中間形態
70	第376図 図版165 (右下部一部欠損)	磨石	長さ 9.4 幅 8.5 厚み 4.0 重量 462g	円盤用いる。表面に研磨面が残る。裏面若干敲打される。	①安山岩 ②黄灰色(2.5Y6/1)	
71	第376図 図版158 (上半部欠損)	打製石斧	残存長 6.2 幅 4.55 厚み 2.1 重量 70g	短冊形の打製石斧の欠損品。左右両側にやや細かい剝離調整痕され、下端部の剝離は使用に伴うものと判断される。	①熱変成岩	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3)	取上番号付き集合扱い資料				
72	11-004076	縄文土層	2	10	中期
73	11-004077	土師器環	3	129	6世紀前半
74	11-004078	土師器環	6	144	6世紀後半
75	11-004079	土師器環	6	153	7c.前半・黒色処理
76	11-004080	土師器環	17	327	7世紀前半
77	11-004081	土師器環口縁	3	17	黒色処理
78	11-004082	土師器環口縁	3	10	粉質
79	11-004083	土師器環口縁	8	34	
80	11-004084	土師器環底部	11	141	7c.後半・黒色処理
81	11-004085	土師器環底部	5	29	粉質
82	11-004086	土師器環底部	28	432	
83	11-004087	土師器高环底部	3	74	
84	11-004088	土師器高环底部	1	30	
85	11-004089	土師器高环底部	2	63	粉質
86	11-004090	土師器高环底部	3	278	
87	11-004091	土師器高环底部	3	44	粉質
88	11-004092	土師器高环底部	4	149	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
89	11-004093	土師器環口縁	16	341	
90	11-004094	土師器環底部	8	171	奈良・平安時代
91	11-004095	土師器環底部	55	2924	
92	11-004096	土師器環底部	7	636	
93	11-004097	土師器小型壺	6	234	
94	11-004098	須恵器環口縁	1	11	
95	11-004099	須恵器環底部	2	54	
96	11-004100	須恵器環底部	3	152	
(4)	集合扱い資料				
97	11-004101	縄文土層	2	33	中期
98	11-004102	土師器環	1	13	6世紀前半
99	11-004103	土師器環	2	12	6世紀後半
100	11-004104	土師器環	3	34	7c.前半・黒色処理
101	11-004105	土師器環	8	72	7世紀前半
102	11-004106	土師器環	1	13	7c.後半・黒色処理
103	11-004107	土師器環	2	20	7世紀後半
104	11-004108	土師器環口縁	2	10	黒色処理
105	11-004109	土師器環口縁	16	77	

D区出土遺物一覧

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
106	11-004110	土師器坏高部	10	50	7c後半・黒色処理	115	11-004119	土師器壺底部	1	10	奈良・平安時代
107	11-004111	土師器坏高部	38	287		116	11-004120	土師器壺底部	3	376	
108	11-004112	土師器高坏脚部	7	69	粉質	117	11-004121	土師器小壺蓋	3	23	
109	11-004113	土師器高坏脚部	4	44		118	11-004122	須恵器坏口縁	3	23	
110	11-004114	土師器高坏脚部	4	32	粉質	119	11-004123	須恵器坏・碗	6	41	平安期頃
111	11-004115	土師器高坏脚部	3	39		120	11-004124	須恵器壺口縁	1	10	
112	11-004116	土師器壺口縁	11	87		121	11-004125	須恵器壺底部	1	17	
113	11-004117	土師器壺底部	17	79	奈良・平安時代	122	21-000427	熟成成岩	1	107	
114	11-004118	土師器壺底部	84	1231							

23 H-148号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に伴う可能性を持つ遺物						
1	図版158 10-01207	羽釜 (口縁部～体部) (破片)	残存 7.6×13.7 残存高 13.7	所謂吉井型の羽釜。内外面横位の無で、 脚は断面三角形で貼り付け。	①還元焰・やや硬 ②におい・褐色(GYR7/4) ③粗砂粒	10世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
2	第378図 図版158 20-001020	フランク (一部欠損)	長さ 4.0 残存幅 6.65 厚み 0.6 重量 25g	横長の割片を用いる。下端の縁辺に裏面 側より細かく剝離調整が施される。	①熟成成岩 ②灰色(N4/)	
3	第378図 図版158 10-001208	須恵器高台付碗 (脚部～高台部) (残存部の1/2)	高台径 推定6.6 残存高 2.15	右回転口縁成形。底面回転糸切り後外 周高台貼り付け時の無で。	①還元焰・やや軟 ②におい・褐色(GYR7/4) ③粗砂粒	10世紀前半
4	第378図 図版159 10-01209	羽釜 (口縁部～体部) (破片)	残存 12×7.5 残存高 7.5	所謂吉井型の羽釜。内面左方への無で。 外面横位の無で脚はレール形で脚部面 に凹縁を持ち貼り付け。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒	10世紀後半
5	第378図 図版159 20-001021	こもろみ石 (左側縁等欠損)	長さ 14.5 幅 6.7 厚み 4.3 重量 650g	円盤使用。右側の自然の湾曲を削り落と し、裏面中位上寄りの段を利用して、幅 3.8cmの準耗痕が一周する。	①灰山岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
6	第378図 図版159 10-001210	角型火鉢 (体部) (破片)	残存 3.5×4.0 厚み 0.9	帯帯で上下を直し、上位の区画は菊花文、 下位の区画は陰(左回り)の巴文が施され る。僅かに焼き結まる。	①還元焰・青 ②灰白色(7.5Y7/1) ③粗砂粒	13～14世紀か 被熱有り。地 方窯の製品か

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料											
7	11-004126	土師器坏口縁	3	12	黒色処理	17	11-004136	灰物口縁	1	7	
8	11-004127	土師器坏高部	10	19	黒色処理	(4) 集合扱い資料					
9	11-004128	土師器壺口縁	2	32	9世紀	18	11-004137	縄文土器	1	19	中期
10	11-004129	土師器壺体部	6	35	奈良・平安時代	19	11-004138	土師器坏底部	14	8	黒色処理
11	11-004130	土師器壺体部	1	7		20	11-004139	土師器壺口縁	1	4	9世紀
12	11-004131	須恵器・碗口縁	4	34	平安期頃	21	11-004140	土師器壺体部	10	58	奈良・平安時代
13	11-004132	須恵器・碗底部	1	3	平安期頃・高台付	22	11-004141	須恵器・碗口縁	6	29	平安期頃
14	11-004133	須恵器壺体部	2	128		23	11-004142	須恵器・碗底部	1	8	平安期頃
15	11-004134	羽釜口縁	1	47		24	11-004143	須恵器壺口縁	2	22	
16	11-004135	羽釜体部	3	152		25	11-004144	須恵器壺体部	2	42	
						26	21-000428	熟成成岩	1	30	

24 H-149号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第380図 図版159 10-001211	土師器坏 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 13.1×12.6 底径 9.8×9.4 器高 4.5	口縁横換で。体部～底部内面左回りの隆 無で。体部外面直年らの直削りか。底 面一方向中心の直削り。	①酸化焰・青 ②褐色(GYR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀前半
2	第380図 図版159 10-001212	土師器坏 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 11.5×10.7 底径 5.7×5.1 器高 4.4	内外面無縁直年の直削り。口縁横換で。体 部～底部内面直削り。体部外面直年ら、 底面概ね一方への直削り。	①酸化焰・青 ②褐色(GYR7/6) ③粗砂粒	やや横方向に 圧平される

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
4	第380図 図版159 20-001213	土師器鉢 (口縁部～底部) (3/4)	口径 19.6 底径 12.3×11.6 器高 12.3	口縁横撫で、体部内面左方へ展撫で後、概ね一方への指撫で、体部外面輪郭復元後、上方へ、底面(回し乍らの)展撫り。	①酸化焰・青 ②にぶい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半内面煤粉着色して使用か
5	第380図 図版165 20-001022	こも編み石 (1/1)	長さ 16.0 幅 8.6 厚み 3.7 重量 887g	円織を用い、表面に敲打痕残る。左右両側中位やや上寄りに研磨を伴う浅い刻れ部を設け、帯状の摩擦痕一周。	①安山岩 ②褐色(5YR5/1)	①安山岩 ②緑灰色(10G6/2)
6	第380図 図版165 20-001023	こも編み石 (1/1)	長さ 17.6 幅 7.4 厚み 4.3 重量 881g	円織を用い、中位の若干下りに、幅3.1cm程の帯状の摩擦痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(10G6/2)	
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
7	第380図 図版159 20-001024	スライバー (1/1)	長さ 4.7 幅 7.5 厚み 1.1 重量 43g	表面に自然面を残す横長の切片を用い、下縁端部にやや細かい刻痕が施される。	①熱変成岩	
8	第380図 図版165 20-001025	こも編み石 (下部欠損)	残存長 10.1 残存幅 8.1 厚み 3.2 重量 168g	円織を用い左右両側に敲打と研磨によるはっきりとした刻れ部が設けられ、幅4.1cm程の帯状の摩擦痕が一周する。	①砂岩 ②黄褐色(10YR8/4)	
9	第380図 図版165 20-001026	こも編み石 (左下部欠損)	残存長 10.1 残存幅 7.3 厚み 2.8 重量 309g	円織を用い、右側縁中位下寄りに敲打での刻れ部が設けられ、幅3.1cm程の帯状の摩擦痕が一周する。	①砂岩 ②明オリブ灰色(2.5GY7/1)	
10	第380図 図版159 10-001214	土師器杯 (口縁部～底部) (破片)	残存 8.7×6.25 口径 推定 12.4 残存高 3.9	口縁横撫で、体部～底部内面展撫で、体部外面回し乍ら、底面右回りの展撫り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀前半
11	第380図 図版159 10-001215	土師器杯 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 12.7×12.6 底径 6.6×6.4 器高 3.8	口縁横撫で、体部～底部内面左回りの展撫で、体部外面回し乍ら、底面一方を主体とする展撫り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀後半
12	第380図 図版159 10-001216	土師器杯 (口縁部～底部) (1/2)	口径 11.0 底径 推定 7.0 器高 3.5	口縁～体部内面上位横撫で、体部中位～底部内面回し乍らの展撫で、体部外面回し乍ら、底面2方向への展撫り。	①酸化焰・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀中葉
13	第380図 図版159 10-001217	土師器杯 (口縁部～底部) (1/3)	口径 13.8 底径 推定 5.0 器高 3.0	内外面やや風化。口縁～体部内面横撫で、底面内面回し乍らの展撫で、体部外面回し乍ら、底面概ね一方へ展撫り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒	7世紀前半 2次的被熱あり
3	第380図 図版159 10-001218	土師器杯 (口縁部～底部) (ほぼ定形)	口径 12.5×12.2 底径 9.0×8.8 器高 3.9	口縁横撫で、体部～底部内面左回りの展撫で、体部外面左回りの、底面不定方向の展撫り。	①酸化焰・やや硬 ②黄褐色(7.5YR8/4) ③粗砂粒	7世紀後半
14	第380図 図版159 10-001219	土師器鉢 (口縁部～腰部) (破片)	残存 12.3×7.75 口径 推定 17.2 残存高 6.7	内面部による黒色処理。口縁横撫で、体部内面横撫での展撫で、肩部外面左方へ、胴部外面下方への展撫り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
15	第380図 図版159 10-001220	土師器甕 (体部～底部) (残存部1/2)	底径 7.7×7.3 残存高 10.1	体部～底部内面左方へ展撫で、体部外面縦位の展撫り。底面展撫り、内面より径4.5cm程の貫通孔6孔穿たれる。	①酸化焰・やや硬 ②にぶい赤色(7.5R4/4) ③粗砂粒	7世紀前半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合体資料					
16	11-004145	土師器鉢	10	128	7世紀前半
17	11-004146	土師器杯口縁	1	13	6世紀後半
18	11-004147	土師器杯口縁	2	20	7世紀前半・粉質
19	11-004148	土師器杯口縁	3	39	7世紀後半
20	11-004149	土師器杯口縁	6	24	
21	11-004150	土師器杯底部	5	83	黒色処理
22	11-004151	土師器杯底部	4	111	粉質
23	11-004152	土師器杯底部	23	316	
24	11-004153	土師器高坏環部	1	29	
25	11-004154	土師器高坏脚部	1	16	
26	11-004155	土師器高坏頸部	1	31	粉質
27	11-004156	土師器高坏頸部	4	86	
28	11-004157	土師器輪口縁	1	61	
29	11-004158	土師器輪体部	3	151	
30	11-004159	土師器頸口縁	14	389	
31	11-004160	土師器甕体部	17	302	奈良・平安時代

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
32	11-004161	土師器甕体部	36	830	
33	11-004162	土師器甕底部	13	585	
34	11-004163	土師器甕口縁	2	15	
35	11-004164	土師器甕体部	8	190	
36	11-004165	土師器甕底部	1	28	
37	21-000429	熱変成岩	1	91	
(4) 集合体資料					
38	11-004166	土師器杯	24	161	7世紀前半
39	11-004167	土師器杯口縁	2	18	6世紀後半
40	11-004168	土師器杯口縁	2	29	7世紀前半・粉質
41	11-004169	土師器杯口縁	9	60	7c.後半・黒色処理
42	11-004170	土師器杯口縁	4	43	7世紀後半
43	11-004171	土師器杯口縁	8	24	黒色処理
44	11-004172	土師器杯口縁	4	11	粉質
45	11-004173	土師器杯口縁	9	26	
46	11-004174	土師器杯底部	31	135	黒色処理
47	11-004175	土師器杯底部	4	16	粉質

D区出土遺物一覧

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
48	11-004176	土師器環底部	56	323		57	11-004185	土師器環底部	5	100	
49	11-004177	土師器高環底部	3	40		58	11-004186	土師器小壺口縁	1	18	
50	11-004178	土師器高環脚部	3	42		59	11-004187	土師器壺口縁	2	22	
51	11-004179	土師器高環脚部	1	6	粉質	60	11-004188	土師器壺底部	8	92	
52	11-004180	土師器高環脚部	10	92		61	11-004189	土師器壺底部	2	14	
53	11-004181	土師器壺口縁	1	26		62	11-004190	須恵器壺口縁	1	4	
54	11-004182	土師器壺口縁	26	254		63	11-004191	須恵器壺底部	3	13	
55	11-004183	土師器壺底部	90	397	奈良・平安時代	64	11-004192	カマド構築材	2	16	
56	11-004184	土師器壺底部	134	1255							

25 H-162・163号住居

No.	図面番号 図型番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①着色 ②土質 ③釉土	備 考
(1) H-162号住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第382図 図版159 10-001221	土師器環 (口縁部→底部) (完全)	口径 12.7×12.45 底径 5.9×5.8 器高 4.0	内面黒漆塗布の痕跡。口縁横溝で、底部内面左回りの距離で、外部外面周りに、底面2方向への寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③細砂粒	7世紀後半
2	第382図 図版159 10-001222	土師器環 (口縁部→底部) (ほぼ完全)	口径 10.4×10.3 底径 6.0×5.2 器高 3.55	口縁横溝で、底部内面左回りの距離で、外部外面周りに、底面不定方向の寛削り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(5YR6/4) ③細砂粒	7世紀後半
(2) H-163号住居に直接伴うと判断される遺物						
3	第382図 図版159 10-001223	土師器環 (口縁部→底部) (2/3)	口径 13.5 底径 推定7.8 器高 4.0	内面黒漆塗布の痕跡。口縁横溝で、外部外面周りに、底面一方への寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀中葉
4	図版165 20-001027	こも編み石 (1/1)	長さ 20.4 幅 9.1 厚み 3.1 重量 947g	やや大型の内蔵使用。左側縁中位やや下寄りに刺繍で浅い刻れ部設け、幅 3.3cm程の摩耗痕や右上がりに一見。	①酸化焰・青 ②オリブ灰色 (2.5GY5/1)	
5	図版165 20-001028	こも編み石 (1/1)	長さ 17.8 幅 6.5 厚み 4.6 重量 831g	棒状やや大型の内蔵を用いる。中位に幅 4.9cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①点紋胡粉磨緑灰片岩 ②緑灰色(10G6/1)	
(3) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
6	第382図 図版165 20-001029	磨石 (編みこも編み石) (1/1)	長さ 11.5 幅 9.4 厚み 4.25 重量 650g	内蔵を用いる。表面に研磨面、上下両端に敲打痕を残し、中位に帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②褐色(10YR6/1)	こも編み石への転用品
7	第382図 図版159 10-001224	土師器環 (口縁部→底部) (1/3)	口径 推定 13.4 底径 推定 11.2 器高 3.3	口縁横溝で、外部外面周りに、底面一方中心の寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半 黒色処理の可能性有り
8	第382図 図版159 10-001225	土師器壺 (口縁部→胴部) (残存部の1/4)	口径 推定 16.2 残存高 13.4	外部外面胴部の一部に焼土付着。口縁横溝で、外部外面左方へ寛削り、外面上方への寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(10YR6/1) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀
9	第382図 図版159 10-001226	土師器壺 (胴部→底部) (底部完全)	底径 3.6×2.9 残存高 7.5	胴→底部内面(左回り中心に)凹し整形の距離で、外部外面周りに、底面不整形の棒状工具圧痕、調整痕等残る。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(2.5YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀か 内外面煤等広く付着
10	第382図 図版165 20-001030	こも編み石 (1/1)	長さ 17.0 幅 5.2 厚み 5.5 重量 858g	内蔵を用い、右側面中位やや上寄りの自然の湾曲面を利用し、幅 1.5~2.0cmの帯状の摩耗痕が一周する。	①緑輝石 ②暗緑灰色(10G4/1)	
11	図版165 20-001031	こも編み石 (右側縁刺繍)	長さ 17.2 残存幅 7.7 厚み 4.0 重量 862g	内蔵を用いる。中位に幅 1.9cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋胡粉磨石片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
12	図版165 20-001032	こも編み石 (欠損品)	長さ 16.4 幅 6.7 厚み 3.3 重量 650g	内蔵使用。表面右側と裏面左右両側部欠損。上位右側縁に研削を伴う浅い刻れ部設け、幅 3.3cm程の摩耗痕一周。	①緑輝石 ②暗緑色(5G5/1)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(4) H-162号住居 集合扱い資料(取上番号なし)											
13	11-004193	縄文土器	3	39	中期	18	11-004198	土師器環口縁	6	15	
14	11-004194	土師器環	1	9	6世紀後半	19	11-004199	土師器環底部	5	27	黒色処理
15	11-004195	土師器環	2	8	7世紀前半	20	11-004200	土師器環底部	3	9	粉質
16	11-004196	土師器環	5	28	7世紀後半	21	11-004201	土師器環底部	16	58	
17	11-004197	土師器環口縁	3	17	黒色処理	22	11-004202	土師器壺口縁	2	12	
						23	11-004203	土師器壺底部	31	310	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
24	11-004204	須志御蓋錠	1	15	
25	11-004205	須志御蓋体部	1	10	
(5) H-163号住居 集合扱い資料(取上番号付き)					
26	11-004206	土師器体部	1	111	
(6) H-162・163号住居集合扱い資料(取上番号付き)					
27	11-004207	縄文土器	2	52	中期
28	11-004208	土師器環	1	15	7世紀前半
29	11-004209	土師器環	1	10	7世紀後半
30	11-004210	土師器環	1	12	7c後半・黒色処理
31	11-004211	土師器環口縁	1	13	黒色処理
32	11-004212	土師器環底部	1	101	黒色処理

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
33	11-004213	土師器環底部	7	170	
34	11-004214	土師器高坏脚部	1	60	
35	11-004215	土師器高坏脚部	4	63	
36	11-004216	土師器環口縁	1	101	
37	11-004217	土師器体部	14	556	
38	11-004218	土師器環口縁	2	123	
39	11-004219	土師器體体部	1	15	
40	11-004220	須志環・碗底部	1	47	
(7) H-162・163号住居集合扱い資料					
41	21-000430	熟成灰岩	1	270	

26 H-168号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (図版番号) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	地産・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第384図 図版159 10-001227	須志御蓋高坏 (坏部) (残存部の1/2)	口径 推定 13.6 頸部径 推定 4.4 残存高 4.3	右回転ロクロ成形。坏底部切り離し後、左回りの回転旋削り。その後御蓋装着時の旋削り。	①還元焰・青 ②灰白色(5Y7/1)・褐灰色(5YR5/1) ③粗砂粒	6世紀後半 片岩含む
2	第384図 図版160 10-001228	土師器甕 (口縁部～底部) (残存部の1/3)	口径 25.3×25.1 底径 9.75×9.75 器高 30.1	内面下半寬れる。口縁横撫で。体部内面左方への寬撫で後、旋削り。外面旋削り。底部横位の細かい旋削り。	①還元焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む・やや精製	6世紀後半
3	第384図 図版160 10-001229	土師器甕 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 推定 25.2 底径 26.0 器高 28.0	口縁横撫で。体部内面横位の寬撫で後、胴部以下旋削り。外面旋削りで腰部は左上方中心の旋削り。底部旋削り。	①還元焰・青 ②残黄褐色(7.5YR8/6) ③粗砂粒・やや精製	6世紀後半
4	第384図 図版160 20-001033	(ほぼ完形石)	長さ 16.1 幅 6.4 厚み 6.5 重量 1000g	横断面三角形の内縁使用。頂部縁中位やや下寄りと右側縁下位に摩耗を伴う浅い刻線部持ち、帯状の摩耗痕一見。	①安山岩 ②灰色(N6/7)	
5	第384図 図版160 10-001230	土師器甕 (口縁部～腰部) (残存部の7/8)	口径 推定 24.2 残存高 31.5	外面胴部以下黒色土系の埋土付着。内面吸炭。口縁横撫で。体部内面旋削り、外面旋削り。	①還元焰・青 ②ぶい褐色(7.5YR6/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
6	第384図 図版160 10-001231	土師器甕 (口縁部～胴部) (残存部の1/2)	口径 推定21.4 残存高 13.2	口縁横撫で。体部内面左方へ旋削り、外面上方へ旋削り。	①還元焰・硬 ②褐色(5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
7	第384図 図版160 10-001232	土師器甕 (口縁部～胴部) (残存部の1/3)	口径 推定 20.8 残存高 8.1	口縁横撫で。胴部内面左方への旋削り、外面上方への旋削り。	①還元焰・青 ②ぶい黄褐色(10YR6/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
8	第384図 図版160 10-001233	土師器甕 (口縁部～腰部) (残存部の1/8)	口径 推定 24.3 残存高 27.1	胴部以下外面埋土等付着。内外面保付着。口縁横撫で。体部内面左方への旋削り、外面上方への旋削り。	①還元焰・青 ②残黄褐色(10YR6/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 半ば接合不能
9	第384図 図版160 10-001234	土師器甕 (口縁部～胴部) (残存部の1/3)	口径 推定 23.6 残存高 10.7	内面やや吸炭。口縁横撫で。胴部内面左方への旋削り、外面上方への旋削り。	①還元焰・やや硬 ②残黄褐色(10YR6/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
10	第384図 図版160 10-001235	土師器甕 (胴部～腰部) (残存部の1/2)	最大径 17.6 残存高 27.8	内面寬れる。外面保付着。体部内面横位の旋削り。胴部外面上方、腰部左上方への旋削り。	①還元焰・青 ②灰褐色(5YR5/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半～ 7世紀前半
11	第384図 図版160 20-001034	白玉	径 1.1×1.05 厚み 0.9 重量 1.61g	上面の一部と底面の1/3切断時に割れ。上底面丁寧に磨き。側面縦位に削り後粗く磨き。縦位に径2mm程の穿孔。	①滑石 ②明青灰色(5B7/1)	
12	第384図 図版160 20-001035	白玉 (一部割断)	径 1.35×1.3 厚み 1.3 重量 2.23g	上面切断時の割断見られる。上底面切断後、上面磨き。側面縦位の削り後、粗い磨き。縦位に3mm程の穿孔。	①滑石 ②緑灰色(10GY6/1)	
13	第384図 図版160 10-001236	丸玉 (完形)	径 1.1×1.1 厚み 1.1 孔径 0.21×0.125	吸炭による黒色処理。手摺ね棒に成形し丁寧に磨で。やや寄った位置に縦位に貫通孔を穿ち、ややこねて抜き取る。	①還元焰・青 ②黒褐色(10YR3/1) ③細砂粒	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3)	取上番号付き集合扱い資料				

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
14	11-004221	縄文土器	1	41	中期

D区出土遺物一覧

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
15	11-004222	弥生土器	1	10	赤井戸式	37	11-004244	土師器坏	2	9	7世紀後半
16	11-004223	土師器坏	1	6	7c.前半・黒色処理	38	11-004245	土師器坏口縁	1	4	黒色処理
17	11-004224	土師器坏	2	10	7世紀後半	39	11-004246	土師器坏口縁	1	2	粉質
18	11-004225	土師器坏	1	8	奈良時代頃	40	11-004247	土師器坏口縁	7	30	
19	11-004226	土師器坏口縁	1	3	黒色処理	41	11-004248	土師器坏底部	13	77	黒色処理
20	11-004227	土師器坏底部	2	6	黒色処理	42	11-004249	土師器坏底部	6	33	粉質
21	11-004228	土師器坏底部	11	64		43	11-004250	土師器坏底部	22	134	
22	11-004229	土師器高坏底部	1	37		44	11-004251	土師器高坏底部	2	17	
23	11-004230	土師器壺口縁	3	160	奈良・平安時代	45	11-004252	土師器高坏底部	4	36	
24	11-004231	土師器壺口縁	6	291		46	11-004253	土師器高坏底部	6	65	
25	11-004232	土師器壺体部	26	377	奈良・平安時代	47	11-004254	土師器壺口縁	14	122	奈良・平安時代
26	11-004233	土師器壺体部	17	441		48	11-004255	土師器壺口縁	8	88	
27	11-004234	土師器壺底部	2	80		49	11-004256	土師器壺体部	91	958	奈良・平安時代
28	11-004235	土師器壺口縁	1	60		50	11-004257	土師器壺体部	43	487	
29	11-004236	土師器壺体部	6	821		51	11-004258	土師器壺体部	3	124	奈良・平安時代
30	11-004237	土師器壺体部	1	98		52	11-004259	土師器壺体部	4	97	
31	11-004238	土師器壺体部	1	39		53	11-004260	土師器壺体部	2	15	
32	11-004239	須恵器壺体部	2	530		54	11-004261	土師器壺口縁	1	16	
(4) 集合扱い資料						55	11-004262	土師器壺体部	1	19	残
33	11-004240	縄文土器	1	11		56	11-004263	土師器壺体部	2	33	
34	11-004241	土師器坏	1	13	6世紀後半	57	11-004264	須恵器蓋か	1	22	
35	11-004242	土師器坏	5	57	7世紀前半	58	11-004265	須恵器・破口縁	1	4	
36	11-004243	土師器坏	1	1	7c.後半・黒色処理	59	11-004266	須恵器壺体部	1	57	

27 10号掘立柱建物

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本建物には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	図版160 10-001237	伊底材か (一部欠損)	上径 11.8×10.0 底径 4.8×4.7 厚さ 1.1 高さ 4.7	縦断面を産するが伊底に伴う何らかの施設の材か。黒色土・ローム等を含み、底面に粘土、上端部に酸化鉄付着。	①黒陶 ②灰色(5Y6/1) ③細砂粒	伊底を覆っていたものか
2	第387図 図版160 10-001238	土師器台付壺 (壺底部～台部) (残存部3/4)	頸部径 4.75×4.7 残存高 2.5	壺底部内面凹し下りの窪無で。台部内面指撫で。壺底部～台部外面肌調整。台部横溝無。	①酸化焰・青 ②にぶい黄褐色(10YR7/4) ③細砂粒	9世紀か
3	第387図 図版160 10-001239	須恵器脚付壺 (口縁部～壺底部) (残存部1/4)	口径 20.0 底径 13.8 壺高 3.2	回転口ロウ成形。壺底部内面放射状の窪無で。頸部～壺底部外面左回りの回転置削り後、脚貼り付け時の無で。	①還元焰・青 ②灰白色(N7/7) ③細砂粒	7世紀後半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料(ビット2)						9	11-004272	須恵器壺体部	6	82	
4	11-004267	土師器坏	2	17	奈良時代頃	(3) 集合扱い資料(ビット2)					
5	11-004268	土師器坏底部	3	19		10	11-004273	土師器坏	1	11	奈良時代頃
6	11-004269	土師器壺口縁	1	12	奈良・平安時代	11	11-004274	土師器壺体部	1	7	
7	11-004270	土師器壺体部	4	25	奈良・平安時代	12	11-004275	須恵器蓋	1	26	
8	11-004271	土師器壺体部	3	88							

28 12号掘立柱建物

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本建物には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第389図 図版160 10-001240	須恵器蓋 (天井部～口縁部) (破片)	残存 11.5×6.1 口径 推定 22.0 残存高 3.3	回転口ロウ成形。口縁部下方に引かれらる。	①還元焰・青 ②灰白色(N7/7) ③細砂粒	8世紀後半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料						3	11-004277	土師器坏底部	4	14	
2	11-004276	土師器坏	3	23	奈良時代頃	4	11-004278	土師器壺	1	23	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
5	11-004279	土師器壺底部	2	18	
6	11-004280	須恵環・碗底部	1	17	平安朝頃

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
7	11-004281	須恵器壺体部	3	33	

29 13号掘立柱建物

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形成・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本建物には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第390図 図版160 10-001241	須恵器環 (体部～底部) (残存部1/2)	底径 6.95 残存高 1.6	右回転クロコ成形成。体部～底部内面同じ 午ら指應で、切り離した後體部外面～底部 外周左回り、底面一方への覆削り。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y8/1) ③細砂粒・片岩含む	6世紀後半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
2	11-004282	土師器壺体部	2	36	
3	11-004283	須恵器蓋	1	16	
(3) 集合扱い資料					
4	11-004284	土師器環	1	12	6世紀後半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
5	11-004285	土師器環口縁	1	1	
6	11-004286	土師器環底部	1	4	粉質
7	11-004287	土師器壺体部	4	18	奈良・平安時代
8	11-004288	土師器壺体部	3	16	
9	11-004289	須恵器壺体部	1	13	

30 14号掘立柱建物

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形成・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本建物には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第391図 図版160 10-001242	須恵器環 (口縁部～底部) (残存部1/2)	口径 推定 12.4 底径 6.55×6.4 残存高 3.7	左回転クロコ成形成。底面直切り後、腰又は指應での再調整。	①還元焰・硬 ②灰色(N7/) ③細砂粒	8世紀後半
2	第391図 図版160 20-001036	こも編み石 (1/1)	長さ 6.2 幅 3.65 厚み 2.1 重量 68g	極めて小型の円盤を用いる。中位に幅2.2cm程の帯状の摩耗痕一両する。	①網罟母石塵片岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
3	図版165 20-001037	こも編み石 (1/1)	長さ 11.8 幅 5.2 厚み 2.25 重量 250g	小型の円盤を用いる。中位に幅3cm程の帯状の摩耗痕が一両する。	①網罟母石塵片岩 ②灰色(N4/)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
4	11-004290	土師器環	1	21	7世紀後半
5	11-004291	土師器壺口縁	2	18	奈良・平安時代
6	11-004292	土師器壺体部	1	3	奈良・平安時代
7	11-004293	須恵器壺底部	1	56	
8	21-000431	熟成成岩	1	61	
(3) 集合扱い資料					
9	11-004294	土師器環底部	1	13	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
10	11-004295	土師器壺口縁	1	10	奈良・平安時代
11	11-004296	土師器壺体部	29	136	奈良・平安時代
12	11-004297	土師器壺体部	2	36	
13	11-004298	土師器壺底部	1	6	奈良・平安時代
14	11-004299	須恵器蓋	1	6	
15	11-004300	須恵環・碗口縁	6	48	平安朝頃
16	11-004301	須恵環・碗体部	5	26	
17	11-004302	須恵片	2	5	

31 15号掘立柱建物

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形成・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本建物には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第392図 図版160 10-001243	須恵器蓋 (天井部～口縁部) (破片)	残存 6.65×6.75 口径 推定 12.0 残存高 1.5	回転クロコ成形成。天井部外面回転削削り。 銀(宝珠か)欠損。口縁に戻りを有する。	①還元焰・硬 ②灰白色(N7/) ③細砂粒	A.D.700年前後

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
2	11-004303	土師器環底部	3	27	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
3	11-004304	土師器壺口縁	2	63	

D区出土遺物一覧

32 16号掘立柱建物

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本建物には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第392図 図取160 10-001244	土師器坏 (口縁部～底部) (2/3)	口径 推定 13.5 底径 推定 9.0 器高 3.1	口縁横溝で、体部～底部内面側で、体部外周に午ら、底面外周左回りの、底面過半概ね一方への窪削り。	①酸化焰・青 ②棕色(7.5YR6/6) ③粗砂粒	8世紀後半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
2	11-004305	土師器坏底部	1	10	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
3	11-004306	土師器壺体部	1	12	奈良・平安時代
4	11-004307	須恵器壺体部	1	12	

33 18号掘立柱建物

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本建物には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第383図 図取161 10-001245	須恵器坏 (口縁部～底部) (破片)	残存 6.55×5.9 口径 推定2.6 器高 8.0 器高 4.1	回転ロクロ成形。回転糸切り後、回し午らの寛調整か。	①還元焰・青 ②オリープ灰色(2.5GY6/1) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀後半
2	第393図 図取161 40-000637	刀子状鉄製品 (茎部～刃部) (両端側欠損)	残存長 14 茎部幅 ×厚 2.2×0.7 刃部幅×厚 2.8×0.15	茎部は先端に向かって尖る傾向にあるが背側に対し刃側の角度急。刃部は短冊形を成し薄い。		やや大型の刀子

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
3	11-004308	陶器	2	6	
(3) 集合扱い資料					
4	11-004309	土師器坏底部	3	11	
5	11-004310	土師器柄口縁	1	9	
6	11-004311	土師器壺口縁	1	6	奈良・平安時代

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
7	11-004312	土師器壺口縁	4	49	
8	11-004313	土師器壺体部	4	10	奈良・平安時代
9	11-004314	土師器壺体部	3	32	
10	11-004315	須恵器坏底部	1	5	
11	11-004316	須恵器坏・柄口縁	2	12	

34 20号掘立柱建物

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本建物には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第395図 図取161 10-001246	土師器壺 (胴部下位～底部) (残存部のみ)	口径 5.6×4.8 残存高 4.0	胴部～底部内面左回りの寛撫で、外面寛調整及び指撫で。底面楕円状を呈し木葉痕残る。	①還元焰・青 ②浅黄棕色(10YR8/3) ③粗砂粒	6世紀

35 21号掘立柱建物

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1) 取上番号付き集合扱い資料					
1	11-004317	土師器壺胴部	1	8	奈良・平安時代

36 22号掘立柱建物

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1) 取上番号付き集合扱い資料					
1	11-004318	土師器壺口縁	3	40	
2	11-004319	土師器壺体部	4	87	
3	11-004320	陶器	1	11	

37 23号獨立柱建物

No	図面番号 図取番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本建物には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第398図 図版161 10-001247	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 12.1 底径 推定 7.4 残存高 3.8	口縁横溝で、体部～底部内面回し乍らの 腹側で、体部外面回し乍らの腹側。底 面尻削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀後半
2	第398図 図版161 10-001248	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 13.0 底径 推定 4.3 残存高 4.6	口縁横溝で、体部～底部内面立回りの 腹側で、体部外面回し乍ら、底面概ね一 方への腹削り。	①酸化焰・青・やや粉 質 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀後半
3	第398図 図版161 10-001249	土師器環 (口縁部～底部) (破片)	口径 推定 12.0 底径 推定 7.8 残存高 2.4	口縁横溝で、体部～底部内面側で調整。 体部外面横溝、底面回し乍らの腹削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	8世紀後半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
4	11-004321	土師器外底部	1	23	
5	11-004322	土師器壺体部	1	46	
6	11-004323	須恵器蓋か	1	21	
7	11-004324	須恵器壺体部	2	132	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(4) 集合扱い資料					
8	11-004325	土師器壺体部	2	21	
9	11-004326	須恵器壺体部	1	21	
10	21-000432	熟成成岩	1	20	

38 11号溝

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1) 取上番号付き集合扱い資料					
1	11-004327	土師器壺体部	1	8	奈良・平安時代
(2) 集合扱い資料					

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
2	11-004328	土師器壺体部	1	8	
3	11-004329	土師器口縁	1	8	

39 78号土坑

No	図面番号 図取番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本土坑との直接の関連を特定できなかった遺物						
1	第408図 図版161 20-001038	石鏝 (頂部・片割欠損)	残存長 2.0 残存 幅 1.3 厚み 0.35 重量 0.67 g	平面形は二等辺三角形を呈する小型の 無蓋鏝で、脚は長い。調整は比較的丁寧 だが、左側縁は一部欠れる。	①黒曜石 ②褐色系で透ける	

40 83号土坑

No	図面番号 図取番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本土坑との直接の関連を特定できなかった遺物						
1	第403図 図版161 10-001250	須恵器鉢 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 23.4 底径 推定 15.8 器高 8.5	右回転クロコ成形。口唇平ら。胴部外 面の一部～底部右回りの腹削り。一部自 然触損か。口縁厚く底部やや薄手。	①還元焰・やや硬 ②暗青灰色(5PB4/1) ③粗砂粒・片岩含む	A.D.700年前後 か

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
2	11-004330	須恵器壺体部	1	239	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(3) 集合扱い資料					
3	11-004331	須恵器・横口縁	1	6	平安期頃

41 90号土坑

No	図面番号 図取番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本土坑との直接の関連を特定できなかった遺物						
1	第403図 図版161 10-001251	須恵器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 13.2 底径 推定 6.2 器高 4.2	右回転クロコ成形。底面回転未切り。	①還元焰・やや軟 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半

D区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
2	第403図 図版161 10-001252	須恵器坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 12.2 底径 推定 5.8 器高 4.0	右回転ロクロ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・やや軟 ②灰色(10Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
3	図版161 10-001253	須恵器坏 (口縁部～底部) (破片)	口径 推定 12.0 底径 推定 6.2 器高 4.0	右回転ロクロ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・やや軟 ② ①灰白色(7.5Y7/4) ③粗砂粒	10世紀前半
4	第403図 図版161 10-001254	須恵器耳皿 (口縁部～底部) (ほぼ完成)	径 9.2×7.15 底径 推定 5.7×5.5 器高 3.0	左回転ロクロ成形。両側より口縁折る。 底面回転糸切り後やや右寄りに、径8mm 程の棒状工具で内面より穿孔。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(5Y7/1) ③粗砂粒	10世紀か 穿孔部外面も ぎ取られる
5	第403図 図版161 10-001255	須恵器 (胴部～底部) (残存部の2/3)	底径 5.8×5.6 残存高 8.4	回転ロクロ成形。胴部外面下位右方への 蔑削り。底面概ね一方への蔑削り。	①還元焰・やや軟 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗砂粒	10世紀

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料						10	11-004336	須恵口縁	1	74	
6	11-004332	土師器壺体部	3	4	9世紀	11	11-004337	須恵器体部	12	294	
7	11-004333	須恵器・横口縁	9	98	平安前期	⑬ 集合扱い資料					
8	11-004334	須恵器・横口縁部	5	39	平安前期	12	11-004338	須恵口縁	2	4	
9	11-004335	須恵器・横口縁部	4	209	平安前期						

42 91号土坑

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本土坑に伴う可能性を持つ遺物						
1	第404図 図版161 10-001256	須恵器坏 (口縁部～底部) (破片)	残存 8.4×5.4 口径 推定15.2 底径 推定 9.3 器高 3.4	外面炭灰による黒色処理。右回転ロクロ 成形。底面切り離した後回転蔑削り。	①還元焰・青 ②灰白色(7.5Y7/1) ③粗砂粒	8世紀前半
(2) 本土坑との直接の関連を特定できなかった遺物						
2	第404図 図版161 10-001257	土師器坏 (口縁部～底部) (2/3)	口径 推定 12.5 底径 8.6 器高 3.6	口縁横線で、体部～底部内面回し平らの 煎で。体部外面左回りの、底面概ね一 方向への蔑削り。	①還元焰・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀後半
3	第404図 図版161 10-001258	須恵器坏 (口縁部～底部) (7/8)	口径 13.2×13.1 底径 8.7×8.6 器高 3.4	右回転ロクロ成形。底面回転蔑削り後、 胴部下位～底面左回りの回転蔑削り。	①還元焰・青 ②灰白色(N7/) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀前半
4	第404図 図版161 10-001259	須恵器坏 (口縁部～底部) (破片)	残存 8.0×6.4 口径 推定14.2 底径推 定 10.8 器高 4.4	右回転ロクロ成形。底面回転蔑削り後、 胴部下位～底面左回りの回転蔑削り。	①還元焰・やや硬 ②灰白色(10Y8/1) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀前半

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料						9	11-004343	須恵器壺体部	1	155	
5	11-004339	土師器坏口縁	5	51	奈良時代頃	10	11-004344	須恵器・横口縁	2	33	平安前期
6	11-004340	土師器坏底部	3	46		11	11-004345	須恵器・横口縁部	2	62	平安前期
7	11-004341	土師器壺体部	1	13	奈良・平安時代	(4) 集合扱い資料					
8	11-004342	土師器壺体部	4	134		12	21-004343	チャート	1	1	

43 92号土坑

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本土坑との直接の関連を特定できなかった遺物						
1	第404図 図版161 10-001260	須恵器坏 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 13.4 底径 5.9 器高 3.8	左回転ロクロ成形。底面切り離した後底部 欠損につき粘土追加し右回転のロクロで 修正後底面回転糸切り。	①還元焰・硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
2	第404図 図版161 10-001261	須恵器坏 (口縁部～底部) (残存部の1/2)	口径 推定 15.0 残存高 3.3	右回転ロクロ成形。	①還元焰・やや硬 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
3	第404回 図版161 10-001262	須恵器高台付碗 (膝部～高台部) (残存部のみ)	高台径 6.1×5.9 残存高 2.9	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、高台貼り付け。	①還元焰・青 ②明オリブ灰色(2.5GY7/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
4	第404回 図版161 10-001263	須恵器碗 (膝部～底部) (底部完形)	底径 6.8×6.6 残存高 1.9	回転クロコ成形。底部粘土追加し、内面指撫で。腰部内面足の縦位の小さい刻み横位に並び、底面段を持つ置割り。	①還元焰・青 ②明オリブ灰色(2.5GY7/1) ③粗砂粒	10世紀前半
5	第404回 図版161 10-001264	羽釜 (口縁部～胴部) (破片)	残存 14.6×12.3 口径 推定 8.3 器高 12.3	所謂古井原の羽釜。外面一部に焼土付着。鉤断面三角を呈し、内外面横位の撫で。	①還元焰・硬 ②暗緑色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
6	図版165 20-001039	多孔石 (左側・下部欠損)	残存長 13.5 残存 幅 9.7 厚み 3.2 重量 788g	大塚の円蹄の表裏の刺彫面を利用し、左側の欠損部の際、径2.9×1.0cm以上、深さ5mm以上の凹部が設けられる。	①点紋網罟母石黒片岩 ②暗緑灰色(10GY4/1) ・灰赤色(10R6/3)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(I) 取上番号付き集合扱い資料					
7	11-004346	土師器口縁部	1	8	
8	11-004347	土師器腰部	1	2	奈良・平安時代
9	11-004348	土師器腰部	1	35	
10	11-004349	須恵器・碗口縁	10	83	平安期頃
11	11-004350	須恵器・碗底部	3	10	
12	11-004351	須恵器口縁	1	15	
13	11-004352	須恵器腰部	1	49	
14	11-004353	須恵器羽釜口縁	4	230	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
15	11-004354	須恵器羽釜底部	35	409	
(II) 集合扱い資料					
16	11-004355	土師器碗底部	2	4	
17	11-004356	須恵器蓋天片部	1	11	
18	11-004357	須恵器・碗口縁	6	41	平安期頃
19	11-004358	須恵器・碗底部	1	4	
20	11-004359	須恵器・碗底部	3	34	平安期頃・高台付
21	11-004360	須恵器羽釜底部	2	17	

44 97号土坑

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(I) 取上番号付き集合扱い資料					
1	11-004361	土師器口縁部	3	15	
2	11-004362	土師器腰部	4	60	奈良・平安時代

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
3	11-004363	土師器腰底～基部	1	37	
4	11-004364	須恵器腰部	1	18	奈良・平安時代

45 105号土坑

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(I) 本土坑との直接の関連を特定できなかった遺物						
1	第405回 図版161 10-001265	男瓦 (破片)	残存 9.3×4.6 残存高 5.1	表面焼成し暗灰色(N3/)。凹面細かい布目状残り縁部は縦位荒削り。凸面縦位の細かい荒削りで、縦位撫で調整。	①還元焰・やや硬 ②灰白色(5Y7/1) ③粗砂粒	

46 11号風倒木

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(I) 取上番号付き集合扱い資料					
1	21-000434	熱変成岩	2	258	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(II) 集合扱い資料					
2	21-000435	熱変成岩	1	119	

47 12号風倒木

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(I) 集合扱い資料					
1	11-004365	縄文土器	1	7	
2	11-004366	土師器口縁	1	4	
3	11-004367	土師器口縁	1	5	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
4	11-004368	土師器腰部	4	25	奈良・平安時代
5	11-004369	磁器	1	4	
6	21-000436	熱変成岩	3	34	

D区出土遺物一覧

48 46号風倒木

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本風倒木覆土中出土の遺物						
1	第411図 図版162 20-001040	磨製石斧 (柄側欠損)	残存長 7.0 幅 5.35 厚み 2.7 重量 194 g	左半表面荒れる。左半部に対し右半部は縁に向かって薄くなり、左側縁は厚さ2.5cm、右側縁は厚さ1.3cmを図る。	①角閃岩 ②緑灰色(10GY5/1)	

49 48号風倒木

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ	備考
(1) 集合状の資料					
1	11-004370	縄文土器	1	8	前期

50 D区グリッド出土遺物

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) D-j-31グリッド出土遺物						
1	第412図 図版162 10-001266	須恵器環 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 12.8×12.7 底径 5.6×5.55 器高 3.7	右側転クロコ成形。底面回転赤切り。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(10Y8/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
(2) D-c-28グリッド出土遺物						
3	図版165 20-001041	こも編み石 (1/1)	長さ 12.2 幅 4.5 厚み 1.7 重量 147 g	表面の刺離する円縁を用い、表面に浅い溝状を成す帯状の摩耗痕が上位で幅1.1cm程、下位で0.5cm程の幅で一均。	①点紋斜磨石黒片岩 ②青灰色(SB5/1)	
(3) D-j-21～22グリッド出土遺物						
4	第412図 図版162 20-001042	砥石 (欠損品)	長さ 18.7 幅 10.6 厚み 4.6 重量 785 g	大型の製品。表面と左右側面に研磨面で両側面内削し、表面も凹面を成す。表面面に削痕残る。	①砂岩 ②浅黄色(2.5Y7/4)	
(4) D-m-28グリッド出土遺物						
5	第412図 図版162 10-001267	須恵器高台付輪 (腰部～高台部) (高台部完形)	高台径 7.6×7.5 残存高 3.5	右側転クロコ成形。底部内面重ね焼きの痕跡残る。底面回転赤切り後、高台貼り付け。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	9世紀前半
6	第412図 図版162 20-001043	石板 (破片)	残存長 3.4 残存 幅 1.7 厚み 0.2 重量 2.52 g	表裏面よく研磨され、こまかい削痕が残る。	①粘板岩 ②暗灰色(N3/)	
(5) D-m-31グリッド出土遺物						
7	第412図 図版162 20-001044	磨石 (1/1)	長さ 12.9 幅 6.9 厚み 6.9 重量 919 g	円縁を用い、表面と裏面上位、左右側面、及び底面に研磨面を残す。	①安山岩 ②明オリーブ灰色 (2.5GY7/1)	
(6) D-h-26グリッド出土遺物						
8	第412図 図版162 20-001045	不定形石器 (1/1)	残存長 6.4 幅 12.4 厚み 10.1 重量 116 g	表面に自然面を残す横長の切片を用い、下縁縁左半部に粗い刺離調整が施される。	①熱変成岩 ②暗灰色(N3/)	
(7) D-q-27グリッド(44号覆土坑)出土遺物						
9	第412図 図版162 10-001268	土師器環 (口縁部～底部) (破片)	残存 8.6×4.9 口径 推定14.8 底径 推定 9.6 残存高 3.5	口縁縁側で後、口縁～体部外面左下方への段削り。体部～底部内面無で。底面荒削り。	①還元焰・青・やや粉質 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	8世紀後半
(8) D-r-28グリッド(49号覆土坑)出土遺物						
10	図版162 10-001269	土師器高台 (環底部～脚部) (破片)	残存 8.4×7.45 残存高 7.0	環底部内面無で。脚部内面荒削り、外面履位の細かい磨き。	①還元焰・青・やや粉質 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀前半
(9) D-r-25グリッド(15・16号覆土坑)出土遺物						
11	第412図 図版162 10-001270	土師器高台 (脚部) (脚部中位のみ)	残存部最大径 6.6 残存高 7.7	内面段差を持つ輪縁痕跡し、縦位方向の指輪で、外面履位の細かい荒削り。	①還元焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀後半

D区グリップ出土遺物

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備 考
	00	D a-30グリップ			
12	11-004371	須恵器壺底部	1	56	
13	21-00437	磨石	1	125	
	00	D a-34グリップ			
14	11-004372	土師器壺底部	5	29	
15	11-004373	須恵器壺口縁	1	14	軟質
16	11-007374	須恵環・椀底部	1	6	
	00	D b-24グリップ			
17	21-00438	熟変成岩	2	20	
	00	D b-32グリップ			
18	11-004375	土師器壺底部	3	22	
19	11-004376	須恵器壺底部	2	35	
20	21-00439	熟変成岩	1	22	
	00	D c-28グリップ			
21	11-004377	土師器環	1	14	7世紀後半
	00	D d-32グリップ			
22	11-004378	土師器環口縁	1	10	
23	11-004379	土師器壺底部	2	7	
24	11-004380	瓦	1	25	
	00	D e-23グリップ			
25	11-004381	土師器環	1	7	7世紀後半
26	11-004382	土師器環	1	13	奈良時代頃
27	11-004383	土師器環口縁	1	8	
28	11-004384	土師器環底部	1	6	
29	11-004385	土師器壺底部	2	4	奈良・平安時代
30	11-004386	須恵環・椀底部	1	11	平安期頃
31	11-004387	須恵器壺底部	1	28	取上番号有り
	00	D e-33グリップ			
32	11-004388	土師器環	1	5	7世紀前半
33	11-004389	土師器環	1	6	7世紀後半
34	11-004390	土師器環口縁	2	32	
35	11-004391	土師器壺底部	5	11	奈良・平安時代
36	11-004392	土師器壺底部	1	17	
37	11-004393	須恵器壺	1	22	
38	11-004394	須恵器壺底部	5	116	
39	11-004395	須恵器壺底部	1	33	
	00	D h-32グリップ			
40	11-004396	土師器高環口縁	1	16	
41	11-004397	土師器壺底部	2	19	
42	11-004398	土師器壺口縁	1	95	
43	11-004399	須恵器壺口縁	1	79	取上番号有り
44	11-004400	布目瓦	1	127	
	00	D k-26グリップ			
45	11-004401	土師器環底部	1	6	
46	11-004402	土師器壺底部	2	18	
	00	D k-30グリップ			
47	11-004403	土師器環	1	4	7世紀後半
48	11-004404	土師器環口縁	1	10	奈良・平安時代
49	11-004405	土師器環口縁	1	2	
50	11-004406	土師器壺底部	1	1	奈良・平安時代
51	11-004407	土師器壺底部	1	12	
	00	D k-31グリップ			
52	11-004408	土師器環	1	6	7世紀後半
53	11-004409	土師器環底部	1	5	
54	11-004410	土師器壺口縁	1	18	
55	11-004411	土師器壺底部	3	14	
56	11-004412	土師器壺底部	1	36	
	00	D k-32グリップ			
57	11-004413	土師器壺底部	3	16	
	00	D m-23グリップ			
58	11-004414	土師器環	1	6	7世紀前半

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備 考
59	11-004415	土師器環底部	1	3	黒色処理
60	11-004416	土師器環底部	1	6	
61	11-004417	土師器壺底部	3	84	
62	11-004418	須恵器壺底部	1	21	
	00	D m-24グリップ			
63	11-004419	縄文土器	1	15	中期
64	11-004420	土師器壺口縁	1	53	
	00	D m-28グリップ			
65	11-004421	土師器壺底部	5	13	奈良・平安時代
66	11-004422	土師器壺底部	3	27	
67	11-004423	須恵環・椀口縁	1	3	平安期頃
68	11-004424	須恵環・椀底部	1	9	高台付
69	11-004425	須恵器壺底部	1	25	
70	11-004426	須恵器壺底部	1	14	
	00	D m-30グリップ			
71	11-004427	土師器環	2	24	7世紀後半
72	11-004428	土師器壺底部	2	24	奈良・平安時代
73	11-004429	土師器壺底部	1	6	
	00	D m-31グリップ			
74	11-004430	土師器環底部	1	14	
	00	D m-32グリップ			
75	11-004431	土師器壺底部	1	9	奈良・平安時代
76	11-004432	須恵器壺口縁	1	18	
	00	D n-28グリップ			
77	11-004433	須恵器壺	1	25	
78	41-00006	スラグ	1	5	
	00	D o-24グリップ			
79	11-004434	土師器環口縁	1	1	粉質
	00	D o-27グリップ			
80	11-004435	土師器壺口縁	3	53	
81	11-004436	土師器壺底部	7	20	奈良・平安時代
82	11-004437	土師器壺底部	1	25	
83	11-004438	須恵環・椀口縁	2	11	平安期頃
	00	D o-31グリップ(付近表土)			
84	11-004439	土師器環底部	1	5	
85	11-004440	須恵器壺底部	2	62	
	00	D p-21グリップ			
86	11-004441	土師器環底部	1	6	粉質
87	11-004442	土師器壺底部	2	11	奈良・平安時代
88	11-004443	土師器壺底部	6	79	
89	11-004444	土師器壺口縁	1	44	
	00	D q-21グリップ			
90	11-004445	土師器環口縁	1	3	粉質
91	11-004446	土師器環底部	3	20	
92	11-004447	土師器壺底部	5	140	
93	11-004448	須恵器壺底部	1	12	
94	11-004449	須恵器壺底部	1	96	
95	11-004450	須恵器壺口縁	1	14	
96	21-00040	こもろみ石	1	112	
	00	D q-28グリップ			
97	11-004451	土師器壺口縁	1	28	9世紀
98	11-004452	須恵環・椀底部	1	14	平安期頃
99	11-004453	須恵器壺底部	1	23	
	00	D q-30グリップ			
100	11-004454	縄文土器	1	7	前期
101	11-004455	土師器環	2	21	7世紀前半
102	11-004456	土師器環	6	33	7世紀後半
103	11-004457	土師器環底部	11	96	
104	11-004458	土師器高環底部	1	31	
105	11-004459	土師器壺口縁	1	9	奈良・平安時代
106	11-004460	土師器壺口縁	6	129	

D区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重埋	備考
107	11-004461	土師器壺体部	13	103	奈良・平安時代
108	11-004462	土師器壺体部	19	209	
109	11-004463	須恵環・瓶口縁	3	9	平安期頃
110	11-004464	須恵器壺底部	1	29	
111	11-004465	軟頁陶器	1	22	
112	21-000441	熱変成岩	1	4	
⑩ D q-33グリッド					
113	21-000442	磨石	1	103	
⑪ D r-28グリッド					
114	11-004466	土師器壺体部	1	7	
115	11-004467	陶器	1	16	
⑫ D s-25グリッド					
116	11-004468	土師器壺体部	1	23	
117	11-004469	土師器壺底部	1	42	
118	11-004470	須恵器壺体部	2	47	
119	11-004471	羽釜体部	1	12	
⑬ D s-26グリッド					
120	11-004472	土師器高坏頸部	1	16	
121	11-004473	土師器壺体部	3	29	

No	資料番号	資料名称等	数量	重埋	備考
122	11-004474	須恵環・瓶口縁	1	16	平安期頃
⑭ D s-28グリッド(確認部)					
123	11-004475	土師器高坏頸部	1	14	
⑮ D s-29グリッド					
124	11-004476	土師器瓶口縁	1	3	
125	11-004477	須恵器壺口縁	1	72	
126	11-004478	須恵器壺体部	2	75	
⑯ D s-32グリッド					
127	11-004479	土師器壺	1	6	7世紀前半
128	11-004480	土師器壺	3	19	奈良時代頃
129	11-004481	土師器壺口縁	3	14	
130	11-004482	土師器壺底部	6	27	
131	11-004483	土師器壺口縁	3	21	
132	11-004484	土師器壺体部	7	35	奈良・平安時代
133	11-004485	土師器壺体部	2	20	
134	11-004486	須恵器壺体部	1	117	
⑰ D t-28グリッド(確認部)					
135	21-000443	熱変成岩	1	23	

51 グリッド2(攪乱土坑)

No	資料番号	資料名称等	数量	重埋	備考
(1) D a-26グリッド(48号攪乱土坑)					
1	11-004487	土師器壺口縁	1	9	
2	11-004488	土師器壺底部	3	21	
3	11-004489	土師器壺体部	5	30	
4	11-004490	須恵器壺体部	2	20	軟頁
5	11-004491	粘土塊	1	13	
(2) D b-32グリッド(57号攪乱土坑)					
6	11-004492	土師器壺	1	2	奈良・平安時代
7	11-004493	土師器壺口縁	1	8	
8	11-004494	土師器壺体部	1	17	
9	11-004495	須恵環・樽底部	1	4	平安期頃
10	11-004496	須恵環・樽底部	1	16	
11	11-004497	須恵器壺体部	1	14	
(3) D c-D d-29グリッド(56号攪乱土坑)					
12	21-000444	磨石	2	130	安山岩
(4) D d-33グリッド(54号攪乱土坑)					
13	11-004498	土師器壺底部	1	7	黒色処理
14	11-004499	土師器壺体部	1	17	
15	11-004500	須恵器壺体部	1	7	
16	11-004501	須恵器壺体部	2	129	
(5) D e-33グリッド(55号攪乱土坑)					
17	11-004502	土師器壺口縁	1	3	
18	11-004503	土師器壺底部	3	10	
19	11-004504	土師器壺口縁	2	21	
20	11-004505	土師器壺体部	2	7	奈良・平安時代
21	11-004506	土師器壺体部	2	10	
22	11-004507	須恵器壺・瓶口縁	1	10	
(6) D h-31グリッド(32号攪乱土坑)					
23	11-004508	土師器壺底部	1	16	
24	11-004509	土師器壺体部	2	10	奈良・平安時代
25	11-004510	土師器壺体部	4	40	
26	11-004511	須恵器壺・瓶口縁	1	2	平安期頃
27	11-004512	須恵器壺体部	1	22	
(7) D o-23グリッド(2号攪乱土坑)					
28	11-004513	土師器壺底部	1	9	黒色処理
29	11-004514	土師器壺底部	3	17	
(8) D o-24グリッド(4号攪乱土坑)					
30	11-004515	土師器壺体部	2	9	

No	資料番号	資料名称等	数量	重埋	備考
31	11-004516	土師器壺底部	2	1	
32	11-004517	土師器壺口縁	1	7	
33	11-004518	土師器壺体部	1	1	奈良・平安時代
(9) D p-22グリッド(21号攪乱土坑)					
34	11-004519	土師器壺体部	4	39	
⑱ D p-23グリッド(7号攪乱土坑)					
35	11-004520	土師器壺	1	4	7世紀前半
36	11-004521	土師器壺底部	1	2	
37	11-004522	土師器壺口縁	2	32	
38	11-004523	土師器壺体部	4	38	奈良・平安時代
39	11-004524	須恵器壺体部	2	123	取上番号有り
40	11-004525	須恵器壺体部	1	11	
41	11-004526	須恵器壺底部	2	50	取上番号有り
⑲ D p-23グリッド(10号攪乱土坑)					
42	11-004527	土師器壺	1	8	7世紀前半
43	11-004528	土師器高坏口縁	2	46	6世紀後半
44	11-004529	土師器高坏頸部	2	64	6世紀後半か
45	11-004530	土師器壺体部	2	24	
⑳ D q-20グリッド(91号攪乱土坑)					
46	11-004531	土師器壺底部	1	21	
47	11-004532	土師器壺体部	4	57	
48	11-004533	須恵器壺	1	22	
㉑ D q-20グリッド(92号攪乱土坑)					
49	11-004534	土師器高坏頸部	1	12	
50	11-004535	土師器壺壺底部	1	35	
㉒ D q-20グリッド(93号攪乱土坑)					
51	11-004536	土師器壺底部	1	9	
52	11-004537	陶器	1	28	
㉓ D q-22グリッド(22号攪乱土坑)					
53	11-004538	須恵器壺体部	1	43	
㉔ D q-22グリッド(23号攪乱土坑)					
54	11-004539	土師器壺口縁	1	7	7世紀前半
55	11-004540	土師器壺口縁	1	3	
56	11-004541	土師器壺底部	4	22	
㉕ D q-22グリッド(24号攪乱土坑)					
57	11-004542	土師器壺口縁	1	3	
58	11-004543	土師器壺口縁	2	11	古墳時代後期
59	11-004544	土師器壺体部	1	9	古墳時代後期

グリッド2 D区出土遺物

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
60	11-004545	須恵器甕体部	1	66	
00 D q-27グリッド(44号攪乱土坑)					
61	11-004546	土師器環	1	5	7世紀前半
62	11-004547	土師器高坏口縁	2	10	
63	11-004548	土師器甕口縁	2	19	
64	11-004549	土師器甕体部	9	73	奈良・平安時代
65	11-004550	須恵器甕体部	1	24	
66	11-004551	須恵器甕体部	2	21	
00 D r-22グリッド(34号攪乱土坑)					
67	11-004552	土師器環口縁	1	4	
68	11-004553	土師器甕体部	3	22	
00 D r-25グリッド(15・16号攪乱土坑)					
69	11-004554	土師器甕体部	1	12	取上番号有り
70	11-004555	須恵器甕体部	4	143	取上番号有り
00 D r-D s-25グリッド(33号攪乱土坑)					
71	11-004556	須恵器甕体部	1	70	
00 D s-19グリッド(63号攪乱土坑)					
72	11-004557	縄文土器	2	30	中期
73	11-004558	土師器環口縁	2	7	
74	11-004559	土師器環底部	2	12	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
75	11-004560	土師器高坏側部	2	27	6世紀後半
76	11-004561	土師器甕口縁	2	21	
77	11-004562	土師器甕体部	4	45	
78	11-004563	陶器	1	3	
79	11-004564	カマド構築材	1	16	
00 D s-26~27グリッド(58号攪乱土坑)					
80	11-004565	須恵器甕体部	2	160	
00 D t-20グリッド(64号攪乱土坑)					
81	11-004566	弥生土器	1	5	赤井戸式
82	11-004567	土師器甕体部	1	24	
00 D t-21グリッド(66号攪乱土坑)					
83	11-004568	土師器環底部	1	4	黒色処理
00 D t-25グリッド(53号攪乱土坑)					
84	11-004569	土師器環底部	1	7	
85	11-004570	土師器甕体部	5	59	
86	11-004571	須恵器甕体部	2	58	
00 D t-28グリッド(51号攪乱土坑)					
87	11-004572	土師器環底部	1	6	黒色処理
88	11-004573	須恵器甕体部	1	36	

52 D区出土遺物

No.	図面番号 図録番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 確認面出土遺物						
1	第412図 図録162 10-001271	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定10.8 底径 推定7.0 器高 5.9	内面収縮による黒色処理。口縁横溝で、 体部～底部内面横位の隆溝で、体部外面 手捏みね。底面荒削りか。	①酸化焰・やや硬 ②灰白色(2.5Y7/2) ③細砂粒	6世紀後半
(2) 甘藷用水以西の出土遺物						
2	図録162 10-001272	須恵器環 (体部～底部)	残存 8.2×6.2 底径 推定 8.0 残存高 3.75	底部内面を除き自然軸付置し特に底面に 厚い。右回転クワロ成形。底面に十字と 推定される筋溝き。	①還元焰・やや硬 ②灰白色(7.5Y7/1) ③細砂粒	10世紀前半
3	第412図 図録162 10-001273	須恵器環 (体部～底部)	底径 推定 7.8 器高 3.3	回転クワロ成形。底部内面一方への指掘 で。腰部下位～底面回し乍らの回転荒削 り。	①還元焰・やや硬 ②灰色(N6) ③細砂粒	10世紀前半
(3) その他						
4	第412図 図録162 20-001046	石製模造品 (未製品)	長さ 2.8 幅 2.3 厚み 0.9 重量 8.51g	中央部に径2.25×2.15mmの貫通孔が穿た れ、左側上位が内湾する弧状に挟られる。	①滑石 ②明緑灰色(10G7/1)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(4) 確認面					
5	11-004574	土師器甕体部	1	20	
6	11-004575	須恵器甕体部	1	11	薄手
(5) 水道西					
7	11-004576	縄文土器	1	11	中期
8	11-004577	土師器環口縁	3	17	7世紀後半
9	11-004578	土師器高坏側部	1	37	
10	11-004579	土師器高坏側部	1	6	
11	11-004580	土師器甕口縁	5	36	奈良・平安時代
12	11-004581	土師器甕口縁	4	58	
13	11-004582	土師器甕体部	15	149	奈良・平安時代
14	11-004583	土師器甕体部	13	185	
15	11-004584	土師器甕底部	2	23	奈良・平安時代
16	11-004585	土師器甕底部	1	42	
17	11-004586	須恵器蓋	1	9	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
18	11-004587	須恵器・椀口縁	1	5	平安朝頃
19	11-004588	須恵器・椀体部	2	8	平安朝頃
20	11-004589	須恵器・椀底部	1	5	平安朝頃。高台付
21	11-004590	須恵器椀口縁	3	36	
22	11-004591	須恵器椀底部	1	10	
23	11-004592	須恵器椀体部	7	191	
24	11-004593	須恵器	1	3	
25	21-000445	近畿み石か	1	93	点文刺書付黒石片若
(6) 11号溝東付近					
26	11-004594	縄文土器	1	8	前期
(7) その他					
27	11-004585	土師器甕体部	2	20	
28	11-004596	須恵器甕口縁	1	41	
29	11-004597	陶器	1	7	

D区出土遺物一覧

53 D・E区確認品

No	資料番号	資料名称等	数量	重割a)	備考
1	11-004598	土師器壺体部	1	4	奈良・平安時代
2	11-004599	土師器壺体部	3	31	
3	11-004600	須恵器壺体部	1	36	

No	資料番号	資料名称等	数量	重割a)	備考
4	11-004601	羽釜体部か	1	6	
5	11-004602	陶器摺鉢	1	53	

D区追加遺物

1 H-149号住居

No	図面番号 図数番号 資料番号	名称 (残存部名) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備考
(1) 本住居に直接伴う可能性のある遺物						
65	第380図 10-002106	瓦物 (完形)	長さ 6.45 径 3.1×1.9	ローム等を含む小判形の粘質土を両側から畳み、片手でこね、握り締めた指腹痕が残る。	①酸化焰・普通 ②暗灰色(N3/) ③粗砂粒	外面吸成 カマド補修材か

E区出土遺物一覧

1 H-123号住居

No.	図面番号 ①図面番号 ②図面番号 ③資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色黄 ③粘土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第4168図 図版183 10-001274	土師器高坏 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 17.6×17.35 頸径 18.2×18.1 器高 21.5	口縁～体部・頸部無傷。底部内面直し乍ら欠損で、頸部内面輪轆或残し痕位の指撫で、坯底部～頸部外面磨削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀後半
2	第4168図 図版183 10-001275	土師器椀 (口縁部～底部) (完形)	口径 19.9×18.45 底径 7.1×6.55 器高 33.0	胴部以下外面磨土付着。口縁無傷で、体部～底部内面輪位の指撫で後継位の指撫で、外面輪轆或残し痕有り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
3	第4168図 図版183 10-001276	土師器壺 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 18.8×16.9 底径 8.4×8.1 器高 24.6～27.6	内外面胴部以下欠れる。口縁無傷で、体部内面左方へ欠損で、外面一部輪轆或残し、痕位の磨削り。底面磨削り。	①酸化焰・青 ②にぶい黄色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 下半部被熱痕顕著
4	第4168図 図版183 10-001277	土師器小壺 (口縁部～底部) (完形)	口径 16.0×14.6 底径 6.55×5.85 器高 16.3	外面欠れ、口縁無傷で、内面体部左方へ欠損で、底部概ね一方へ磨削り。体部外面磨削り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(2.5YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
5	第4168図 図版201 20-001947	こもろみ石 (磨石) (一部欠損)	長さ 16.8 幅 6.35 厚み 4.1 重量 634g	横断面三角形を呈する円盤使用。表面右面と裏面の3面がきれいな研磨面を成し、中位に帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②明オリブ灰色 (5GY7/1)	磨石からの転用品
6	図版201 20-001948	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.8 幅 8.7 厚み 5.15 重量 1122g	円盤を用いる。右側縁中位やや上に磨打を伴う浅い刻れ部を持ち、幅4.2cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰色(5Y6/1)	
7	図版201 20-001949	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.5 幅 8.6 厚み 5.7 重量 1136g	円盤を用いる。表面右側縁に磨打を伴う浅い刻れ部を持ち、中位に幅2.5cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋割岩質黒石片岩 ②緑灰色(10G5/1)	
8	図版201 20-001950	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.95 幅 7.8 厚み 4.6 重量 730g	円盤を用いる。中位やや下に幅3.8cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①磨岩質黒石片岩 ②暗緑灰色(10GY5/1)	
9	第4168図 図版201 20-001951	こもろみ石 (上位及び裏面 下位欠損)	残存長 13.75 幅 7.3 厚み 4.4 重量 613g	円盤を使用。表面中央と裏面にきれいな研磨面を成し、左右両側中央に研磨を伴う刻れ部あり、帯状の摩耗痕一周。	①流紋岩 ②灰白色(7.5Y8/2)	磨石からの転用品
10	図版201 20-001952	こもろみ石 (1/1)	長さ 16.45 幅 8.1 厚み 5.0 重量 838g	円盤使用。表面右半部の自然の凹面に研磨を施して刻れ部とし、中位に幅1.7cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①流紋岩 ②灰白色(5Y7/2)	
11	図版201 20-001953	こもろみ石 (1/1)	長さ 14.4 幅 7.4 厚み 5.2 重量 851g	円盤を用いる。中位に幅4cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①磨岩質黒石片岩 ②暗緑灰色(10G4/1)	
12	図版201 20-001954	こもろみ石 (1/1)	長さ 17.1 幅 7.2 厚み 2.9 重量 654g	板状の円盤を用いる。中・上位左側を磨打して浅い刻れ部を設け、幅4.9cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①磨岩質黒石片岩 ②青灰色(10BG5/1)	
13	図版201 20-001955	こもろみ石 (左側裏面一部 欠損)	長さ 14.05 幅 8.95 厚み 5.4 重量 1164g	直方体状の円盤使用。中位やや上寄りに幅4.2cm程の摩耗痕一周するが、摩耗痕顕著で表面は1.5cm程磨削り。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	
14	第4168図 図版201 20-001956	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 12.8 幅 6.5 厚み 5.7 重量 750g	円盤使用。裏面がきれいな研磨面を成し、左右両側面を研磨して浅い刻れ部を設け、中位に帯状の摩耗痕一周。	①流紋岩 ②明オリブ灰色(2.5GY7/1)	磨石からの転用品
15	図版201 20-001957	こもろみ石 (下底部欠損)	残存長 13.6 幅 5.9 厚み 4.7 重量 620g	円盤使用。表面下半に研磨面。左側縁上位と右側縁下位の自然面利用し、幅1.4と1.9cm程の摩耗痕それぞれ一周。	①緑泥片岩 ②灰色(5G5/1)	磨石からの転用品。研磨面
16	図版201 20-001958	こもろみ石 (磨石) (1/1)	長さ 16.7 幅 6.4 厚み 4.25 重量 848g	横断面菱形の円盤を用い、表面と左側にきれいな研磨面を残す。中位に幅2.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	磨石からの転用品
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
17	第4170図 図版183 10-001278	土師器高坏 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 11.8×11.8 底径 3.7×3.0 器高 4.2	内面吸炭で黒色処理。口縁無傷で、口縁下半～底部内面直し乍らの磨削り。体部外面直し乍ら、底面一方へ磨削り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半

E 区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部)	測定値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 の色調 ②胎土	備考
18	第417図 図版183 10-001279	土師器環 (口縁部~底部)	口径 14.2×14.1 底径 8.7×8.2 器高 4.1	内外面漆で黒色処理。口縁~体部内面横 撫で。底部内面回し乍ら磨撫で。体部外 面回し、底面不定方向の磨削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒	7世紀前半
19	第417図 図版183 10-001280	土師器環 (口縁部~底部)	口径推定14.0 底径 10.8×7.1 器高 4.1	口縁横撫で。体部~底部内面回し乍ら磨 撫で。体部外部左回りの、底面一方 への磨削り。	①酸化焰・青 ②に ぶい褐色(2.5YR6/4) ③粗砂粒	A.D. 600年 前後
20	第417図 図版183 10-001281	土師器環 (口縁部~底部)	口径 12.6×12.5 底径 8.5×7.8 器高 4.3	内面漆、外面吸炭で黒色処理。口縁横 撫で。体~底部内面回し乍ら磨撫で。体 部外面左回り、底面一方への磨削り。	①酸化焰・青 ②に ぶい褐色(5YR7/4) ③粗砂粒	7世紀前半
21	第417図 図版183 10-001282	土師器環 (口縁部~底部)	口径 14.25 底径 8.7 器高 5.4	口縁~体部上位内面横撫で。体部中位 ~底部内面左回りの磨撫で。体部外面左 回りの、底面不定方向の磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀前半
22	第417図 図版183 10-001283	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定12.1 底径 13.0 器高 5.4	口縁横撫で。体部~底部内面左回りの磨 撫で。体部外面横位の磨削り及び指撫で。 底面左回りの磨削り。	①酸化焰・硬 ②赤褐色(10R5/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
23	第417図 図版183 10-001284	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定12.2 底径 推定7.4 残存高 4.0	内外面漆塗布の痕跡。口縁横撫で。体部 ~底部内面左回りの磨撫で。体部外面回 し乍ら、底面一方を中心の磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀前半
24	第417図 図版183 10-001285	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定11.4 底径 推定6.6 器高 4.0	器面風化。口縁横撫で。体部~底部内面 撫で。体部外面回し乍ら磨削り。底部 磨削り。	①酸化焰・青・粉質 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③粗砂粒	A.D. 600年 前後
25	第417図 図版183 10-001286	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定14.0 底径 推定6.8 器高 3.0	内面吸炭による黒色処理。右回転コロロ 成形。底面回転糸切りで、一部に粘土小 片附着。	①還元焰・青 ②に ぶい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒	10世紀前半
26	第417図 図版183 10-001287	土師器環 (口縁部~底部)	口径 20.2×19.0 底径 6.6 器高 32.1	胴部以下外面保付着。口縁横撫で。内面 肩部~胴部磨撫で、腰部~底部指撫で。 体部外面磨削り。底面調整。	①酸化焰・青 ②に ぶい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 胴部以下被熱 顯著
27	第417図 図版183 10-001288	土師器環 (口縁部~底部)	口径 18.0×17.8 底径 6.1×5.5 器高 31.6	外面保付着。口縁横撫で。体部~底部内 面左回りの磨撫で、肩部~胴部外面上 方へ磨削り。腰部外面~底面磨削り。	①酸化焰・青 ②淡 褐色(7.5YR8/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 胴部以下被熱 顯著
28	第417図 図版183 10-001289	土師器環 (口縁部~底部)	口径 22.3×21.45 底径 7.9 器高 26.6	口縁横撫で。体部内面横位の磨撫で。外 面輪横吸炭し、上方へ磨削り。底部内面 及び底面調整。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
29	第417図 図版184 10-001290	土師器環 (口縁部~胴部)	口径 18.8×18.5 残存高 19.9	口縁横撫で。体部内面左方への磨撫で。 外面上方への磨削り。口縁~体部外面輪 横吸炭。	①酸化焰・青 ②淡褐色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
30	第417図 図版184 10-001291	土師器環 (口縁部~胴部)	口径 18.4 残存高 29.7	口縁横撫で。体部内面斜位への磨撫で。 外面輪横吸炭見え、上方へ磨削り。	①酸化焰・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
31	第417図 図版184 10-001292	土師器環 (口縁部~胴部)	口径 推定19.2 残存高 16.2	胴部下位外面保付着。口縁横撫で。体部 内面左上がりの磨撫で後腰部の指撫で、 外面輪横吸炭し上方へ磨削り。	①酸化焰・やや硬 ② にぶい褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
32	第417図 図版184 10-001293	土師器環 (胴部~底部)	底径 7.3×6.8 残存高 9.5	外面や中寛れる。体部~底部内面右上が りに回し乍ら磨削り。底面回し、底面 磨削り。	①酸化焰・青 ②に ぶい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀か 被熱顯著で外 面赤褐色
33	第417図 図版184 10-001294	土師器環 (口縁部~胴部)	口径 推定17.4 最大径 推定26.3 残存高 19.2	口縁横撫でで下方からの磨削り痕跡残 る。体部内面左方へ磨撫で、外面右下ま たは左上方に磨削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
34	第417図 図版184 10-001295	土師器環 (口縁部~底部)	口径 22.3×21.8 底径 8.8×8.15 器高 28.9	口縁横撫で。体部内面横位の磨撫で後腰 位の磨削り、外面輪横吸炭し下方へ磨削 り。底部内面左回りの磨削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
35	第417図 図版184 10-001296	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定21.2 底径 推定6.2 器高 26.5	口縁横撫で。体部内面横位の磨撫で、胴 ~腰部内面横位の細かい磨削り。体部外 面下方へ磨削り。底部内面調整。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀後半
36	第417図 図版184 10-001297	土師器環 (口縁部~底部)	口径 推定25.3 底径 10.05 器高 33.5	口縁横撫で。体部内面横位の細かい磨削 り。外面肩~胴部上方、腰部下方、底部 内面右回りの磨削り。底面撫で。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(5YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
37	第417図 図版184 10-001298	土師器環 (口縁部~底部)	口径 18.9×18.3 底径 推定8.2 器高 16.9	口縁横撫で。体部内面左上方へ磨撫で、 外面輪横吸炭し磨削り。底面内面調整。 底面調整。底面倒り穿孔8カ所。	①酸化焰・青 ②淡黄色(2.5YR8/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 孔径 3~7mm とばらつく

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部②) (残存量)	測定値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
38	第417図 図版184 10-001299	土師器小壺重 (口縁部～底部) (7/8)	口径 14.3×13.7 底径 8.2×7.4 器高 17.8	口縁横溝。肩～胴部内面直線。外面 段削り。腰～底部内面直線。胴部外面 回し乍らの段削り。底面直線調整。	①還元焰・青 ②淡黄色(2.5Y8/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
39	第417図 図版184 10-001300	女瓦 (上・右側部欠損)	長さ 24.0 幅 16.3 厚み 1.03	凹面端かい布目板残り、凸面右上がりの 斜め方向中心の直線。側面長辺に沿っ て直線。	①還元焰・やや硬 ②淡黄色(7.5Y6/1) ③粗砂粒	
40	図版201 20-001059	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.4 幅 7.3 厚み 3.8 重量 788 g	円盤使用。中位表面から左右側にかへ幅 2.6cm程の摩耗痕。裏面不明瞭だが右 上がりの斜めに摩耗痕一周。	①硝子片岩 ②暗青灰色(SP84/1)	
41	図版201 20-001060	こもろみ石 (裏面・下縁部欠損)	残存長 15.1 幅 5.75 残存厚 5.0 重量 604 g	円盤を用いる。下に幅2.6cm程の帯状の 摩耗痕一周する。	①点紋硝子磨石墨片岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
42	図版201 20-001061	こもろみ石 (1/1)	長さ 17.2 幅 4.8 厚み 5.75 重量 412 g	横断三面三角形の円盤を用いる。中位に幅 3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①砂岩 ②淡黄色(5Y8/3)	
43	第417図 図版201 20-001062	こもろみ石 (1/1)	長さ 17.3 幅 6.1 厚み 3.7 重量 618 g	円盤使用。左側縁中位に研削を施し、右 側の自然の湾曲を利用して刃れ部とし、 幅4.2cm程の摩耗痕が一周する。	①斑岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	
44	図版201 20-001063	こもろみ石 (1/1)	長さ 18.0 幅 7.5 厚み 4.9 重量 969 g	円盤を用いる。左側上位の自然の湾曲面 を利用し、幅2.6cm程の帯状の摩耗痕が一 周する。	①硝子磨石 ②明緑灰色(7.5GY7/1)	
45	図版201 20-001064	こもろみ石 (1/1か)	長さ 14.4 幅 5.4 厚み 4.75 重量 607 g	下縁部欠損の円盤使用。表面に刃れ部と して利用の可能性を持つ割離面見られ、 中位に幅3.7cm程の摩耗痕一周。	①点紋硝子磨石墨片岩 ②緑灰色(5G6/1)	
46	図版201 20-001065	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.1 幅 6.7 厚み 4.9 重量 728 g	円盤を用いる。中位に幅4.5cm程の弱い摩 耗痕が一周する。	①硝子磨石墨片岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
47	図版201 20-001066	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.0 幅 7.3 厚み 5.7 重量 637 g	ややいびつな円盤を用いる。中位やや上 寄りに幅2.9cm程の帯状の摩耗痕が一周 する。	①斑岩 ②明緑灰色(5G7/1)・ にぶい褐色(7.5YR5/3)	

No	資料番号	資料名称等	数量	測定値	備考
(3)	取上番号付き集合扱い資料				
48	11-004603	土師器環	2	17	7世紀前半・粉質
49	11-004604	土師器環	4	72	7世紀前半
50	11-004605	土師器環	1	6	7c後半・黒色処理
51	11-004606	土師器環	2	52	7世紀後半
52	11-004607	土師器環口縁	4	18	
53	11-004608	土師器環底部	10	32	黒色処理
54	11-004609	土師器環底部	6	59	
55	11-004610	土師器高環幹部	1	23	
56	11-004611	土師器環口縁	8	1303	6世紀後半
57	11-004612	土師器環口縁	1	16	奈良・平安時代
58	11-004613	土師器環口縁	14	405	
59	11-004614	土師器環底部	14	180	奈良・平安時代
60	11-004615	土師器環底部	117	3353	
61	11-004616	土師器環底部	1	322	6世紀後半
62	11-004617	土師器環底部	11	1180	
63	11-004618	土師器環底部	5	192	
64	11-004619	須恵器環・横口縁	1	10	平安朝頃
65	11-004620	須恵器環・横底部	1	16	平安朝頃
66	11-004621	須恵器環・横底部	1	18	平安朝頃
67	11-004622	須恵器環・横口縁	1	14	薄手
68	11-004623	須恵器環底部	1	12	薄手
69	11-004624	須恵器環底部	2	156	
70	11-004625	須恵器環底部	2	80	
(4)	集合扱い資料				
71	11-004626	縄文土器	2	21	中期
72	11-004627	弥生土器	1	5	赤井戸式

No	資料番号	資料名称等	数量	測定値	備考
73	11-004628	弥生土器	1	14	
74	11-004629	土師器環	2	33	6世紀後半
75	11-004630	土師器環	1	20	7c前半・黒色処理
76	11-004631	土師器環	2	11	7世紀前半・粉質
77	11-004632	土師器環	12	196	7世紀前半
78	11-004633	土師器環	6	67	7c後半・黒色処理
79	11-004634	土師器環	4	30	7世紀後半
80	11-004635	土師器環	1	5	奈良時代頃
81	11-004636	土師器環口縁	10	27	黒色処理
82	11-004637	土師器環口縁	2	9	粉質
83	11-004638	土師器環底部	15	59	
84	11-004639	土師器環底部	32	185	黒色処理
85	11-004640	土師器環底部	4	41	粉質
86	11-004641	土師器環底部	40	267	
87	11-004642	土師器高環幹部	3	32	
88	11-004643	土師器高環幹部	1	5	
89	11-004644	土師器高環幹部	3	28	
90	11-004645	土師器環口縁	3	129	6世紀後半
91	11-004646	土師器環口縁	3	24	奈良・平安時代
92	11-004647	土師器環口縁	28	526	
93	11-004648	土師器環底部	34	229	奈良・平安時代
94	11-004649	土師器環底部	360	5184	
95	11-004650	土師器環底部	5	264	
96	11-004651	土師器環口縁	2	65	
97	11-004652	土師器環底部	11	416	
98	11-004653	須恵器蓋	2	57	
99	11-004654	須恵器環・横口縁	1	12	平安朝頃

E 区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
100	11-004655	須恵器環・碗底部	2	15	平安朝頃	105	11-004660	須恵器壺底部	12	111	薄手
101	11-004656	須恵器環・碗底部	3	68	平安朝頃・高台付	106	11-004661	須恵器壺底部	29	932	
102	11-004657	須恵器環・碗底部	2	29	平安朝頃	107	11-004662	須恵器壺底部	4	232	
103	11-004658	須恵器高坏胴部	1	82		108	11-004663	カマド構築材	2	18	
104	11-004659	須恵器罎口縁	4	95		109	21-000446	熱変成岩	1	13	

2 H-124号住居

No	図面番号 採取番号 資料番号	名 称 (残存部位)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第422図 図版184 10-001301	土師器環 (口縁部～底部) (2/3)	口径 11.7 底径 7.2 器高 4.2	体部以下内外面荒れる。口縁横溝で、体部内面直線で、体部外面直し乍らの荒削り。底面荒削り。	①酸化焼・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	第422図 図版184 10-001302	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 11.8 底径 5.3 器高 3.95	口縁部外面以外面荒れる。口縁横溝で、体部外面～底面荒削りか。	①酸化焼・青 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	A.D. 600年前後
3	第422図 図版185 10-001303	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口径 11.7×11.5 底径 6.5 器高 4.2	体部以外面荒れる。口縁横溝で、体部～底部内面右回りの荒削り。体部外面直し乍らの荒削り。底面荒削り。	①酸化焼・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
4	第422図 図版185 10-001304	土師器環 (口縁部～底部) (2/3)	口径 13.1 底径 4.9×4.2 器高 5.7	内面荒れる。口縁横溝で、体部外面直し乍らの、底面不定方向への荒削り。	①酸化焼・青 ②にぶい黄褐色(0YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
5	第422図 図版185 10-001305	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口径 12.35×12.25 底径 6.3×6.0 器高 4.3	口縁～体部内面横溝で、底部内面直し乍らの荒削り。体部外面右回りの、底面一方向中心の荒削り。	①酸化焼・青 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
6	第422図 図版185 10-001306	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定14.8 底径 8.2 器高 5.2	口縁～体部内面横溝で、底部内面直し乍らの荒削り。体部外面直し乍ら、底面1～2方向の荒削り。	①酸化焼・青 ②にぶい褐色(GYR7/4) ③粗砂粒	6世紀中葉
7	第422図 図版185 10-001307	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定11.0 底径 4.4 器高 4.7	底部内面荒れる。口縁横溝で、体部～底部内面直し乍らの荒削り。体部外面右回りの、底面不定方向への荒削り。	①酸化焼・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
8	第422図 図版185 10-001308	土師器高坏 (口縁部～胴部) (2/3)	口径 17.6 裾径 16.0 器高 21.8	坏やや傾く。口縁・胴部横溝で、体部～底部内面右回りの荒削り。脚部輪軸残残り指痕。坏底～脚部外面荒削り。	①酸化焼・やや硬 ②褐色(5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	第422図 図版185 10-001309	土師器高坏 (口縁部～胴部) (一部欠損)	口径 17.5×17.15 裾径 16.55×15.95 器高 20.9	坏若干傾く。口縁・胴部横溝で、体～底部内面荒削り。脚部輪軸残残り指痕。体部外面右回り脚部底面の荒削り。	①酸化焼・青 ②褐色(5YR7/8) ③粗砂粒	6世紀後半
10	第422図 図版185 10-001310	土師器高坏 (口縁部～脚部) (脚部下半欠損)	口径 17.6×17.4 残存高 17.0	口縁～底部外周内面横溝で、底部内面直し乍らの荒削り。脚部内面輪軸残残り指痕で、坏底部～脚部外面荒削り。	①酸化焼・やや硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀後半
11	第422図 図版185 10-001311	土師器小壺 (口縁部～腹部) (残存部の1/2)	口径 推定12.8 残存高 8.45	体部外面荒れる。口縁横溝で、体部内面左回りの荒削り。外面直削りか。	①酸化焼・青 ②にぶい褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
12	第422図 図版185 10-001312	土師器瓶 (口縁部～底部) (3/4)	口径 14.8 底径 5.5×5.4 器高 14.1	口縁横溝で、内面体部左へ荒削り。底面調整指痕。体部外面直削り。底面調整指痕。上から径2.1×2.0cmの穿孔。	①酸化焼・やや硬 ②褐色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
13	第422図 図版201 20-001067	こも編み石 (1/1)	長さ 16.1 幅 5.8 厚み 2.35 重量 362 g	円盤を用いる。表裏面に敲打痕見られ、中に帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋網罟母石層片岩 ②暗青灰色(5B4/1)	敲石からの転用品の可能性あり
14	第422図 図版201 20-001068	こも編み石 (磨石) (二折)	長さ 18.7 幅 6.2 厚み 5.5 重量 917 g	円盤使用。表側左右面と裏面に斜磨面残るが、特に裏面はきれいな面を呈する。中に幅位の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(5G6/1)	磨石からの転用品
15	第422図 図版201 20-001069	こも編み石 (1/1)	長さ 17.4 幅 6.75 厚み 3.35 重量 709 g	円盤を用いる。中に幅2.9cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑片岩 ②緑灰色(10G6/1)	
16	第422図 図版201 20-001070	こも編み石 (1/1)	長さ 12.9 幅 7.65 厚み 4.85 重量 715 g	円盤を用いる。中に幅2.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(N6/)	

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①構成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
18	図版201 20-001071	こも編み石 (右側壁一部欠損)	長さ 12.2 幅 5.8 厚み 2.7 重量 258g	小型の円礫を用い、中位やや下寄りに幅2cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①直紋滑面母石黒片岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
19	図版201 20-001072	こも編み石 (1/1)	長さ 17.2 幅 6.7 厚み 4.3 重量 694g	円礫を用いる。中位に幅2.1cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①直紋滑面母石黒片岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	
20	図版201 20-001073	砥石 (左上部のみ)	残存長 10.0 残存 幅 8.05 厚み 3.5 重量 317g	左側面が砥面としてよく研磨され、表面にも研磨面残り、厚さ5mm以下、深さ1.5mmの溝が表面左に2条横位に残る。	①砂岩 ②灰白色(10YR8/2)	
21	図版201 20-001074	こも編み石 (磨石)	長さ 13.6 幅 7.8 厚み 4.3 重量 668g	円礫を用いる。中位やや上寄りに幅2.3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰白色(10Y7/1)	磨石からの転用品
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
22	第422図 図版185 10-001313	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定11.6 底径 推定5.2 器高 推定5.0	口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの 寛撫で。体部外面回し乍らの寛撫で。底 面寛磨り。	①酸化焰・やや硬 ②棕色(2.5YR6/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
23	第422図 図版185 10-001314	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定13.0 底径 推定7.2 器高 3.7	内面やや荒れる。口縁横撫で。体部～底 部内面撫で調整。体部外面寛磨り。底面 寛磨り。	①酸化焰・青 ②棕色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
24	第422図 図版185 10-001315	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定11.2 底径 推定5.4 器高 5.5	口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの 寛撫で、外面不定方向の寛磨り。	①酸化焰・やや硬 ②棕色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
25	第422図 図版185 10-001316	土師器環 (口縁部～体部 (破片))	残存 10.6×5.8 口径 推定12.9 残存高 4.5	口縁横撫で。体部内面右回りの寛撫で、 外面寛磨り。	①酸化焰・硬 ②棕色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
26	第422図 図版185 10-001317	土師器環 (口縁部～底部 1/2)	口径 12.2 底径 5.8 器高 4.65	内面黒漆塗布の可能性あり。口縁横撫で。 体～底部内面左回りの寛撫で。体部外面 回し乍らの寛磨り。底面寛磨り。	①酸化焰・青 ②棕色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
27	第422図 図版185 10-001318	土師器高環 (脚部下半 残存部の1/2)	残存 15.9 残存高 8.6	脚部内面輪楕面残し横位の寛撫で後、縦 位の指撫で、外周縦位の細かい寛磨り。 断面横撫で。	①酸化焰・青 ②棕色(5YR5/6) ③粗砂粒	6世紀後半
28	第422図 図版185 10-001319	土師器環 (脚部～底部 残存部の1/2)	底径 5.7 残存高 14.3	外面部分的に傷付着。体部～底部内面左 回りの寛撫で。体部外面下方へ寛磨り。 底面木炭層残る。	①酸化焰・青 ②灰黄色(2.5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀
29	第422図 図版186 10-001320	土師器環 (脚部～底部 残存部の1/4)	底径 推定10.0 残存高 16.3	体部内面左方へ寛撫で、脚部外面縦位の 寛磨り。脚部外面横位の寛調整。底面撫 で調整。	①酸化焰・青 ②灰黄色(2.5Y6/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か
30	第422図 図版186 10-001321	須恵系蓋 (天弁部～口縁部 (破片))	残存 9.1×4.0 口径 推定12.2 残存高 4.6	右回転クロコ成形。薄手。	①還元焰・やや硬 ②暗灰色(N3/) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀中葉
31	図版201 20-001075	こも編み石 (1/1のみ)	長さ 9.1 幅 5.6 厚み 2.9 重量 158g	下半欠損の円礫使用。下位に幅2.2cm程の 帯状の摩耗痕一周する。	①砂岩 ②灰白色(7.5YR/2)	
32	図版201 20-001076	こも編み石 (裏面刺摩)	長さ 13.5 幅 8.2 残存厚 2.15 重量 423g	円礫を用いる。中位若干下寄りに幅 4.5 cm程の帯状の摩耗痕が環る。	①割雲母石黒片岩 ②青灰色(10G5/1)	
33	第422図 図版186 40-00038	鉄鍔 (先・元側欠損)	長さ 7.8 幅 0.8 厚み 0.5 重量 6.5	鍔身を欠く。某部の横断面形は円形で下 方に向かい徐々に細くなる。某部の横断 面形は方形で下部で幅が広がる。		長葦鐵

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
34	11-004664	縄文土器	1	10	中期
35	11-004665	土師器環	2	34	7世紀前半
36	11-004666	土師器環	1	12	奈良時代頃
37	11-004667	土師器環口縁	2	9	黒色処理
38	11-004668	土師器環口縁	7	35	
39	11-004669	土師器環底部	2	29	黒色処理
40	11-004670	土師器環底部	31	297	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
41	11-004671	土師器高環部	2	17	
42	11-004672	土師器高環脚部	1	8	
43	11-004673	土師器高環基部	4	41	
44	11-004674	土師器鉢口縁	1	42	古墳時代後期
45	11-004675	土師器蓋	4	236	6世紀後半
46	11-004676	土師器口縁	16	281	
47	11-004677	土師器器体部	10	107	奈良・平安時代
48	11-004678	土師器器体部	68	1673	

E区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
49	11-004679	土師器壺底部	3	215	
50	11-004680	土師器壺腹部	3	75	
51	11-004681	須恵器壺腹部	3	196	
52	11-004682	須恵器壺底部	1	79	
53	11-004683	須恵器	1	3	
(4) 集合扱い資料					
54	11-004684	土師器杯	2	12	7世紀後半
55	11-004685	土師器杯口縁	1	7	黒色処理
56	11-004686	土師器杯口縁	12	54	
57	11-004687	土師器杯底部	4	19	黒色処理
58	11-004688	土師器杯底部	24	145	

3 H-125号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形 態・成 形・調 整 等 の 特 徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第427図 図版C186 10-001322	土師器杯 (口縁部～底部) (完形)	口径 11.9×11.6 底径 6.7×6.6 器高 4.2	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの縦撫で。体部外面左回りの、底面不定方向への縦磨り。	①酸化焰・青・多少粉質 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀中葉
2	第427図 図版C186 10-001323	土師器杯 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 11.0×10.8 底径 8.4×7.0 器高 3.1	内外面漆による黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面左回りの縦撫で。外面右回り、底面一方中心の縦磨り。	①酸化焰・やや硬 ②にぶい褐色(5YR7/4) ③細砂粒	7世紀前半
3	第427図 図版C186 10-001324	土師器杯 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定12.7 底径 推定9.2 器高 3.75	内外面吸炭の黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面左回りの縦撫で。体部外面左回り、底面概ね一方へ縦磨り。	①酸化焰・青 ②灰褐色(7.5YR6/2) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
4	第427図 図版C186 10-001325	土師器杯 (口縁部～底部) (3/5)	口径 11.8 底径 8.1 器高 4.5	内面漆、外面吸炭で黒色処理。口縁～体部内面横撫で。体部～底部内面縦撫で。体部外面右回り、底面一方へ縦磨り。	①酸化焰・青 ②にぶい黄色(2.5Y6/2) ③細砂粒	7世紀前半
5	第427図 図版C186 10-001326	土師器壺 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 17.0×16.8 底径 推定2.3 器高 30.7	外面下半中心に焼土・塚付着。口縁横撫で。体部内面輪痕状縦撫で。外面上方へ縦磨り。底面調整痕。	①酸化焰・青 ②にぶい 黄褐色(10YR7/2) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
6	図版202 20-001077	こもろみ石 (裏面割離)	長さ 19.9 幅 5.3 残存厚 4.0 重量 670g	裏面に割離する円盤を使用。下位裏面に両側に向かって多少割離し、表面下位に数cm幅で帯状の摩耗痕一周する。	①割離母石黒片岩 ②灰白色(7.5Y8/2)	
7	図版202 20-001078	こもろみ石 (1/1)	長さ 17.6 幅 7.8 厚み 3.6 重量 744g	円盤を用いる。表裏面に縦打痕残り、中に幅2.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①点紋割離母石黒片岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY5/1)	磨石からの転用品か
8	図版202 20-001079	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.0 幅 6.2 厚み 5.5 重量 924g	円盤を用いる。顔面の自然の凹面を利用し、上位に幅2.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑泥片岩 ②明オリーブ灰色 (2.5GY7/1)	
9	図版202 20-001080	こもろみ石 (磨石)	長さ 13.9 幅 7.8 厚み 4.3 重量 596g	円盤を用い、表面にきれいな研磨面を残す。上位に幅1.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(7.5GY7/1)	磨石からの転用品
10	図版202 20-001081	こもろみ石 (1/1)	長さ 19.8 幅 7.4 厚み 3.5 重量 836g	表面と右側面に塚付着。中位右側の自然面を利用し、表面の割離部を割離して刃れ部とし幅2.2cm程の摩耗痕一周。	①割離母石黒片岩 ②明緑灰色(7.5GY8/1)	
11	図版202 20-001082	こもろみ石 (1/1)	長さ 20.6 幅 7.3 厚み 3.1 重量 826g	円盤を用い表面と右側面に塚付着。表面では確認できなかったが裏面の凸部に幅2.8cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①石黒割離母石片岩 ②明緑灰色(7.5GY7/1)	
12	第427図 図版202 20-001083	こもろみ石 (1/1)	長さ 20.4 幅 6.4 厚み 4.3 重量 853g	やや大型の円盤を用いる。中位右側面に割離による刃れ部を設け、幅3.2cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①石黒割離母石片岩 ②黄褐色(2.5Y7/3) + 青灰色(10BG6/1)	
13	図版202 20-001084	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.6 幅 7.6 厚み 5.2 重量 948g	左側面の自然の割離面を利用し、中に幅1.8cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑泥岩 ②緑灰色(10G6/1)	
14	第427図 図版202 20-001085	こもろみ石 (磨石)	長さ 18.0 幅 6.7 底径 4.65 重量 693g	横断面三角形を呈する円盤を使用。表面・右側の3面にきれいな研磨面を残し、下位に帯状の摩耗痕一周する。	①炭紋岩 ②灰白色(10YR7/1)	磨石からの転用品

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 (①焼成または石材等の色調 ②胎土)	備考
15	図版202 20-001086	こも編み石 (1/1)	長さ 15.1 幅 7.8 厚み 5.0 重量 845g	円鑿を用い、右側縁中位やや下寄りに刻線による小さい刻れ部を設け、幅 3.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①石黒絹雲母片岩 ②明オリブ灰色(2.5GY7/1)	
16	図版202 20-001087	こも編み石 (裏面刻線)	長さ 17.0 残存幅 6.3 残存厚 4.0 重量 664g	円鑿を用い、中位に幅2.8cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋絹雲母石片岩 ②青灰色(SBG5/1)	
17	図版202 20-001088	こも編み石 (1/1)	長さ 15.4 幅 5.7 厚み 4.7 重量 680g	円鑿を用いる。中位の若干下寄りに幅2.9cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①絹雲母石片岩 ②青灰色(10BG6/1)	
18	図版202 20-001089	こも編み石 (1/1)	長さ 17.5 幅 8.3 厚み 3.0 重量 783g	やや大型、扁平な円鑿を用いる。左右両側縁に刻線による小さい刻れ部を設け、帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石片岩 ②青灰色(SB5/1)	
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
19	第427図 図版186 10-001327	土師器割雲母 (胴部～底部) (残存部2/3)	底径 7.1 残存高 3.0	丸底。胴部内面左回りの寛撫で、底部内面回し乍らの指撫で、胴部外面回し乍ら、底面一方中心の寛削り。	①酸化焰・青 ②赤～褐色(5YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	7世紀か
20	第427図 図版186 10-001328	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 12.8 底径 推定 8.0 器高 3.9	内外面両側の黒色処理。口縁横撫で、体～底部内面左回りの寛撫で、体部外面左回り、底面一方中心の寛削り。	①酸化焰・青 ②灰褐色(7.5YR6/2) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
21	第427図 図版186 10-001329	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 11.8 底径 推定 7.4 器高 3.1	内外面両側による黒色処理。口縁横撫で、体～底部内面回し乍ら寛撫で、体部外面回し乍ら、底面概ね一方への寛削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀中葉
22	第427図 図版186 10-001330	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 13.6 底径 推定 6.8 器高 4.9	口縁横撫で、体部～底部内面回し乍らの寛撫で、底面概ね一方へ、体部外面回し乍ら、又は底面の終ぎで寛削り。	①酸化焰・青 ②赤～褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
23	第427図 図版186 10-001331	土師器環 (口縁部～底部)	口径 推定 12.6 底径 推定 6.0 残存高 4.1	口縁横撫で、体部～底部内面左回りの寛撫で、体部外面回し乍らの寛削り。底面寛削り。	①酸化焰・青 ②浅黄褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
24	第427図 図版186 10-001332	土師器環 (口縁部～胴部) (残存部1/2)	口径 17.1 残存高 13.2	口縁横撫で、体部内面左方への寛撫で、外面縦位の寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕あり
25	第427図 図版186 10-001333	土師器小型環 (口縁部～底部)	口径 推定 16.0 底径 推定 9.8 器高 15.3	外面丸れ、内面収収。口縁横撫で、体部～底部内面回し乍らの寛又は指撫で、体部外面寛削りか。底面寛調整。	①酸化焰・やや硬 ②赤灰色(2.5YR5/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱顕著
26	第427図 図版186 10-001334	土師器環 (体部) (破片)	残存長 4.95×3.4 厚み 0.45	外面収収。内面寛撫で、外面縦位の寛削り。補修孔と思われる径6×5mmの孔が外面より穿たれる。	①酸化焰・青 ②灰褐色(10YR6/2) ③細砂粒	奈良・平安時代か
27	図版202 20-001090	天井石 (破片)	残存長 10.8 残存幅 5.1 残存厚 4.15 重量 269g	表面に刻線調整痕残り、写真右側面と下端面に鑿状工具による整形痕が見られる。	①砂岩 ②灰白色(7.5Y8/2)	被熱顕著
28	図版202 20-001091	こも編み石 (1/1)	長さ 15.5 幅 8.6 厚み 3.3 重量 796g	扁平な円鑿を用いる。左側中位やや下寄りと右側縁中位の自然の溝曲を利用し、幅2.8cm程の帯状の摩耗痕一周。	①石黒絹雲母片岩 ②青灰色(SBG5/1-6/1)	
29	図版202 20-001092	こも編み石 (1/1)	長さ 19.3 幅 6.4 厚み 3.1 重量 633g	円鑿を用いる。中位に幅3.0cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石片岩 ②灰色(7.5Y6/1)	
30	第427図 図版186 10-001335	土師器高環 (坏部～胴部) (脚部上半主体)	胴部径 5.0×4.85 残存高 8.8	外面やや丸れる。坏部内面寛撫で、脚部内面回し乍ら少しづつの寛削り、外面縦位の細かい寛削り。	①酸化焰・青・多少粉質 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半
31	第427図 図版186 10-001336	土師器環か (体部) (破片)	残存 4.85×3.1 厚み 0.8	内面縦行着し目目模様。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(10YR6/1) ③細砂粒	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
32	11-004699	土師器杯	3	55	黒色処理・7c.前半
33	11-004700	土師器環	4	47	7世紀前半
34	11-004701	土師器環	4	51	黒色処理・7c.後半
35	11-004702	土師器環口縁	1	7	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
36	11-004703	土師器坏底部	1	17	黒色処理・暗文
37	11-004704	土師器坏底部	3	111	黒色処理
38	11-004705	土師器坏底部	7	97	
39	11-004706	土師器高坏環部	1	24	7世紀前半
40	11-004707	土師器高坏環部	2	69	

E区出土遺物一覧

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
41	11-004708	土師器口縁	1	15	奈良・平安時代	58	11-004725	土師器底部	2	9	粉質
42	11-004709	土師器口縁	12	551		59	11-004726	土師器底部	33	163	
43	11-004710	土師器腹部	26	125	奈良・平安時代	60	11-004727	土師器高坏部	1	25	7世紀前半
44	11-004711	土師器腹部	79	2379		61	11-004728	土師器高坏部	4	136	
45	11-004712	土師器腹部	6	126	奈良・平安時代	62	11-004729	土師器高坏部	2	25	
46	11-004713	土師器底部	6	633		63	11-004730	土師器口縁	1	6	奈良・平安時代
47	11-004714	土師器口縁	2	35		64	11-004731	土師器口縁	23	304	
48	11-004715	須恵器腹部	1	194		65	11-004732	土師器腹部	25	407	奈良・平安時代
49	11-004716	内耳鍋体部	1	121		66	11-004733	土師器腹部	166	1645	
(4) 集合扱い資料						67	11-004734	土師器底部	11	179	奈良・平安時代
50	11-004717	縄文土器	1	6	前期	68	11-004735	土師器底部	2	62	
51	11-004718	土師器坏	8	84	7世紀前半	69	11-004736	土師器口縁	1	22	
52	11-004719	土師器坏	1	9	黒色処理・7c.前半	70	11-004737	須恵器坏	1	5	
53	11-004720	土師器坏	1	7	黒色処理・7c.後半	71	11-004738	須恵器口縁	1	18	
54	11-004721	土師器口縁	2	11	7世紀後半	72	11-004739	須恵器体部	2	53	
55	11-004722	土師器口縁	2	5	黒色処理	73	11-004740	近現代瓦	7	840	
56	11-004723	土師器口縁	7	27		74	11-004741	スレート	3	175	
57	11-004724	土師器底部	15	85	黒色処理						

4 H-126号住居

No.	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等の色調 ②胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第429図 B08K186 10-001337	土師器鉢 (口縁部～底部)	口径 推定 16.3 底径 推定 12.2 器高 7.5	口縁無縁で、体部～底部内面凹し乍らの皿面。体部外面左方へ、底面一方中心の隆起あり。	①酸化焰・普 ②にぶい褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	古墳時代後期
2	第429図 B08K186 20-001093	こも編み石 (磨石)	長さ 16.3 幅 8.5 厚み 5.9 重量 105.5g	円礫を用いる。裏面と表上面凹上と表右側面に研削面を有し、中位両側の自然面を利用して帯状の厚縁を成る。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	こも編み石への転用品
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
3	第429図 B08K186 10-001338	須恵器坏 (口縁部～底部)	口径 推定 12.5 底径 推定 6.7 器高 3.9	(右)回転クロコ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・普 ②灰白色(5Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料						15	11-004753	土師器口縁	7	87	
4	11-004742	土師器底部	1	3	黒色処理	16	11-004754	土師器腹部	5	21	奈良・平安時代
5	11-004743	土師器底部	1	2		17	11-004755	土師器腹部	8	120	
6	11-004744	土師器腹部	4	23		18	11-004756	土師器底部	1	10	
7	11-004745	土師器腹部	1	7		19	11-004757	土師器口縁	1	20	
8	11-004746	須恵器腹部	3	75		20	11-004758	須恵器坏・瓶口縁	4	19	平安期頃
(4) 集合扱い資料						21	11-004759	須恵器坏・瓶底	4	57	平安期頃
9	11-004747	土師器口縁	1	4	7世紀後半	22	11-004760	須恵器高坏部	1	10	
10	11-004748	土師器口縁	1	4	黒色処理	23	11-004761	須恵器口縁	1	20	
11	11-004749	土師器口縁	2	5		24	11-004762	須恵器腹部	8	230	
12	11-004750	土師器底部	4	18	黒色処理	25	21-000447	チャート	1	24	
13	11-004751	土師器底部	4	27		26	41-000007	鉄	1	12	
14	11-004752	土師器高坏部	1	7							

5 H-127号住居

No.	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等の色調 ②胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第431図 B08K186 10-001339	土師器鉢 (口縁部～底部)	口径 16.7 底径 3.4程度か 器高 推定 32.0	外面中位以下保・挽土付着。口縁無縁で、体部内面皿面。底部内面指面。体部外面上方へ隆起あり。底面調整。	①還元焰・普 ②にぶい褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
2	第431図 図版186 10-001340	土師器壺 (口縁部～胴部) (口縁の1/3)	口径 22.0 残存高 6.0	被熱痕あり。口縁横断で、胴部内面左方へ度断で、外面度削り。	①酸化焰・青 ②浅黄褐色(7.5YR8/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
	第431図 図版186 10-001341	土師器壺 (口縁部～底部) (残存部の1/4)	底径 測定 10.0 残存高 25.1	口縁横断で、体部内面左方へ度断で、外面上左方、下右方へ度削り。断面調整か。	①酸化焰・青 ②灰白色(5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
4 -1	第431図 図版187 20-001094	白玉 (1/1)	径 1.55×1.5 厚み 0.9 重量 3.30g	角柱状の石材を用い上底面切斷後上面研磨。側面は荒削り後内部分を丸く研磨。径3mm程の孔は偏った位置に開く。	①滑石 ②灰白色(N7/)	未製品か
	第431図 図版187 20-001605	白玉 (1/1)	径 1.5×1.4 厚み 1.0 重量 2.91g	横断面形は台形を呈し、荒削り後上面研磨。側面は一部粗く研磨。孔は径3mm程を測り、やや偏った位置に穿たれる。	①滑石 ②緑灰色(5G6/1)	未製品か
4 -3	第431図 図版187 20-001606	白玉 (1/1)	径 1.5×1.4 厚み 0.95 重量 2.68g	上・底面は切り離し後ほぼ未調整。平面形は円形に加工され、側は粗く研磨。径3.5mm程の孔はほぼ中央に穿たれる。	①滑石 ②灰白色(N8/)	未製品か
	第431図 図版187 20-001607	白玉 (1/1)	径 1.5×1.25 厚み 0.7 重量 2.22g	上・底面は切斷後研磨。側面は荒削り度削られ、図上正面の2面のみ粗く研磨。孔は径3.5mm以下で穿たれる。	①滑石 ②明緑灰色(7.5GY7/1)	未製品か
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
5	第431図 図版187 10-001342	土師器胴蓋 (口縁部～胴部) (残存部ほぼ定形)	口径 17.1×16.6 残存高 9.7	口縁横断で、胴部内面傾位の度断で、外面度削り。	①酸化焰・青 ②にぶ ③黄褐色(10YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
	第431図 図版187 10-001343	土師器柄 (体部～底部)	底径 8.8×7.2 残存高 6.2	外面度削り、内面度削り。体部内面度削りとは指無で、底部内面度削り一組の指無で、体部外面度削り。底面木炭灰残る。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/5) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 製作途中の 転用品か
7	第431図 図版187 10-001344	土師器高坏 (口縁部～外縁部) (破片)	残存 7.9×6.3 口径 推定 12.5 残存高 3.7	内外面部による底部処理の痕跡。口縁横断で、体部へ底部内面左方へ度断で、外面左方へ度削り。	①酸化焰・青 ②にぶ ③黄褐色(10YR7/4) ④粗砂粒	7世紀前半
	図版201 20-001095	こも編み石 (上層・下部欠損)	残存長 10.15 幅 5.0 厚み 1.7 重量 152g	板状の円盤を用いる。残存部中に縦3.1cm程の帯状の摩耗痕一箇所する。	①点紋状雲母石黒片岩 ②暗青灰色(5B4/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	単位	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
9	11-004763	土師器坏	1	31	奈良時代頃
10	11-004764	土師器坏口縁	2	15	黒色処理
11	11-004765	土師器高坏胴部	1	41	
12	11-004766	土師器壺口縁	5	50	
13	11-004767	土師器壺体部	12	171	
14	11-004768	土師器壺底部	2	30	
15	11-004769	土師器柄体部	19	404	
16	11-004770	土師器柄底部	1	88	
(4) 集合扱い資料					
17	11-004771	縄文土器	2	40	中期
18	11-004772	土師器坏	2	11	7世紀前半
19	11-004773	土師器坏口縁	1	15	黒色処理・6c後半
20	11-004774	土師器坏口縁	2	18	黒色処理・7c前半
21	11-004775	土師器坏口縁	1	6	黒色処理・7c後半

No	資料番号	資料名称等	数量	単位	備考
22	11-004776	土師器坏口縁	3	11	黒色処理
23	11-004777	土師器坏口縁	3	24	
24	11-004778	土師器坏底部	5	29	黒色処理
25	11-004779	土師器坏底部	7	30	粉質
26	11-004780	土師器坏底部	10	109	
27	11-004781	土師器高坏	1	23	7世紀前半
28	11-004782	土師器高坏胴部	2	24	
29	11-004783	土師器壺口縁	19	227	
30	11-004784	土師器壺体部	84	679	
31	11-004785	土師器壺底部	3	105	
32	11-004786	土師器柄体部	23	216	
33	11-004787	土師器柄底部	1	48	
34	11-004788	須恵器坏・碗	5	26	
35	11-004789	須恵器壺	5	97	
36	11-004790	カマド構築材	4	20	

6 H-128号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第438図 図版187 10-001345	土師器坏 (口縁部～底部) (2/3)	口径 13.4×13.4 底径 5.1×3.7 器高 4.1	口縁横断で、口縁内面傾位。体部へ底部内面一方を基軸とする度削り。体部外面左回り、底面不定方向へ度削り。	①酸化焰・青 ②にぶ ③黄褐色(5YR6/4) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半

E区出土遺物一覧

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 (①焼成または石材等 ②色調 ③土質)	備考
2	第435図 図版187 10-001346	土師器高坏 (口縁部~胴部) (一部欠損)	口径 15.25×14.8 胴径 13.9×13.8 高さ 13.7	口縁・胴部横撫で。坏体~底部内面直し 乍ら寛撫で。胴内面咬込し輪痕痕跡し横 位の指撫で。坏体~脚外面直削り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/8) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
3	第435図 図版187 10-001347	土師器高坏 (口縁部~脚部) (2/3)	胴径 17.8 残存高 17.9	口縁・胴部横撫で。坏体~底部内面左 回りの寛撫で。胴内面咬込し輪痕痕跡し 指撫で。坏体~脚部外面直削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
4	第435図 図版187 10-001348	土師器割張裏 (口縁部~胴部) (胴部中位以下欠)	口径 23.3×23.1 残存高 17.2	口縁横撫で。体部内面左方へ寛撫で、外 面左又は左上方向へ直削り。	①酸化焰・青 ②にぶ い褐色(7.5YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
5	第435図 図版187 10-001349	土師器割張裏 (口縁部~胴部) (1/4)	口径 推定 19.2 残存高 15.4	口縁横撫で。体部内面左方への寛撫で、 左又は左上方向中心の直削り。	①酸化焰・硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 質感は直削器 に似る
6	第435図 図版187 10-001350	土師器割張裏 (胴部~底部) (残存部の1/4)	最大径 30.5 底径 8.2×8.1 残存高 27.8	外面一部彫付着。内面やや荒れる。体部 内面直撫で、外面直削り。底面概ら一 方への直削り。	①酸化焰・青 ②にぶ い褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀
7	図版202 20-001096	こも編み石 (1/1)	長さ 13.3 幅 5.8 厚み 4.6 重量 471g	円磨を用い、右側の自然の凹面を利用し て、中位に幅2.6cm程の帯状の摩耗痕が一 周する。	①砂岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
8	第435図 図版202 20-001097	こも編み石 (1/1)	長さ 12.3 幅 6.3 厚み 3.3 重量 413g	円磨を用いる。右側の自然面と、左側縁 の研磨を作ったものを刻削部とし、中位に 帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明緑灰色 (10GY7/1)	
9	図版202 20-001098	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 14.2 幅 7.3 厚み 4.65 重量 699g	円磨使用し、表面に研磨面残す。右側中 位の湾曲を利用し、幅2.5cm程の帯状の摩 耗痕一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	磨石からの転 用品
10	図版202 20-001099	こも編み石 (磨石か) (1/1)	長さ 14.1 幅 6.25 厚み 6.3 重量 699g	横断面三角形の円磨を用いる。表面(左側 面)に研磨見られ、中位上寄りに幅2.7cm 程の帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	磨石からの転 用品か
11	図版202 20-001100	こも編み石 (1/1)	長さ 17.7 幅 8.7 厚み 3.6 重量 800g	円磨使用し、左側縁の自然の湾曲を利用し、 中位の湾曲を利用し、幅1.9cm程、下寄りに幅3. 5cm程の帯状の摩耗痕一周。	①安山岩 ②青灰色(10BG6/1)	
12	第435図 図版202 20-001101	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 14.6 幅 6.1 厚み 3.8 重量 490g	円磨を用いる。表面がきれいな研磨面を 成し、左右両側縁上位の自然の湾曲を利用 し、帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明オリーブ灰色 (2.5GY7/1)	磨石からの転 用品
13	図版202 20-001102	こも編み石 (1/1)	長さ 18.1 幅 8.4 厚み 3.4 重量 799g	円磨を用いる。幅が狭くなって来る上位 に、幅3.6cm程の帯状の摩耗痕が一周す る。	①点紋網雲母石片岩 ②青灰色(5B6/1)	
14	図版202 20-001103	こも編み石 (磨石) (欠損品)	残存長 6.95 残存 幅 5.4 残存厚 3.6 重量 178g	横断面三角形を呈する円磨使用。残存部 中位に幅2.8cm程の帯状の摩耗痕一周す る。	①安山岩 ②明オリーブ灰色 (8GY7/1)	磨石からの転 用品
15	第435図 図版202 20-001104	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 14.1 幅 7.4 厚み 5.15 重量 739g	円磨を用いる。左側表面と右側裏面下部 部に研磨面を残し、上位に幅4cm程の帯 状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②オリーブ灰色 (8GY6/1)	磨石からの転 用品
16	第435図 図版202 20-001105	こも編み石 (磨石) (下端部欠損)	残存長 15.8 幅 5.8 厚み 3.8 重量 351g	円磨使用。表面に深い崩れを5条残す。 裏面に研磨面残り深さ3mm程の凹部を設 け、下位に帯状の摩耗痕一周。	①砂岩 ②灰白色(2.5Y8/2)	磨石からの転 用品。凹石と しても使用か
17	第435図 図版202 20-001106	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 14.9 幅 6.4 厚み 5.2 重量 642g	円磨使用。左右両個上位と右側裏面下位 と裏面に研磨面残り、中位に幅広の帯状 の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(7.5GY7/1)	磨石からの転 用品
18	第435図 図版202 20-001107	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 14.4 幅 7.2 厚み 4.2 重量 712g	円磨を用いる。裏裏面に研磨面を残し、 中位に幅3.4cm程の帯状の摩耗痕一周す る。	①安山岩 ②灰色(7.5Y6/1)	磨石からの転 用品
19	図版202 20-001108	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 13.8 幅 7.4 厚み 4.4 重量 793g	円磨を用いる。表面に研磨面を残し、中 位やや上寄りに幅2.5cm程の帯状の摩 耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	磨石からの転 用品
20	図版202 20-001109	こも編み石 (1/1)	長さ 15.4 幅 6.5 厚み 3.55 重量 562g	左側縁部を欠損する円磨を用い、自然面 を刻削部として利用し、幅4.7cm程の帯状 の摩耗痕一周する。	①点紋網雲母石片岩 ②青灰色(5B6/1)	
21	図版202 20-001110	こも編み石 (磨石) (1/1)	長さ 13.65 幅 6.2 厚み 4.9 重量 682g	円磨を用い、表面に研磨面を残す。中位 に幅3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②明オリーブ灰色 (8GY7/1)	磨石からの転 用品

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 (①焼成または石材等の ②色調 ③胎土)	備考
22	図版202 20-001111	こも編み石 (1/1)	長さ 14.6 幅 6.8 厚み 4.75 重量 770g	円鑿を用いる。右側面に自然の段を利用 して割れ部とし、下に幅2.2cm程の帯状 の摩耗痕一周する。	①磨蝕凝灰岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
23	図版187 20-001112	砥石 (1/1)	長さ 4.8 幅 3.75 厚み 0.65 重量 14g	円鑿を用い、表裏面削離後きれいな研磨 面を残し、縁辺部に一部研磨による調整 面を残す。	①砂岩 ②淡黄色(5Y8/3)	
(2) 本住居には直接付わなにか関連を特定できなかった遺物						
24	第435図 図版187 10-001351	縄文土器 (口縁部) (破片)	残存 9.8×6.4 厚み 1.0	半截竹管による連続するC字爪形文が施 される。	①やや硬 ②淡黄褐色(7.5YR8/4) ③粗砂粒・片岩含む	前期 諸磯B式
25	第435図 図版187 10-001352	土師器坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 11.7 底径 推定 4.6 残存高 4.4	内外面焼灰又は漆での黒色処理。口縁横 無で、体～底部内面回し乍ら寛撫で。体 部外面回し乍ら寛撫り。底面寛撫り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR6/6) ③細砂粒	7世紀前半
26	第435図 図版187 10-001353	土師器坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 11.2 底径 推定 4.7 器高 4.7	内外面漆による黒色処理。口縁横無で、 体部～底部内面回し乍らの寛撫で。体部 外面回し乍らの寛撫り。底面寛撫り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③細砂粒	
27	第435図 図版187 10-001354	土師器坏 (口縁部～体部) (破片)	残存 12.8×4.7 口径 推定 13.8 残存高 3.5	内外面漆による黒色処理。口縁横無で、 体部内面回し乍らの寛撫で、外面左回り の寛撫り。	①酸化焰・漆 ②にぶ い黄褐色(10YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀中葉
28	第435図 図版188 10-001355	土師器坏 (口縁部～底部) (破片)	残存 8.0×5.4 口径 推定 11.3 残存高 3.1	口縁横無で、体部～底部内面回し乍ら の寛撫で。体部外面回し乍らの寛撫り。底 面型起こしらしい亀裂残り、寛撫り。	①酸化焰・漆 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒	7世紀後半
29	第435図 図版187 10-001356	土師器高坏 (口縁部～胴部) (2/3)	口径 推定 16.8 胴径 推定 14.3 器高 16.7	口縁・胴部横無で、体部～底部内面 無で、胴部内面輪模残痕し横位の指撫で、 体部～胴部外面寛撫り。	①酸化焰・漆・やや粉質 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半
30	第435図 図版187 10-001357	土師器小型罎 (口縁部～底部) (3/4)	口径 推定 11.1 底径 6.6×6.2 器高 11.5	内面僅付着。口縁横無で、内面体部回 し乍ら、底部板ね一方へ寛撫で。外面肩へ割 部指撫で、腰～底面寛撫り。	①酸化焰・漆 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	
31	第435図 図版188 10-001358	土師器小型罎 (口縁部～体部) (破片)	残存 9.1×10.2 口径 推定 15.1 残存高 10.9	口縁横無で、体部内面寛撫で、外面上 方への寛撫り。	①酸化焰・漆 ②赤褐色(10R4/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀後半 質感は質悪器 に似る
32	図版202 20-001113	こも編み石 (1/1)	長さ 13.6 幅 5.7 厚み 1.9 重量 200g	表面の割離した小型の円鑿を用いる。上 位の左右両側に割離による割れ部を設 け、幅1.2cm程の帯状の摩耗痕一周。	①網雲母石黒片岩 ②暗青灰色(5BG4/1)	
33	図版202 20-001114	こも編み石 (1/1)	長さ 13.3 幅 7.4 厚み 5.2 重量 786g	円鑿を用いる。左右両側縁の自然面を利 用して浅い割れ部とし、幅1.9cm程の帯状 の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(N6/7)	
34	図版202 20-001115	こも編み石 (1/1)	長さ 16.1 幅 5.7 厚み 4.1 重量 567g	円鑿を用いる。中位に幅3.2cm程の帯状 の摩耗痕一周する。	①網雲母石黒片岩 ②青灰色(5BG5/1)	
35	図版202 20-001116	こも編み石 (1/1)	長さ 12.0 幅 5.9 厚み 3.1 重量 269g	下半部が幅狭となる円鑿を用いる。左右 側の自然の凹面を利用し、幅1.3cm程の帯 状の摩耗痕一周する。	①砂岩 ②明オリブ灰色 (5GY7/1)	全体に被熱し 赤褐色を呈する
36	図版202 20-001117	こも編み石 (磨石)	長さ 14.3 幅 7.4 厚み 3.9 重量 810g	円鑿を用い、裏面に削面を伴う研磨面を 残し、中位に幅2.3cm程の明確な帯状の摩 耗痕を残す。	①輝岩 ②暗緑灰色(5G4/1)	磨石からの転 用品
38	第435図 図版188 20-001118	有溝砥石 (右半部欠損)	長さ 5.55 残存幅 3.9 厚み 1.2 重量 30g	偏平な円鑿使用。表裏面研磨。表面に削 痕状の浅い溝と切断部近くに来貫通孔ら しいもの、裏面に敲打痕残る。	①砂岩 ②黄色(2.5Y8/6)	
39	第435図 図版188 20-001119	砥石 (中位のあ)	残存長 3.5 残存幅 2.4 残存厚 1.45 重量 14g	左右側は右に広がり、表面は左右に高く なる。裏裏・左右面は研磨面で、良く使 用される。	①蛇紋岩 ②灰白色(5GY6/1)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱ひ資料					
40	11-004791	土師器坏	6	87	黒色処理・7c.前半
41	11-004792	土師器坏口縁	1	24	7世紀前半
42	11-004793	土師器坏口縁	4	89	黒色処理・7c.後半
43	11-004794	土師器坏口縁	2	39	7世紀後半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
44	11-004795	土師器坏口縁	1	6	黒色処理
45	11-004796	土師器坏底部	7	65	黒色処理
46	11-004797	土師器坏底部	16	238	
47	11-004798	土師器坏胴部	1	11	
48	11-004799	土師器高坏胴部	2	26	

E区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
49	11-004800	土師器口縁	12	494		65	11-004816	土師器灰底	15	188	黒色処理
50	11-004801	土師器壺体部	8	78	奈良・平安時代	66	11-004817	土師器灰底	40	257	
51	11-004802	土師器壺体部	56	1082		67	11-004818	土師器高坏脚部	2	37	
52	11-004803	土師器壺体部	7	465		68	11-004819	土師器高坏脚部	4	30	
53	11-004804	土師器口縁	4	173		69	11-004820	土師器口縁	1	22	
54	11-004805	土師器壺体部	30	1618		70	11-004821	土師器壺口縁	20	346	
55	11-004806	須恵器壺体部	1	23		71	11-004822	土師器壺体部	178	120	奈良・平安時代
(4) 集合扱い資料						72	11-004823	土師器壺体部	178	2229	
56	11-004807	縄文土器	4	31	中期	73	11-004824	土師器壺底	6	247	
57	11-004808	土師器環	2	18	黒色処理・7c前半	74	11-004825	土師小型壺口縁	1	20	
58	11-004809	土師器環	1	4	奈良時代頃	75	11-004826	土師器壺体部	28	497	
59	11-004810	土師器環	5	28	粉質	76	11-004827	須恵器壺体部	2	32	
60	11-004811	土師器口縁	5	42	7世紀前半	77	11-004828	須恵器壺底	1	134	
61	11-004812	土師器口縁	1	13	黒色処理・7c後半	78	11-004829	須恵器壺口縁	1	4	
62	11-004813	土師器口縁	5	45	7世紀後半	79	21-000448	黒曜石	1	2	
63	11-004814	土師器口縁	1	1	黒色処理	80	21-000449	熟成成岩	1	12	
64	11-004815	土師器口縁	7	18							

7 H-129号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部②) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 (①焼成または石材等 ②色調 ③粘土)	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	図版188 10-001359	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 14.1 底径 推定 8.0 器高 3.6	内外面黒漆塗布。口縁～体部内面横無で、 底部内面回し乍らの残無で。体部外面左 回り、底面一方への発削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒	6世紀前半
2	図版188 10-001360	土師器壺 (腰部～底部) (残存部のみ)	口径 8.5×8.3 残存高 7.0	内面一部彫着。腰部～底部内面一方中 心の指無で。腰部外面発削り。底面網代 痕残り調整。	①酸化焰・青 ②にぶ い褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀
3	図版188 10-001361	土師器小型壺 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 14.4×13.05 底径 5.9×5.3 器高 14.5	内面やや軟炭。口縁横無で。体部内面回 し乍ら残無で。底部内面回し乍ら指無で。 体部外面彫削り。底面調整。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(SYR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
4	図版188 10-001362	土師器壺 (口縁部～胴部) (残存部の7/8)	口径 10.6 残存高 17.7	口縁横無で。体部内面横無で、外面上方 中心の発削り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(SYR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
5	図版188 10-001363	土師器環 (口縁部～底部) (2/3)	口径 13.8 底径 推定 11.6 器高 3.9	内外面漆による黒色処理。口縁横無で、 体～底部内面回し乍ら残無で。体部外面 回し乍ら、底面3方向への発削り。	①酸化焰・青 ②にぶ い褐色(7.5YR7/3) ③細砂粒・片岩含む	7世紀前半
6	図版188 10-001364	土師器環 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 11.0×10.65 底径 7.8×7.5 器高 3.1	外面噴灰、内面漆による黒色処理。口縁 横無で。体部～底部内面左回りの残無で。 底面一方中心の発削り。	①酸化焰・やや硬 ② にぶい黄褐色(10YR7/4) ③細砂粒	7世紀前半
7	図版188 10-001365	土師器環 (口縁部～底部) (破片)	口径 推定 13.0 底径 推定 5.2 器高 3.95	底面荒れる。口縁横無で。体部～底部内 面回し乍らの残無で、外面彫削り。	①酸化焰・青 ②にぶ い褐色(7.5YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か
8	図版188 10-001366	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 9.6 底径 5.3×5.0 器高 6.5	口縁横無で。体部～底部内面左回りの残 無で。体部外面回し乍らの発削り。底面 発削り。	①酸化焰・青 ②にぶ い黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	図版188 10-001367	土師器壺 (口縁部～腰部) (残存部の1/5)	口径 推定 21.5 残存高 26.9	外面下半部・焼土付着。内面軟炭。口縁 横無で。体部内面指又は残無で。体部外 面輪横灰残し上方へ発削り。	①酸化焰・やや硬 ② にぶい褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
10	図版188 20-001120	凹石 (欠損品)	残存長 17.3 残存 幅 6.8 厚み 6.0 重量 840g	角柱状の石材を用いるが、左側面・下側 面等欠損。表面と右側面に各1カ所、裏 面に縦に並ぶ3カ所の凹部を設ける。	①砂岩 ②灰白色(10YR8/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料						14	11-004833	土師器環	1	17	7c後半・黒色処理
11	11-004830	弥生土器	1	27		15	11-004834	土師器口縁	1	2	黒色処理
12	11-004831	土師器環	1	23	6世紀後半	16	11-004835	土師器灰底	6	24	黒色処理
13	11-004832	土師器環	4	83	7世紀前半	17	11-004836	土師器灰底	1	3	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
18	11-004837	土師器壺口縁	3	247		25	11-004844	土師器環底部	10	54	
19	11-004838	土師器壺体部	17	388		26	11-004845	土師器壺口縁	2	27	奈良・平安時代
20	11-004839	土師器瓶体部	1	8		27	11-004846	土師器壺口縁	5	42	
(4) 集合扱い資料						28	11-004847	土師器壺体部	11	63	奈良・平安時代
21	11-004840	土師器環	1	5	7世紀前半	29	11-004848	土師器壺体部	21	285	
22	11-004841	土師器環口縁	1	9	7c前半・黒色処理	30	11-004849	土師器壺体部	1	7	
23	11-004842	土師器環口縁	2	11		31	11-004850	須恵器環・筒口縁	2	5	平安朝頃
24	11-004843	土師器環底部	5	11	黒色処理	32	11-004851	須恵器長筒壺口縁	1	9	

8 H-130号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第439図 図版188 10-001368	須恵器高台付椀 (口縁部～高台部) (口縁1/4欠損)	口径 13.3×13.65 高台径 6.5×6.3 器高 5.5	内外面吸戻による黒色処理。右回転クワロロ成形。底面回転余切り後高台貼り付け時の撫で。	①還元焰・青 ②暗灰色(N3/7) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
2	第439図 図版188 10-001369	須恵器高台付椀 (口縁部～底部) (口縁1/3欠損)	口径 12.4×推定14.0 底径 5.4 残存高 6.2	右回転クワロロ成形。底面回転余切り後高台貼り付けの痕跡。	①還元焰・青 ②灰白色(10YR/1) ③粗砂粒	10世紀前半
3	第439図 図版188 10-001370	須恵器高台付椀 (口縁部～高台部) (2/3)	口径 12.7 高台径 7.1×6.8 器高 5.25	右回転クワロロ成形。内外面部分的に吸戻。底面回転余切り後、全面高台貼り付け時の撫で。	①還元焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
4	第439図 図版188 10-001371	須恵器高台付椀 (口縁部～底部) (口縁1/4欠損)	口径 12.3×11.8 底径 6.0×5.8 器高 4.2	右回転クワロロ成形。底面回転余切り後高台貼り付け。高台欠損。	①還元焰・青 ②黄灰色(2.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
5	第439図 図版188 10-001372	須恵器壺 (口縁部～胴部) (残存部の1/6)	口径 推定 30.0 残存高 28.8	内面傷付着。内外面横位の撫で。一部胴部外面右下へ覆り。胴部内面に内倒斜下より幅1.2cmの差し込み痕。	①還元焰・青 ②褐色(5Y5/1～6/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
6	第439図 図版188 10-001373	羽釜 (口縁部～胴部) (残存部の1/4)	口径 推定 18.0 残存高 13.8	所謂古井型の羽釜。内外面横位の撫で。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
7	第439図 図版189 10-001374	羽釜 (口縁部～胴部) (残存部の1/4)	口径 推定 18.0 残存高 12.0	所謂古井型の羽釜。内面やや変れる。内外面横位の撫で。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
8	第439図 図版189 10-001375	須恵器小型壺 (口縁部～胴部) (破片)	残存 10.25×9.06 底径 推定 14.1 残存高 9.0	内外面横位の撫でで、胴部外面下位縁位の調整。胎土。	①還元焰・やや硬 ② ③褐色(5YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	10世紀前半か
9	図版202 20-001121	台石 (右側面欠損か)	長さ 32.7 幅 26.9 厚み 8.2 重量 4450g	表面が平らな大型の円碑使用。表面上位に被褥痕見られ変色。上側縁辺付近を中心に敲打痕が認められる。	①輝岩 ②暗緑灰色(5G4/1)	小鍛冶に伴うものか
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
10	第439図 図版202 20-001122	磨石 (破石) (1/1)	長さ 9.6 幅 8.9 厚み 4.6 重量 562g	円碑を用いる。表面面に研ぎ見られ、表面に削痕残る。表面面・側面に広く敲打痕が残る。	①安山岩 ②明緑色(7.5GY7/1)	磨石への転用品
11	第439図 図版189 10-001376	須恵器高台付椀 (口縁部～高台部) (3/5)	口径 推定 11.8 高台径 推定 7.2 器高 5.0	右回転クワロロ成形。底面回転余切り後、ほぼ全面に高台貼り付け時の撫で。	①還元焰・青 ②灰色(10Y6/1) ③粗砂粒	10世紀前半
12	第439図 図版189 10-001377	須恵器高台付椀 (口縁部～底部) (残存部の1/2)	口径 推定 11.8 底径 5.2 残存高 4.0	右回転クワロロ成形。底面回転余切り後、高台貼り付け後、高台削磨。	①還元焰・青 ②黄褐色(2.5YR7/3) ③粗砂粒	10世紀前半
13	第439図 図版189 10-001378	羽釜 (口縁部～胴部) (残存部の1/3)	口径 推定 18.3 残存高 18.0	所謂古井型の羽釜。内外面横位の撫で。	①還元焰・青 ②黄褐色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
14	第439図 図版189 10-001379	須恵器壺 (胴部～底部) (破片)	底外径 推定 19.0 底内径 推定 11.3 残存高 9.4	胴部内面横位、底部凹し午らの撫で。胴部外面横位の削磨。胎土。	①還元焰・青 ②に ③黄褐色(10YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	10世紀
15	第439図 図版189 10-001380	瓦尻 (破片)	残存 8.8×14.2 厚み 1.6	凹面細かい布目痕残り、凸面横位の撫で。側縁、縁辺に沿って寛削り。	①酸化焰・硬 ②に ③黄褐色(10YR7/4) ④粗砂粒	

E区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備 考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備 考
	③	取上番号付き集合扱い資料				36	11-004872	土師器坏口縁	8	22	
16	11-004852	土師器坏底部	1	6	黒色処理	37	11-004873	土師器坏底部	2	7	黒色処理
17	11-004853	土師器坏底部	1	22		38	11-004874	土師器坏底部	9	47	
18	11-004854	土師器高坏外部	2	38		39	11-004875	土師器高坏外部	4	53	
19	11-004855	土師器高坏外部	1	20		40	11-004876	土師器高坏外部	2	20	
20	11-004856	土師器壺	28	147	一括	41	11-004877	土師器高坏外部	3	23	
21	11-004857	土師器壺口縁	1	25		42	11-004878	土師器壺	64	94	一括
22	11-004858	土師器壺底部	29	569		43	11-004879	土師器壺口縁	5	75	
23	11-004859	土師器壺底部	3	93	羽釜か	44	11-004880	土師器壺底部	76	752	
24	11-004860	土師器壺口縁	1	11		45	11-004881	土師器壺底部	2	32	羽釜か
25	11-004861	土師器壺底部	3	55		46	11-004882	土師器壺口縁	1	22	
26	11-004862	須恵器蓋	1	24		47	11-004883	土師器壺底部	3	55	
27	11-004863	須恵器坏・坏口縁	9	111	平安朝頃	48	11-004884	須恵器蓋	1	9	
28	11-004864	須恵器坏・坏外部	7	92	平安朝頃	49	11-004885	須恵器坏・坏口縁	19	176	平安朝頃
29	11-004865	須恵器坏・坏底部	8	232	高台付・平安朝頃	50	11-004886	須恵器坏・坏外部	35	157	平安朝頃
30	11-004866	須恵器壺口縁	2	38		51	11-004887	須恵器坏・坏外部	14	132	高台付・平安朝頃
31	11-004867	須恵器壺底部	7	369		52	11-004888	須恵器壺底部	19	416	
32	11-004868	羽釜口縁	19	1251		53	11-004889	須恵器壺底部	1	19	
33	11-004869	羽釜底部	77	2510		54	11-004890	羽釜口縁	12	321	
34	11-004870	布目瓦	1	79		55	11-004891	羽釜底部	80	1181	
(4)	集合扱い資料					56	11-004892	布目瓦	1	29	
35	11-004871	土師器坏	1	4	奈良時代頃	57	11-004893	カマド構築材	2	15	

9 H-131号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
第443回	1	土師器坏 (口縁部～底部)	口径 12.7×12.6 底径 5.8×5.4 器高 4.9	内外面やや荒れる。口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの荒撫で。体部外面回し乍らの荒削り。底面荒削り。	①酸化焰・青 ②ぶい ③黄褐色(10YR7/2) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
第443回	2	土師器坏 (口縁部～底部)	口径 10.7 底径 5.2×4.6 器高 5.0	体部～底部内面かなり荒れる。口縁横撫で。体部外面回し乍らの荒削り。底面概ね一方への荒削り。	①酸化焰・やや硬 ② ぶい ③褐色(7.5YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
第443回	3	土師器高坏 (口縁部～胴部)	口径 17.65×17.2 底径 14.7 器高 20.7	口縁・胴部横撫で。坏体～底部回し乍ら荒撫で。脚部内面輪横直残し横位の指撫で。坏体部～胴部荒削り。	①酸化焰・青 ② 褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒	6世紀後半
第443回	4	土師器瓶 (口縁部～底部)	口径 15.5×14.7 底径 6.3×5.8 (ほぼ完形) 器高 12.4	口縁横撫で。体部内面回し乍らの荒撫で。外面輪横直残し上方へ荒削り。底部熟土貼り付け。内面・底面荒調整。	①酸化焰・青 ②ぶい ③黄褐色(10YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
第443回	5	磨石	長さ 10.5 幅 9.2 厚み 5.2 重量 680 g	所謂磨石を用いる。裏面に研磨面を成し、表面右半部と右側縁上位にも研磨痕が見られる。	①安山岩 ②明オリブ灰色 (2.5GY7/1)	
第443回	6	四石か (こもろみ石)	残存長 9.0 残存 幅 8.8 厚み 3.8 (上部欠損)	左側の欠ける円盤使用。表面に敲打痕による 2mm程の窪みが残る。残存上半部に帯状の摩耗痕一周する。	①砂岩 ②褐色(2.5YR8/6)	こもろみ石への転用品か
第443回	7	土師器坏 (口縁部～底部)	口径 14.0×13.5 底径 6.8×6.2 (口縁1/5欠損) 器高 4.5	口縁横撫で。体部～底部内面左回りの荒撫で。体部外面回し乍ら、底面一方中心の荒削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒	7世紀前半
第443回	8	土師器坏 (口縁部～底部)	口径 11.3×11.2 底径 6.5×6.0 (口縁一部欠損) 器高 6.8	口縁横撫で。内面体部回し乍ら、底面概ね一方へ荒削り。体部外面指撫で又は荒調整。底面荒削り。	①酸化焰・青 ② 改黄褐色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
第443回	9	土師器坏 (口縁部～底部)	口径 推定 13.8 底径 推定 7.8 (1/5) 器高 2.05	内外面漆による黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの荒撫で。体部外面回し乍らの荒削り。底面荒削り。	①酸化焰・青 ②ぶい ③褐色(5YR7/6) ④細砂粒	7世紀後半
第443回	10	土師器小型壺 (口縁部～胴部)	口径 12.8 残存高 12.6 (残存部1/2)	外面荒れる。口縁横撫で。体部内面荒撫で、外面荒削り。	①酸化焰・青 ②ぶい ③黄褐色(10YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顕著

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
11	第443図 図版189 10-001389	土師器蓋 (口縁部へ剥部) (残存部1/3)	口径 推定 15.6 残存高 14.9	胴部以下外面焼土付着。口縁横撫で。体部内面斜方向の荒撫で、外面上方への荒削り。	①酸化焰・青 ①灰黄色(2.5Y7/2) ②粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
12	第443図 図版189 10-001390	土師器蓋 (胴部～底部) (残存1/2)	底径 8.8 残存高 8.1	胴部～底部内面回し乍らの荒又は指撫で。胴部外面上方への荒削り。底面右側の荒削り。	①酸化焰・青 ①淡黄色(5Y7/3) ②粗砂粒・片岩含む	6世紀
13	第443図 図版190 10-001391	土師器蓋 (底部) (底部のみ)	底径 4.5×4.5 残存高 2.8	底部内面左回りの荒撫で、外面荒削り後指撫で。底面網代状跡残る。顕著な高台状を成す。	①酸化焰・青 ①褐色(7.5YR7/6) ③細砂粒	6世紀
14	第443図 図版190 10-001392	灰輪皿 (底部) (破片)	残存 6.25×5.9 厚み 1.1	底面を除き灰輪が施される。底部内面荒撫でによる格子状の押し目が施され、底面回転糸切り後一部荒調整。	①還元焰・硬 ②明オリブ灰色(5GY7/1) ③粗砂	瀬戸 15世紀前半
15	第443図 図版202 20-001123	こも編み石 (1/1)	長さ 19.0 幅 6.9 厚み 5.1 重量 647g	円盤を用い、上位の幅の狭くなる部分を利用して、幅4.3cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①砂岩 ②灰白色(5Y8/2)	
16	第443図 図版202 20-001124	こも編み石 (破石) (1/1)	長さ 15.1 幅 7.5 厚み 4.9 重量 659g	右側の欠損する石材用い、表面に敲打痕残る。右側の自然面と左側の敲打による剥れ部を使って帯状の摩耗痕一周。	①砂岩 ②淡黄色(2.5Y8/4)	破石からの転用品
18	第443図 図版190 20-001125	火打ち石 (1/1)	長さ 4.3 幅 1.95 厚み 2.7 重量 29g	破砕した石英を用い、長辺の一辺の下位を欠く部分に敲打痕が残る。	①石英 ②灰白色(N8/)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備考
(3)	取上番号付き集合扱い資料				
19	11-004894	縄文土器	1	12	中期
20	11-004895	土師器環	1	29	7世紀中葉
21	11-004896	土師器環口縁	2	11	
22	11-004897	土師器環底部	3	30	黒色処理
23	11-004898	土師器環底部	1	10	
24	11-004899	土師器高弁蓋部	1	11	
25	11-004900	土師器壺口縁	8	178	
26	11-004901	土師器壺体部	2	25	奈良・平安時代
27	11-004902	土師器壺底部	29	577	
28	11-004903	土師器壺底部	7	380	
29	11-004904	土師小型壺口縁	1	21	
30	11-004905	土師割張壺体部	5	127	
31	11-004906	土師割張壺底部	1	113	
32	11-004907	土師器壺口縁	2	99	
33	11-004908	土師器壺体部	1	51	
34	11-004909	須恵器環・検口縁	1	15	平安朝頃
35	11-004910	須恵器環・検体部	1	16	平安朝頃
36	11-004911	須恵器壺体部	5	204	
37	11-004912	羽釜口縁	2	93	
38	11-004913	羽釜体部	2	121	
39	21-000450	熱変成岩	1	56	
(4)	集合扱い資料				
40	11-004914	縄文土器	1	31	中期
41	11-004915	土師器環	1	34	6世紀前半
42	11-004916	土師器環	2	17	7c 中葉・黒色処理
43	11-004917	土師器環	8	68	7世紀中葉
44	11-004918	土師器環	1	5	7世紀後半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備考
45	11-004919	土師器環口縁	3	12	黒色処理
46	11-004920	土師器環口縁	7	26	
47	11-004921	土師器環底部	20	84	黒色処理
48	11-004922	土師器環底部	10	75	
49	11-004923	土師器高弁蓋部	1	12	
50	11-004924	土師器壺口縁	13	96	
51	11-004925	土師器壺体部	13	80	奈良・平安時代
52	11-004926	土師器壺体部	1	6	石田川
53	11-004927	土師器壺体部	100	919	
54	11-004928	土師器壺底部	3	40	
55	11-004929	土師小型壺口縁	2	27	
56	11-004930	土師器壺口縁部	1	13	
57	11-004931	土師割張壺体部	8	183	
58	11-004932	土師器壺口縁	2	45	
59	11-004933	土師器壺口縁	3	52	
60	11-004934	須恵器環・検口縁	14	74	平安朝頃
61	11-004935	須恵器環・検体部	10	43	平安朝頃
62	11-004936	須恵器環・検底部	7	69	高台付・平安朝頃
63	11-004937	須恵器壺口縁	1	25	
64	11-004938	須恵器壺体部	12	251	
65	11-004939	須恵小型壺口縁	1	18	
66	11-004940	羽釜口縁	6	96	
67	11-004941	羽釜体部	12	182	
68	11-004942	羽釜底部か	1	28	
69	11-004943	陶器	6	76	
70	11-004944	布目瓦	2	86	
71	21-000451	熱変成岩	1	79	

E区出土遺物一覧

10 H-132号住居

No	図面番号 (残存部位) 資料番号	名称 (残存部位)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土質	備考
(I) 本住居に直接付着と判断される遺物						
1	第446図 図版190 10-001393	土師器環 (口縁部～底部) (7/8)	口径 13.3×12.85 底径 9.4×8.7 器高 4.6	口縁横無で、体部～底部内面回し乍らの 寛輪で、体部外面回し乍ら、底面一方を 機軸とする甃割り。	①酸化焰・青 ②に よい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	第446図 図版190 10-001394	土師器環 (口縁部～底部) (ほぼ定形)	口径 13.0×12.6 底径 7.3×4.5 器高 4.3	口縁横無で、体部～底部内面回し乍らの 寛輪で、機軸の位置き。体部外面右回 りの、底面概ね一方への甃割り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/8) ③粗砂粒	A.D. 600年前 後
3	第446図 図版190 10-001395	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 15.2 底径 推定 7.8 残存高 5.0	口縁横無で、体部～底部内面回し乍らの 寛輪で、体部外面回し乍ら、底面概ね一 方への甃割り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀後半
4	第446図 図版190 10-001396	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 12.8 底径 推定 9.8 器高 4.4	口縁横無で、体部内面回し乍ら、底面一 方を機軸とする指輪で、体部外面回し乍 ら、底面概ね一方への甃割り。	①酸化焰・青 ②淡黄褐色(7.5YR8/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
5	第446図 図版190 10-001397	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 14.0 底径 推定 8.6 器高 4.7	口縁横無で、体部～底部内面回し乍らの 寛輪で、体部外面回し乍らの甃割り。底 面甃割り。	①酸化焰・青 ②に よい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
6	第446図 図版190 10-001398	土師器環 (口縁部～底部) (口縁3/4欠損)	口径 推定 13.6 底径 9.7×7.6 器高 3.9	内外面漆による黒色処理。口縁横無で、 体部～底部内面回し乍らの寛輪で、体部 外面回し乍ら、底面一方への甃割り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒	7世紀中葉
7	第446図 図版190 10-001399	土師器環 (口縁部～底部) (5/8)	口径 12.6×12.4 底径 推定 4.0 器高 3.7	内面炭灰による黒色処理。口縁横無で、 体～底部内面左回りの寛輪で、体部外面 回し乍ら、底面概ね一方への甃割り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
8	第446図 図版190 10-001400	土師器環 (口縁部～底部) (破片)	残存 12.8×7.6 口径 推定 15.2 残存高 4.1	器内厚い。口縁横無で、体部～底部内面 寛輪で、外面回し乍らの甃割り。	①酸化焰・青 ②淡黄色(5YR3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	第446図 図版190 10-001401	土師器甕 (口縁部～底部) (3/4)	口径 推定 19.6 底径 6.1 器高 37.0	外面保付着し腰部外周土付着。口縁横無 で、体部内面左方、胴部縦位の寛輪で、 体部外面及び底面甃割り。	①酸化焰・やや硬 ② によい黄褐色(10YR7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
10	第446図 図版190 10-001402	土師器甕 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 19.8×17.1 底径 8.6×8.0 器高 32.0	口縁横無で、右前～左奥方向に扁平。 体部～底部内面左回りの寛輪で、体部外 面甃割り。腰部外面～底面調整。	①酸化焰・やや硬 ②淡褐色(2.5YR8/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕有り
11	第446図 図版190 10-001403	土師器甕 (口縁部～胴部) (残存部約7/8)	口径 19.1×17.7 残存高 26.0	外面上半部保付着し、下半荒れる。口縁 左右に扁平され横輪で、体部内面左方へ 寛輪で、外面上方へ甃割り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕有り
12	第446図 図版190 10-001404	土師器甕 (胴部～底部) (残存部の1/2)	底径 推定 6.7 残存高 24.4	内面炭灰。体部内面輪痕残存し寛輪で、 底部内面回し乍らの寛輪で、体部外面上 方へ甃割り。底面調整。	①酸化焰・青 ②に よい黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
13	第446図 図版190 10-001405	土師器小型甕 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 15.2×14.6 底径 7.2×5.2 器高 18.1	内面炭灰し底部内面荒れる。口縁横無で、 体部～底部内面寛輪で、外面甃割り。	①酸化焰・青 ②赤褐色(10R6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顯著
14	第446図 図版190 10-001406	土師器甕 (胴部～底部) (残存部の7/8)	底径 7.0×6.9 残存高 12.6	外面漆、一部に粘土付着。体部内面上 方へ、底部左回りの寛輪で、体部外面上 方へ甃割り。底面調整。	①酸化焰・青 ②に よい赤褐色(2.5YR5/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀
15	第446図 図版190 10-001407	土師器甕 (口縁部～底部) (口縁1/3欠損)	口径 22.0 底径 9.3×9.1 器高 27.6	口縁横無で、体部内面上がりの段輪で 後、縦位の節磨き。外面輪痕残し上方 へ甃割り。底部内外面調整。	①酸化焰・やや硬 ②明褐色(7.5YR7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
16	第446図 図版191 10-001408	土師器甕 (腰部～底部) (残存のみ)	底径 4.8×4.4 残存高 3.2	内面保付着。腰部～底部内面左回りの寛 輪で、腰部外面指輪痕残り、底面木炭灰 残る。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀の可能 性も考慮
17	第446図 図版191 10-001409	土師器小型甕 (口縁部～底部) (ほぼ定形)	口径 19.1×18.4 底径 8.6×7.9 器高 14.3	内面荒れる。口縁横無で、体～底部内面 左回りの寛輪で、体部外面部分的に輪痕 残し左上へ、底面一方へ甃割り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
18	第446図 図版191 10-001410	土師器小型甕 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 11.3×10.9 底径 7.4×6.3 器高 11.7	口縁横無で、体部～底部内面左回りの寛 輪で、体部外面左又はは上方へ、底面概 ね一方への甃割り。	①酸化焰・硬 ②に よい黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 残存状態良好
19	第446図 図版191 10-001411	土師器小型甕 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 14.2 底径 推定 12.1 残存高 8.3	口縁横無で、体部～底部内面回し乍らの 寛輪で、体部外面甃割りか。底面回し乍 らの甃割り。	①酸化焰・青 ②に よい褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半～ 7世紀前半

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成り・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①構成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
20	第446図 図版191 10-001412	土師器環 (口縁部~底部) (口縁1/3欠損)	口径 11.9×11.7 底径 7.6×7.3 器高 4.6	口縁横無で。体部~底部内面左回りの段縁で、体部外面回し乍ら、底面不定方向への見附り。	①酸化焰・青 ②淡黄色(2.5YR/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
21	第446図 図版191 10-001413	土師器壺 (口縁部~胴部) (破片)	残存 17.0×13.8 口径 推定 21.0 残存高 13.7	口縁横無で。体部内面段縁の段縁で、外面上方への見附り。	①酸化焰・やや硬 ②黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
22	第446図 図版191 10-001414	土師器小形壺 (口縁部~底部) (胴部に欠損有り)	口径 11.2×10.5 底径 9.5×8.7 器高 9.7	外面荒れる。口縁横無で。体部内面横位の段縁で、腰部~底部内面一方基準の指縁で、体部外面~底面直張りか。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
23	第446図 図版191 10-001415	土師器小形壺 (口縁部~底部) (1/2)	口径 推定 12.6 底径 6.8 器高 8.5	口縁横無で。体部~底部内面回し乍らの段縁で、体部外面~底面直張り。	①酸化焰・普通 ②褐色(2.5YR/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半~ 7世紀前半
24	第446図 図版202 20-001126	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.2 幅 7.6 厚み 2.5 重量 515 g	やや扁平な円盤を用いる。左右両側中位を敲打して浅い凹部を設け、幅4cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①点紋碧岩母石黒片岩 ②青灰色(5BG5/1)	
25	図版202 20-001127	こもろみ石 (左中・上部のみ)	残存長 18.1 残存 幅 4.1 厚み 3.8 重量 370 g	円盤を用いる。中位に幅2.3cm程の帯状の摩耗痕が附る。	①点紋碧岩母石黒片岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
26	11-004945	縄文土器	1	19	中期
27	11-004946	土師器環	3	93	7世紀前半
28	11-004947	土師器環	1	5	黒色処理
29	11-004948	土師器環底部	3	37	黒色処理
30	11-004949	土師器環底部	5	150	
31	11-004950	土師器高坏胴部	1	11	
32	11-004951	土師器壺口縁	3	130	
33	11-004952	土師器壺体部	1	1	奈良・平安時代
34	11-004953	土師器壺体部	33	675	
35	11-004954	土師器壺底部	4	68	
36	11-004955	土師器壺体部	1	29	
37	11-004956	須恵器環・體部	1	7	平安朝頃
38	11-004957	須恵器環・體部	1	50	平安朝頃
39	11-004958	須恵器壺体部	3	79	
40	11-004959	内耳罐口縁	1	24	
(4) 集合扱い資料					
41	11-004960	縄文土器	1	24	中期
42	11-004961	土師器環	1	8	7世紀前半
43	11-004962	土師器環	1	19	7c.後半・黒色処理

No	資料番号	資料名称等	数量	重さ(g)	備考
44	11-004963	土師器環	2	9	黒色処理
45	11-004964	土師器環口縁	5	22	
46	11-004965	土師器環底部	11	45	黒色処理
47	11-004966	土師器環底部	4	17	
48	11-004967	土師器高坏胴部	1	26	
49	11-004968	土師器高坏胴部	1	5	
50	11-004969	土師器壺口縁	2	12	石田川式
51	11-004970	土師器壺口縁	7	51	
52	11-004971	土師器壺体部	3	9	石田川式
53	11-004972	土師器壺体部	5	14	奈良・平安時代
54	11-004973	土師器壺体部	38	373	
55	11-004974	土師器壺底部	2	96	
56	11-004975	土師器壺口縁	2	11	
57	11-004976	土師器壺体部	1	13	
58	11-004977	須恵器環・體部	2	13	平安朝頃
59	11-004978	須恵器環・體部	1	4	平安朝頃
60	11-004979	須恵器環・體部	1	10	平安朝頃
61	11-004980	須恵器壺体部	9	209	
62	21-000452	黒曜石	1	5	

11 H-150号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成り・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①構成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第449図 図版191 10-001416	土師器環 (口縁部~底部) (一部欠損)	口径 11.2×10.8 底径 6.3×5.5 器高 3.5	内部段縁での黒色処理か。口縁横無で。体~底部内面回し乍らの段縁で、体外面回し乍ら、底面不定方向への見附り。	①酸化焰・青 ②におい ③褐色(5YR7/4) ④粗砂粒	7世紀前半
2	第449図 図版191 10-001417	土師器環 (口縁部~底部) (一部欠損)	口径 12.3×11.4 底径 6.2×4.9 器高 4.0	前後に扁平される。口縁横無で。体~底部内面回し乍らの段縁で、体外面回し乍ら、底面一方を機軸とする見附り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR/6) ③粗砂粒	7世紀前半
3	第449図 図版191 10-001418	土師器環 (口縁部~底部) (口縁一部欠損)	口径 11.4×11.1 底径 5.9×5.2 器高 3.7	内外面やや風化。内面黒漆塗布か。口縁横無で、体~底部内面回し乍らの段縁で、体部外面~底面左回りの見附り。	①酸化焰・青・やや粉質 ②褐色(2.5YR/6) ③粗砂粒	7世紀前半
4	第449図 図版191 10-001419	土師器環 (口縁部~底部) (ほぼ完形)	口径 11.4×11.4 底径 5.9×5.5 器高 3.6	内外面風化。口縁横無で。体部~底部内面直張りか。体部外面回し乍らの見附り。底面段縁。	①酸化焰・青・粉質 ②褐色(7.5YR/8) ③粗砂粒	7世紀前半

E 区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (携存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
5	第4989 図版191 10-001420	土師器坏 (口縁部～底部) (完整)	口径 16.6×16.4 底径 8.2×6.2 器高 5.8	内面漆による黒色処理。口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの発露で。体部外面左回り、底部2方向への発露有り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR8/4) ③粗砂粒	6世紀中期
6	第4990 図版191 10-001421	土師器坏 (口縁部～底部) (ほぼ完整)	口径 11.65×11.4 底径 4.75×4.3 器高 3.8	内外面やや風化。口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの発露で。体部外面右回りの、底部不定方向への発露有り。	①酸化焰・青・やや粉質 ②褐色(5YR7/8) ③粗砂粒	7世紀前半
7	第4991 図版191 10-001422	土師器坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 11.9 底径 推定 4.2 残存高 3.35	内面黒漆塗布のみ。口縁横撫で。体部～底部内面回し乍らの発露で。体部外面回し乍らの発露有り。底面発露有り。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒	7世紀前半
8	第4992 図版191 10-001423	土師器壺 (口縁部～底部) (口縁一部欠損)	口径 18.5×17.8 底径 5.0×4.6 器高 37.1	外面黒・焼土。内面底部炭化物付着。口縁横撫で。体部～底部内面左回りの発露で。体部外面発露有り。底面発露調整。	①酸化焰・やや硬 ②にぶい褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	第4993 図版191 10-001424	土師器壺 (口縁部～底部) (ほぼ完整)	口径 21.7×20.1 底径 6.7×6.2 器高 39.6	外面黒、一部焼土付着。体部内面炭化。口縁横撫で。体部内面炭化で、腰～底指撫で。体部外面発露有り。底面発露調整。	①酸化焰・やや硬 ②にぶい褐色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
10	第4994 図版192 10-001425	土師器鉢 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 推定 23.3×23.1 底径 6.3×6.0 器高 33.8	内面炭化付着し荒れる。口縁横撫で。体部内面左方へ発露で。腰部で磨ぎ、体部外面発露有り。底面2方へ発露有り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5Y7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
11	第4995 図版192 10-001426	土師器壺 (口縁部～底部) (7/8)	口径 15.05 底径 9.8×9.6 器高 8.1	口縁横撫で。体部内面回し乍ら、底部一方へ発露で。体部外面左方、底部右回りの発露有り。内面より穿孔6カ所。	①酸化焰・青 ②にぶい褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
12	第4996 図版192 10-001427	土師器小壺 (口縁部～底部) (ほぼ完整)	口径 12.8×12.5 底径 4.8×4.3 器高 11.1	口縁横撫で。体部内面左回り、底部内面一方への発露で。体部外面左又は左上方への発露有り。底面発露有り。	①酸化焰・硬 ②赤褐色(10R5/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か
13	図版202 20-001128	こも編み石 (1/1)	長さ 13.5 幅 6.2 厚み 3.7 重量 384g	円盤を用いる。表面中位上平の自然の湾曲面を利用して、幅2.7cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②灰白色(7.5Y7/2)	
12 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
14	第4997 図版192 20-001129	磨石 (1/1)	長さ 6.45 幅 5.8 厚み 2.65 重量 165g	円盤を用いる。表面面研磨されるが、特に表面中～下位に研磨面が形成される。	①地質実質岩 ②暗緑灰色(7.5GY8/1)	
15	第4998 図版192 10-001428	土師器坏 (口縁部～体部) (残存部の1/4)	口径 推定 12.0 残存高 4.2	内面黒漆による黒色処理塗布。口縁横撫で。体部内面回し乍らの発露で、外面回りの発露有り。	①酸化焰・青 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒	7世紀前半
16	第4999 図版192 10-001429	土師器壺 (口縁部～底部) (腰部1/4欠損)	口径 21.9×21.0 底径 3.6×3.4 器高 39.5	体部以下外面黒又は焼土付着。底部内面炭化物付着。口縁横撫で。体部～底部内面左回りの発露で、外面発露有り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
17	第4998 図版192 10-001430	土師器壺 (口縁部～底部) (口縁1/2欠損)	口径 推定 22.0 底径 9.8×9.4 器高 30.9	口縁横撫で。体部内面左方へ発露で、外面上半部上方、下半部下方へ発露有り。底部内面右方へ発露有り。底面発露調整。	①酸化焰・やや硬 ②にぶい褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
18	第4999 図版192 10-001431	土師器鉢 (口縁部～底部) (ほぼ完整)	口径 15.5×15.3 底径 11.7×11.5 器高 7.9	口縁横撫で。体部内面左方へ発露で、底部内面回し乍らの指撫で。体部外面左回りの、底部一方中心の発露有り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
③	取上番号付き集合扱い資料					(4)	集合扱い資料				
19	11-004961	縄文土器	1	28	中期	32	11-004994	縄文土器	2	41	中期
20	11-004962	土師器坏口縁	3	19	7c.前半・黒色処理	33	11-004995	土師器坏口縁	2	9	7世紀前半
21	11-004963	土師器坏口縁	1	9	7世紀後半	34	11-004996	土師器坏口縁	2	10	黒色処理
22	11-004964	土師器坏口縁	2	1	黒色処理	35	11-004997	土師器坏口縁	3	9	
23	11-004965	土師器坏口縁	2	10		36	11-004998	土師器坏底部	1	8	黒色処理
24	11-004966	土師器坏底部	4	11	黒色処理	37	11-004999	土師器坏底部	3	19	
25	11-004967	土師器坏底部	2	12		38	11-005000	土師器壞口縁	2	39	
26	11-004968	土師器高坏柄部	3	26		39	11-005001	土師器壺体部	2	12	奈良・平安時代
27	11-004969	土師器壺口縁	2	109		40	11-005002	土師器壺体部	9	135	
28	11-004990	土師器壺体部	4	14	奈良・平安時代	41	11-005003	土師器壺体部	2	48	
29	11-004991	土師器壺体部	13	188		42	11-005004	須恵器壺体部	1	17	
30	11-004992	土師器壺体部	2	25		43	11-005005	陶器	1	5	
31	11-004993	須恵器壺体部	1	15							

12 H-151号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①組成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第4528E 図版192 10-001432	土師器環 (口縁部～底部) (口縁1/4欠損)	口径 13.9×14.3 底径 6.0×5.9 残存高 5.3	内外面戦災で黒色処理を意図。口縁横無で、体～底部内面回し乍ら寛無で、体部外面左回り、底面一方へ旋削り。	①酸化焰・やや硬 ②明褐色(7.5YR7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	第4528E 図版192 10-001433	土師器環 (口縁部～底部) (7/8)	口径 13.8×13.7 底径 7.7×6.7 器高 4.2	口縁横無で、体部～底部内面回し乍らの寛無で、体部外面左回り、底面一方を軸とした旋削り。	①酸化焰・やや硬 ②灰白色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
3	第4528E 図版192 10-001434	土師器環 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 13.1×12.8 底径 5.0×4.1 器高 3.8	口縁横無で、体部～底部内面左回りの寛無で、体部外面右回りの、底面1～2方向への旋削り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
4	図版202 20-001130	こもろみ石 (1/1)	長さ 12.8 幅 6.4 厚み 2.55 重量 278 g	やや扁平な円盤を用い、中位に幅2cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①成紋岩 ②灰白色(5GY8/1)	
5	第4528E 図版202 20-001131	こもろみ石 (1/1)	長さ 11.7 幅 5.3 厚み 3.9 重量 326 g	小型の円盤を用いる。左側面上位と右側面に研磨を伴う浅い刻れ部を持ち、上位に帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②青灰色(5BG5/1)	
6	図版202 20-001132	こもろみ石 (1/1)	長さ 14.7 幅 4.8 厚み 3.2 重量 374 g	やや平な円盤を用いる。中位やや上寄りに幅1.9cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑泥片岩 ②緑灰色(5G5/1)	
7	図版202 20-001133	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.8 幅 5.2 厚み 4.65 重量 521 g	角柱状の円盤使用。双方自然の左側面中位やや上の凹面、右側面中位の段差を利用して幅1.4cm程の摩耗痕一周。	①安山岩 ②灰色(N5/7)	
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
8	第4528E 図版192 10-001435	土師器小煎盤 (口縁部～胴部) (残存部の1/2)	口径 15.5 残存高 6.9	口縁横無で、胴部内面左方へ旋削で、外面部分的に輪横板直し旋削の旋削り。	①酸化焰・硬 ②灰白色(5YR5/3) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
9	第4528E 図版192 10-001436	須恵器蓋 (天井部～口縁部) (口縁一部欠損)	天井径 10.0×9.8 口径 12.6×12.1 器高 3.6	左回転クロコ成形。天井部外面左回りの回転旋削り。	①還元焰・やや硬 ②灰白色(7.5Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
10	第4528E 図版192 10-001437	須恵器高台付椀 (口縁部～高台部) (1/2)	口径 推定 13.1 高台径 6.1×5.8 器高 5.0	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、外周高台貼り付け時の撫で。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
11	第4528E 図版192 10-001438	須恵器蓋 (口縁部～底部) (破片)	口径 推定 23.6 底径 推定 20.8 残存高 2.9	回転クロコ成形。底面内面放射状の指撫で、胴部外面～底面右回りの回転旋削り。	①還元焰・硬 ②灰色(N5/7) ③粗砂粒	7世紀後半
12	第4528E 図版192 10-001439	須恵器高台 (坏底部～胴部) (胴部上半部中心)	胴部径 4.1×4.1 残存高 10.1	坏部右回転クロコ成形。胴部内面放射状横位の撫で、外面横位の指撫で。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y8/1) ③粗砂粒	6世紀後半
13	第4528E 図版192 10-001440	陶器蓋 (口縁部～高台部) (1/2)	口径 推定 12.8 高台径 6.4×6.3 器高 3.1	灰胎内面及び外面口縁部～胴部にかけて掛かる。内外面に重ねたきの旋削り。	①還元焰・硬 ②灰白色(7.5Y8/1) ③粗砂粒	17世紀末～18世紀 美濃
14	図版202 20-001134	こもろみ石 (1/1)	長さ 12.7 幅 5.9 厚み 4.2 重量 511 g	円盤を用いる。中位に幅3.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①硝盞母石黒片岩 ②緑灰色(10GY5/1)	
15	第4528E 図版202 20-001135	こもろみ石 (1/1)	長さ 15.9 幅 4.15 厚み 3.0 重量 286 g	棒状の円盤を用い、左右側縁の自然の制縁による段の部分に研磨して刻れ部とし、中位に帯状の摩耗痕一周する。	①硝盞母石黒片岩 ②灰白色(5Y7/1)	
16	図版202 20-001136	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.25 幅 5.8 厚み 2.0 重量 214 g	円盤を用いる。中位やや上に幅3.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①硝盞母石黒片岩 ②緑灰色(10GY5/1)	
17	第4528E 図版192 10-001441	磁物 (欠損品)	残存径 5.1 幅 5.5 厚み 3.4 重量 51 g	粘質土主体に夾雑物多く、手摺み様に成形され焼かれる。表面に棒状のものを埋めたるしく帯状の溝線断する。	①軟質 ②灰白色(2.5Y7/1) ③ローム・軽石を含む	用途不明
18	第4528E 図版192 20-001137	白玉 (1/1)	径 1.75×1.7 厚み 0.95 重量 4.53 g	上底面切断後軽く研磨。側面は荒削り板すり、切断部分は粗く研磨。平面上はほぼ中央に径3.5mm程の孔が穿たれる。	①明緑灰色(10GY8/1)	

E 区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存重量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
18 -2	第452図 図版193 20-001314	白玉 (2折、一部欠損)	径 2.0×1.9 厚み 1.03 重量 7.05g	上底面切断後研削。側面切断後粗い研削が施され、一部に荒削り状残る。平面的中央付近に径3mm程の穿孔。	①磨石 ②明緑灰色(10GY7/1)	
18 -4	第452図 図版193 20-001422	白玉 (欠損品)	径 1.9 残存厚 0.6 重量 1.50g	表面・右側のみ残存。表面切断後粗い研削。	①磨石 ②明緑灰色(7.5GY8/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	量目	備 考	No	資料番号	資料名称等	数量	量目	備 考
(3) 取上番号付き集合扱い資料						45	11-005032	縄文土器	3	35g	中期
19	11-005006	縄文土器	1	7	中期	46	11-005033	土師器杯	1	8	7c前半・黒色処理
20	11-005007	土師器杯	1	13	6世紀後半	47	11-005034	土師器杯	4	15	7世紀前半・粉質
21	11-005008	土師器杯	2	14	7c前半・粉質	48	11-005035	土師器杯	3	23	7世紀前半
22	11-005009	土師器杯	2	38	7世紀前半	49	11-005036	土師器杯	3	16	7世紀後半
23	11-005010	土師器杯	1	21	7c後半・黒色処理	50	11-005037	土師器杯口縁	2	11	黒色処理
24	11-005011	土師器杯	2	35	7世紀後半	51	11-005038	土師器杯口縁	1	4	粉質
25	11-005012	土師器杯口縁	2	10	黒色処理	52	11-005039	土師器杯口縁	2	11	
26	11-005013	土師器杯口縁	1	3		53	11-005040	土師器杯底部	6	38	黒色処理
27	11-005014	土師器杯底部	12	73	黒色処理	54	11-005041	土師器杯底部	5	30	粉質
28	11-005015	土師器杯底部	2	19	粉質	55	11-005042	土師器杯底部	15	127	
29	11-005016	土師器杯底部	3	21		56	11-005043	土師器杯口縁	1	15	
30	11-005017	土師器杯口縁	1	9	奈良・平安時代	57	11-005044	土師器杯口縁	1	22	
31	11-005018	土師器杯口縁	8	124		58	11-005045	土師器杯口縁部か	2	25	
32	11-005019	土師器杯底部	12	93	奈良・平安時代	59	11-005046	土師器杯口縁	4	42	奈良・平安時代
33	11-005020	土師器杯底部	38	1320		60	11-005047	土師器杯底部	12	151	
34	11-005021	土師器杯底部	1	16	奈良・平安時代	61	11-005048	土師器杯底部	20	116	奈良・平安時代
35	11-005022	土師器杯口縁	1	67		62	11-005049	土師器杯底部	75	1111	
36	11-005023	土師器杯底部	1	10		63	11-005050	土師器杯底部	1	14	
37	11-005024	須恵器杯・瓶口縁	2	15	平安期頃	64	11-005051	土師器杯口縁	1	13	
38	11-005025	須恵器杯・瓶底部	2	57	平安期頃	65	11-005052	土師器杯底部	2	33	
39	11-005026	須恵器杯口縁	1	4		66	11-005053	須恵器杯・瓶口縁	2	14	平安期頃
40	11-005027	須恵器杯口縁	1	96		67	11-005054	須恵器杯・瓶底部	2	8	平安期頃
41	11-005028	須恵器杯底部	6	203		68	11-005055	須恵器杯・瓶底部	2	105	平安期頃
42	11-005029	須恵器杯底部	1	185		69	11-005056	須恵器杯底部	6	227	
43	11-005030	羽釜口縁	1	190		70	11-005057	羽釜底部	4	66	
44	11-005031	羽釜底部	4	75		71	21-000453	熟成成岩	1	9	

13 H-152号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残存重量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第456図 図版193 10-001442	土師器杯 (口縁部～底部) (ほぼ完整)	口径 13.7×13.25 底径 6.2×5.8 器高 4.9	口縁～体部内面横溝で。体部～底部内面左回りの寛撫で。体部側左回りの、底面一方向への歪削り。	①酸化・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
2	図版202 20-001138	磨石 (1/1)	長さ 9.2 幅 10.3 厚み 4.6 重量 615g	円盤を用い、写真左側の底面と右側の頂部が研削若しくは摩耗が見られる。	①点紋網罟母石磨片岩 ②緑灰色(7.5GY7/1)	
3	第456図 図版193 10-001443	土師器杯 (口縁部～底部) (2/3)	口径 15.6 底径 6.6×6.2 器高 28.7	外面下半部荒れる。口縁横溝で、体部～底部内面左回りの寛撫で、体部外面削り。底面木炭残る。	①酸化・青 ②褐色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顯著
4	第456図 図版193 10-001444	土師器割須恵 (口縁部～胴部) (1/3)	口径 推定 16.5 最大径 推定 23.2 残存高 15.7	外面荒れ、体部内面収束。口縁横溝で、体部内面横位の寛撫は指無で、外面胴部左方、胴部上方への歪削り。	①酸化・青 ②にぶい黄褐色(10YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
5	第456図 図版193 10-001445	土師器杯 (口縁部～底部) (3/4)	口径 25.6×23.2 底径 8.4×8.0 器高 34.6	内面やや荒れる。口縁横溝で、体部内面寛撫で、体部内面外面削り。底部内面及び底面調整。	①酸化・青 ②にぶい褐色(7.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備 考
(3)	取上番号付き集合扱い資料				
6	11-005058	土師器壺体部	1	4	奈良・平安時代
7	11-005069	土師器壺体部	13	781	
8	11-005060	土師器壺体部	1	152	
9	11-005061	須恵器坏・筒口縁	1	4	平安朝頃
10	11-005062	須恵器壺体部	2	99	
11	11-005063	羽釜底部	1	33	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備 考
12	21-000454	熱変成岩	1	97	
(4)	集合扱い資料				
13	11-005064	土師器壺体部	8	115	
14	11-005065	須恵器坏・筒口縁	1	17	平安朝頃・高台付
15	11-005066	須恵器壺口縁	1	17	
16	11-005067	須恵器壺体部	3	170	

14 H-153号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形成調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①構成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1)	本住居に直接伴うと判断される遺物					
1	第458図 図版193 10-001446	須恵器高台付碗 (口縁部～高台部) (2/3)	口径 16.2 高台径 7.85×7.7 器高 6.2	器面荒れる。右回転クロコ成形成。底面回転糸切り後、全面高台貼り付け時の無で。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(N7/)	10世紀前半
2	第458図 図版193 10-001447	須恵器高台付碗 (口縁部～高台部) (2/3)	口径 推定 13.4 高台径 6.5×6.4 器高 4.8	内面取戻による黒色処理。右回転クロコ成形成。底面回転糸切り後、高台貼り付けの無で及び手ねね様の指痕残存。	①還元焰・やや軟 ②灰黄色(2.5Y6/2) ③細砂粒	10世紀前半 外周も取戻する
3	第458図 図版193 10-001448	須恵器高台付碗 (口縁部～腰部) (破片)	残存 9.1×6.8 口径 14.3 残存高 5.4	内外面取戻。回転クロコ成形成。	①還元焰・青 ②灰黄色(2.5Y7/3) ③細砂粒	10世紀前半か
(2)	出土地点が掘り部分に相当する可能性のある遺物					
4	第458図 図版193 10-001449	羽釜 (口縁部～腰部) (残存部の2/3)	口径 19.6×18.7 残存高 23.8	所謂古井型。胴部外面の一部に機土付着。内及び口縁～胴部外面横位の無で。腰部外面縦位又は右下方への取崩り。	①還元焰・やや硬 ②灰白色(5Y8/2) ③粗砂粒	10世紀前半
5	第458図 図版193 10-001450	羽釜 (口縁部～腰部) (7/8)	口径 19.1×18.7 残存高 24.3	所謂古井型の羽釜。内面及び口縁～胴部外面横位の取崩り。腰部右下方への取崩り。	①還元焰・青 ②明オリーブ灰色(2.5GY7/1) ③粗砂粒	10世紀前半
6	第458図 図版193 10-001451	羽釜 (口縁部～腰部) (残存部の1/2)	口径 推定 19.6 残存高 22.0	所謂古井型の羽釜。体部外面機土付着。内面及び口縁～胴部外面横位の無で。腰部外面右下方への取崩り。	①還元焰・青 ②灰白色(7.5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
7	第458図 図版193 10-001452	羽釜 (口縁部～胴部) (破片)	残存 18.2×10.5 口径 推定 19.6 残存高 11.0	所謂古井型の羽釜。内外面横位の無で。	①還元焰・青 ②灰黄色(5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
8	第458図 図版193 10-001453	須恵器小型壺 (口縁部～胴部) (残存部の1/4)	口径 推定 13.9 残存高 8.5	外面部分的に爆付着。内外面横位の取崩り。	①還元焰・やや硬 ② ③灰黄色(10YR7/2) ④細砂粒・片岩含む	10世紀前半か
(3)	本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物					
9	第458図 図版193 10-001454	須恵器小型壺 (口縁部～胴部) (残存部の1/4)	口径 推定 14.8 残存高 7.6	内外面若干爆付着。内外面横位の取崩り。	①還元焰・やや硬 ②灰白色(2.5Y8/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半か
10	第458図 図版193 10-001455	須恵器高台付碗 (口縁部～高台部) (破片)	口径 推定 13.9 高台径 推定 8.7 器高 5.7	内外面荒れる。右回転クロコ成形成。底面回転糸切り後、高台貼り付け時の無で。高台欠損。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(N7/) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備 考
(4)	取上番号付き集合扱い資料				
11	11-005068	土師器坏底部	1	1	
12	11-005069	土師器壺体部	1	10	奈良・平安時代
13	11-005070	土師器壺体部	1	41	
14	11-005071	須恵器坏・筒	2	44	高台・平安朝頃
15	11-005072	須恵器坏・筒口縁	3	37	還元焰・平安朝頃
16	11-005073	須恵器坏・筒口縁	8	104	酸化～還元・平安
17	11-005074	須恵器坏・筒体部	1	4	還元焰・平安朝頃
18	11-005075	須恵器坏・筒体部	2	4	還元焰・平安朝頃
19	11-005076	須恵器坏・筒体部	2	14	酸化～還元・平安
20	11-005077	須恵器坏・筒高台	1	29	酸化～還元焰
21	11-005078	須恵器壺体部	1	175	
22	11-005079	須恵器小型壺口縁	1	45	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備 考
23	11-005080	羽釜口縁	6	333	還元焰
24	11-005081	羽釜口縁	1	230	還元焰
25	11-005082	羽釜口縁	4	279	還元～還元焰
26	11-005083	羽釜体部	9	221	還元焰
27	11-005084	羽釜体部	7	163	還元焰
28	11-005085	羽釜体部	14	221	還元～還元焰
29	11-005086	羽釜底部	1	26	還元焰
(5)	集合扱い資料				
30	11-005087	土師器坏口縁	2	13	
31	11-005088	土師器坏底部	2	7	
32	11-005089	土師器壺口縁	1	8	
33	11-005090	土師器壺体部	2	4	奈良・平安時代
34	11-005091	土師器壺体部	7	160	

E区出土遺物一覧

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
35	11-005092	須恵器環・腕口縁	14	95	還元焰、平安期頃	44	11-005101	須恵器環・腕高台	2	37	酸化～還元焰
36	11-005093	須恵器環・腕口縁	4	30	酸化～還元、平安	45	11-005102	須恵器小形壺口縁	1	21	
37	11-005094	須恵器環・腕口縁	6	14	酸化焰、平安期頃	46	11-005103	羽釜	4	138	酸化焰
38	11-005095	須恵器環・腕体部	4	21	酸化～還元、平安	47	11-005104	羽釜口縁	3	56	還元焰
39	11-005096	須恵器環・腕体部	7	30	還元焰、平安期頃	48	11-005105	羽釜口縁	1	9	酸化～還元焰
40	11-005097	須恵器環・腕体部	2	11	酸化焰、平安期頃	49	11-005106	羽釜体部	9	180	還元焰
41	11-005098	須恵器環・腕底部	1	66	高台付、還元焰	50	11-005107	羽釜体部	11	173	酸化焰
42	11-005099	須恵器環・腕底部	1	11	酸化焰、平安期頃	51	11-005108	羽釜体部	17	250	酸化～還元焰
43	11-005100	須恵器環・腕高台	4	29	平安期頃	52	11-005109	羽釜底部	1	10	酸化～還元焰

15 H-154号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土質	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	図版193 10-001456	土師器壺 (口縁部～肩部) (残存部の1/4)	口徑 推定 20.2 残存高 8.2	コの字状頸口縁部で横溝で、肩部内面横位の直線で、外面横位の直線あり。	①酸化焰・やや硬 ②赤色(10Y6/1) ③細砂粒	10世紀前半
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
2	図版193 10-001457	須恵器高台付碗 (口縁部～高台部) (1/2)	口徑 推定 15.0 高台径 7.1×6.6 器高 4.6	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、外周高台貼り付け時の撫で。	①還元焰・青 ②灰色(10Y6/1) ③細砂粒	10世紀前半
3	図版193 10-001458	須恵器高台付碗 (体部～高台部) (1/4)	高台径 推定 5.3 残存高 4.8	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、外周高台貼り付け時の撫で。	①酸化焰・やや硬 ② ②赤い黄褐色(10YR7/4) ③細砂粒	10世紀前半
4	図版194 10-001459	須恵器高台付碗 (腰部～高台部) (残存部のみ)	高台径 7.65×7.6 残存高 2.9	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、外周高台貼り付け時の撫で。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③細砂粒・片岩を含む	10世紀前半
5	図版194 10-001460	須恵器片頸壺 (頸部～肩部) (頸部の1/3)	頸部径 推定 5.5 残存高 4.2	回転クロコ成形。頸部下端付近に肩部付けて整形。外面に自然輪痕がる。	①還元焰・硬 ②灰白色(N7/) ③細砂粒	7世紀後半
6	図版194 10-001461	女瓦 (破片)	残存長 11.1 残存幅 7.4 厚み 1.0	凹面細かい布目痕残り、凸面鋸削り等の整形。側面・下端面は荒撫で等施される。	①還元焰・青 ②黄褐色(2.5Y8/3) ③細砂粒	
7	図版194 10-001462	女瓦 (破片)	残存長 7.7 残存幅 6.35 厚み 1.1	側縁部に向かって厚みを増す。凹面に細かい布目痕残り、凸面及び側縁鋸削り。	①還元焰・青 ②灰白色(5Y8/2) ③細砂粒	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料											
8	11-005110	土師器環口縁	3	15		19	11-005121	土師器環口縁	1	3	
9	11-005111	土師器環底部	1	2		20	11-005122	土師器環底部	2	20	
10	11-005112	土師器壺口縁	7	128	奈良・平安時代	21	11-005123	土師器壺口縁	5	61	奈良・平安時代
11	11-005113	土師器壺体部	35	185	奈良・平安時代	22	11-005124	土師器壺体部	36	259	奈良・平安時代
12	11-005114	土師器壺体部	2	1		23	11-005125	土師器壺体部	6	58	
13	11-005115	土師器壺底部	4	102	奈良・平安時代	24	11-005126	土師器壺底部	1	6	奈良・平安時代
14	11-005116	須恵器環・腕口縁	5	26	平安期頃	25	11-005127	須恵器環・腕口縁	9	97	平安期頃
15	11-005117	須恵器環・腕底部	5	100	平安期頃	26	11-005128	須恵器環・腕体部	1	4	平安期頃
16	11-005118	須恵器壺口縁	1	42		27	11-005129	須恵器環・腕底部	1	13	平安期頃
17	11-005119	須恵器壺体部	4	355		28	11-005130	須恵器壺体部	7	198	
18	11-005120	羽釜体部	2	51		29	11-005131	羽釜口縁	3	52	
(4) 集合扱い資料											
						30	11-005132	羽釜体部	2	33	
						31	11-005133	灰輪陶器片	1	1	

16 H-155号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形 態・成 形・調 整 等 の 特 徴	焼 成・石 材 等 の 特 徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第463回 図版194 10-001463	土師器口縁 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 13.7 底径 7.9×7.25 器高 5.6	内外面吸込による黒色処理。口縁横溝で、 体部～底部内面周し乍らの隆起で。体部 外面左回りの隆起。底面磨削り。	①酸化焰・青 ②③に ①赤褐色(2.5YR5/4) ②粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	第463回 図版194 10-001464	土師器壺 (口縁部～底部) (口縁1/5欠損)	口径 17.4×16.3 底径 7.5×7.4 器高 14.7	口縁前後に圧平し横溝で。内面側～胴部 隆起で、腰～底部指溝で。体部外面～底 面磨削り。底面側より穿孔9ヵ所。	①酸化焰・やや硬 ②③に、濃い青色(5YR6/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
3	第463回 図版194 10-001465	土師器口 (口縁部～胴部) (破片)	口径 推定 12.0 残存高 3.9	内外面吸込による黒色処理。口縁横溝で、 体部内面左回りの隆起で、外面周し乍ら の隆起有り。	①酸化焰・青 ②③に ①黄褐色(10YR7/3) ③細砂粒	6世紀後半
4	第463回 図版194 10-001466	土師器高杯 (口縁部～外体部) (破片)	残存 9.0×7.75 口径 推定 19.0 残存高 6.3	口縁横溝で。体部内面左回りの隆起で、 外面左方への隆起有り。	①酸化焰・硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
5	第463回 図版194 10-001467	土師器鉢 (口縁部～底部) (3/4)	口径 18.4×18.0 底径 8.65 器高 8.2	内外面多少吸込。口縁横溝で。体部～底 部内面左回りの隆起で、体部外面左上方 への隆起有り。底面磨削り。	①酸化焰・青 ②褐色(5YR5/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
6	第463回 図版194 10-001468	土師器小型壺 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 14.6 底径 7.4×7.0 器高 14.2	口縁横溝で。内面側～胴部左方へ隆起で、 腰～底部内面周し乍ら指溝で。体部外面 上方へ、底面一方基部の隆起有り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
7	第463回 図版194 20-001139	石製模造品 「勾玉」 (下端右側欠損)	長さ 4.8 幅 3.1 厚み 1.3 重量 29g	刺刺面視す裏面と右側上面を除き研磨。 屈曲部は刻みを入れ縦に刺刺。頭部中央 やや下寄りに径4mm程の孔を穿つ。	①滑石 ②青灰色(5BG5/1)	下部欠損の可 能性あり
8	第463回 図版194 20-001140	石製模造品 「勾玉」 (1/1)	長さ 6.05 幅 2.9 厚み 1.3 重量 34g	表・左右側に刺刺面。左上・左下に切断 面。屈曲部は上下に切れ込み入れ中は刺 刺。全体研磨し径3mm程の穿孔。	①滑石 ②明青灰色(5BG7/1)	
9	第463回 図版202 20-001141	こもみ石 (1/1)	長さ 11.9 幅 5.2 厚み 4.3 重量 490g	直方体状の円碑を用いる。表・左右両側 の深い溝状を利用し、幅2.6cm程の帯状 の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(10GV7/1)	掘り方

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(3)	取上番号付き集合扱い資料				
10	11-005134	土師器口縁	4	18	7世紀後半
11	11-005135	土師器杯底部	1	128	硬質
12	11-005136	土師器杯底部	3	12	
13	11-005137	土師器口縁	2	34	硬質
14	11-005138	土師器口縁	1	22	
15	11-005139	土師器壺体部	7	20	奈良・平安時代
16	11-005140	土師器壺体部	9	119	硬質

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
17	11-005141	土師器壺体部	6	72	
18	11-005142	須恵器杯・口縁	1	5	平安朝頃
19	11-005143	須恵器小型壺体部	1	12	
20	11-005144	羽釜口縁	1	58	
(4) 集合扱い資料					
21	11-005145	土師器杯底部	1	5	
22	11-005146	土師器壺体部	1	10	硬質
23	11-005147	須恵片	1	3	

17 H-156号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形 態・成 形・調 整 等 の 特 徴	焼 成・石 材 等 の 特 徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第465回 図版194 10-001469	須恵器高台付碗 (口縁部～高台部) (一部欠損)	口径 14.5×14.0 高台径 7.5×7.0 器高 4.7	右側より圧平される。右回転クロコ成形。 底面回転糸切り後、高台貼り有り。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
2	第465回 図版194 10-001470	羽釜 (口縁部～胴部) (破片)	残存 14.2×6.4 口径 推定 18.0 残存高 6.3	所謂吉井型の羽釜。内外面横位の撫で。 口縁部の平面面は特に意識されている。	①還元焰・青 ②灰白色(5Y8/2) ③粗砂粒	10世紀前半
3	第465回 図版194 10-001471	須恵器壺 (口縁部～胴部) (破片)	残存 15.8×13.4 口径 推定 24.2 残存高 12.1	鉢型の壺。右回転クロコ成形。質は羽釜 に似る。	①還元焰・青 ②灰色(N5/) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
4	第465回 図版194 10-001472	羽釜 (胴部～底部) (残存部の1/5)	底径 推定 13.4 残存高 8.0	胴部～底部内面及び胴部外面上半横位の 撫で。胴部外面下右方への隆起有り。底 面周し乍らの隆起有り。	①還元焰・青 ②灰色(N4/～6/) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半

E区出土遺物一覧

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(2) 本住居に直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
5	第465図 図版194 10-001473	須恵器鉢 (口縁部～底部) 1/4)	口径 推定 12.3 底径 5.4 器高 4.3	右回転クロコ成形。底面回転未切り。	①酸化焰・やや硬 ②にぶ黄褐色(10YR7/3) ③粗砂粒	10世紀前半 にぶ黄褐色
6	第465図 図版194 10-001474	須恵器 (口縁部～胴部) (残存部1/5)	口径 推定 22.0 残存高 7.7	所謂吉井部の羽釜。内外面横位の器で。	①還元焰・青 ②灰白色(N7/) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
7	第465図 図版194 10-001475	須恵器鉢 (口縁部～胴部) (破片)	残存 12.7×14.85 口径 推定 23.0 残存高 14.4	口径上下に引かれる。内外面横位の器で。	①還元焰・青 ②灰色(N5/) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半か
8	第465図 図版194 10-001476	須恵器小壺 (口縁部～底部) (破片)	残存 9.7×5.65 口径 推定 14.4 残存高 5.7	内面炭化物の付着が残る。内外面横位の器で。	①酸化焰・硬 ②にぶ褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒	10世紀前半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
9	11-005148	土師器鉢口縁	1	20	
10	11-005149	土師器鉢底部	1	5	
11	11-005150	須恵器環・瓶口縁	1	4	還元焰、平安朝頃
12	11-005151	須恵器環・瓶口縁	1	8	酸化焰、平安朝頃
13	11-005152	須恵器環・瓶口縁	5	38	酸化～還元、平安
14	11-005153	須恵器環・瓶体部	1	6	還元焰、平安朝頃
15	11-005154	須恵器環・瓶体部	1	7	酸化焰、平安朝頃
16	11-005155	須恵器環・瓶体部	4	18	酸化～還元、平安
17	11-005156	須恵器小壺口縁	2	51	
18	11-005157	須恵器瓶口縁	1	74	羽根付
19	11-005158	羽釜口縁	1	23	還元焰
20	11-005159	羽釜体部	8	275	還元焰
21	11-005160	羽釜体部	9	437	酸化焰
22	11-005161	羽釜体部	12	348	酸化～還元焰
23	11-005162	羽釜底部	2	89	還元焰
24	11-005163	羽釜底部	1	24	酸化焰
25	11-005164	羽釜底部	3	235	酸化～還元焰
(4) 集合扱い資料					
26	11-005165	織文土器	1	9	中期
27	11-005166	土師器坏蓋部	2	7	褐色処理

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
28	11-005167	土師器坏底部	2	13	
29	11-005168	土師高坏蓋部か	1	6	
30	11-005169	土師器坏体部	9	93	
31	11-005170	土師器坏底部	2	91	
32	11-005171	須恵器環・瓶口縁	3	11	還元焰、平安朝頃
33	11-005172	須恵器環・瓶口縁	3	19	還元焰、平安朝頃
34	11-005173	須恵器環・瓶口縁	1	5	還元～還元、平安
35	11-005174	須恵器環・瓶体部	1	5	還元焰、平安朝頃
36	11-005175	須恵器環・瓶体部	2	6	還元焰、平安朝頃
37	11-005176	須恵器環・瓶底部	2	26	高台付、平安朝頃
38	11-005177	須恵器環・瓶底部	1	14	還元～還元、平安
39	11-005178	羽釜口縁	3	100	還元焰
40	11-005179	羽釜口縁	1	38	還元焰
41	11-005180	羽釜口縁	3	93	還元～還元焰
42	11-005181	羽釜体部	4	116	還元焰
43	11-005182	羽釜体部	12	114	還元焰
44	11-005183	羽釜体部	21	258	還元～還元焰
45	11-005184	陶器	1	22	
46	41-000008	鉄器釘	5	4	
47	41-000009	鉄器鉄板	20	6	

18 H-157号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第470図 図版195 10-001477	土師器鉢 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 21.1×20.5 底径 5.8×5.8 器高 37.2	胴部以下焼土・煤付着。口縁横溝で、内面肩一側部は直線で、腰～底部は直線で、体部外面直線付。底面木炭痕が残る。	①還元焰・やや硬 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	第470図 図版195 10-001478	土師器鉢 (口縁部～底部) (完形)	口径 20.5×19.2 底径 3.8×3.4 器高 32.0	胴部以下焼土・煤付着。内面吸炭し、底部に炭化物付着。口縁横溝で、体部～底部内面直線で、外面直線付。	①還元焰・やや硬 ②淡黄色(2.5YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
3	第470図 図版195 10-001479	土師器環 (口縁部～底部) (底部一部欠損)	口径 13.45×13.3 底径 9.3×5.8 器高 4.3	内外面吸炭で黒色処理。口縁～体部内面横溝で。底部内面凹し乍ら直線で、体部外面凹し乍ら、底面一方へ直線付。	①還元焰・青 ②にぶ褐色(7.5YR6/3) ③粗砂粒	6世紀中葉
4	第470図 図版195 10-001480	土師器環 (口縁部～底部) (3/4)	口径 13.15 底径 8.9×7.5 器高 4.5	内面直、外面吸炭で黒色処理。口縁～体部内面横溝で。底内面凹し乍ら直線で、体部外面凹し乍ら、底面一方へ直線付。	①還元焰・青 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒	6世紀中葉
5	第470図 図版195 10-001481	土師器環 (口縁部～底部) (完形)	口径 13.4×13.0 底径 7.1×8.6 器高 6.3	口縁～体部内面上半横溝で、体部下半～底部内面凹し乍らの直線で、体部外面右回り、底面不定方向の直線付。	①還元焰・やや硬 ②淡黄褐色(2.5YR/3) ③粗砂粒	6世紀後半

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
6	第4708 図版195 10-001482	土師器環 (口縁部～底部) (完形)	口径 18.6×17.8 底径 7.6×7.4 器高 6.7	内外面風化。口縁横溝で。体部～底部内 面回し乍らの隆起で。体部外面左回り、 底面不定方向の隆起あり。	①酸化焰・青・粘質 ②橙色(2.5YR7/8) ③粗砂粒	6世紀後半
7	第4708 図版195 10-001483	土師器環 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 14.4×13.4 底径 8.2×6.2 器高 5.5	外面部分的に赤褐色付く。口縁～体内部 横溝で。底部内面一方基地の指で。体 外面右回り、底面不定方向の隆起あり。	①酸化焰・青 ②淡黄色(2.5Y8/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
8	第4708 図版195 10-001484	土師器環 (口縁部～底部) (ほぼ完形)	口径 13.7×13.4 底径 8.0×7.0 器高 5.9	口縁部～体部上半横溝で。体部下半～底 部内面回し乍らの隆起で。体部外面左回 り、底面一方を基軸とする隆起あり。	①酸化焰・やや硬 ②淡黄色(2.5Y8/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
9	第4708 図版195 10-001485	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 13.7×13.4 底径 8.0×7.0 器高 5.9	口縁横溝で。体部～底部内面左回りの隆 起で。体部外面回し乍らの隆起あり。底面 隆起あり。	①酸化焰・青 ②にぶ い黄色(10YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
10	第4708 図版195 10-001486	土師器壺 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 24.8×24.5 底径 11.3×10.8 器高 27.9	口縁横溝で。体部内面横位の隆起で後、 縦位の彫割き。体部外面右下方への隆起 あり。底部内面及び底面調整。	①酸化焰・青 ②淡黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
11	第4708 図版195 10-001487	土師器小壺 (口縁部～底部) (口縁1/4欠損)	口径 20.1×19.5 底径 12.6×12.0 器高 15.9	口縁横溝で。体部内面回し乍らの隆起で、 底部回し乍らの指で。外面同一側部上 方へ、底面回し乍らの隆起あり。	①酸化焰・やや硬 ②淡黄色(2.5Y7/3) ③粗砂粒・片岩含む	古墳時代後期 異形の壺
12	第4708 図版195 10-001488	土師器胴裏蓋 (口縁部～底部) (7/8)	口径 22.3 底径 10.9×9.7 器高 31.6	外面やや荒れる。口縁横溝で。体部～底 部内面左回りの隆起で。体部上半方左、 下半方右へ隆起あり。底面調整。	①酸化焰・青 ②にぶ い黄色(10YR7/2) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
13	第4708 図版195 10-001489	土師器壺 (残存部2/3)	口径 推定 22.2 残存高 30.3	外面部分的に粘質土付着し内面収束。口 縁横溝で。体部内面部分的に輪縁横溝 残し左方へ隆起で、外面上方へ隆起あり。	①酸化焰・やや硬 ②にぶい橙色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
14	第4708 図版195 10-001490	土師器胴裏蓋 (口縁部～底部) (3/4)	口径 推定 22.4 底径 8.9×7.7 器高 35.0	口縁横溝で。体部～底部内面回し乍らの 隆起で。外面同一側部上方、縁部右方へ、 底面不定方向への隆起あり。	①酸化焰・青 ②黄灰色(2.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 底部に被熱痕 あり
15	第4708 図版195 10-001491	土師器胴裏蓋 (胴部～底部) (残存部2/5)	口径 7.2×7.3 残存高 13.0	底部内面荒れる。体部内面左方への隆起 で、外面右下方への隆起あり。底面調整。	①酸化焰・やや軟 ②淡黄色(2.5Y6/2) ③粗砂粒・片岩含む	古墳時代後期 底部に被熱痕 あり
16	第4708 図版195 10-001492	土師器壺 (口縁部～胴部) (残存部2/3)	口径 18.7 底径 14.6 器高 14.75	外面隆起付着。口縁横溝で。体部内面左 方へ隆起で、外面縦位の隆起あり。	①酸化焰・硬 ②淡黄色(2.5Y7/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀 被熱痕顯著
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
17	第4708 図版196 10-001493	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 12.2 底径 6.2 残存高 4.6	口縁横溝で。体部～底部内面左回りの隆 起で。体部外面右回り、底面一方中心の 隆起あり。	①酸化焰・青 ②淡黄色(7.5YR8/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半か
18	図版203 20-001142	こも編み石 (1/1)	長さ 16.5 幅 7.9 厚み 4.4 重量 873g	円盤を用い、上下両端が輪打のためか欠け る。裏面に溝を伴う研削面を残す。左側 縁破りされ、帯状の摩耗面一周する。	①安山岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
19	図版203 20-001143	こも編み石 (有溝底石) (1/1)	長さ 14.7 幅 7.5 厚み 4.4 重量 653g	円盤使用。上下両端が輪打のためか欠け る。裏面に溝を伴う研削面を残す。左側 縁破りされ、帯状の摩耗面一周する。	①煎成岩 ②明オリーブ灰色 (2.5GY7/1)	こも編み石へ の転用品
20	図版203 20-001143	こも編み石 (下半部・右側裏 面上部欠損)	残存長 13.0 残存 幅 7.7 厚み 3.7 重量 590g	円盤を用いる。残存部下右側の自然の 凹面に刺突を施して割れ部とし、幅3.5cm 以上の帯状の摩耗面一周する。	①研削母線硬片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
21	図版203 20-001144	磨石 (敲石) (上半・下側欠損)	残存長 10.9 残存 幅 9.0 残存厚 4.9 重量 508g	所附円盤を用いる。裏裏面が研削され、 表面には敲打痕が残される。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備考
(3) 取上番号付き集合供い資料					
22	11-005185	縄文土器	3	38	中期
23	11-005186	土師器環	3	36	7世紀前半
24	11-005187	土師器環	1	14	奈良時代頃
25	11-005188	土師器環口縁	1	8	黒色処理
26	11-005189	土師器環底部	2	21	
27	11-005190	土師器高杯脚部	2	25	
28	11-005191	土師器壺口縁	6	112	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量g	備考
29	11-005192	土師器壺体部	20	128	奈良・平安時代
30	11-005193	土師器壺体部	29	707	
31	11-005194	土師器壺底部	1	231	
32	11-005195	土師器壺体部	1	19	
33	11-005196	須恵器蓋	1	86	
34	11-005197	須恵器環口縁	1	5	
35	11-005198	須恵器環・口縁	1	4	平安期頃
36	11-005199	須恵器壺口縁	2	49	

E区出土遺物一覧

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(a)	備 考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(a)	備 考
37	11-005200	須恵器壺体部	7	499		47	11-005210	土師器高坏脚部	1	13	
38	11-005201	羽釜口縁	1	31		48	11-005211	土師器蓋口縁	9	136	
39	11-005202	羽釜体部	3	118		49	11-005212	土師器壺体部	37	309	奈良・平安時代
40	11-005203	近世瓦	1	112		50	11-005213	土師器壺体部	18	227	
(4) 集合扱い資料						51	11-005214	土師器壺底部	2	70	
41	11-005204	縄文土師	2	43	中期	52	11-005215	須恵器坏・瓶口縁	2	12	平安前期
42	11-005205	土師器坏	1	9	7世紀前半	53	11-005216	須恵器坏・瓶底部	1	31	平安前期
43	11-005206	土師器坏口縁	2	9	黒色処理	54	11-005217	須恵器壺口縁	1	67	
44	11-005207	土師器坏口縁	3	13		55	11-005218	須恵器壺体部	5	281	
45	11-005208	土師器坏基部	2	6	黒色処理	56	11-005219	羽釜体部	6	103	
46	11-005209	土師器坏基部	8	27		57	21-900455	熟変成岩	1	69	

19 H-158号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	推 定 額 (cm)	形 態・成 形・調 整 等 の 特 徴	焼 成・石 材 等 の 特 徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第472図 図版196 10-001494	須恵器高台付壺 (体部～底部) (残存部2/3)	高台径 6.5×6.4 残存高 4.2	内外面噴張による黒色処理。右面回転ク ロ成形。底面回転糸切り後、底面全体高 台貼り付け時の態で。	①還元焰・青 ②黒色(10YR1.7/1) ③粗砂粒	9世紀後半
2	第472図 図版196 10-001495	女瓦 (破片)	残存 14.6×12.2 厚み 1.0	凹面やや細かい布目直残る。凸面縦横の 寛撫で、側縁凹凸面より粘土引き出され 長辺に沿った態で。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒	
3	第472図 図版196 10-001496	女瓦 (破片)	残存 15.9×20.1 厚み 1.45	凹面に細かい布目直残る。凸面縦横の寛 撫で等の態で。側縁凹凸面より粘土引き出され 長辺に沿った態で、下縁縁付近に胎土付着。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(a)	備 考	No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(a)	備 考
(2) 取上番号付き集合扱い資料						15	11-005231	土師器壺体部	3	14	
1	11-005220	土師器壺体部	3	22	奈良・平安時代	16	11-005232	須恵器坏・瓶口縁	2	14	酸化焰、平安前期
5	11-005221	須恵器坏・瓶口縁	1	11	還元焰、平安前期	17	11-005233	須恵器坏・瓶口縁	7	31	還元焰、平安前期
6	11-005222	須恵器坏・瓶口縁	4	18	酸化焰、平安前期	18	11-005234	須恵器坏・瓶口縁	3	8	還元焰、平安前期
7	11-005223	須恵器坏・瓶体部	3	23	酸化焰、平安前期	19	11-005235	須恵器坏・瓶体部	6	32	還元焰、平安前期
8	11-005224	須恵器坏・瓶底部	1	10	平安前期	20	11-005236	須恵器坏・瓶底部	2	14	平安前期
9	11-005225	須恵器坏・瓶底部	3	81	高台付、酸化、平安	21	11-005237	須恵器坏・瓶底部	1	20	高台付、酸化、平安
10	11-005226	須恵器壺体部	1	19		22	11-005238	須恵器坏・瓶底部	2	35	高台付、還元、平安
11	11-005227	羽釜体部	3	112	還元焰	23	11-005239	羽釜体部	4	66	還元焰
12	11-005228	羽釜体部	7	241	酸化焰	24	11-005240	羽釜体部	5	31	酸化焰
(3) 集合扱い資料						25	11-005241	灰釉瓶口縁	1	6	
13	11-005229	土師器坏基部	1	5		26	11-005242	陶器	1	24	
14	11-005230	土師器壺体部	4	17	奈良・平安時代	27	11-005243	土師片	2	3	

20 H-159号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	推 定 額 (cm)	形 態・成 形・調 整 等 の 特 徴	焼 成・石 材 等 の 特 徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第474図 図版196 10-001497	須恵器坏 (口縁部～底部) (口縁部一部欠損)	口径 13.7×13.2 底径 7.0×7.0 器高 4.1	左面回転クロ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
2	第474図 図版196 10-001498	須恵器坏 (腹部～底部) (底部完形)	底径 6.2×6.0 残存高 2.6	右面回転クロ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(5Y7/2) ③粗砂粒	10世紀前半
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
3	図版202 20-001146	磨石 (こも編み石) (下端部欠損)	残存長13.5 幅 6.6 厚み 4.8 重量 552g	円礫を用いる。右側縁上位に研磨面を残 し、左側縁に敲打痕残り。中位に幅1.9cm 程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(N4/)	こも編み石へ の転用品
4	第474図 図版196 10-001499	須恵器坏 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 12.9 底径 5.85 器高 4.4	右面回転クロ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・青 ②灰白色(5Y7/2) ③粗砂粒	9世紀後半

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
5	第474号 図版196 10-001500	須恵器環 (口縁部～底部) (破片)	残存 10.6×6.0 口径 推定 14.1 残存高 4.9	右回転クロコ成形。高台欠損。	①還元焰・青 ②灰白色(2.5GY7/1) ③粗砂粒	9世紀後半
6	第474号 図版196 10-001501	土師器甕 (口縁部～肩部) (残存部の1/4)	口径 推定 18.0 残存高 5.2	コの字状口縁で横撫で。肩部内部横位の 罫撫で、外面削削り。	①還元焰・やや硬 ②ぶい・褐色(5Y7/4) ③粗砂粒	9世紀後半
7	第474号 図版196 10-001502	須恵器甕 (体部) (残存部の1/4)	最大径 推定 23.2 残存高 17.4	内外面横位の撫で。	①還元焰・硬 ②褐色(10YR4/1) ③粗砂粒・片岩含む	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
8	11-005244	弥生土器	1	10	
9	11-005245	土師器環底部	2	20	
10	11-005246	土師器環口縁	1	10	奈良・平安時代
11	11-005247	土師器甕体部	16	830	古墳時代後期
12	11-005248	土師器甕体部	11	83	奈良・平安時代
13	11-005249	土師器甕底部	1	188	
14	11-005250	土師小型甕口縁	2	61	
15	11-005251	須恵器環・腕	2	15	還元焰、平安期頃
16	11-005252	須恵器環・腕口縁	9	54	平安期頃
17	11-005253	須恵器環・腕体部	3	42	平安期頃
18	11-005254	須恵器環・腕底部	1	5	回転糸切り、平安
19	11-005255	須恵器甕体部	3	260	
20	11-005256	須恵器甕底部	1	53	
(4) 集合扱い資料					

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
21	11-005257	土師器環口縁	1	7	
22	11-005258	土師器環底部	2	7	
23	11-005259	土師器甕口縁	1	8	奈良・平安時代
24	11-005260	土師器甕口縁	1	12	
25	11-005261	土師器甕体部	5	60	古墳時代後期
26	11-005262	土師器甕体部	16	99	奈良・平安時代
27	11-005263	須恵器環・腕	3	31	還元焰、平安期頃
28	11-005264	須恵器環・腕口縁	8	92	平安期頃
29	11-005265	須恵器環・腕体部	2	13	平安期頃
30	11-005266	須恵器環・腕体部	2	14	還元焰、平安期頃
31	11-005267	須恵器環・腕高部	5	89	回転糸切り、平安
32	11-005268	須恵器甕体部	3	23	
33	11-005269	羽釜体部	1	20	
34	11-005270	陶器	2	18	

21 H-160・167号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) H-167号住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第478号 図版196 10-001503	須恵器環 (口縁部～底部) (ほぼ完全形)	口径 11.9×11.8 底径 6.2×6.0 器高 3.9	右回転クロコ成形。底面回転糸切り。口 縁部一カ所内側に押される。	①還元焰・やや硬 ②青灰色(SB6/1) ③粗砂粒・片岩含む	9世紀後半
2	第478号 図版197 10-001504	女瓦 (下部のみ)	残存幅 17.2 残存幅 24.7 厚み 1.3	凹面布目直焼し、凸面縦位及び斜方向の 罫撫でで一部上へ置用り。左側縁上方、 右側縁縦位、下端縁左方へ置削り。	①還元焰・硬 ②ぶい ③黄褐色(10YR7/4) ④粗砂粒	
(2) H-167号住居の覆土出土遺物でH-167号住居に直接伴わない関連を特定できなかった遺物						
3	第478号 図版196 10-001505	土師器環 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 14.4 底径 5.1 器高 4.0	口縁横撫で。体部～底部内面削し乍らの 罫撫で。体部外面削し乍ら、底面概ね一 方への置削り。	①還元焰・やや硬 ②灰色(2.5YR7/6) ③粗砂粒	A.D.600年前 後
4	第478号 図版196 10-001506	須恵器環 (口縁部～底部) (口縁一次欠損)	口径 13.25×13.25 底径 5.75×5.6 器高 4.1	右回転クロコ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・青 ②灰白色(5Y7/1) ③粗砂粒	9世紀後半
5	第478号 図版196 10-001507	須恵器高台付輪 (口縁部～高台部) (3/4)	口径 14.55 高台径 6.9×6.85 器高 6.1	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、 中央を除き高台貼り付け時の撫で。重ね 焼きの痕跡残る。	①還元焰・青 ②灰色(10Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	9世紀後半
6	第478号 図版196 10-001508	須恵器環 (口縁部～底部) (ほぼ完全形)	口径 13.15×11.95 底径 6.2×6.2 器高 4.0	右回転クロコ成形。底面回転糸切り。前 後に圧平される。	①還元焰・青 ②明オ ③灰白色(5GY7/1) ④粗砂粒・片岩含む	9世紀後半
7	第478号 図版197 10-001509	須恵器高台付輪 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 14.5 底径 7.3 器高 4.9	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、 高台貼り付け後、高台部全て剥離。	①還元焰・青 ②灰色(5Y5/1) ③粗砂粒	9世紀後半
8	第478号 図版197 10-001510	須恵器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 12.6 底径 5.8 器高 4.0	右回転クロコ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・青 ②黄灰色(2.5Y6/1) ③粗砂粒・片岩含む	9世紀後半

E区出土遺物一覧

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調	備考
9	第478図 図版197 10-001511	須恵部高台付田 (口縁部~底部) (口縁4/5欠損)	口径 推定 13.8 高台径 7.55 器高 3.2	右回転クロコ成形。底部回転切り後、一部隆起高台貼り付け時の態で。	①還元焰・青 ②灰白色(5Y7/1) ③粗砂粒	
10	第478図 図版197 10-001512	甌瓦 (無型) (1/2)	残存 14.3×11.1 厚み 1.9~2.9	素文の中房と剛素角(八)基加え、内外側に陶粉塗布。背面に布目復残り、側縁無で縁面調整。	①還元焰・青 ②明黄褐色(10YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	9世紀中華 2片より成る
11	第478図 図版197 20-001147	磨石 (くも編み石) (上位欠損)	残存長 14.6 幅 9.05 厚み 4.7 重量 860g	円磨を用い、裏面にきれいな研磨面残す。欠損部寄りに幅2.4cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②黄灰色(2.5Y6/1)	くも編み石への転用品
(3) H-160号住居に直接伴うと判断される遺物						
12	第478図 図版197 10-001513	土師器環 (口縁部~底部) (2/3)	口径 14.6 底径 7.5×7.4 器高 4.6	口縁一部内面横無で、底部内面回し乍らの態無で。体部外面右回りの旋削り。底面旋削り。	①還元焰・やや硬 ②橙色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀中華
13	第478図 図版197 10-001514	土師器小型壺 (口縁部~底部) (1/4)	口径 推定 12.9 底径 推定 8.2 器高 10.75	内面下半平化物付着。口縁横無で、体へ底部内面回し乍らの態無で。体部外面旋削り。裏面概ね一方への旋削り。	①還元焰・やや硬 ② ③にぶい橙褐色(5YR6/4) ④0.6cm程の片岩含む	6世紀後半 被熱痕顯著
(4) H-160号住居の覆土出土遺物でH-157号住居に直接伴わない関係を特定できなかった遺物						
14	第478図 図版197 10-001515	土師器環 (口縁部~底部) (破片)	口径 推定 16.1 底径 推定 9.6 残存高 11.4	口縁横無で、体部へ底部内面回し乍らの態無で。体部外面右回りの、底面不定方向の旋削り。	①還元焰・やや硬 ②橙褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀前半
15	第478図 図版197 10-001516	土師器環 (口縁部~体部) (破片)	残存 11.8×5.7 口径 推定 13.4 残存高 3.4	内外面漆による黒色処理の痕跡。口縁横無で、体部内面回し乍らの態無で、外面左回りの旋削り。	①還元焰・やや硬 ②橙褐色(10YR6/3) ③粗砂粒・片岩含む	A.D. 600年前後
16	第478図 図版197 10-001517	土師器環 (口縁部~底部) (破片)	残存 8.8×8.45 口径 推定 14.2 器高 4.8	口縁横無で、体部内面回し乍らの態無で。体部外面回し乍らの態無で。底面旋削り。	①還元焰・青 ②にぶい ③粗砂粒・片岩含む	A.D. 600年前後
17	第478図 図版197 10-001518	土師器壺 (口縁部~底部) (残存部の1/2)	口径 推定 25.4 底径 推定 9.6 器高 推定 不能	大きく上下の2片からなる。口縁横無で、内面肩~胴部縦無で、胴部指無で。体部外面旋削り。底部内面旋削り。	①還元焰・青 ②橙褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 内面吸炭
18	第478図 図版198 10-001519	土師器小型壺 (口縁部~底部) (3/5)	口径 12.65 底径 6.75 器高 10.7	口縁横無で、体部へ底部内面左回りの態無で。体部外面縦削りの旋削り後、左上方への旋削り。底面旋削り。	①還元焰・青 ②にぶい ③黄褐色(10YR7/4) ④粗砂粒・片岩含む	6世紀後半~ 7世紀前半
19	第478図 図版198 20-001148	磨石 (くも編み石) (上下端欠損)	長さ 16.9 幅 8.9 厚み 6.2 重量 1358g	円磨を用いる。裏面に研磨面残し、中に指状の摩耗痕一周する。	①安山岩 ②灰色(10Y6/1)	くも編み石への転用品
20	第478図 図版198 40-000039	鎌	残存長 8.1 幅 3.85 厚み 0.3	装着部は長さ2cm程が残るが、折り部分欠損。刃部の背は直線的で、刃は両曲し乍ら先端に向かって幅狭となる。		奈良・平安時代

No.	資料番号	資料名称等	数量	量目	備考
(5) 取上番号付き集合扱い資料					
21	11-005271	土師器環	3	83	6世紀後半
22	11-005272	土師器環	2	36	黒色処理、7c後半
23	11-005273	土師器環	1	15	奈良時代頃
24	11-005274	土師器環口縁	2	7	黒色処理
25	11-005275	土師器環口縁	7	50	
26	11-005276	土師器環底部	8	83	黒色処理
27	11-005277	土師器環底部	1	2	粉質
28	11-005278	土師器環底部	12	200	
29	11-005279	土師器高坏環部	2	42	
30	11-005280	土師器高坏脚部	1	32	
31	11-005281	土師器高坏腹部	3	35	
32	11-005282	土師器壺口縁	8	122	奈良・平安時代
33	11-005283	土師器壺口縁	7	119	
34	11-005284	土師器壺体部	37	419	奈良・平安時代
35	11-005285	土師器壺体部	12	311	
36	11-005286	土師器壺底部	3	230	
37	11-005287	土師器壺体部	9	162	
38	11-005288	土師器壺底部	1	38	

No.	資料番号	資料名称等	数量	量目	備考
39	11-005289	須恵部環・柄口縁	8	91	平安朝頃
40	11-005290	須恵部壺体部	1	89	
(6) 集合扱い資料					
41	11-005291	弥生土器	1	9	
42	11-005292	土師器環	1	6	6世紀後半
43	11-005293	土師器環	1	8	7世紀前半
44	11-005294	土師器環	1	13	黒色処理、7c後半
45	11-005295	土師器環	2	12	奈良時代頃
46	11-005296	土師器環口縁	5	15	黒色処理
47	11-005297	土師器環口縁	16	55	
48	11-005298	土師器環底部	10	62	黒色処理
49	11-005299	土師器環腹部	5	20	粉質
50	11-005300	土師器環底部	18	92	
51	11-005301	土師器高坏環部	3	27	
52	11-005302	土師器高坏腹部	2	13	
53	11-005303	土師器壺口縁	5	26	奈良・平安時代
54	11-005304	土師器壺口縁	11	96	
55	11-005305	土師器壺体部	22	62	奈良・平安時代
56	11-005306	土師器壺体部	62	674	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
57	11-005307	土師器壺底部	2	57	
58	11-005308	土師器椀底部	4	37	
59	11-005309	土師器椀底部	3	98	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
60	11-005310	須恵器環・横口縁	11	46	平安朝頃
61	11-005311	須恵器環・椀底部	1	2	平安朝頃
62	11-005312	須恵器環・椀底部	1	9	回転糸切り、平安

22 H-161号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部分) (残存数)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等の色調 ②胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第480図 図版196 10-001520	須恵器高台付椀 (口縁部～底部) (2/3)	口径 推定 14.4 底径 5.7×5.4 器高 5.3	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、全面高台貼り付け時の無で、高台全て剥落。	①還元焰・普 ②橙色(2.5YR6/6) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
2	第480図 図版198 10-001521	須恵器高台付椀 (口縁部～高台部) (3/4)	口径 13.8×12.4 高台径 6.2×5.7 器高 5.6	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、全面高台貼り付け時の無で、器面粘土片付着。前後に圧平される。	①還元焰・やや硬 ②にぶい・橙褐色(5YR7/3) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
3	第480図 図版196 10-001522	須恵器環 (口縁部～底部) (口縁1/3欠損)	口径 12.3×12.2 底径 5.3×5.15 器高 4.3	外面腰部に重ね焼きによる須恵片付着。左回転クロコ成形。底面回転糸切り。	①還元焰・普 ②灰色(5Y5/1) ③粗砂粒・片岩含む	9世紀後半
4	第480図 図版196 10-001523	須恵器小型壺 (口縁部～底部) (1/2)	口径 推定 14.3 底径 7.0×6.7 器高 14.3	胴内面～口縁～胴外面上位横位の無で、胴～底部内面直し乍らの無で。胴中位～胴部外面縦位の度削り。底面調整。	①酸化焰・やや硬 ②灰褐色(7.5YR5/2) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
5	第480図 図版196 10-001524	羽釜 (口縁部～体部) (破片)	残存 14.0×10.3 口径 17.9 残存高 10.3	所謂吉井型の羽釜。内外面横位の無で。	①還元焰・やや硬 ②灰黄色(2.5Y7/2) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
6	第480図 図版198 10-001525	羽釜 (口縁部～体部) (破片)	残存 12.2×13.15 口径 推定 20.1 残存高 12.6	所謂吉井型の羽釜。胴部外面の一部に焼土付着。内外面横位の無で。	①還元焰・やや硬 ②にぶい・橙褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
7	第480図 図版196 10-001526	羽釜 (口縁部～体部) (破片)	残存 14.15×10.5 口径 推定 23.0 器高 10.4	所謂吉井型の羽釜。体部外面の一部に焼土付着。内外面横位の無で。	①還元焰・やや硬 ②橙褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
8	第480図 図版196 10-001527	須恵器高台付椀 (口縁部～高台部) (1/2)	口径 推定 13.2 高台径 6.0 器高 5.4	内外面噴流。(右)回転クロコ成形。底面回転糸切り後、全体高台貼り付け時の無で。	①還元焰・普 ②淡黄色(5Y8/3) ③粗砂粒	10世紀前半
9	第480図 図版196 10-001528	須恵器高台付椀 (体部～高台部) (残存部のみ)	高台径 6.15×5.9 残存高 4.4	右回転クロコ成形。底面回転糸切り後、寛で押し付けて、高台付着。外面指環痕、箕の痕跡等多く残る。	①還元焰・普 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	10世紀前半
10	第480図 図版198 10-001529	手捏ね土器 (口縁部～底部) (2/3)	口径 推定 6.0 底径 3.3 器高 3.6	手捏ねにより成形。底部内面一方へ指撫で。胴部外面～底面度削り。	①酸化焰・普 ②淡黄色(2.5Y8/4) ③粗砂粒	6世紀か

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
11	11-005313	土師器環口縁	2	3	黒色処理
12	11-005314	土師器環口縁	1	4	
13	11-005315	土師器環口縁	3	5	黒色処理
14	11-005316	土師器環底部	3	15	
15	11-005317	土師器壺体部	13	112	奈良・平安時代
16	11-005318	土師器壺体部	6	41	
17	11-005319	土師器椀体部	1	13	
18	11-005320	須恵器蓋	1	6	
19	11-005321	須恵器環・横口縁	18	157	還元焰、平安朝頃
20	11-005322	須恵器環・横口縁	1	5	酸化焰、平安朝頃
21	11-005323	須恵器環・椀底部	2	28	酸化焰、平安朝頃
22	11-005324	須恵器環・椀底部	5	48	還元焰、平安朝頃
23	11-005325	須恵器環・椀底部	1	13	高台付、酸化、平安
24	11-005326	須恵器環・椀底部	5	194	高台付、還元、平安
25	11-005327	須恵器壺体部	1	15	薄手
26	11-005328	羽釜口縁	3	231	還元焰
27	11-005329	羽釜口縁	4	121	酸化焰

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
28	11-005330	羽釜体部	29	996	還元焰
29	11-005331	羽釜体部	21	736	還元焰
30	11-005332	羽釜底部	4	206	還元焰
31	11-005333	羽釜底部	4	109	還元焰
(4) 集合扱い資料					
32	11-005334	縄文土器	1	21	前期
33	11-005335	弥生土器	3	16	赤井戸式
34	11-005336	弥生土器	1	9	樽式
35	11-005337	弥生土器	6	45	
36	11-005338	土師器環	2	15	7世紀前半
37	11-005339	土師器環口縁	4	22	黒色処理
38	11-005340	土師器環口縁	2	6	
39	11-005341	土師器環底部	11	53	黒色処理
40	11-005342	土師器環底部	30	245	
41	11-005343	土師器高环底部	3	35	
42	11-005344	土師器壺口縁	3	24	奈良・平安時代
43	11-005345	土師器壺口縁	2	18	
44	11-005346	土師器壺体部	21	85	奈良・平安時代

E区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
45	11-005347	土師器壺体部	34	355	
46	11-005348	土師器壺底部	1	19	奈良・平安時代
47	11-005349	土師器壺底部	3	73	
48	11-005350	土師器壺体部	4	47	
49	11-005351	土師器壺底部	2	14	
50	11-005352	須恵器蓋	1	7	
51	11-005353	須恵器環・瓶口縁	3	24	酸化焰、平安朝頃
52	11-005354	須恵器環・瓶口縁	5	15	還元焰、平安朝頃
53	11-005355	須恵器環・瓶体部	1	4	還元焰、平安朝頃

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
54	11-005356	須恵器環・瓶体部	1	7	酸化焰、平安朝頃
55	11-005357	須恵器環・瓶底部	2	13	高台付、酸化、平安
56	11-005358	須恵器環・瓶底部	3	43	高台付、還元、平安
57	11-005359	羽釜口縁	2	41	還元焰
58	11-005360	羽釜口縁	1	5	酸化焰
59	11-005361	羽釜体部	12	192	還元焰
60	11-005362	羽釜体部	7	105	酸化焰
61	11-005363	羽釜底部	1	15	酸化焰

23 H-164号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	図版198 10-001530	羽釜 (口縁部～脚部) (破片)	残存 5.9×4.3	所謂古井型の羽釜と思われる。内外面取 説。口縁内傾し、口端は平らでやや内傾 する。	①酸化焰・青 ②灰色(N4/) ③粗砂粒	10世紀前半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
2	11-005364	土師器壺体部	1	131	
3	11-005365	須恵器環・瓶口縁	1	6	高台付、平安朝頃

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 集合扱い資料					
4	11-005366	土師器環底部	1	5	
5	11-005367	土師器壺体部	1	27	

24 H-165号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第482図 図版198 10-001531	須恵器高台付碗 (口縁部～高台部) (1/3)	口径 推定 16.1 高台径 7.0 器高 6.2	(右)回転口縁成形。底面回転未切り後、 中央部を除き高台貼り付け時の態。	①還元焰・青 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
2	11-005368	土師器壺口縁	1	4	9世紀
3	11-005369	土師器壺体部	1	31	
4	11-005370	須恵器環・瓶口縁	1	3	平安朝頃
5	11-005371	須恵器環・瓶底部	1	19	平安朝頃

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 集合扱い資料					
6	11-005372	羽釜体部	2	81	
7	11-005373	土師器壺口縁	1	7	9世紀
8	11-005374	土師器壺体部	2	30	奈良・平安時代
9	11-005375	土師器壺体部	1	10	

25 H-169号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第484図 図版198 10-001532	土師器壺 (口縁部～底部) (一部欠損)	口径 25.7×25.4 底径 10.4×10.2 器高 32.1	腹部～底部多少広がる。口縁横線で。体 部内面縦位の段差、外面上方への段削 り。底部厚薄不均。	①還元焰・青 ②褐色(2.5YR/7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
2	第484図 図版198 10-001533	土師器小型壺 (口縁部～底部) (2/3)	口径 推定 16.4 底径 7.9×6.7 器高 15.4	内外面胴部以下広がる。口縁横線で。体 部内面縦位の段差、外面上方への段削 り。底面厚削りか。	①還元焰・青 ②に よ黄褐色(10YR/7/3) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 被熱痕顕著
3	第484図 図版198 10-001534	土師器小型壺 (口縁部～底部) (胴部以上1/8)	口径 推定 17.4 底径 7.7×7.2 器高 14.0	口縁横線で。体部内面段差で。底部縦 一方へ指張る。体部外面左方へ段削り。 底面木杵痕残り方へ差削り。	①還元焰・やや硬 ② に よ褐色(2.5YR/6/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
4	第484図 図版198 10-001535	土師器壺 (胴部～底部) (残存部の1/2)	底径 6.4×6.4 残存高 9.5	外面保付着し一部に粘土土付着又は付着 の痕跡残す。体～底部内面左回りの段削 り。体部外面段削り。底面調整。	①還元焰・青 ②灰色(7.5Y/4/1) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等の色調 ②胎土 ③粗砂粒・片岩含む	備考
5	第484図 図版198 10-001536	土師器壺 (胴部～底部) (残存部のみ)	底径 8.6×8.45 残存高 6.9	胴部～底部内面右回りの寛無で。胴部外面焼土あるいは粘質土残し、輪横痕残り。底面木製板残る。	①酸化焰・青 ②赤褐色(5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
6	第484図 図版198 10-001537	土師器環 (口縁部～底部) (完形)	口径 14.2×13.7 底径 6.2×6.1 胎高 5.0	口縁～体部内面横無で。底部内面左回りの寛無で。体部外面左回り、底面一方への寛削り。	①酸化焰・硬 ②褐色(2.5YR7/6) ③細砂粒	6世紀後半
7	第484図 図版199 10-001538	土師器環 (口縁部～底部) (1/3)	口径 推定 13.6 底径 推定 7.6 残存高 4.8	口縁横無で。体部～底部内面回し乍らの寛無で。体部外面左回り、底面概ね一方への寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②赤褐色(2.5YR7/4) ③粗砂粒	6世紀中葉
8	第484図 図版199 10-001539	土師器環 (口縁部～底部) (1/4)	口径 推定 13.4 底径 4.4	口縁横無で。体部～底部内面回し乍らの寛無で。体部外面左回り、底面一方中心の寛削り。	①酸化焰・やや硬 ②赤褐色(2.5YR7/4) ③粗砂粒	6世紀中葉
9	第484図 図版199 10-001540	土師器高環 (口縁部～胴部) (胴中位以下欠)	口径 15.0×15.0 残存高 5.9	口縁横無で。体部～底面内面寛無で。胴部内面縦位の指痕で。坏体部～胴部外面寛削り。	①酸化焰・硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③細砂粒	6世紀後半
10	第484図 図版199 10-001541	土師器高環 (胴部下半) (残存部一部欠)	胴部径 12.9×12.6 残存高 8.7	胴部内面輪横痕残り縦位の指痕で。外面縦位の細かい寛削り。胴部横無で様無で。	①酸化焰・やや硬 ②明黄褐色(10YR7/6) ③粗砂粒	6世紀後半
11	第484図 図版199 10-001542	土師器壺 (口縁部～胴部) (2/3)	口径 推定 22.4 残存高 34.1	下半部内面炭化物付着の痕跡残しやや荒れ、外面厚付着。口縁横無で。体部内面寛無で、外面寛削り。	①酸化焰・青 ②淡黄色(2.5YR8/4) ③粗砂粒・片岩含む	7世紀前半
12	第484図 図版199 10-001543	土師器小壺 (口縁部～底部) (3/5)	口径 推定 17.4 底径 8.2×7.9 胎高 14.6	外面やや荒れる。口縁横無で。体部～底部内面回し乍らの寛無で。体部外面寛削り。底面一方への寛削り。	①酸化焰・青 ②淡赤褐色(2.5YR7/4) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
13	第484図 図版199 10-001544	土師器瓶 (口縁部～胴部) (残存部1/4)	口径 推定 22.0 残存高 8.9	口縁横無で。体部内面縦位の指痕で。縦位の粗く寛削りが施される。外面上方への寛削り。薄手である。	①酸化焰・青 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③細砂粒	7世紀後半か
14	第484図 図版199 10-001545	土師器瓶 (体部) (破片)	残存 7.1×6.4 厚み 0.6	薄手の破片で、内面丁寧な無で後、縦長の斜格子状の寛削り、外面縦位の寛削り。	①酸化焰・青 ②淡黄褐色(7.5YR8/4) ③細砂粒・片岩含む	13の類品と考えられる
15	図版203 20-001149	こも編み石 (1/1)	長さ 12.7 幅 6.9 厚み 4.0 重量 640g	内縁を用いる。中位に幅4.1cm程の帯状の摩耗痕が一用する。	①安山岩 ②明緑灰色(7.5GY7/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
16	11-005376	縄文土器	2	44	中期
17	11-005377	土師器環	1	25	6世紀後半
18	11-005378	土師器環底部	3	18	
19	11-005379	土師器壺口縁	2	85	奈良・平安時代
20	11-005380	土師器壺口縁	15	238	
21	11-005381	土師器壺体部	2	22	贈文、奈良・平安
22	11-005382	土師器壺体部	10	126	奈良・平安時代
23	11-005383	土師器壺体部	100	2236	
24	11-005384	土師器壺底部	4	360	
25	11-005385	土師器壺底部	1	291	
26	11-005386	土師器壺口縁	1	28	
27	11-005387	土師器壺体部	4	151	
28	11-005388	須恵器環・體体部	1	5	平安初期
(4) 集合扱い資料					
29	11-005389	弥生土器	1	3	
30	11-005390	土師器環	1	10	6世紀後半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備考
31	11-005391	土師器環	3	19	7世紀前半
32	11-005392	土師器環口縁	11	41	
33	11-005393	土師器環底部	3	28	黒色処理
34	11-005394	土師器環底部	2	4	粉質
35	11-005395	土師器環底部	24	131	
36	11-005396	土師器環底部	2	24	
37	11-005397	土師器壺口縁	2	11	奈良・平安時代
38	11-005398	土師器壺口縁	6	54	
39	11-005399	土師器壺体部	8	55	贈文、奈良・平安
40	11-005400	土師器壺体部	19	92	奈良・平安時代
41	11-005401	土師器壺体部	94	964	
42	11-005402	土師器壺口縁	2	22	
43	11-005403	土師器壺体部	2	31	
44	11-005404	須恵器環・體体部	4	27	平安初期
45	11-005405	カマド構築材	1	21	
46	21-000456	砂岩	1	11	
47	41-000510	スラグ	1	14	

E区出土遺物一覧

26 H-170号住居

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴う可能性を持つ遺物						
1	図版199 10-001546	土師器環 (口縁部~底部) (1/4)	口径 13.8 底径 6.3×4.1 器高 5.3	口縁~体部内面上位横溝で、体部中位~底部内面回し乍らの隆溝で、体部外面右回り、底面一方への隆溝有り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀中葉
2	図版199 10-001547	土師器環 (口縁部~底部) (一部欠損)	口径 14.5×14.2 底径 10.1×9.2 器高 4.0	内面縁、外部吸込での黒色処理。口縁横溝で、体部~底部内面隆溝で、体部外面回し乍ら、底面一方への隆溝有り。	①酸化焰・やや硬 ② ③粗砂粒・片岩含む ④褐色(7.5YR7/4) ⑤細砂粒	7世紀前半
3	図版199 10-001548	土師器環 (口縁部~底部) (ほぼ完形)	口径 13.95×13.5 底径 5.3×4.95 器高 5.2	口縁~体部内面上位横溝で、体部中位~底部内面左回りの隆溝で、体部外面右回りの、底面概ね一方への隆溝有り。	①酸化焰・硬 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀前半
4	図版199 10-001549	土師器環 (口縁部~底部) (ほぼ完形)	口径 13.8×13.5 底径 8.3×7.6 器高 5.3	口縁~体部上半内面横溝で、体部下半~底部内面左回りの隆溝で、体部外面右回り、底面一方中心の隆溝有り。	①酸化焰・硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀中葉
5	図版199 10-001550	土師器環 (口縁部~底部) (3/5)	口径 推定 12.6 底径 4.7×3.0 器高 4.8	口縁横溝で、体部~底部内面回し乍らの隆溝で、体部外面回し乍ら、体部の一部外面~底面一方中心の隆溝有り。	①酸化焰・やや硬 ② ③粗砂粒・片岩含む ④淡黄褐色(10YR7/4) ⑤細砂粒	7世紀前半
6	図版199 10-001551	土師器環 (口縁部~底部) (1/4)	口径 推定 14.1 底径 推定 7.7 残存高 4.3	口縁横溝で、体部~底部内面左回りの隆溝で、体部外面右回りの隆溝有り。底面一方への隆溝有り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
7	図版199 10-001552	土師器胴張環 (口縁部~底部) (1/2)	口径 推定 24.7 底径 9.3×9.2 器高 35.6	外面肩部に粘土・胴部以下に焼土付着。口縁横溝で、体~底部内面左方へ隆溝で、体部外面隆溝有り。底面調整。	①酸化焰・青 ② ③粗砂粒・片岩含む ④淡褐色(5YR7/4)	6世紀後半
8	図版199 10-001554	土師器 (口縁部~底部) (7/8)	口径 18.7 底径 6.4×6.3 器高 36.8	外面粘土・胴部以下付着。口縁横溝で、内面肩~胴部隆溝で、腰~底部指輪で、体部外面隆溝有り。底面隆溝有り。	①酸化焰・青 ②淡黄褐色(7.5YR8/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半 底面に輪軸 様の線3条
9	図版199 10-001553	土師器甕 (口縁部~底部) (口縁一部欠損)	口径 25.9×23.2 底径 9.5×9.0 器高 30.5	口縁横溝で、体部内面横位の隆溝で、外面上方へ隆溝有り。底部内面左回りの隆溝有り又は隆溝で、底面調整。	①酸化焰・やや硬 ② ③粗砂粒・片岩含む ④淡黄褐色(10YR7/3) ⑤細砂粒	6世紀後半
10	図版200 10-001555	土師器甕 (口縁部~底部) (ほぼ完形)	口径 17.2×16.5 底径 6.7×5.4 器高 14.3	外面上半輪軸痕残存。口縁横溝で、体部~底部内面隆溝で、体部外面~底面隆溝有り。底面より孔1カ所穿孔。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
11	図版200 10-001556	土師器小型甕 (口縁部~底部) (ほぼ完形)	口径 15.2×14.6 底径 7.4×7.3 器高 14.0	外面粘土付着。口縁横溝で、内面肩部隆溝で、腰~底部指輪で、体部外面隆溝有り。底面木炭痕残り外周隆溝有り。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③粗砂粒・片岩含む	6世紀後半
12	図版200 10-001557	土師器小型甕 (口縁部~底部) (完形)	口径 12.3×12.65 底径 4.8×4.6 器高 11.3	一部外面に輪軸痕残り。口縁横溝で、内面肩~胴部隆溝で、腰~底部指輪又は隆溝で、体部外面~底面隆溝有り。	①酸化焰・硬 ②褐色(7.5YR7/6) ③細砂粒	6世紀後半~ 7世紀前半
13	図版203 20-001150	こもろみ石 (1/1)	長さ 17.6 幅 4.9 厚み 4.55 重量 677g	角柱状の円盤を用いる。中位やや上寄りに幅2.9cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①湖沼層石黒緑泥片岩 ②青灰色(5BG6/1)	
14	図版203 20-001151	こもろみ石 (1/1)	長さ 17.7 幅 6.3 厚み 2.5 重量 548g	板状の円盤を用いる。左側縁中位やや上寄りの自然の割れによる割れを利用し、幅3.5cm程の帯状の摩耗痕一周。	①緑黄緑泥片岩 ②緑灰色(5CG/1)	
15	図版203 20-001152	こもろみ石 (1/1)	長さ 16.4 幅 6.1 厚み 3.6 重量 490g	円盤を用い、中位幅3.6cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①湖沼層石黒緑泥片岩 ②灰色(10Y6/1)	
16	図版203 20-001153	こもろみ石 (1/1)	長さ 13.9 幅 5.2 厚み 4.7 重量 509g	円盤を用い、表面左側中位に距離を揃えて浅い割れ部を設け、幅3.7cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑黄緑泥片岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
17	図版203 20-001154	こもろみ石 (1/1)	長さ 18.8 幅 5.2 厚み 4.45 重量 635g	円盤を用い、左側面の自然の段を利用し、中位に幅2.8cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑黄緑泥片岩 ②緑灰色(5CG/1)	
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
18	図版203 20-001155	こもろみ石 (1/1)	長さ 14.15 幅 4.6 厚み 3.5 重量 396g	角柱状の円盤を用い、中位に幅3.2cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①点紋層質石黒泥片岩 ②明オリーフ灰色 (5GY7/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備 考
(3)	取上番号付き集合扱い資料				
19	11-005406	土師器壺口縁	2	24	
20	11-005407	土師器壺体部	28	384	
21	11-005408	須恵器壺口縁	1	16	
(4)	集合扱い資料				
22	11-005409	土師器環	1	9	7世紀前半
23	11-005410	土師器環口縁	1	4	黒色処理
24	11-005411	土師器環口縁	1	9	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備 考
25	11-005412	土師器環底部	2	35	
26	11-005413	土師器壺口縁	6	56	
27	11-005414	土師器壺体部	44	331	
28	11-005415	須恵器環・壺体部	1	8	平安期頃
29	11-005416	須恵器壺口縁	1	13	
30	11-005417	須恵器壺体部	2	65	
31	21-000457	黒曜石	1	9	

27 10号溝

No	図版番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測定 値 (cm)	形 態・成 形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本溝には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第488回 図版200 10-001558	内耳筒か (口縁部) (破片)	残存 8.8×8.3 厚み 1.0	内外面横位の帯で。	①還元焰・やや軟 ②灰色(N5/) ③細砂粒	
2	図版200 10-001559	須恵器壺 (口縁部) (破片)	残存 12.5×12.3 厚み 1.3	内外面自然軸振り横位の帯で。	①還元焰・硬 ②暗青灰色(S/PB4/1) ③細砂粒	
3	第488回 図版200 10-001560	瓦片	残存 8.1×10.1 厚み 2.7	凹面に粗い布目痕残り、凸面は帯で列点状の工具痕残る。	①還元焰・硬 ②灰色(N5/) ③粗砂粒	9世紀
4	第488回 図版203 20-001156	こも編み石 (上下欠損)	残存 16.3 幅 7.25 厚み 2.3 重量 440g	上下の欠損する円盤を用いる。中位や下寄りの左右両側に刺刺による割れ部を設け、幅3.8cm程の摩耗痕一周。	①絹雲母石墨緑泥片岩 ②緑灰色(10G5/1)	
5	図版203 20-001157	磨石 (こも編み石) (下端部欠損)	残存長 15.3 幅 5.3 厚み 4.9 重量 284g	円盤使用。裏面研磨。表面に研磨面残す。左右両面に研磨を伴う浅い割れ部設け中位を幅4.6cm程の摩耗痕一周。	①点紋磨面緑泥片岩 ②青灰色(SPB5/1)	こも編み石への転用品
6	図版203 20-001158	こも編み石 (上海部裏面研磨)	長さ 12.95 幅 6.2 厚み 2.2 重量 397g	扁平な円盤を用いる。左側縁中位の自然の湾曲を利用し、幅3.2cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①砂岩 ②緑灰色(10G6/1)	
7	第488回 図版203 20-001159	磨石 (欠損品)	残存長 9.0 残存厚 10.0 残存厚 4.3 重量 805g	円盤を用い、下半部・右側縁・裏面に欠損する。表面に研磨面が作られ、敲打痕が残る。	①安山岩 ②浅黄色(2.5Y7/4)	
8	図版203 20-001160	こも編み石 (上位欠損)	断 6.9 厚み 3.7 重量 435g	円盤を用いる。表面にきれいな研磨面を残し、残存部の上位に幅2.6cm程の帯状の摩耗痕が一周する。	①安山岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	こも編み石への転用品

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備 考
(2)	取上番号付き集合扱い資料				
9	11-005418	縄文土器	2	101	中期
10	11-005419	土師器環	1	7	7世紀前半
11	11-005420	土師器環底部	2	23	黒色処理
12	11-005421	土師器環口縁	1	8	
13	11-005422	土師器壺口縁	2	9	
14	11-005423	土師器壺体部	1	4	奈良・平安時代
15	11-005424	土師器壺体部	10	108	
16	11-005425	土師器壺底部	1	37	
17	11-005426	土師小型壺肩部	1	16	
18	11-005427	須恵器環・碗	2	39	高台付、平安期頃
19	11-005428	須恵器環・碗口縁	1	4	平安期頃
20	11-005429	須恵器環・碗体部	1	9	平安期頃
21	11-005430	須恵器壺口縁	3	263	
22	11-005431	須恵器壺体部	4	108	薄手
23	11-005432	須恵器壺体部	12	949	
24	11-005433	羽釜体部	3	75	
25	11-005434	羽釜底部	2	38	
26	11-005435	布目瓦	1	47	
27	11-005436	近現代瓦	1	11	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量	備 考
28	21-000458	熱変成岩	2	124	
(3)	集合扱い資料				
29	11-005437	土師器環	1	8	7世紀前半
30	11-005438	土師器環	2	3	7世紀後半
31	11-005439	土師器環口縁	6	14	
32	11-005440	土師器環底部	9	21	
33	11-005441	土師器壺口縁	2	11	
34	11-005442	土師器壺体部	7	43	奈良・平安時代
35	11-005443	土師器壺体部	32	366	
36	11-005444	須恵器環・碗	7	73	高台付、平安期頃
37	11-005445	須恵器環・碗体部	2	5	平安期頃
38	11-005446	須恵器壺口縁	1	57	
39	11-005447	須恵器壺体部	4	38	薄手
40	11-005448	須恵器壺体部	8	374	
41	11-005449	須恵器壺	1	60	
42	11-005450	羽釜体部	2	41	
43	11-005451	羽釜底部	2	34	
44	11-005452	陶器	1	5	
45	11-005453	布目瓦	1	63	
46	21-000459	熱変成岩	1	186	

E区出土遺物一覧

28 14号溝

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形成調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本溝には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	図版203 20-001161	こも編み石 (下部及び表面 位上後半欠損)	残存長 15.85 残存幅 7.7 厚み 3.3 重量 494g	円環使用。表面上位左側に4.1×1.3cm以上、右側に3.5×1.0cmの刺離での狭れ部設け、幅1.9cm程の摩耗痕一周。	①点紋網雲母石墨片岩 ②オリーブ灰色(3GY6/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
2	11-005454	土師器環	1	21	6世紀前半
3	11-005455	土師器高杯口縁	1	10	
4	11-005456	土師器壺体部	3	59	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
5	11-005457	須恵器環・焼口縁	1	7	平安朝頃
6	11-005458	須恵器壺体部	6	163	
7	11-005459	須恵器壺底部	1	25	軟質

29 16号溝

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形成調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本溝には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第489回 図版200 10-001561	須恵器環 (口縁部～底部)	口径 推定 12.0 底径 推定 5.8 高さ 5.0	右回転クロコ成。底部内面指痕。腰部外下面下～底面回転痕削り。	①還元焰・やや灰色(N6/) ②細砂粒	6世紀後半
2	第489回 図版200 10-001162	須恵器壺 (口縁部) (破片)	残存 17.0×10.5 厚み 1.5	内外面自然輪掛かる。口唇部内周折り返し。内外面横位の隙で、外面に篋掻きによる波状文施される。	①還元焰・硬 ②暗灰色(N3/) ③粗砂粒	
3	第489回 図版200 40-00040	鉄弁 (一部欠損)	長さ 7.6 幅 4.1 厚み 1.9	袋状軟厚。元側4.9cmの範囲、元側の最大内径2.5×1.1cmを鑿る部を左右から折り返して作る。刃は鋭角。		
4	図版203 20-001162	こも編み石 (1/1か)	長さ 10.5 幅 6.1 厚み 2.4 重量 227g	表面刺離。下部欠損する円環を使用。上位左側縁の自然面を刺離部として幅2.2cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①点紋網雲母石墨片岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
5	図版203 20-001163	こも編み石 (1/1)	長さ 16.6 幅 6.3 厚み 3.2 重量 457g	円環使用。中位に1.7cm程、下位に左側の自然の刺離面を利用した幅1.9cm程の帯状の摩耗痕がそれぞれ一周。	①点紋網雲母石墨片岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
6	図版203 20-001164	こも編み石 (表面刺離)	長さ 13.2 幅 4.8 残存厚 1.4 重量 173g	円環を用いる。中位に幅2.1cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①点紋網雲母石墨片岩 ②紫灰色(5P6/1)	
7	図版203 20-001165	こも編み石 (1/1)	長さ 14.2 幅 5.0 厚み 3.0 重量 362g	円環を用いる。中位に幅3.3cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①点紋網雲母石墨片岩 ②暗緑灰色(10GY4/1)	
8	図版203 20-001166	こも編み石 (1/1)	長さ 11.0 幅 4.85 厚み 4.0 重量 380g	小型の円環を用いる。中位に幅2.1cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①緑泥片岩 ②緑灰色(5G5/1)	
9	第489回 図版203 20-001167	磨石 (破石)	長さ 9.0 幅 6.6 厚み 3.5 重量 289g	所謂円環を用いる。表面に研磨面を持ち、表面には削痕も残る。上縁には敲打痕残る。	①安山岩 ②灰色(5Y5/1)	敲石からの転用品か

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
10	11-005460	土師器壺口縁	1	19	
11	11-005461	土師器壺体部	2	38	
12	11-005462	土師器台付壺	1	55	
13	11-005463	土師器瓶体部	4	124	
14	11-005464	須恵器蓋	2	31	
15	11-005465	須恵器口縁	1	63	
16	11-005466	須恵器壺体部	3	50	薄手
17	11-005467	須恵器壺体部	12	1556	
18	11-005468	須恵器瓶頸部	1	129	
19	11-005469	羽釜体部	1	24	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3) 集合扱い資料					
20	21-000460	熟変成岩	2	286	
21	11-005470	縄文土器	1	9	前期
22	11-005471	土師器環口縁	2	9	7世紀前半
23	11-005472	土師器環口縁	2	10	7世紀後半
24	11-005473	土師器環口縁	1	3	奈良時代頃
25	11-005474	土師器環口縁	2	8	
26	11-005475	土師器環底部	6	30	
27	11-005476	土師器高杯脚部	1	30	
28	11-005477	土師器高杯脚部	2	8	
29	11-005478	土師器壺口縁	4	26	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
30	11-005479	土師器壺体部	20	298	
31	11-005480	土師器壺底部	1	80	
32	11-005481	土師器小型壺	1	15	
33	11-005482	土師器台付壺	1	5	石田川式
34	11-005483	土師器椀体部	3	25	
35	11-005484	土師器椀底部	1	35	
36	11-005485	須恵器蓋	2	25	
37	11-005486	須恵器環・椀底部	1	15	平安期頃

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
38	11-005487	須恵器壺口縁	1	122	
39	11-005488	須恵器壺体部	8	490	薄手
40	11-005489	須恵器壺体部	11	555	
41	11-005490	須恵器壺底部	1	117	
42	11-005491	羽釜体部	1	10	
43	11-005492	布目瓦	1	91	
44	21-000461	熱変成岩	1	28	

30 18号溝

No	図版番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測定値 (cm)	形態・成形成・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備 考
(1) 本溝の時期を示すと判断される遺物						
1	第492図 図版200 10-001563	瓦 (破片)	長さ 11.0 幅 12.8 厚み 1.8	表裏・側縁面斜磨削で調整。表裏縁辺は面とりが施される。	①還元焰・青 ②灰色(N4/) ③粗砂粒	近世以降
(2) 本溝には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
2	第492図 図版200 20-001168	スライバー (1/1)	長さ 4.0 幅 7.45 厚み 1.3 重量 50g	横長の薄片を用いる。下端縁に表裏より斜磨調整が施される。	①熱変成岩	
3	図版203 20-001169	石核 (一部剥離)	長さ 13.2 残存幅 10.9 厚み 8.5 重量 1347g	自然面を残すが下平が剥離される。剥片の採取は5回以上行われている。	①熱変成岩 ②灰色(N4/)	
4	図版203 20-001170	石皿 (右側縁付近欠損)	長さ 12.9 残存幅 12.8 厚み 3.2 重量 807g	扁平な円盤を用いる。表裏面研削され、敲打痕も残るが、特に表面中心部には集中した敲打痕が残される。	①安山岩 ②灰色(N6/)	
5	第492図 図版200 10-001564	須恵器壺 (口縁部) (破片)	残存 12.1×6.5 厚み 1.1	内外面自然物掛かり横位の態で。外面に縄縞による波状文施される。	①還元焰・硬 ②暗灰色(N3/) ③粗砂粒・片岩含む	
6	第492図 図版200 40-000041	黄金具 (1/1)	径 4.45×3.85 幅 0.7 厚み 0.4	鉄材を何回か巻いてリングを作り、丸丸方形に鍛えて成形する。側面は敲き放しのように観察される。		本金具を用いた道具等は特定できない。

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(3) 取上番号付き集合扱い資料					
7	11-005493	縄文土器	1	32	中期
8	11-005494	土師器環口縁	1	3	
9	11-005495	土師器壺口縁	2	34	
10	11-005496	土師器壺体部	16	214	
11	11-005497	須恵器環・椀口縁	3	19	平安期頃
12	11-005498	須恵器環・椀体部	1	1	平安期頃
13	11-005499	須恵器環・椀底部	1	14	高台付、平安期頃
14	11-005500	須恵器環・椀底部	1	5	平安期頃
15	11-005501	須恵器壺口縁	1	38	
16	11-005502	須恵器壺体部	34	2055	
17	11-005503	須恵器壺底部	4	182	
18	11-005504	羽釜口縁	4	85	
19	11-005505	羽釜体部	7	193	
20	11-005506	軟質陶器	2	66	
21	11-005507	陶器	1	20	
22	21-000462	磨石	1	578	
23	21-000463	こも編み石	1	124	
24	21-000464	熱変成岩	1	18	
(4) 集合扱い資料					
25	11-005508	縄文土器	2	24	中期
26	11-005509	土師器環	1	4	7世紀前半
27	11-005510	土師器環口縁	2	6	
28	11-005511	土師器環底部	2	12	黒色処理
29	11-005512	土師器環底部	3	7	粉質

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
30	11-005513	土師器環底部	6	33	
31	11-005514	土師器高坏体部	1	9	
32	11-005515	土師器高坏体部	1	17	
33	11-005516	土師器高坏体部	1	4	
34	11-005517	土師器壺口縁	4	29	
35	11-005518	土師器壺体部	21	62	奈良・平安時代
36	11-005519	土師器壺体部	92	701	
37	11-005520	土師器壺底部	1	20	奈良・平安時代
38	11-005521	土師器椀体部	5	30	
39	11-005522	須恵器小型壺	1	8	腰部か
40	11-005523	須恵器長頸瓶口縁	1	10	
41	11-005524	須恵器蓋か	1	3	
42	11-005525	須恵器環・椀口縁	11	61	平安期頃
43	11-005526	須恵器環・椀体部	6	31	平安期頃
44	11-005527	須恵器環・椀底部	12	186	高台付、平安期頃
45	11-005528	須恵器環・椀底部	6	40	平安期頃
46	11-005529	須恵器壺口縁	1	11	
47	11-005530	須恵器壺体部	55	1974	
48	11-005531	須恵器壺底部	4	148	
49	11-005532	羽釜口縁	5	109	
50	11-005533	羽釜体部	23	470	
51	11-005534	軟質陶器	3	85	
52	11-005535	陶器	4	92	
53	21-000465	こも編み石	1	107	
54	21-000466	熱変成岩	1	21	

E区出土遺物一覧

31 21号溝

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部色) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本溝には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第494図 図版200 10-001565	女瓦 (破片)	残存 11.0×9.4 厚み 2.05	凹面に布目痕残り、凸面は図上縦位の篋蓋で、側縁面に沿った覆削りや、凹凸面縁辺は面取りが施される。	①還元焰・やや硬 ②灰色(7.5Y6/1) ③粗粒砂	
2	第494図 図版200 40-000042	鉢 (欠損品)	残存長 17.9 幅 3.15 厚み 0.2	基部が大きく欠損し、ほとんどが刃部の破片である。刃部の背は直線的で先端に向かって曲がる。		平安時代頃か
3	第494図 図版203 20-001171	こも編み石 (右側縁一部欠損)	長さ 12.7 幅 6.5 厚み 3.35 重量 427g	やや小型の円轆を用いる。左右側縁中に斜縁による浅い割れ部を設け、幅2.8cm程の帯状の摩耗痕一周する。	①絹雲母石黒片岩 ②緑灰色(10G6/1)	
4	図版203 20-001172	こも編み石 (上部欠損)	残存長 12.5 幅 6.8 厚み 2.1 重量 337g	円轆を用い、左側縁の自然の湾曲と右側縁の斜縁によるものを割れ部とし、残存部中に幅2.9cm程の摩耗痕一周。	①絹雲母石黒編み片岩 ②オリーブ灰色 (2.5GY6/1)	
5	図版203 20-001173	こも編み石 (表面斜縁)	長さ 11.2 幅 6.65 残存厚 2.0 重量 245g	円轆を用いる。左右両側中に斜縁による割れ部を設け、幅1.5cm程の帯状の摩耗痕が裏面を横断する。	①絹雲母石黒編み片岩 ②明緑灰色(10GY7/1)	
6	図版203 20-001174	砥石か (1/1)	長さ 9.3 幅 6.7 厚み 2.2 重量 143g	円轆を用い、裏表面が研削面を成し、短い溝状の抉れ込みが見られる。	①砂岩 ②灰白色(5Y8/2)	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
7	11-005536	土師器壺体部	1	38	
8	11-005537	土師器壺底部	1	50	
9	11-005538	羽釜体部	1	16	
10	11-005539	磁器	1	19	
11	21-000467	黒曜石	1	3	
12	21-000468	熱変成岩	1	9	
(3) 集合扱い資料					
13	11-005540	土師器環	2	4	
14	11-005541	土師器口縁	2	11	
15	11-005542	土師器壺体部	11	95	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
16	11-005543	須恵器蓋	1	5	
17	11-005544	須恵器環・胴体部	1	2	平安期頃
18	11-005545	須恵器環・胴底部	2	7	高台付、平安期頃
19	11-005546	須恵器壺体部	6	224	
20	11-005547	羽釜口縁	1	4	
21	11-005548	羽釜体部	4	35	
22	11-005549	軟質陶器、鉢か	1	21	
23	11-005550	陶器	4	39	
24	11-005551	磁器	3	20	
25	11-005552	瓦	2	95	
26	21-000469	熱変成岩	1	249	

32 22号溝

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部色) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本溝には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第494図 図版200 20-001175	石鏡 (右側脚欠損)	長さ 2.7 残存幅 1.65 厚み 0.4 重量 1.4g	平面形が二等辺三角形を呈する無蓋鏡で脚は短い。調整は比較的丁寧で、縁辺に磨けを呈する。	①黒曜石 ②黒色がかかる	
2	第494図 図版200 20-001176	印 (左・下側欠損)	長さ 2.9 残存幅 1.55 残存厚 1.9	直方体を呈する。体部中に径5mm程の貫通孔が水平に穿たれ、表面に「田」字状に並ぶ小さい貫通孔が開く。	①凝灰岩か ②灰白色(7.5Y8/2)	表面吸炭

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 取上番号付き集合扱い資料					
3	11-005553	土師器壺体部	2	60	
4	11-005554	土師器壺底部	1	68	
5	11-005555	須恵器環・胴口縁	1	16	平安期頃
6	11-005556	須恵器壺口縁	1	46	
7	11-005557	須恵器壺体部	3	238	
8	11-005558	羽釜口縁	2	79	
9	11-005559	羽釜体部	7	170	
10	11-005560	羽釜底部か	1	41	
11	11-005561	軟質陶器鉢か	1	37	
12	11-005562	布目瓦	1	57	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
13	11-005563	近世近代瓦	1	69	
(3) 集合扱い資料					
14	11-005564	土師器環	1	7	7世紀前半
15	11-005565	土師器壺体部	14	109	
16	11-005566	土師器壺底部	1	146	
17	11-005567	須恵器環・胴口縁	3	22	平安期頃
18	11-005568	須恵器環・胴体部	4	20	平安期頃
19	11-005569	須恵器壺体部	5	111	
20	11-005570	羽釜口縁	1	37	
21	11-005571	羽釜体部	14	221	
22	11-005572	軟質陶器鉢か	1	15	

33 23号溝

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	集合扱い資料				
1	11-005573	土師器釜口縁	1	13	
2	11-005574	土師器甕体部	2	21	
3	11-005575	土師器甕底部	1	165	
4	11-005576	須恵器環・横口縁	4	16	平安朝頃

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
5	11-005577	須恵器環・横口縁	2	55	平安朝頃
6	11-005578	須恵器釜口縁	1	28	
7	11-005579	須恵器甕体部	4	101	
8	11-005580	羽釜体部	4	34	
9	21-000470	熟変成岩	1	13	

34 24号溝

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005581	須恵器甕体部	1	16	
2	11-005582	羽釜体部	2	108	
(2)	集合扱い資料				
3	11-005583	土師器環底部	1	6	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
4	11-005584	須恵器環・横口縁	1	7	
5	11-005585	須恵器釜口縁	1	8	
6	11-005586	須恵器甕体部	3	51	
7	11-005587	羽釜体部	1	37	
8	11-005588	羽釜体部	2	11	

35 82号土坑

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005589	土師器甕体部	3	26	
(2)	集合扱い資料				
2	11-005590	土師器環底部	2	10	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
3	11-005591	土師器甕体部	2	12	
4	11-005592	土師器甕底部	1	29	
5	11-005593	須恵器釜口縁	1	4	

36 86号土坑

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005594	土師器甕体部	3	11	

37 87号土坑

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 (①焼成または石材等 ②色調 ③胎土)	備 考
(1) 本土坑には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
1	第495図 図版200 10-001566	須恵器環 (口縁部～体部) (破片)	残存 10.1×6.0 口径 推定 15.3 残存高 4.3	右回転クロコ成形。	①還元焰・やや硬 ②灰色(10Y6/1) ③細砂粒	9世紀後半
2	第495図 図版200 10-001567	土師器甕 (口縁部～肩部) (残存部の1/3)	口径 推定 20.2 残存高 7.5	コの字状口縁。肩部内面左方へ隆起、 外面左方へ隆起有り。	①還元焰・やや硬 ②にぶい橙色(5YR6/4) ③細砂粒	9世紀後半
3	第495図 図版201 10-001568	須恵器環 (口縁部～体部) (破片)	残存 10.7×6.2 口径 推定 14.0 残存高 4.5	右回転クロコ成形。	①還元焰・善 ②灰白色(10Y8/1) ③細砂粒	9世紀後半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2)	取上番号付き集合扱い資料				
4	11-005595	土師器環底部	1	9	
5	11-005596	土師器甕肩部	1	33	奈良・平安時代

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
6	11-005597	土師器甕体部	11	148	奈良・平安時代
7	11-005598	須恵器環・横口縁	3	51	平安朝頃
8	11-005599	カマド構築材	1	5	

38 88号土坑

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005600	土師器釜口縁	1	13	
2	11-005601	土師器甕体部	6	86	奈良・平安時代
3	11-005602	土師器甕体部	2	48	
4	11-005603	須恵器環・横口縁	4	45	平安朝頃
5	11-005604	須恵器環・横口縁	1	27	高台付、平安朝頃

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
6	11-005605	須恵器甕体部か	1	41	軟質
7	11-005606	羽釜器口縁	2	35	
8	11-005607	羽釜体部	3	77	
9	11-005608	羽釜底部	1	43	
(2)	集合扱い資料				
10	11-005609	土師器甕口縁	5	53	奈良・平安時代

E区出土遺物一覧

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
11	11-005610	土師器蓋口縁	2	16	
12	11-005611	土師器甕体部	11	57	奈良・平安時代
13	11-005612	土師器甕体部	2	48	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
14	11-005613	須恵器環・瓶口縁	4	11	平安期頃
15	11-005614	須恵器環・碗体部	1	3	平安期頃
16	11-005615	陶器	1	2	

39 104号土坑

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005616	土師器環底部	1	7	
2	11-005617	須恵器甕体部	1	42	
(2)	集合扱い資料				

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
3	11-005618	土師器甕体部	1	4	
4	11-005619	須恵器高天井部	1	14	
5	11-005620	須恵器甕体部	1	52	

40 112号土坑

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005621	土師器甕体部	2	137	

41 121号土坑

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005622	土師器環底部	2	47	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
2	11-005623	土師器甕体部	1	19	

42 127号土坑

No.	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (現存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	産地・石材等の特徴 ①産地または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1)	本土坑には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物					
1	第497図 図版201 10-001569	女瓦 (破片)	残存 8.5×11.1 厚み 3.5	凹面に布目痕残り、凸面輪巻を思わせる 回転状態の無い。凹凸面共縁辺寄りには面 取り。縁辺は覆削り。	①産地不明・音 ②灰白色(SY7/1) ③粗砂粒・片岩含む	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2)	集合扱い資料				
2	11-005624	縄文土器	1	3	
3	11-005625	土師器環底部	1	1	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
4	11-005626	土師器甕体部	4	41	
5	11-005627	須恵器甕体部	1	10	

43 129号土坑

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005628	土師器甕体部	1	8	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
2	11-005629	須恵器甕体部	1	66	

44 130号土坑

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005630	土師器甕体部	1	13	

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2)	集合扱い資料				
2	11-005631	土師器環底部	2	10	

45 132号土坑

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005632	縄文土器	1	57	中期

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2)	集合扱い資料				
2	11-005633	縄文土器	1	15	中期

46 139号土坑

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005634	縄文土器	1	73	中期

No.	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
2	11-005635	須恵器環・瓶口縁	1	20	高台付、平安期頃

47 141号土坑

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	集合扱い資料				
1	11-005636	縄文土器	2	44	中期
2	11-005637	土師器坏口縁	1	3	
3	11-005638	土師器坏口縁	3	10	
4	11-005639	土師器坏口縁か	1	12	
5	11-005640	土師器壺体部	12	104	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
6	11-005641	須恵器坏・坏口縁	1	4	平安朝頃
7	11-005642	須恵器高坏頸部	1	15	軟質
8	11-005643	須恵器壺体部	8	174	
9	11-005644	須恵器羽釜口縁	3	78	
10	11-005645	布目瓦	1	111	

48 1号竪穴状遺構

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備 考
(1)	本竪穴状遺構には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物					
1	第501図 図版201 10-001570	土師器小皿壺 (腰部～底部) (残存部の1/2)	直径 5.1 残存高 3.5	腰部～底部内周縁位の指痕で、外面指痕で、底面寛調整か。	①酸化焰・やや硬 ②に、赤・黄褐色(10YR7/0) ③粗砂粒・片岩含む	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2)	取上番号付き集合扱い資料				
2	11-005646	土師器壺体部	1	8	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
3	11-005647	須恵器壺体部	1	10	

49 3号集石

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備 考
(1)	本集石遺構には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物					
1	図版203 20-001177	こも編み石 (磨石) (右側縁欠損)	長さ 10.0 幅 6.7 厚み 3.0 重量 239g	裏・右側面研磨。中に幅3.5cm程の摩耗痕一周。下側縁中央溝状に加工され、幅1.5cm程の摩耗痕縦に入る。	①砂岩 ②灰白色(2.5Y8/1)	磨石からの転用品か

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(2)	取上番号付き集合扱い資料				
2	11-005648	土師器坏	1	2	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
3	11-005649	須恵器壺	1	130	
4	11-005650	須恵器	1	5	

50 42号風倒木

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備 考
(1)	取上番号付き集合扱い資料				
1	11-005651	土師器壺体部	1	41	

51 グリッド出土遺物

No	図面番号 図版番号 資料番号	名 称 (残存部位) (残 存 量)	測 定 値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③粘土	備 考
(1)	E d-26グリッド					
1	第505図 図版201 20-001178	磨石 (こも編み石) (1/1)	長さ 12.4 幅 5.4 厚み 5.6 重量 615g	円盤を用い、裏面に研磨面を残す。中に幅3.8cm程の形状の摩耗痕一周する。	①点紋斜層母石黒片岩 ②緑灰色(10GY6/1)	こも編み石への転用品
(2)	E j-20グリッド					
2	第505図 図版201 20-001179	スライパー (1/1)	長さ 6.9 幅 5.1 厚み 2.2 重量 89g	打製石片からの転用品と思われる。上下及び右下縁に鋭利が施され、左側縁に表裏から削離調整が施される。	①熱変成岩	打製石片からの転用品
(3)	E j-19グリッド					
3	図版201 20-001180	こも編み石 (1/1)	長さ 13.4 幅 6.1 厚み 1.6 重量 205g	扁平な石材を用いる。左右両側に鋭利が見られ、中に5.3cm程の形状の摩耗痕一周する。	①紅褐色斜層母石黒片岩 ②明青灰色(5PB/1)	

E区出土遺物一覧

No	調査番号 図版番号 資料番号	名称 (保存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③土質	備考
(4) E-28グリッド						
4	第505図 図版201 20-001181	不定形石器	長さ 9.1 幅 5.8 厚み 2.0 重量 107g	裏面に自然面を残す縦長の剣片を用い、 図上下面の側縁面に裏面より粗い斜磨削 調整を施す。	①熱変成岩	
(5) E k-20グリッド						
5	第506図 図版201 20-001182	磨石	長さ 8.5 幅 6.55 厚み 3.5 重量 260g	所置円錐を用いる。上端部に敲打痕を残し、 表面面に研削面を施す。	①砂岩 ②灰白色(10Y7/1)	
(6) E k-28グリッド						
6	第508図 図版201 10-001571	土師器環 (口縁部→底部)	口径 推定 13.2 底径 推定 9.0 器高 推定 4.0	口縁横撫で。体部→底部内面回し乍らの 磨削で。体部外面回し乍ら、底面2方向 への磨削あり。	①酸化焰・やや硬 ②褐色(5YR2/6) ③細砂粒	6世紀後半
7	第509図 図版201 10-001572	須恵器環 (口縁部→底部)	口径 推定 13.6 底径 推定 6.6 器高 4.2	内面嵌灰による黒色処理か、右側縁口 口成形。底面回転切削り。	①還元焰・青 ②灰黄色(2.5Y7/2) ③細砂粒	9世紀後半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(7) E a-25グリッド					
8	11-005652	土師器壺体部	4	52	
9	11-005653	陶器	1	34	
(8) E a-26グリッド					
10	11-005654	土師器壺体部	4	46	
(9) E b-24グリッド					
11	11-005655	土師器壺体部	2	16	
(9) E b-25グリッド					
12	11-005656	縄文土器	2	70	前期
13	11-005657	須恵器壺体部	1	4	
(9) E b-29グリッド					
14	11-005658	土師器環口縁	1	1	
15	11-005659	土師器環口部	1	14	
16	11-005660	土師器高坏体部	1	14	
17	11-005661	土師器環口縁	2	19	
18	11-005662	土師器壺体部	1	45	
(9) E c-26グリッド					
19	11-005663	縄文土器	1	12	前期
20	11-005664	土師器壺	1	3	
21	11-005665	須恵器環・腕部	1	9	高台付、平安前期
(9) E c-28グリッド					
22	11-005666	土師器壺体部	2	9	
(9) E d-28グリッド					
23	11-005667	土師器環底部	2	4	
24	11-005668	土師器壺体部	1	15	
(9) E e-20グリッド					
25	11-005669	土師器環底部	3	10	
26	11-005670	土師器壺体部	4	14	奈良・平安時代
27	11-005671	土師器壺体部	6	30	
28	11-005672	土師器壺底部	1	28	
29	11-005673	須恵器環・腕部	2	2	平安前期
30	11-005674	須恵器壺体部	4	64	
31	11-005675	羽釜体部	1	22	
(9) E f-26グリッド					
32	11-005676	縄文土器	3	147	中期
33	11-005677	土師器環底部	1	13	
(9) E g-20グリッド					
34	11-005678	赤生土器	1	9	
35	11-005679	土師器壺体部	3	36	
36	11-005680	須恵器環・腕口縁	1	9	平安前期
37	11-005681	羽釜体部	3	27	
(9) E g-28グリッド					

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
38	11-005682	土師器壺体部	1	8	
(9) E g-30グリッド					
39	11-005683	土師器高坏体部	1	13	
40	11-005684	土師器壺体部	1	5	
41	11-005685	瓦	1	25	
(9) E h-19グリッド					
42	11-005686	土師器壺底部	1	62	
43	11-005687	須恵器環・腕体部	1	7	平安前期
44	11-005688	須恵器壺体部	2	293	
(9) E h-25グリッド					
45	11-005689	羽釜体部	1	48	
(9) E i-20グリッド					
46	11-005690	土師器環口縁	1	4	
47	11-005691	土師器環体部	2	46	
48	11-005692	土師器壺体部	2	8	奈良・平安時代
49	11-005693	須恵器環・腕口縁	1	37	平安前期
50	11-005694	須恵器環・腕体部	1	6	平安前期
51	11-005695	須恵器壺体部	2	50	
52	11-005696	灰土	1	7	
53	11-005697	陶器	3	49	
(9) E i-21グリッド					
54	11-005698	羽釜脚部	1	14	
55	11-005699	羽釜体部	1	7	
56	11-005700	陶磁器	2	10	
57	11-005701	近現代瓦	1	70	
(9) E j-28グリッド					
58	11-005702	須恵器壺体部	1	31	
59	11-005703	羽釜口縁	1	46	
(9) E k-20グリッド					
60	11-005704	土師器環口縁	1	4	7世紀前半
61	11-005705	須恵器壺体部	1	25	
62	11-005706	羽釜体部	2	25	
(9) E k-22グリッド					
63	11-005707	縄文土器	1	19	前期
64	11-005708	土師器壺体部	1	7	
65	11-005709	須恵器環・腕口縁	1	4	
(9) E k-28グリッド					
66	11-005710	縄文土器	1	36	中期
67	11-005711	土師器壺体部	1	6	奈良・平安時代
68	11-005712	土師器壺→底部	1	44	
(9) E l-18グリッド					
69	11-005713	土師器壺体部	2	34	取上番号有り

グリッド（攪乱土坑）出土遺物

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
70	11-005714	須恵器環・椀底部	1	1	平安朝頃、No付
09 E1-20グリッド					
71	11-005715	縄文土器	1	9	前期か
72	11-005716	縄文土器	1	11	中期
73	11-005717	土師器壺体部	1	6	
74	21-000471	熱変成岩	1	37	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
00 E1-23グリッド					
75	11-005718	土師器平底部	1	4	
76	11-005719	須恵器環・椀体部	1	5	平安朝頃
77	11-005720	須恵器環・椀体部	2	34	高台付、平安時代
78	11-005721	須恵器壺体部	3	151	
79	11-005722	羽釜体部	4	68	

52 グリッド（攪乱土坑）出土遺物

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) E a-20グリッド(73号攪乱土坑)						
1	図版203 20-001183	こも編み石 (1/1)	長さ 12.8 幅 4.8 厚み 2.6 重量 217 g	円碑を用いる。上位の細くなる部分を利用し、幅2.0cm程度の帯状の摩耗痕が一周する。	①凝緑片岩 ②緑灰色(7.5GY6/1)	
(2) E a-E b-29グリッド(52号攪乱土坑)						
2	部50588 図版201 10-001573	女瓦 (破片)	残存 8.0×7.5 厚み 1.5	西面に布目痕残り、凸面には瓦を用いた跡で識される。	①還元焰・やや硬 ②灰色(N6/) ③細砂粒	
(3) E e-20-21グリッド(70号攪乱土坑)						
3	部50589 図版201 10-001574	羽釜 (口縁部～胴部) (破片)	残存 17.4×14.8 口径 20.2 残存高 14.8	所謂青井型の羽釜。内面及び口縁～胴部 上半外面横位の襷で。胴部下半外面下方へ尻隅位。	①還元焰・普 ②灰白色(10Y7/1) ③粗砂粒・片岩含む	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(4) E a-23グリッド(26号攪乱土坑)					
4	11-005723	須恵器環・椀底部	1	6	回転糸切り、平安
5	11-005724	須恵器壺体部	1	70	
(5) E a-E b-24グリッド(45号攪乱土坑)					
6	11-005725	土師器壺体部	1	9	
(6) E a-E b-29グリッド(52号攪乱土坑)					
7	11-005726	土師器壺体部	1	4	奈良・平安時代
8	11-005727	須恵器壺体部	1	63	軟質
(7) E b-25グリッド(47号攪乱土坑)					
9	11-005728	縄文土器	1	13	中期
10	11-005729	土師器環	1	5	
11	11-005730	土師器環	1	7	
(8) E c-23-24グリッド(46号攪乱土坑)					
12	11-005731	土師器平底部	1	8	
13	11-005732	土師器壺体部	4	15	奈良・平安時代
14	11-005733	須恵器壺体部	1	13	
(9) E d-E e-25グリッド(43号攪乱土坑)					
15	11-005734	弥生土器	1	5	
16	11-005735	土師器平底部	2	19	
17	11-005736	土師器壺口縁	1	6	
18	11-005737	須恵器壺体部	7	345	
00 E e-20-21グリッド(70号攪乱土坑)					
19	11-005738	縄文土器	1	12	中期
20	11-005739	土師器壺体部	1	25	
21	11-005740	羽釜	3	74	
00 E e-21グリッド(69号攪乱土坑)					
22	11-005741	縄文土器深鉢	1	25	前期、竪溝式
23	11-005742	須恵器壺体部	1	8	
24	21-000472	熱変成岩	1	106	
02 E g-21グリッド(94号攪乱土坑)					
25	11-005743	土師器平底部	2	12	
26	11-005744	須恵器環・椀口縁	2	11	平安朝頃
27	11-005745	須恵器環・椀底部	2	40	平安朝頃
28	11-005746	須恵器壺体部	2	39	軟質
29	11-005747	須恵器壺体部	2	76	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
30	11-005748	羽釜口縁	1	25	
03 E e-E b-20グリッド(72号攪乱土坑)					
31	11-005749	土師器壺体部	1	8	
04 E i-20グリッド(73号攪乱土坑)					
32	11-005750	土師器平底部	1	6	
33	11-005751	須恵器環・椀口縁	2	12	平安朝頃
34	11-005752	須恵器環・椀底部	4	28	平安朝頃
35	11-005753	須恵器壺口縁	1	40	
36	11-005754	須恵器壺体部	7	210	
37	11-005755	羽釜体部	1	34	
05 E i-20グリッド(74号攪乱土坑)					
38	11-005756	土師器環体部	4	45	
39	11-005757	土師器平底部	4	21	
40	11-005758	土師器小壺	1	6	
41	11-005759	須恵器環・椀口縁	1	4	平安朝頃
42	11-005760	須恵器環・椀底部	1	29	土師質・高台付
43	11-005761	須恵器壺体部	2	40	
44	11-005762	内耳鏡	2	21	
45	11-005763	火鉢	1	11	
06 E j-19グリッド(77号攪乱土坑)					
46	11-005764	土師器環体部	1	4	
47	11-005765	須恵器環・椀底部	1	6	高台付、平安朝頃
48	11-005766	須恵器壺底部	1	32	軟質
49	11-005767	陶器	2	13	
07 E j-22グリッド(80号攪乱土坑)					
50	11-005768	陶器深鉢	1	45	
08 E j-27グリッド(42号攪乱土坑)					
51	11-005769	土師器平底部	1	10	
52	11-005770	土師器壺体部	6	27	
53	11-005771	須恵器環・椀底部	1	43	平安朝頃
09 E k-23グリッド(82号攪乱土坑)					
54	11-005772	須恵器壺底部	1	41	
55	11-005773	須恵器壺体部	1	4	
05 E k-27グリッド(41号攪乱土坑)					
56	11-005774	土師器壺体部	3	21	

E区出土遺物一覧

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
57	11-005775	須恵器環・腕	2	7	平安朝頃	70	E1-24グリッド(83号機土坑)				
58	11-005776	須恵器壺体部	1	22		73	11-005791	土師器環口縁	1	3	
59	11-005777	羽釜体部	2	22		74	11-005792	土師器壺体部	3	42	
60	D9 E1-23グリッド(84号機土坑)					75	11-005793	須恵器環・腕体部	1	3	
61	11-005778	土師器壺体部	3	10	奈良・平安時代	76	E m-20グリッド(88号機土坑)				
62	11-005779	須恵器環・腕口縁	2	5	平安朝頃	76	11-005794	須恵器壺口縁	6	148	
63	11-005780	須恵器環・腕体部	4	20	平安朝頃	77	11-005795	羽釜体部	2	36	
62	11-005781	須恵器環・腕口縁	1	24		78	11-005796	布目瓦	1	114	
64	11-005782	須恵器壺体部	1	23		79	E m-24グリッド(86号機土坑)				
65	D9 E1-23グリッド(85号機土坑)					79	11-005797	土師器環口縁	1	3	
65	11-005783	土師器環口縁	2	7		80	11-005798	須恵器壺口縁	1	9	
66	11-005784	土師器環口縁	5	14		81	11-005799	須恵器壺口縁	1	6	
67	11-005785	土師器環口縁	2	18		82	E m~E n-19グリッド(89号機土坑)				
68	11-005786	土師器壺体部	3	13		82	11-005800	土師器環口縁	1	5	
69	11-005787	須恵器環・腕体部	3	10	平安朝頃	83	11-005801	須恵器環・腕口縁	1	9	平安朝頃
70	11-005788	須恵器環・腕口縁	1	9	平安朝頃	84	11-005802	須恵器壺体部	1	161	
71	11-005789	須恵器壺体部	4	33		85	11-005803	羽釜体部	1	13	
72	11-005790	陶器	1	14							

53 E区出土遺物

No	調査番号 図面番号 図説番号 資料番号	名称 (残存量) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	検出・石材等の特徴 ①構成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
1	第565回 図版201 20-001184	磨石 (左側縁一部欠損)	長さ 10.0 残存幅 6.5 厚み 2.15 重量 216 g	扁平な円盤を用い、表面面にはっきりした研磨面が残される。	①砂岩 ②灰白色(2.5GY8/1)	焼熟度顕著
2	図版203 20-001185	こも編み石 (左側部割欠)	長さ 12.8 残存幅 3.6 厚み 3.9 重量 327 g	円盤を用いる。中に幅3.0~4.4cmの帯状の準粒粒が一周する。	①緑泥片岩 ②緑灰色(10G5/1)	
3	図版203 20-001186	磨石 (1/1)	長さ 13.9 幅 6.0 厚み 3.2 重量 450 g	円盤を用いる。表裏及び左側縁に明瞭な研磨面が残る。	①安山岩 ②明緑灰色(7.5GY7/1)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
E区(表裡一括)						19	11-005819	須恵器壺体部	1	7	薄手
4	11-005804	縄文土器	2	23	中期	20	11-005820	須恵器壺体部	9	133	
5	11-005805	土師器環	2	7	7世紀後半	21	11-005821	羽釜口縁	2	46	
6	11-005806	土師器環口縁	3	9		22	11-005822	羽釜体部	14	150	
7	11-005807	土師器環口縁	2	18	黒色処理	23	11-005823	羽釜底面	1	20	
8	11-005808	土師器高環口縁	1	20		24	11-005824	陶器	2	10	
9	11-005809	土師器壺口縁	3	15		25	21-000473	熱変成岩	2	91	
10	11-005810	土師器壺体部	12	78	奈良・平安時代	E区(胎土)					
11	11-005811	土師器壺体部	47	1000		26	11-005825	弥生土器	1	1	赤井戸式
12	11-005812	土師器壺底面	2	23	奈良・平安時代	27	11-005826	土師器環口縁	1	1	
13	11-005813	土師器壺底面	8	49		28	11-005827	土師器環口縁	3	17	
14	11-005814	須恵器蓋	3	35		29	11-005828	土師器高環口縁	1	15	7世紀後半
15	11-005815	須恵器環・腕口縁	5	31	平安朝頃	30	11-005829	土師器壺体部	5	52	
16	11-005816	須恵器環・腕体部	4	31	平安朝頃	31	11-005830	須恵器壺体部	1	99	
17	11-005817	須恵器環・腕口縁	3	36	平安朝頃	32	11-005831	羽釜体部	2	50	
18	11-005818	須恵器壺口縁	2	38							

54 E・F区

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考	No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(1) 黒合板い資料						2	11-005833	須恵器環・腕口縁	2	52	平安朝頃
1	11-005832	土師器壺体部	3	48							

F区出土遺物一覧

1 J-1号住居

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第511図 図版222 16-001575	縄文土器深鉢 (体部) (破片)	残存 2.95×2.9 厚み 0.75	織羅土器。内面収反、外面にLRの無彫縄文が施される。	①軟 ②浅黄色(2.5Y7/3) ③細砂粒・繊維混入	前期
2	第511図 図版222 20-001187	煎石 (端部一部欠損)	残存長 5.1 幅 4.6 厚み 3.2 重量 101.84g	楕円形の體を用い、両端部の広い範囲に敲打痕残る。	①火山岩 ②黄灰色(2.5Y5/1)	被熱の痕跡あり
3	第511図 図版222 20-001188	煎石 (1/2)	残存長 6.1 幅 8.3 厚み 3.7 重量 367g	楕円形の體を用い、角部を中心とする側縁部に敲打痕残り、裏面に磨き痕残り、その一面に若干の敲打痕残る。	①火山岩 ②灰色(5Y6/1)	
4	第511図 図版222 20-001189	石核 (1/1)	長さ 8.5 幅 8.2 厚み 4.5 重量 264g	四方の縁辺部のうちに3辺に連続する剥離痕が残る。残る1縁辺と裏裏面には剥離面残る。自然面は見られない。	①熱変成岩	
(2) 本住居には直接伴わないが関連を特定できなかった遺物						
5	第511図 図版222 16-001576	縄文土器深鉢 (口縁部) (破片)	残存 2.9×1.9 厚み 0.8	口唇部にRの捺糸が左回りに転がされ、口唇近くを除く外面にRの捺糸が施される。	①やや硬 ②にぶい赤褐色(2.5YR4/4) ③粗砂粒・片岩含む	捺糸文系 早期
6	第511図 図版222 16-001577	縄文土器深鉢 (体部) (破片)	残存 5.15×5.0 厚み 0.8	外面に縦位の条痕文残り、内面にも条痕文が施される。	①硬 ②にぶい赤褐色(2.5YR4/6) ③粗砂粒・片岩含む	条痕文系
7	第511図 図版222 20-001190	石鏃 (一側部欠損)	長さ 2.3 残存幅 1.3 厚み 0.5 重量 1.05g	二等辺三角形の平面形を呈する小型の無茎鏃である。比較的丁寧な調整だが、縁辺は著しい調整で鋸状を呈している。	①チャート ②暗灰色(N3/)	
8	第511図 図版222 20-001191	石匙 (1/1)	長さ 6.05 幅 3.15 厚み 0.85 重量 15.21g	裏面に自然面を残す縦長の割片を用い、右側の縁辺部が刃部で裏面からの剥離が連続して施される。	①熱変成岩	
9	第511図 図版222 20-001192	スクレイパー (1/1)	長さ 5.3 幅 3.9 厚み 0.6 重量 13.43g	裏面に自然面を残す横長の薄いつまみを用い、頂部の縁辺に剥離痕が見られる。	①熱変成岩	
10	第511図 図版222 20-001193	スクレイパー (1/1)	長さ 7.0 幅 4.5 厚み 1.8 重量 41.85g	裏面に自然面を残す横長の割片を用い、底辺部に片面からの粗い剥離が施され、右側縁辺部にも僅かな剥離痕見られる。	①熱変成岩	
11	第511図 図版222 20-001194	スクレイパー (先端部欠損)	残存長 7.52 幅 4.6 厚み 1.35 重量 36.96g	断面三角の縦長の割片を用い、頂部を除く3辺に片面からの剥離が施され、図上左側の縁辺が刃部と思われる。	①熱変成岩	
12	第511図 図版222 20-001195	不定形石器 (1/1)	長さ 2.3 幅 1.9 厚み 0.4 重量 1.73g	横長割片を用い、刃部は図上右縁部で、著しい調整で鋸状を呈する。図の上部分を柄とする石匙の可能性もある。	①黒曜石 ②暗灰色(N3/)	
13	第512図 図版222 20-001196	打製石斧 (1/1)	長さ 9.65 幅 4.75 厚み 2.4 重量 110.45g	長円形を用い、裏面に自然面を残す。楕円形を呈するが厚い。	①熱変成岩	
14	第512図 図版222 20-001197	打製石斧 (1/1)	長さ 10.1 幅 5.65 厚み 2.15 重量 116.50g	裏面に自然面を残す。調整はやや粗く、楕円形を呈する。	①熱変成岩	
15	第512図 図版222 20-001198	打製石斧 (1/1)	長さ 11.7 幅 5.6 厚み 1.7 重量 140.56g	短冊形を呈し、裏面に自然面を残す。やや薄手で両側縁部の調整はやや粗かく、先端には使用痕らしき剥離が見られる。	①熱変成岩	
(3) 本住居を切る風銅木直錐出土遺物						
16	第512図 図版222 20-001199	石匙 (1/1)	長さ 7.5 幅 4.2 厚み 0.7 重量 20.14g	縦長の割片を用い、裏面に自然面を残す。刃部は右側縁辺にあり、やや粗い調整が施される。	①熱変成岩	
17	第512図 図版222 20-001200	打製石斧 (1/1)	長さ 11.85 幅 4.45 厚み 2.2 重量 147.91g	短冊形を呈し、表面の一部に自然面を残す。側縁部は調整されているが、全体として加工は粗い。	①熱変成岩	

F区出土遺物一覧

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
18	第51208 図取222 20-001201	打製石斧 (欠損品か)	長さ 12.4 幅 4.3 厚み 1.35 重量 73.32g	面的剥離の残片の可能性あり。短冊形になるものと思われる。	①熱変成岩	
19	第51208 図取222 20-001202	スレイバー (1/1)	長さ 7.15 幅 5.05 厚み 1.8 重量 75.64g	打製石斧の転用品と思われる。下部縁辺が調整され、刃は右側縁辺にあり、刺離が施されている。	①熱変成岩	
20	第51208 図取222 20-001203	磨石 (1/1)	長さ 4.3 幅 3.45 厚み 3.2 重量 68.30g	磨形を呈し全体によく研磨されている。	①安山岩 ②明褐色(7.5YR 7/1)	
21	第51208 図取222 20-001204	スレイバー (1/1)	長さ 9.25 幅 4.1 厚み 1.8 重量 77.91g	横長の割片を用い、表面に自然面を残す。刃部は底辺にあり、やや大雑把な刺離が施される。	①熱変成岩	
22	第51208 図取222 20-001205	打製石斧 (1/1)	長さ 19.35 幅 9.0 厚み 5.1 重量 770g	大型の打製石斧で、頂部に自然面を残す。内厚の左側縁部に調整を施して、鋭角になるよう加工している。	①熱変成岩 ②暗緑灰色(10GY4/1)	
23	第51208 図取222 10-001578	土師器罐 (口縁部～胴部) (破片)	口径 推定 24.0 残存 11.2×11.1	口縁横溝で、体部外面上方への厚削り、内面横位の腕縁で後縁位の磨き。	①やや軟・酸化層② ぶい褐色(7.5YR7/4) ③粗粒砂・片岩含む	7世紀前半

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
14	取上番号付き集合扱い資料				
24	11-005834	縄文土器	6	85	前期
25	11-005835	縄文土器	2	28	中期
26	21-000474	熱変成岩割片等	70	3354	
27	21-000475	黒曜石割片等	16	34	
28	21-000476	チャート割片等	2	4	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
15	集合扱い資料				
29	11-005836	縄文土器	4	44	前期
30	11-005837	縄文土器	2	19	中期
31	21-000477	熱変成岩割片等	27	110	
32	21-000478	黒曜石割片等	7	15	
33	21-000479	チャート割片等	1	1	

2 J-2号住居

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第51406 図取222 10-001579	縄文土器深鉢 (口縁部～体部) (残存部1/8)	口径 推定 21.8 残存 18.5	波状口縁。LRの斜縄文を地文に比定で波状部下の垂線間にX字状、その上下を波状、交点に横位の短波線施文。	①青濁 ②淡黄色(2.5Y7/4) ③粗粒砂・繊維土器	早期終末
3	第51406 図取222 20-001206	打製石斧 (欠損品)	残存径 4.95×4.1 残存厚 1.25 重量 32.36g	磨形打製石斧の基部の破片である。両側縁部にやや細かい調整痕残る。	①熱変成岩	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(2) 集合扱い資料					
4	21-000480	熱変成岩割片等	2	360	取上番号付き
5	21-000481	熱変成岩割片等	7	98	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
6	21-000482	流紋岩割片等	1	25	取上番号付き
7	21-000483	流紋岩割片等	1	80	

3 Y-1号住居

No	図面番号 図取番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	焼成・石材等の特徴 ①焼成または石材等 ②色調 ③胎土	備考
(1) 本住居に直接伴うと判断される遺物						
1	第51707 図取223 10-001581	弥生土器蓋 (口縁部～胴部) (破片)	頸部径 推定 12.05 残存高 7.6	折り返し口縁。折り返し部及び胴部外面LRの右方への縄文。口縁下平外面横位の無で、内面横位の磨きか。	①普通 ②褐色(7.5YR6/6) ③粗粒砂・片岩含む	赤井戸式 4世紀初頭
2	第51707 図取223 10-001582	弥生土器蓋 (口縁部～底部) (2/3)	口径 6.1 底径 9.3 蓋高 7.5	口縁外面やや右上がりの横位の、内面横位の、器受部取内面横位の、胴部内外面横位の、胴部内外面横位の磨き。	①普通 ②にぶい褐色 (7.5YR5/4) ③粗粒砂	4世紀初頭

No	図面番号 図版番号 資料番号	名称 (残存部位) (残存量)	測定値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	構成・石材等の特徴 ①地産または石材等 ②色調 ③造法	備考
(2) 本住居には直接伴わないか関連を特定できなかった遺物						
3	第517図 図版223 10-001583	赤生土器蓋 (口縁部) (破片)	残存 7.6×4.5	口縁部に輪痕が残る。外面LRの縦文右方に回し、下位は縦位の磨磨き。内面横位の磨磨き。	①普通 ②にぶい黄褐色(10YR7/3) ③細砂粒	赤井戸式 4世紀初頭
4	第517図 図版223 10-001584	赤生土器蓋 (胴部～底部) (1/8)	残存高 11.0 底径 推定 7.0	底面欠損。胴部外面縦位の磨磨き。内面右上がりの磨磨き。	①普通 ②にぶい黄褐色(10YR6/4) ③細砂粒	4世紀初頭
5	第517図 図版223 10-001585	赤生土器蓋 (胴部～底部) (1/8)	残存高 8.3 底径 推定 7.0	器面部分的に荒れる。胴部外面縦位の磨磨き、内面横位の磨磨き。底部内面指痕で後磨磨き。	①やや軟 ②褐色(7.5YR6/6) ③粗砂粒	4世紀初頭
6	第517図 図版223 10-001586	土師器器台 (脚部) (破片)	残存 5.0×3.8 底径 推定 11.0	外面左上がりの磨磨き、内面横位の撫で。	①普通 ②明褐色(7.5YR5/6) ③細砂粒・片岩含む	4世紀初頭
7	第517図 図版223 10-001587	赤生土器器台 (脚部) (破片)	残存 4.5×4.5 底径 推定 10.0	透かし内形。外面縦位の磨磨き、内面横位の撫で。胴部調整。	①普通 ②にぶい黄褐色(10YR7/3) ③細砂粒・片岩含む	4世紀初頭
8	第517図 図版223 10-001588	赤生土器蓋 (体部) (破片)	残存 14.6×6.6	外面横位の磨磨きとRLの右方への縦文施文、内面調整。	①やや軟 ②褐色(7.5YR7/6) ③細砂粒	4世紀初頭
9	第517図 図版223 10-001589	縄文土器深鉢 (口縁部) (破片)	残存 4.15×4.0 厚み 0.85	竹管による沈れと刺突が施される。	①硬 ②黄灰色(2.5Y6/1) ③粗砂粒	中期前半
10	第517図 図版223 20-001207	不定形石器 (1/1)	長さ 9.9 幅 3.95 厚み 1.0 重量 41.10g	一面に自然面を残す最長削片を用い、下端部に粗い刻痕調整が施される。	①熱変成岩	
11	第517図 図版223 20-001208	砥石 (破片)	残存長 13.55 残存 幅 6.5 残存厚 2.85 重量 307g	表面と一側縁部、一端部を含む破片資料である。端部に敲打痕が見られ、表面に研磨痕が認められる。	①安山岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
12	第517図 図版223 20-001209	磨石 (1/1)	長さ 5.3 幅 5.05 厚み 4.2 重量 183.54g	円盤を用い、片側先端部と底面に著しい研磨痕が認められる。	①流紋岩 ②緑灰色(10GY6/1)	
13	第517図 図版223 10-001590	須恵器碗 (口縁部～底部) (2/3)	口径 15.4 底径 6.6 器高 5.4	右回転ロクロ成形。底部内面に黒書。「大小轉」か。	①還元焰・やや軟 ②灰白色(5YR7/2) ③細砂粒	
14	第517図 図版223 10-001591	軟質陶器鉢 (口縁部～体部) (破片)	口径 推定 29.0 残存 12.6×7.2	回転ロクロ成形。体部外面縦方向の指痕で。	①還元焰・やや軟 ②にぶい黄褐色(10YR7/4) ③細砂粒・片岩含む	
15	第517図 図版223 20-001210	砥石 (欠損品)	残存長 4.05 残存 幅 6.4 残存厚 4.5 重量 60.63g	ローリングした砥石を用いる。下面等大部分を欠損するが、先端部に敲打痕残り、上面と両側縁面が研磨される。	①砥石 ②灰白色(7.5Y7/2)	
16	第517図 図版223 20-001211	石板 (破片)	残存 6.6×4.6 厚み 0.335 重量 16.92g	表面面がよく研磨され、線刻状の磨痕が見られる。	①粘板岩 ②灰色(N4/)	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
(3)	取上番号付き集合いり資料				
17	11-005838	縄文土器	1	14	早期
18	11-005839	赤生土器	10	125	赤井戸式
19	11-005840	赤生土器口縁	3	60	赤井戸式
20	11-005841	赤生土器	2	15	赤色塗彩
21	11-005842	赤生土器	28	720	
22	11-005843	赤生土器口縁	1	25	
23	11-005844	赤生土器	3	85	黒色処理
24	11-005845	土師器器台	1	35	6世紀後半
25	11-005846	土師器器台	1	20	鬼高瀬
26	11-005847	土師器器台口縁	3	75	
27	11-005848	土師器器台体部	17	430	
28	11-005849	土師器器台底部	1	80	
29	11-005850	土師器器台体部	6	140	

No	資料番号	資料名称等	数量	重量(g)	備考
30	21-000484	熱変成岩削片等	3	170	
(4) 集合いり資料					
31	11-005851	縄文土器	2	9	
32	11-005852	縄文土器	3	34	
33	11-005853	赤生土器	33	280	赤井戸式
34	11-005854	赤生土器口縁	5	60	赤井戸式
35	11-005855	赤生土器	3	15	赤色塗彩
36	11-005856	赤生土器	48	490	
37	11-005857	赤生土器口縁	3	50	
38	11-005858	赤生土器	18	255	黒色処理
39	11-005859	土師器器台	3	15	鬼高瀬
40	11-005860	土師器器台脚部	1	70	
41	11-005861	土師器器台口縁	4	75	
42	11-005862	土師器器台体部	50	850	